国道403号土口バイパス
埋蔵文化財発掘調査報告書

屋代遺跡群（やしろ）

2000．1

長野県更埴建設事務所
長野県埋蔵文化財センター

平成12年2月21日

各　位

(財)長野県文化振興事業団
長野県埋蔵文化財センター
所　長　　佐久間 鉄四郎

埋蔵文化財発掘調査報告書の贈呈について

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃当センターの事業に対しまして格別のご協力、ご指導を頂き厚くお礼申し上げます。

さて、平成9年に発掘調査を行いました屋代遺跡群土口バイパス地点の調査報告書を『国道403号土口バイパス埋蔵文化財発掘調査報告書』として刊行しましたのでお送りいたします。

遺跡は、屋代遺跡群高速道地点から続く古墳時代中期～平安時代後半の集落跡が主体です。屋代遺跡群の、高速道地点より西方の広がりを考える上で、良好な資料が出土しています。それ以外にも、この地域では希少な縄文時代後期後葉の土器が出土したこと、弥生時代中期後半の住居跡や、中世の館に関係する堀跡の一部が確認できたことなどが報告されています。これらの資料の評価が十分にはできず、資料提示に不充分な点もございますが、ご活用頂ければ幸いです。

連絡先
〒388－8007 長野市篠ノ井布施高田963－4
長野県埋蔵文化財センター篠ノ井整理棟
TEL026-293-5926

国道403号土口バイパス
埋蔵文化財発掘調査報告書

屋代遺跡群（やしろ）

2000．1

長野県更埴建設事務所
長野県埋蔵文化財センター

縄文時代後期の土器

縁釉陶器（１：SB61埋土中、２：４区飛鳥・平安時代面）

玉類・石製模造品

序

長野市松代町から更埴市に入り、土口・雨宮の集落を迂回して通る国道403号土口バイパスは、雨宮・屋代地籍で屋代遺跡群を通過します。その建設に先立つ埋蔵文化財発掘調査は、これまで更埴市教育委員会が実施してきましたが、その一部について長野県埋蔵文化財センターが分担して実施しました。対象地区は、さきに当センターが調査した屋代遺跡群上信越自動車道地点に直交し、また更埴市教育委員会が発掘した、大境遺跡の一部にもかかっており、その成果が注目されました。

調査結果の一部は、すでに年報や、現地説明会、遺物展示会等で、その一端を紹介してまいりましたが、整理作業を進める中で得られた新たな知見も含め、本書に収録することができました。本遺跡では、縄文時代後期から中世にわたる生活の痕跡を発見しています。この地域では資料の少ない縄文時代後期後葉の土器が出土したこと、屋代遺跡群における古墳時代の集落の西端を捉えることができたこと、また中世の館に関係する堀跡の一部が確認できたことなど、今後の研究に貴重な資料を提供することができました。

最後になりましたが、発掘調査から本報告書の刊行に至るまで、深い御理解と御協力をいただいた、長野県土木部更埴建設事務所、地元更埴市、同教育委員会、屋代・雨宮地区の方々、発掘・整理作業に従事協力された多くの方々、また適切な御指導・御助言をいただいた長野県教育委員会文化財・生涯学習課の皆様に、心から敬意と感謝を表す次第であります。

平成12年１月11日

長野県埋蔵文化財センター
所長　　佐久間　鉄四郎

例　言

1．本書は、国道403号線（土ロバイパス）建設工事にかかわる屋代遺跡群および屋代遺跡群に属する大境遺跡の発掘調査のうち、長野県埋蔵文化財センター実施地区の発掘報告書である。発掘調査の概要は、当センター発行の『長野県埋蔵文化財センター年報』14・15で紹介しているが、本書の報告を持って本報告とする。

2．遺構番号は、一部を除き発掘調査時の記号や番号を変更していない。その為、欠番などが存在する。

3．註・参考文献は各章あるいは節の末尾にまとめた。

4．発掘調査・報告書作成にあたり下記の諸氏に御指導・御援助をいただいた。記して謝意を表する。

京都大学霊長類研究所教授　　茂原信生

国立歴史民俗博物館教授　　平川　南

5．執筆は、第2章第2節2（1）・第3章2　2）を青木一男が、それ以外を西　香子が行った。編集・構成は西が行い、土屋が校閲した。遺物の写真撮影は、西嶋　力が行った。石材鑑定は、市川桂子・町田勝則が行った。また、上記以外の職員の協力も得た。

6．航空写真は、㈱写真測図研究所に撮影を委託した。また、黒曜石の原産地推定を、㈱パリノ・サーヴェイに、樹種同定を、㈱パレオ・ラボに委託し、付章に掲載した。

7．本編で報告した記録および出土遺物は更埴市教育委員会が保管している。

凡　例

1．本書に掲載した実測図の縮尺は原則として下記の通りで、該当箇所のスケールの上に記してある。

1)主な遺構実測図

遺構平面図　1：200　　建物跡個別平面図･断面図　1：80

2)主な遺物実測図

土器拓本　1：3　　土器　1：4　　石器・石製品　1：3～1：6　　小型石器　2：3

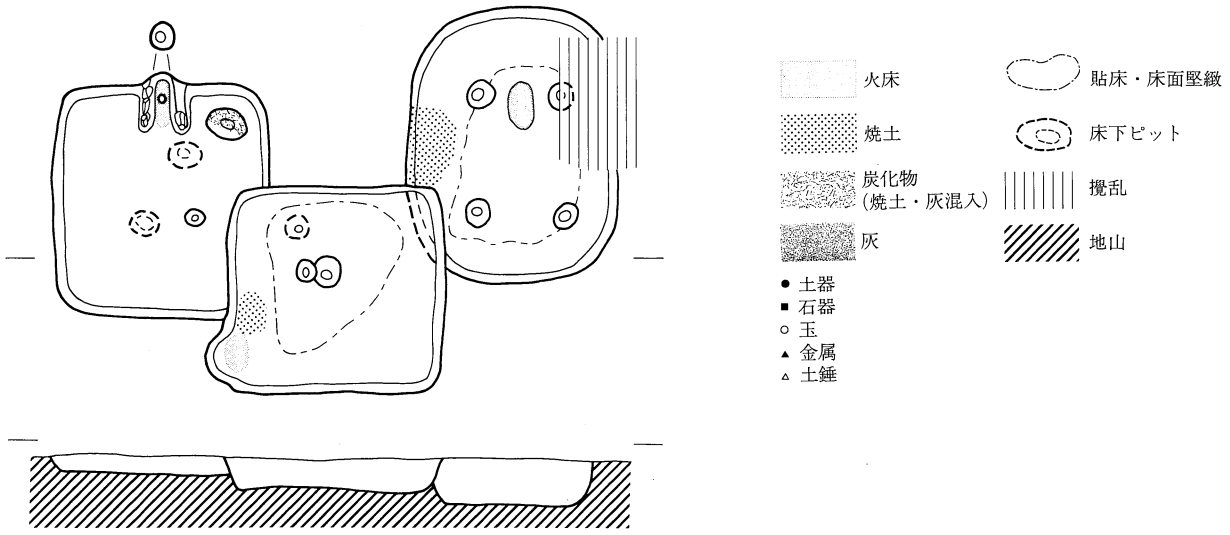
金属製品　1：2　　木製品　1：3～1：8

1．本書に掲載した主な遺物写真の縮尺は、下記の通りである。

土器　1：3　　石器・石製品　1：2～1：4　　金属製品　1：2　　木製品　1：4

1．実測図中のスクリーントーンなどは下記のように用いた。これ以外の場合は、当該項目の中で説明するか、図中に凡例を示した。

1)遺構実測図



2)遺物実測図

須恵器の断面を黒塗りし、灰釉の断面及び、土器の表面処理については以下のスクリーントーンで示した。

灰釉の断面　　黒色処理を施した土器　　赤色塗彩を施した土器

金属器・木製品などについては、その都度図版に凡例を示した。

本文目次

巻頭図版

序

例言

凡例

目次

第1章　発掘調査の概要

第1節　調査の経過 …… 1

1　調査にいたる経緯 …… 1

2　調査の経過 …… 1

3　調査体制と調査期間 …… 1

4　発掘および整理作業参加者 …… 2

第2節　調査の方法 …… 2

1　発掘調査の方法 …… 2

2　整理作業の方法 …… 4

第3節　遺跡周辺の環境 …… 4

1　遺跡の立地と位置 …… 4

2　遺跡群の歴史的概観 …… 4

第4節　基本層序 …… 7

第2章　遺構と遺物

第1節　縄文時代 …… 9

第2節　弥生時代 …… 10

1　遺構各説 …… 10

(1) 竪穴住居跡　(2) 溝　(3) 土坑

2　遺物 …… 10

(1) 土器・土製品　(2) 石器・石製品

第3節　古墳時代 …… 33

1　遺構各説 …… 33

(1) 竪穴住居跡　(2) 掘立柱建物跡　(3) 溝　(4) 土坑

2　遺物 …… 44

(1) 土器・土製品　(2) 石器　(3) 玉類・石製模造品　(4) 金属製品・鉄生産関連遺物

第4節　飛鳥・平安時代 …… 60

1　遺構各説 …… 60

(1) 竪穴住居跡　(2) 掘立柱建物跡　(3) 溝　(4) 土坑

2　遺物 …… 61

(1) 土器・土製品　(2) 石器・石製品　(3) 木製品　(4) 金属製品・鉄生産関連遺物

第5節　平安時代（9世紀末） …… 118

1　遺構各説 …… 118

(1) 溝　(2) 土坑　(3) 畠跡
2　遺物…… 118
(1) 土器・土製品　(2) 石器・石製品　(3) 木製品　(4) 金属製品・鉄生産関連遺物
第6節　平安後期～中世…… 125
1　遺構各説…… 125
(1) 溝　(2) 土坑
2　遺物…… 125
(1) 土器・土製品　(2) 石器・石製品　(3) 木製品　(4) 貨幣　(5) 金属製品・鉄生産関連遺物

第3章　まとめ…… 159

付　章　自然科学的分析
第1節　出土黒曜石の原産地推定…… 163
第2節　出土木製品の樹種同定…… 166

写真図版

報告書抄録
奥付

挿図目次

第１図　大・中地区設定法
第２図　仮地区名設定図
第３図　周辺の遺跡
第４図　土層
第５図　SK371
第６図　縄文時代の土器
第７図　弥生時代の遺構分布図　1
第８図　弥生時代の遺構分布図　2
第９図　弥生時代の遺構分布図　3
第10図　弥生時代の遺構分布図　4
第11図　弥生時代の遺構分布図　5
第12図　弥生時代の遺構個別図
第13図　弥生時代の土器　1
第14図　弥生時代の土器　2
第15図　弥生時代の土器　3
第16図　弥生時代の土器　4
第17図　弥生時代の土器　5　土製品
第18図　弥生時代の石器・石製品
第19図　古墳時代の遺構分布図　1
第20図　古墳時代の遺構分布図　2
第21図　古墳時代の遺構個別図　1
第22図　古墳時代の遺構個別図　2
第23図　古墳時代の遺構個別図　3
第24図　古墳時代の遺構個別図　4
第25図　古墳時代の遺構個別図　5
第26図　古墳時代の土器　1
第27図　古墳時代の土器　2
第28図　古墳時代の土器　3
第29図　古墳時代の土器　4
第30図　古墳時代の土器　5
第31図　古墳時代の土器　6
第32図　古墳時代の土器　7　土製品
第33図　古墳時代の石器
第34図　古墳時代の玉類・石製模造品・鉄製品
第35図　飛鳥・平安時代の遺構分布図　1
第36図　飛鳥・平安時代の遺構分布図　2
第37図　飛鳥・平安時代の遺構分布図　3
第38図　飛鳥・平安時代の遺構分布図　4
第39図　飛鳥・平安時代の遺構分布図　5
第40図　飛鳥・平安時代の遺構分布図　6
第41図　飛鳥・平安時代の遺構個別図　1
第42図　飛鳥・平安時代の遺構個別図　2
第43図　飛鳥・平安時代の遺構個別図　3
第44図　飛鳥・平安時代の遺構個別図　4
第45図　飛鳥・平安時代の遺構個別図　5
第46図　飛鳥・平安時代の遺構個別図　6
第47図　飛鳥・平安時代の遺構個別図　7
第48図　飛鳥・平安時代の土器　1
第49図　飛鳥・平安時代の土器　2
第50図　飛鳥・平安時代の土器　3
第51図　飛鳥・平安時代の土器　4
第52図　飛鳥・平安時代の土器　5
第53図　飛鳥・平安時代の土器　6
第54図　飛鳥・平安時代の土器　7
第55図　飛鳥・平安時代の土器　8
第56図　飛鳥・平安時代の土器　9
第57図　飛鳥・平安時代の土器　10
第58図　飛鳥・平安時代の土器　11
第59図　飛鳥・平安時代の土器　12
第60図　飛鳥・平安時代の土器　13　土錘・土製品・炉壁・羽口
第61図　飛鳥・平安時代の石器・石製品　1
第62図　飛鳥・平安時代の石器・石製品　2
第63図　飛鳥・平安時代の木製品
第64図　飛鳥・平安時代の金属製品
第65図　平安時代（９世紀末）の遺構分布図　1
第66図　平安時代（９世紀末）の遺構分布図　2
第67図　平安時代（９世紀末）の土器・土製品
第68図　平安時代（９世紀末）の石器・石製品
第69図　平安時代（９世紀末）の木製品・金属製品
第70図　平安後期～中世の遺構分布図　1
第71図　平安後期～中世の遺構分布図　2
第72図　平安後期～中世の遺構分布図　3
第73図　平安後期～中世の遺構分布図　4
第74図　平安後期～中世の遺構分布図　5
第75図　平安後期～中世の遺構分布図　6
第76図　平安後期～中世の土器　1
第77図　平安後期～中世の土器　2　土錘
第78図　平安後期～中世の石器・石製品　1
第79図　平安後期～中世の石器・石製品　2

第80図　平安後期～中世の石器・石製品　3
第81図　平安後期～中世の石器・石製品　4
第82図　平安後期～中世の石器・石製品　5
第83図　平安後期～中世の木製品　1
第84図　平安後期～中世の木製品　2
第85図　平安後期～中世の木製品　3
第86図　貨幣
第87図　平安後期～中世の金属製品

表目次

表１　弥生時代竪穴住居跡（SB）一覧
表２　弥生時代溝（SD）一覧
表３　弥生時代土坑（SK）一覧
表４　弥生時代出土石器組成表
表５　弥生時代の石器・石製品属性表
表６　古墳時代竪穴住居跡（SB）一覧
表７　古墳時代溝（SD）一覧
表８　古墳時代土坑（SK）一覧
表９　古墳時代出土石器組成表
表10　古墳時代の土器・土製品一覧
表11　古墳時代の石器属性表
表12　古墳時代の玉類・石製模造品一覧
表13　飛鳥・平安時代竪穴住居跡（SB）一覧
表14　飛鳥・平安時代溝（SD）一覧
表15　飛鳥・平安時代土坑（SK）一覧
表16　飛鳥・平安時代の土器・土製品一覧
表17　飛鳥・平安時代出土石器組成表
表18　飛鳥・平安時代の石器・石製品属性表
表19　飛鳥・平安時代の木製品一覧
表20　飛鳥・平安時代の金属製品一覧
表21　平安時代（９世紀末）出土石器組成表
表22　平安時代（９世紀末）溝（SD）一覧
表23　平安時代（９世紀末）土坑（SK）一覧
表24　平安時代（９世紀末）の土器・土製品一覧
表25　平安時代（９世紀末）の石器・石製品属性表
表26　平安時代（９世紀末）の金属製品一覧
表27　平安後期～中世出土石器組成表
表28　平安後期～中世溝（SD）一覧
表29　平安後期～中世土坑（SK）一覧
表30　平安後期～中世の土器・土製品一覧
表31　平安後期～中世の石器・石製品属性表
表32　平安後期～中世の木製品一覧
表33　貨幣一覧
表34　平安後期～中世の金属製品一覧
表35　飛鳥・平安時代の土器の消長

写真図版目次

PL１　弥生時代の遺構
PL２　縄文時代・弥生時代の遺物
PL３　弥生時代の遺物
PL４　弥生時代の遺物
PL５　古墳時代の遺構
PL６　古墳時代の遺物
PL７　古墳時代の遺物
PL８　古墳時代の遺物
PL９　飛鳥・平安時代の遺構
PL10　飛鳥・平安時代の遺構
PL11　飛鳥・平安時代の遺物
PL12　飛鳥・平安時代の遺物
PL13　飛鳥・平安時代の遺物
PL14　飛鳥・平安時代の遺物
PL15　飛鳥・平安時代の遺物
PL16　平安時代（９世紀末）の遺構
PL17　平安時代（９世紀末）の遺物
PL18　平安後期～中世の遺物
PL19　平安後期～中世の遺物
PL20　平安後期～中世の遺物
PL21　平安後期～中世の遺物
PL22　平安後期～中世の遺物
PL23　平安後期～中世の遺物

第１章　発掘調査の概要

第１節　調査の経過

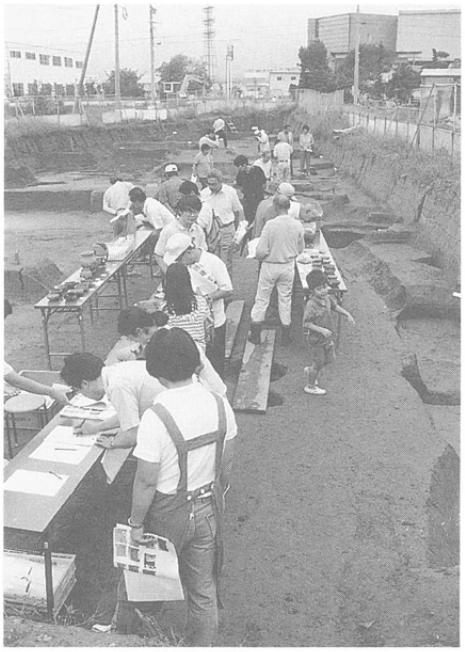
１　調査に至る経緯

本報告書収録の遺跡群の発掘調査は、長野県更埴建設事務所建設課による国道403号（土口バイパス）建設に伴う事前調査として実施されたものである。長野県においては、従来、国道建設にかかわる発掘調査は市町村教委が実施してきた。国道403号関係の発掘調査も、更埴市教育委員会により継続されていた。しかし、調査区域中央の高速道地点の調査をセンターが行ったこと、事業量等の問題から県教委・市・建設事務所・センターの間で調整の結果、上信越自動車道より西側は、当センターが分担して実施することとなった。

発掘調査の契約面積は4,000㎡である。

２　調査の経過（調査日誌抄）

４月７日　機材搬入・重機による表土剝ぎ開始
４月14日　１区調査開始
４月21日　２区調査開始
６月９日　３区調査開始
６月11日　２・３区平安時代（９世紀末）面、空撮・空測
６月13日　塩崎小学校６年生見学
７月14日　６区調査開始
７月25日　４区調査開始
９月14日　現地説明会
10月16日　５区調査開始
10月20日　４区市道部分調査開始
11月18日　１・２区市道部分調査開始
12月19日　調査終了


現地説明会

３　調査体制と調査期間

平成９年度　発掘調査

事務局長	青木　久
同　総務部長	山崎悦雄
同　調査部長	小林秀夫
長野調査事務所長	小林秀夫
同　庶務課長	戸谷　功

長野調査事務所調査課長　百瀬長秀
調査担当者　西山克巳　西　香子
調査期間　平成９年４月７日～同年12月19日

平成10年度　整理作業

所長　佐久間鉄四郎
副所長　山崎悦雄
管理部長補佐　宮島孝明
調査部長　小林秀夫
調査第二課長　土屋　積
整理担当者　西　香子

平成11年度　報告書印刷・刊行

4　発掘および整理作業参加者

荒井かち　池内なつ子　石浦光子　牛沢輝雄　内山友江　太田里子　岡藤清流　小河原惣四郎　長田圭二　春日恭子　北沢利子　窪田　順　小林英子　駒村和子　小山弘六　宍戸静江　清水威子　瀬下利男　滝沢修子　竹内吉晴　田中研一　千賀久男　塚口延子　中沢スミ子　中沢　幸　西沢京子　野沢新作　長谷川敦子　深沢優子　保坂豊子　真島たけの　真島友見　松沢　守　村田雅子　山下大輔　吉池光子　米沢須美子

第２節　調査の方法

1　発掘調査の方法

本調査に先駆けてすでに更埴市教育委員会にて発掘された大境遺跡や、当埋文センターで発掘した、隣接する上信越自動車道屋代遺跡群の報告に基づいて調査の範囲の確定が行われた。市道4127号線の切りまわしや市道から農地等への入り口の確保、用水の確保等、いくつにも分割して調査せざるを得ず、それらの問題を考慮した結果、わずかではあるが一部調査を行えない箇所も出てきた。

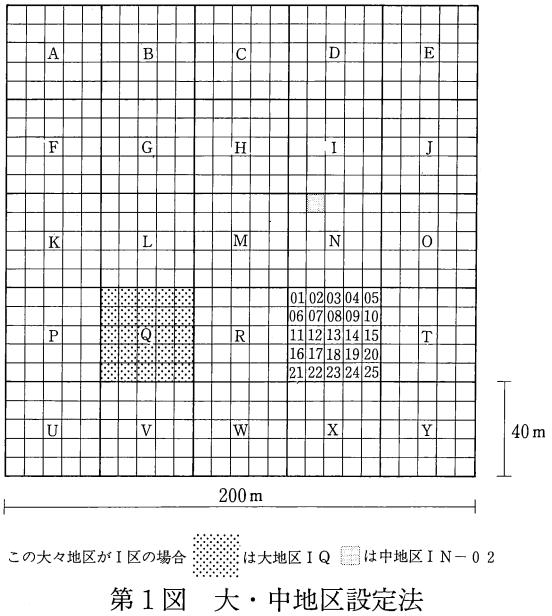
(1)　遺跡名称と遺跡記号

本書で報告する遺跡の名称と遺跡記号は下記のとおりである。遺物・写真他の記録類の注記なども全てこれによる。

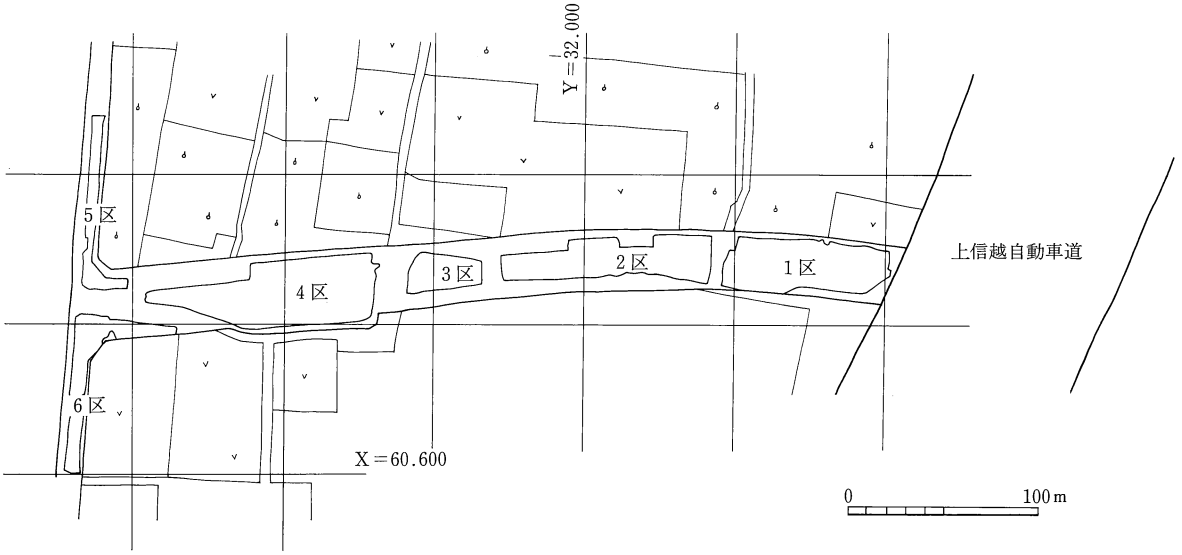
屋代遺跡群国道403号土口バイパス地点　BYO

(2)　グリッドの設定と呼称法（図１）

グリッドの設定は国家座標を利用して大々地区・大地区・中地区の３段階に区分した。まず調査区全体にかかる200ｍ×200ｍの区画を設定し、これを大々地区としⅠ・Ⅱ・Ⅲ……とローマ数字で表記した。この大々地区を40ｍ×40ｍの25区画に分割し大地区とした。大地区の呼称は北西から南東へＡからＹまでの大文字アルファ



第１図　大・中地区設定法



第２図　仮地区設定図

ベットを用いた。その大地区を８ｍ×８ｍの25区画に分割し中地区とした。中地区の呼称は、北西から南東へ１から25の算用数字を用いた。これらの呼称を組み合わせ、大々地区「Ｉ区」に属する大地区「Ｎ区」の中の中地区「２区」は、「IN－02」のように表記される。なお、分割調査の為に設定した仮地区は図２に示した。

(3)　遺構記号・遺構番号

記録・注記等の便宜を図るために遺構名称は記号を用い、遺構番号は時代等にかかわらず種類ごと、検出順に付した。遺構記号は基本的に検出時に決定するため、主として平面的な形態や遺物の分布状況等を指標としたもので、必ずしも個々の遺構の性格を示すものではない。混乱を避けるため原則として遺構記号・遺構番号の変更は行わず、本報告書は発掘時に付した遺構記号・遺構番号を使用している。このため整理段階で遺構と認めなかった場合、遺構番号に欠番が生じている。また、遺構番号が重複してしまったものについてのみ整理作業段階で遺構番号の変更を行っている。

なお、本書で用いた遺構記号は当埋文センターで共通に用いているもので、以下のとおりである。

［ＳＢ］　直径あるいは一辺または最大長が２ｍ以上の、円形・長円形・方形・長方形・不整形等の掘り込み。（竪穴住居跡、竪穴状遺構）

［ＳＫ］　単独もしくは他の掘り込みと関係が認められないＳＢより小さな掘り込み。（土坑、貯蔵穴、井戸等）

［ＳＴ］　ＳＢより小さな落ち込みや石が一定間隔で方形、円形に配列されるもの。（掘立柱建物跡）

［ＳＤ］　帯状の掘り込み。（溝跡）

［ＳＣ］　連続する固い面や帯状の盛り土やＳＤに挟まれる帯状の面。（道路・畦・堤防）

［ＳＬ］　複数の帯状の掘り込みや盛り上がりが規則的に配列し、ひとつの面を形成しているもの。（畠跡・水田跡）

なお、ＳＢ内の柱穴・貯蔵穴等やＳＴを構成する個々の掘り込みにはＰを付した。

(4)　遺構検出と遺構調査の手順

基本的な調査の進め方は、重機で表土を削除した後、前述のようにグリッドを設定して人力で遺構検出を行った。遺構検出の際、出土した遺物は包含された層位名またはグリッド名あるいは帰属遺構名を付して取り上げた。遺構調査面が２面以上ある場合は、次の調査面まで、重機による剥ぎを行った。検出され

た遺構の調査には、平面形で重複関係を把握してから掘り下げ作業にかかった。精査する順番は、重複関係の新しい遺構から古い遺構へ、という流れで行った。平面形で新旧のわからないものは、随時トレンチを入れて断面より確認して作業を進めた。遺構はそれぞれに十文字方向あるいは単一の方向で土層を観察し、記録した。掘り下げが終了した遺構は測量・写真撮影を経て終了した。

遺構の測量は簡易遣り方測量（オフセット測量）により、中地区（８ｍ×８ｍ）単位に区切った割付図として、住居跡は個別遺構図として実測した。縮尺はほとんどの場合１：20で、必要に応じて１：10で実測した。この他、畠跡では１：20の航空測量を業者委託した。

２　整理作業の方法

(1)　調査時点および同年度の整理

発掘調査時点での整理は、遺物洗浄・図面整理・写真整理の一部を行った。発掘調査終了後の冬季整理作業では、現場で作成された図面類と写真の整理を優先に行った。図面類は、平面図と断面図を照合して補修した。遺物への注記は、注記マシーンにより行った。インクが黒色の為、遺物が同色の場合は白のポスターカラーで手作業により注記を行った。土器の接合作業も一部行った。

(2)　報告書作成にかかわる整理

報告書作成にかかわる整理作業は、平成10年度に長野県埋蔵文化財センター篠ノ井整理棟で行った。土器の接合・復元作業、土器・石器等遺物の実測、遺物の写真撮影、遺構図・遺物実測図のトレース、遺構・遺物写真の選定・レイアウト、版組み、原稿執筆と編集、収納等を行った。金属器は、保存処理をした上で実測、写真撮影を行った。遺物の写真撮影は、当埋文センター篠ノ井整理棟の写真室が担当して焼付けまで行った。

遺物は、原則として遺構単位に収納した。遺物記録類の全ては整理終了後、更埴市教育委員会に移管した。

第３節　遺跡周辺の環境

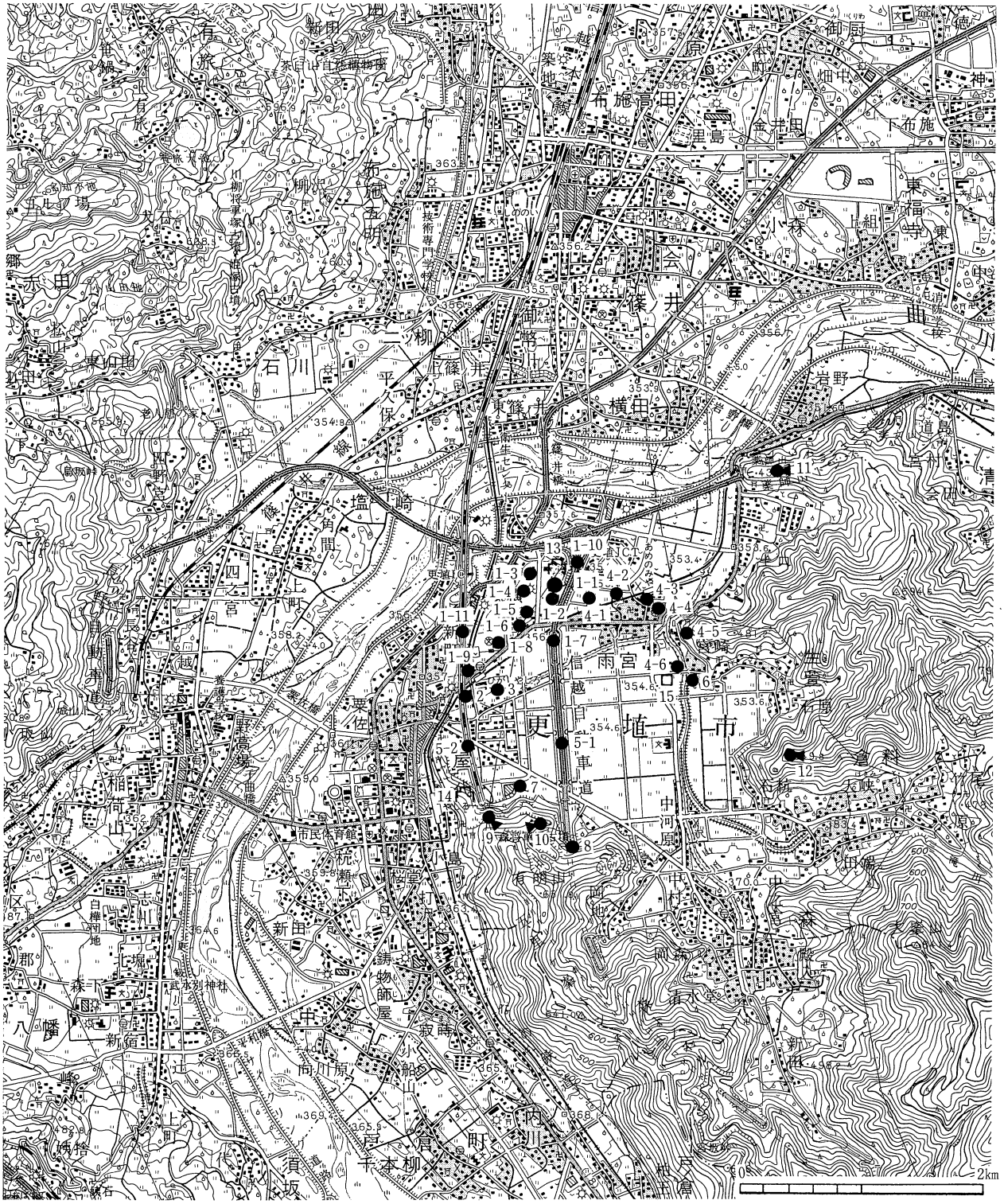
１　遺跡の立地と位置

屋代遺跡群と大境遺跡は長野盆地（善光寺平）の南端にあたる。千曲川の蛇行のひとつの屈曲部に相当する更埴市屋代・雨宮地区では、千曲川の営為により河岸には厚い土砂が堆積して広大な自然堤防が形成されている。屋代遺跡群はこの自然堤防状に位置する遺跡群である。

自然堤防上には、五十里・郷津・古道・大塚・馬口・北中原・荒井・松ヶ崎・町浦・城ノ内・大境・窪河原・下條・灰塚・大宮・唐崎・生仁・島といった遺跡が連なり、縄文時代から中世にいたるまで人の営みの痕跡を刻んでいる。現時点では、これらの遺跡の境界線が未確定であるか、不可分である状況もあり、これらを屋代遺跡群として総称している。

２　遺跡群の歴史的概観

上田市から坂城町・戸倉町を経て北西方向に流れ来る千曲川は、更埴市八幡のあたりで北東方向へ進路を変え始める。さらに西部山地から長野盆地に流れ込む犀川が大扇状地を形成し、これが千曲川の北進を妨げて進路を圧迫したとされる。この所々によどみを持つ緩やかな流れによって、両岸に広大な自然堤防が形成され、屋代遺跡群周辺では水田可耕土である細砂やシルトが堆積する。



１－１屋代遺跡群国道403号土口バイパス地点　１－２大境遺跡　１－３城ノ内遺跡　１－４荒井遺跡　１－５松ケ崎遺跡　１－６北中原遺跡　１－７屋代遺跡群高速道地点　１－８馬口遺跡　１－９古道遺跡　１－10窪河原遺跡　１－11屋代遺跡群新幹線地点　２郷津遺跡　３大塚遺跡　４－１下條遺跡　４－２灰塚遺跡　４－３雨宮廃寺跡　４－４大宮遺跡　４－５唐崎遺跡　４－６生仁遺跡　５－１更埴条里遺跡高速道地点　５－２更埴条里遺跡新幹線地点　６島遺跡　７屋代清水遺跡　８大穴遺跡　９有明山将軍塚古墳　10森将軍塚古墳　11土口将軍塚古墳　12倉科将軍塚古墳　13屋代古城　14屋代城　15生仁館

第３図　周辺の遺跡

以上のような成因による自然堤防と後背湿地は、居住と生産の舞台として繁栄していたことは周知のとおりであるが、こうした地形の利用はすでに縄文時代から始まっていたことが最近の調査で明らかになりつつある。上信越自動車道屋代遺跡群では縄文中期の集落が地表下４ｍに埋没し、自然堤防形成の初源段階から居住が開始されていることを知らしめ、縄文時代の居住が丘陵や台地ばかりではないことを証明している。高速道地点では、縄文前期や後･晩期の遺物や遺構も見つかっている。この他、城ノ内遺跡では縄文後期、大宮・生仁遺跡や有明山の麓の屋代清水遺跡では縄文晩期の資料が見つかっている。

弥生時代には千曲川の左岸において、篠ノ井塩崎や聖川堤防沿いなどの自然堤防上やそれらの北西側の後背湿地に、稲作の受容を背景に集落や水田が大規模に広がっていることがよく知られているが、右岸の屋代遺跡群内においても弥生時代の生業は確実に根を下ろし、自然堤防を中心とした一帯にも集落が発見されている。城ノ内遺跡では稲作農耕社会の萌芽を裏付ける遠賀川系の土器が見つかっている。弥生中期以降は荒井・松ヶ崎・大宮・生仁・島遺跡が、有明山崖錘面～麓では大穴・屋代清水遺跡などで遺構・遺物が見つかっている。中期の遺跡や資料は数量的には多くはなく、生仁遺跡など拠点的な集落の多くは後期のものである。堤防上には点在する形で集落を営む一方、後背湿地の更埴条里遺跡内に水路を設けて水田を開発し始めたのはこの頃であると考えられる。しかし水田はまだ大規模なものではなく、低湿地化した限られた地域であったと考えられる。当センターで調査した更埴条里遺跡の、有明山の麓の地点では弥生時代のものと見られる水田が見つかっている。

古墳時代に入ると、集落は増大して自然堤防上全体に広がり始める。前半期では郷津･灰塚・城ノ内・生仁遺跡と高速道地点、有明山崖錘下の屋代清水遺跡など、後半期では大宮･生仁遺跡や高速道地点が挙げられる。４世紀後半から５世紀には、全長100ｍの規模をもつ森将軍塚古墳、東方の尾根上には全長70メートル前後の土口将軍塚古墳と倉科将軍塚古墳、森将軍塚古墳の上方には有明山将軍塚古墳などの前方後円墳が築造されている。しかし、これらの突出した規模をもつ古墳の時期において、また円墳や群集墳へ移行した後半期においても、それらの古墳群に見合うだけの規模を持った集落や生産基盤は、更埴条里遺跡・屋代遺跡群内では十分に見出すにはいたっていない。

古代では８世紀後半から集落は飛躍的に増大し、自然堤防上の全域、後背湿地内の微高地にも分布する。９世紀代に入ると、後背湿地内には条里的地割を持った水田が大規模に展開し、自然堤防上にはこれらと関連すると考えられる基幹水路が数条見つかっている。また、集落域周縁では条里区画にのらない水田も開発され、最近の調査では自然堤防の内側にも水田が造成されていることがわかってきている。しかし、後背湿地内の水田はもちろん、自然堤防上の集落の一部までもが9世紀後半とされる大洪水によって埋没してしまう。この洪水は、千曲川流域の諸遺跡から長野盆地南部に普遍的に確認されている広域の洪水堆積で、場所によっては２ｍにも及ぶ砂を堆積し、仁和４（888）年の文献記録に対比されるものと現在考えられている。洪水以降の９世紀末～平安時代後半期の遺跡は、洪水前とは比較にならないような僅少な割合でしか確認できなくなっている。

当センターで調査した屋代遺跡群高速道地点では千曲川の旧河動が見つかり、多数の木簡が出土した。その内容は従来の知見を大幅に書き換えるものであり、埴科郡衙との関連が注目される。しかし、木簡を伴う遺構の時期は７世紀後半～８世紀前半で、現在までの調査例では屋代遺跡群内の集落が希薄となる時期に相当する。近接する雨の宮廃寺跡からも有力者層の存在は推定できるが、木簡の出土量と内容に見合った規模や内容の遺構は、自然堤防上に見つかっていない。中世は文献資料によっては多くのことが知られる一方、考古学的な手法による調査事例は希薄かつ断片的である。自然堤防上においては、井戸跡や大きな溝跡など洪水砂を貫くようなある程度の深さを持った遺構は検出されるが、建物跡などの検出例は稀である。この傾向は平安時代後半、すなわち大洪水の後の遺構において共通しており、近世から現代の

耕作などの土地利用がこれらを撹拌してしまっていることによって、とらえられないものになっていると考えられる地点が少なくない。なお文献に見られ、自然堤防上にかかわる中世の城跡としては屋代城と生仁館がある。屋代城は屋代一帯を支配した屋代氏が、城ノ内地籍に居を構えたとされている。その新城は一重山の山頂にある。生仁館跡は五十里川と生仁川の合流点付近にあり、現在は畑地になっている。

第4節　基本層序

本遺跡の基本層序を、各地区毎に対比できるように柱状概念図で表した（第4図）。分層は以下のとおりである。

0層：客土。

Ⅰ層：にぶい黄褐色土（10YR5／3）。表土。

Ⅱ層：褐灰色（10YR4／1）～黒褐色砂（10YR3／1）。高速道屋代遺跡Ⅲ—1層に対応する。

Ⅲ層：暗灰黄色（2,5Y 4／2）～オリーブ褐色砂（2,5Y 4／3）。高速道屋代遺跡Ⅲ—2層に対応する。

Ⅳ層：にぶい黄褐色（10YR5／4）～灰黄褐色（10YR4／2）。

Ⅴ層：褐灰色（10YR4／1）～黒褐色（10YR3／1）。

Ⅵ層：明黄褐色（10YR6／6）～黄褐色（10YR5／6）。

Ⅱ層は、平安後期～中世の洪水砂で3区を中心に2区の西側、4区の東側で認められる。Ⅲ層は、平安時代（9世紀末）の洪水砂で、2区から6区のほとんどの地区で認められる。Ⅳ層は、古墳時代～飛鳥・平安時代の包含層で、5区の一部で認められない他は、すべての地区に堆積している。Ⅴ層は、弥生中期の包含層で、2区から6区の全ての地区で認められる。Ⅵ層は、弥生中期以前の堆積で全ての地区で認められる。

引用・参考文献

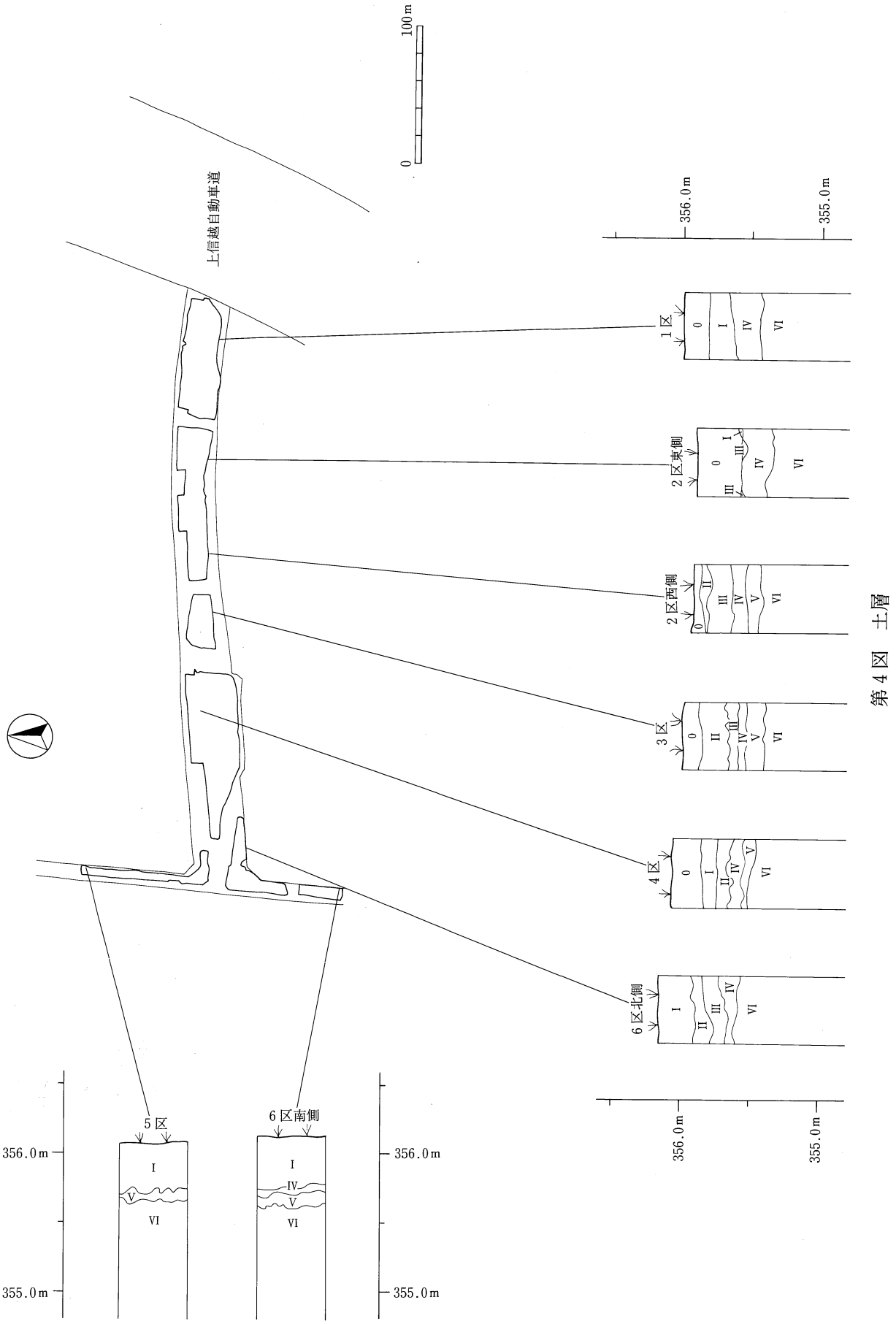
㈶長野県埋蔵文化財センター　1997　『長野県埋蔵文化財センター　年報14』

㈶長野県埋蔵文化財センター　1998　『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書25—更埴市内その4—　更埴条里遺跡・屋代遺跡群　弥生・古墳時代編』

㈶長野県埋蔵文化財センター　1998　『北陸新幹線埋蔵文化財発掘調査報告書3—更埴市内—　更埴条里遺跡・屋代遺跡群』

長野県埋蔵文化財センター　1998　『長野県埋蔵文化財センター　年報15』

長野県埋蔵文化財センター　1999　『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書26—更埴市内その5—　更埴条里・屋代遺跡群　古代編』


100m
0
上信越自動車道
356.0m
355.0m
1区
2区東側
2区西側
3区
4区
6区北側
5区
6区南側
I
II
III
IV
V
VI

第４図　土層

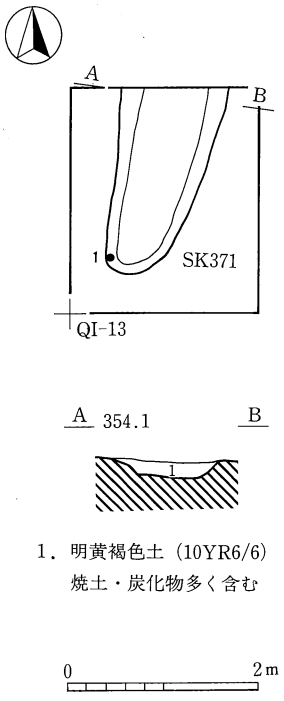
第２章　遺構と遺物

第１節　縄文時代

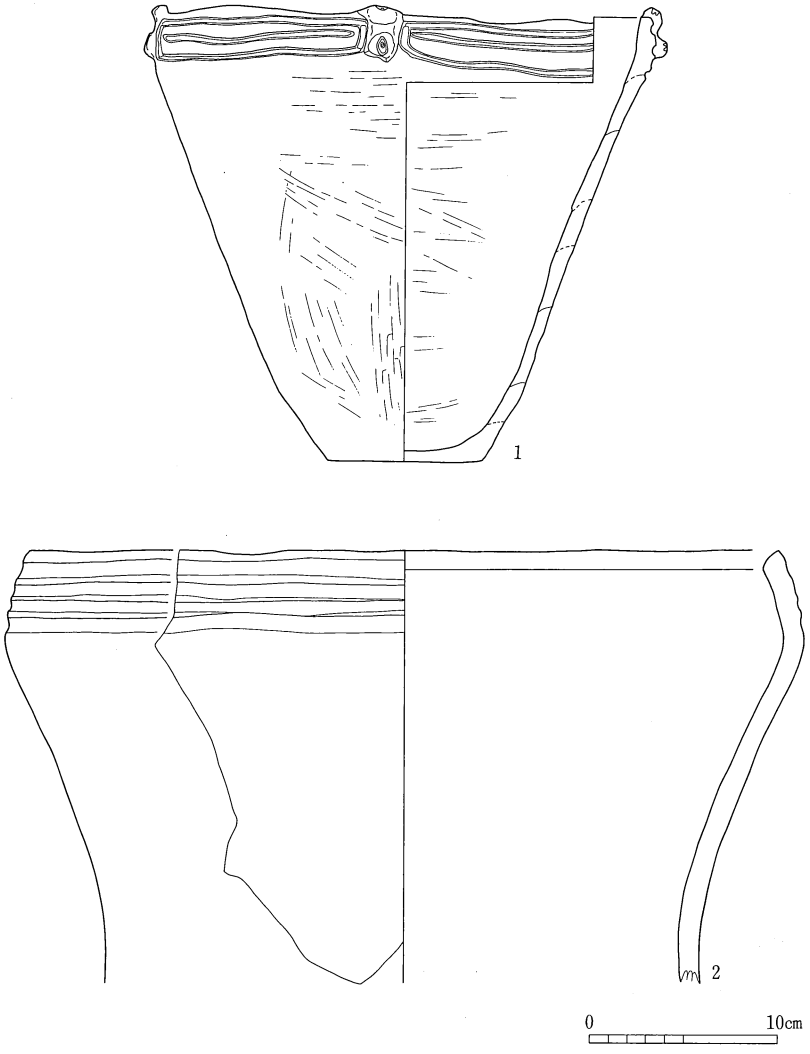
調査区が狭い為、縄文時代の面的な調査はできなかったが、１区で平安後期～中世の井戸跡を重機で半裁した際に縄文後期の土器が出土したので、およそ２×２ｍのトレンチを入れて調査したところ、縄文時代に属すると思われる土坑が1基検出された。

ＳＫ371は、トレンチの外へ広がっている為、全体の形状は不明であるが、底面はほぼ平らで、壁は底部から緩やかに立ち上がる浅い土坑である。埋土中より完形に近い土器が1点出土している。遺構の時期は、はっきりとは解らないが、埋土から出土している土器より、縄文時代後期に属すると思われる。

縄文時代の遺物は、縄文時代後期の土器が2点出土している。１はＳＫ371から出土した口縁内屈の小型



第５図　SK371



第６図　縄文時代の土器

の深鉢形土器で、口縁に円管状工具による刺突が施された突起が４単位に貼り付けられる。口縁部文様帯には長方形に変化しかけている楕円モチーフの沈線文が施され、文様帯には甘いミガキが施されている。２は、１区で平安後期～中世の井戸跡を重機で半裁した時に出土した土器で、中世の遺構に混入していたものか、周りの包含層からの出土かは不明である。口縁内屈の深鉢形の土器で、口縁文様帯には４条の浅く幅広の沈線が施される。いずれも後期後葉の土器で、１は安行Ｉの後半からII式に、２は安行Ｉ式に併行すると考えられる。

第２節　弥生時代

１　遺構各説

本項に掲載した遺構は、Ｖ層を剝いで検出された遺構で、いずれも弥生時代中期に属すると思われる。検出された遺構は、竪穴住居跡（竪穴状遺構含む）４軒、溝跡14条、土坑174基である。

遺構は１区を除いて、全ての調査区で確認されているが、２～４区にやや集中して検出されている。

(1)　竪穴住居跡

弥生時代中期の住居とした遺構は４軒で、いずれも２区と３区で検出された。このうちＳＢ39・40の２軒は炉が確認できず、住居跡かどうかは不明であるが、竪穴状遺構としてこの項で扱うこととする。遺構の詳細な説明は、表１に示した。

ＳＢ36（図12、ＰＬ１）

楕円形に近い平面形を呈し、中央付近やや南よりに炉が確認されている。本住居跡の時期は、床面より出土している甕より、中期後半栗林期と認定される。

ＳＢ38（図12、ＰＬ１）

北側が一部調査区域外になるものの平面形は、ほぼ円形を呈すると思われる。中央には円形の炉が確認されている。本住居跡の時期は埋土中より出土している土器片より、中期後半栗林期と認定される。

(2)　溝

弥生時代の溝跡は、２～６区より14条検出されている。ＳＤ33は、２～３区にわたって東西方向に流れる溝である。本溝跡の時期は、埋土中より出土している土器片より、中期後半栗林期と認定される。溝跡の詳細な説明は、表２に示した。

(3)　土坑

弥生時代の土坑は174基で、２～６区の調査区に分布している。柱穴かと思われる土坑が若干あるが、多くの土坑の性格は不明である。土坑の詳細な説明は、表３に示した。

２　遺物

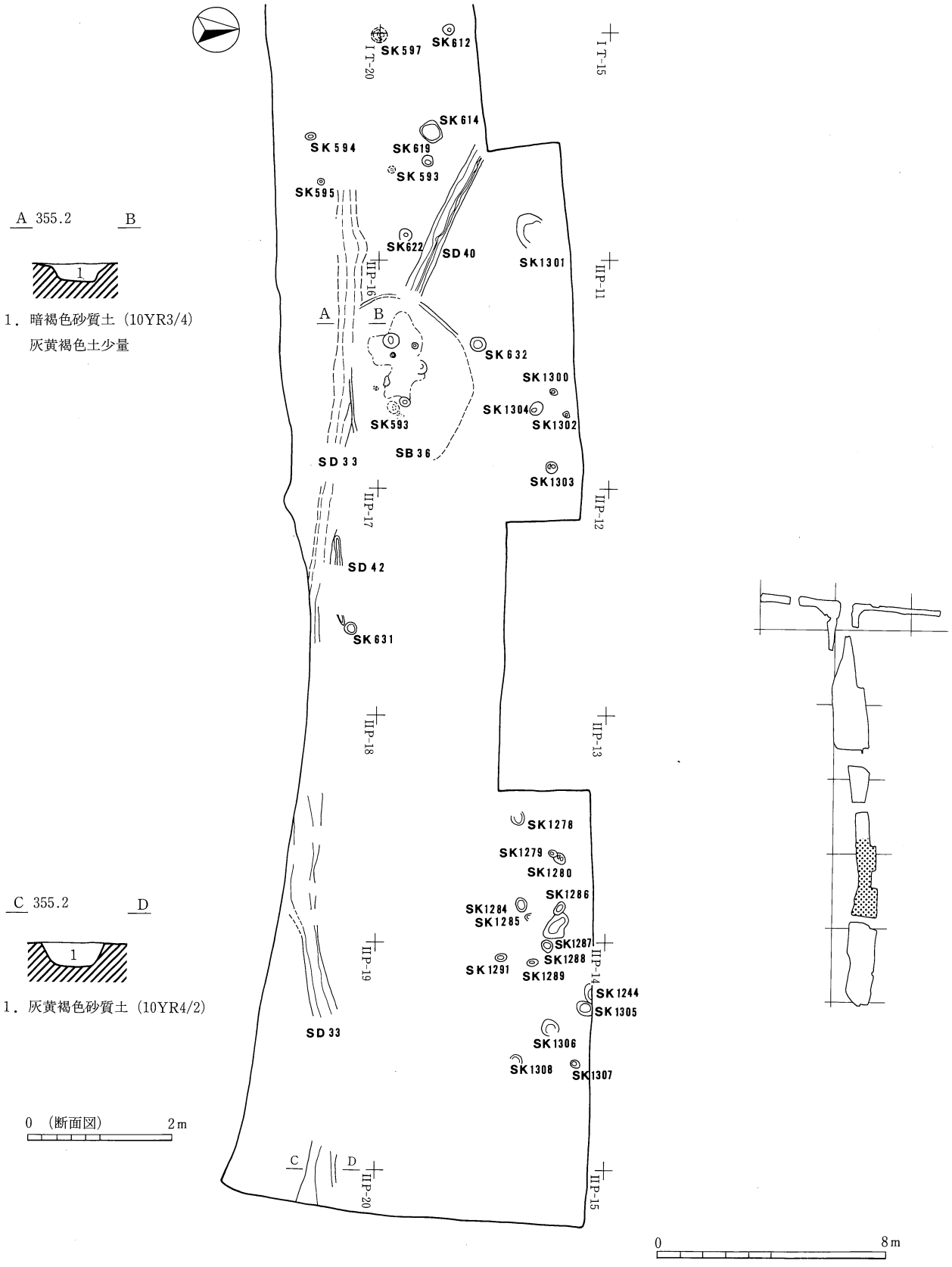
(1)　土器・土製品

Ｖ層および弥生時代の遺構から出土した土器・土製品は、５箱である。ここでは、全てを紹介することができないため、各遺構の時期を推定できる資料を中心に図示（図13～17）した。

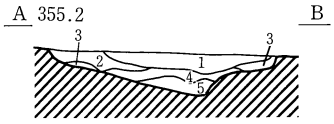
ＳＢ36（第13図１～17）

１～16は埋土中からの出土で細片、17は床面出土で完形に復元された。１～９が壺、11～17が甕、10については細片のため保留し、拓本の向きについても検討を要す。

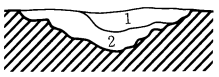
壺は細頸系壺で、１～２が口縁および頸部、３～６が肩部、７～９が胴最大径を含む胴部である。８は



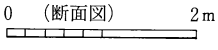
第７図　弥生時代の遺構分布図　１

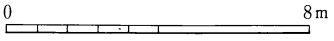


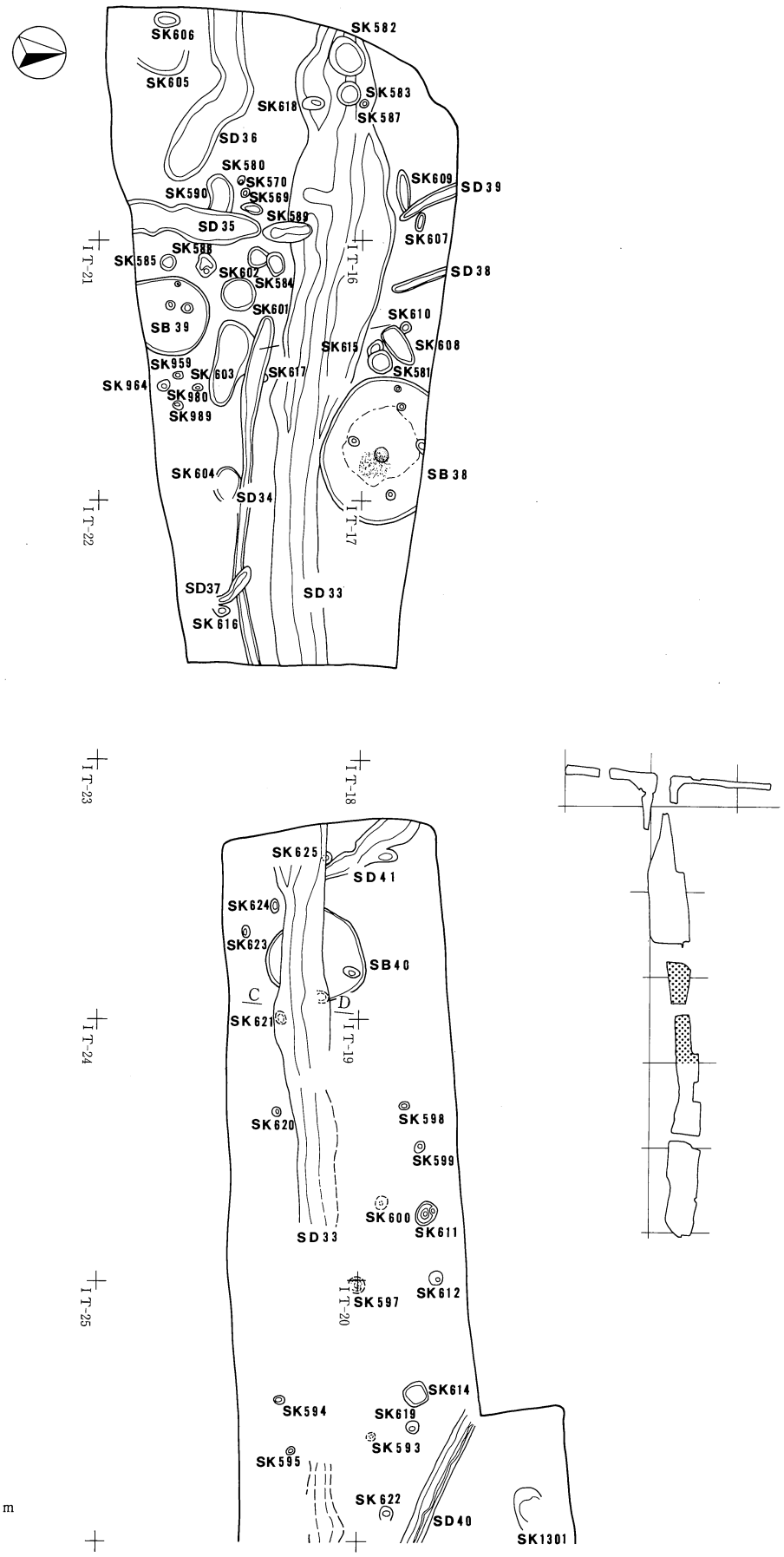
1．灰黄褐色砂質土（10YR4/2）
2．褐灰色砂質土（10YR4/1）
　黒褐色土含む
3．褐灰色土（10YR4/1）
　明黄褐色土含む
4．褐灰色土（10YR4/1）
　炭化物微量
5．褐灰色土（10YR4/1）
　明黄褐色土ブロック微量
　炭化物微量



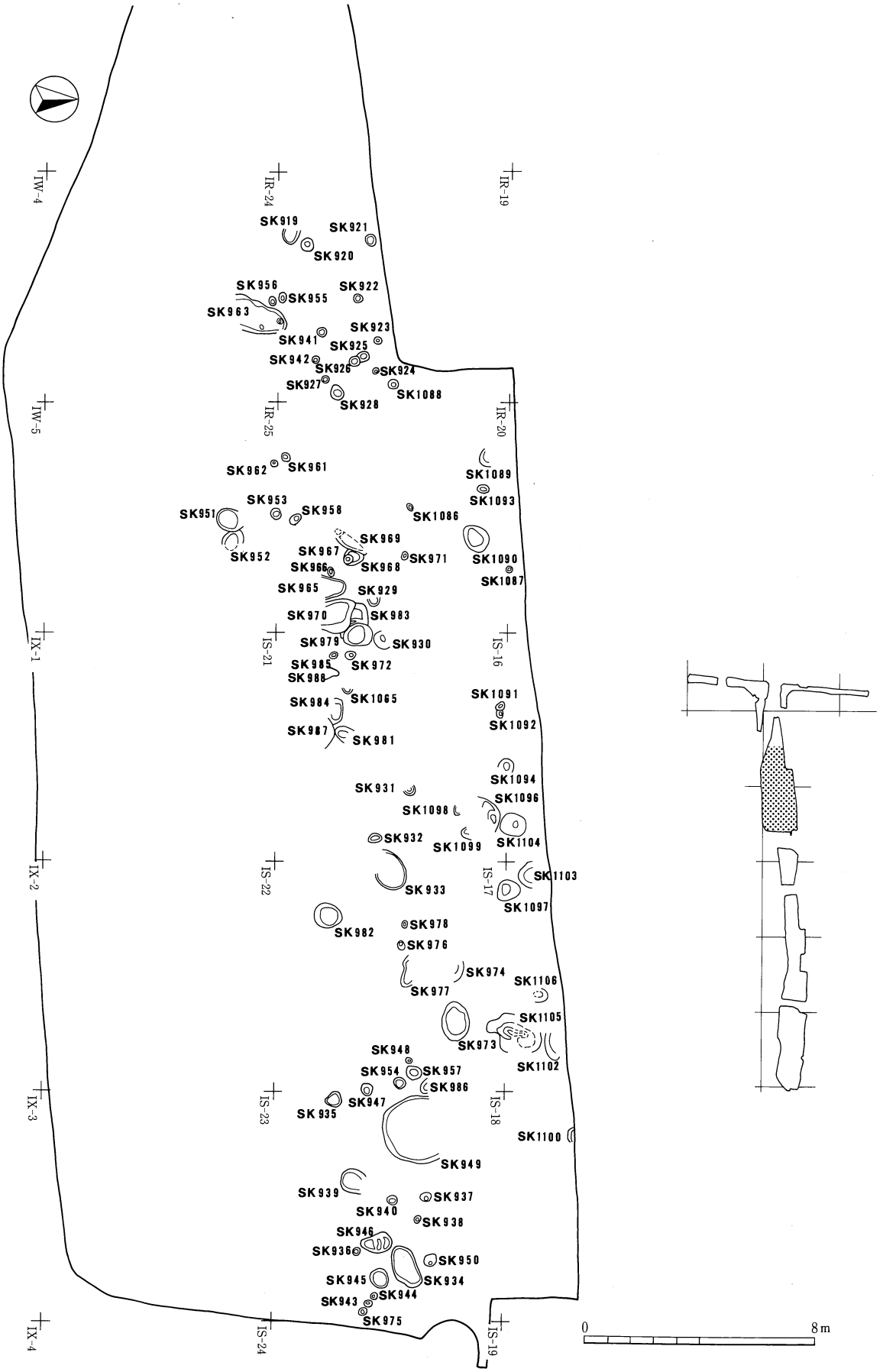
1．暗褐色砂質土（10YR3/4）
　灰黄褐色土微量
2．暗褐色砂質土（10YR3/4）
　灰黄褐色土少量



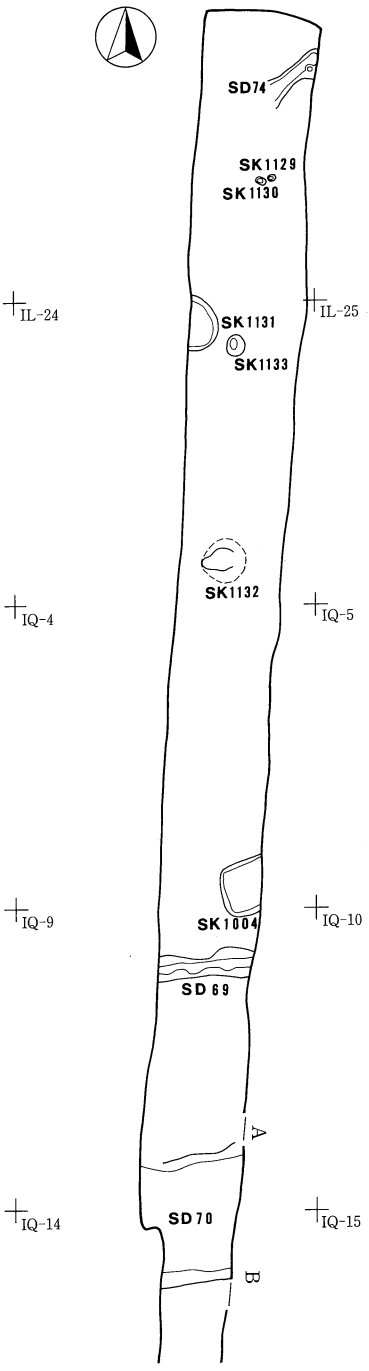


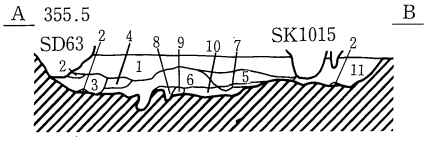


第８図　弥生時代の遺構分布図　２

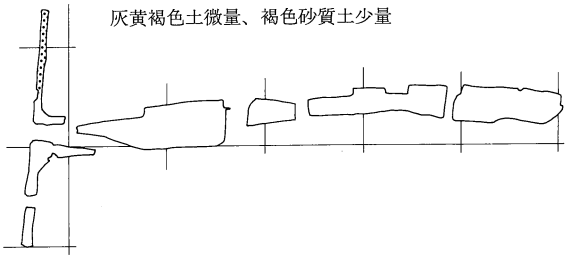


第９図　弥生時代の遺構分布図　３





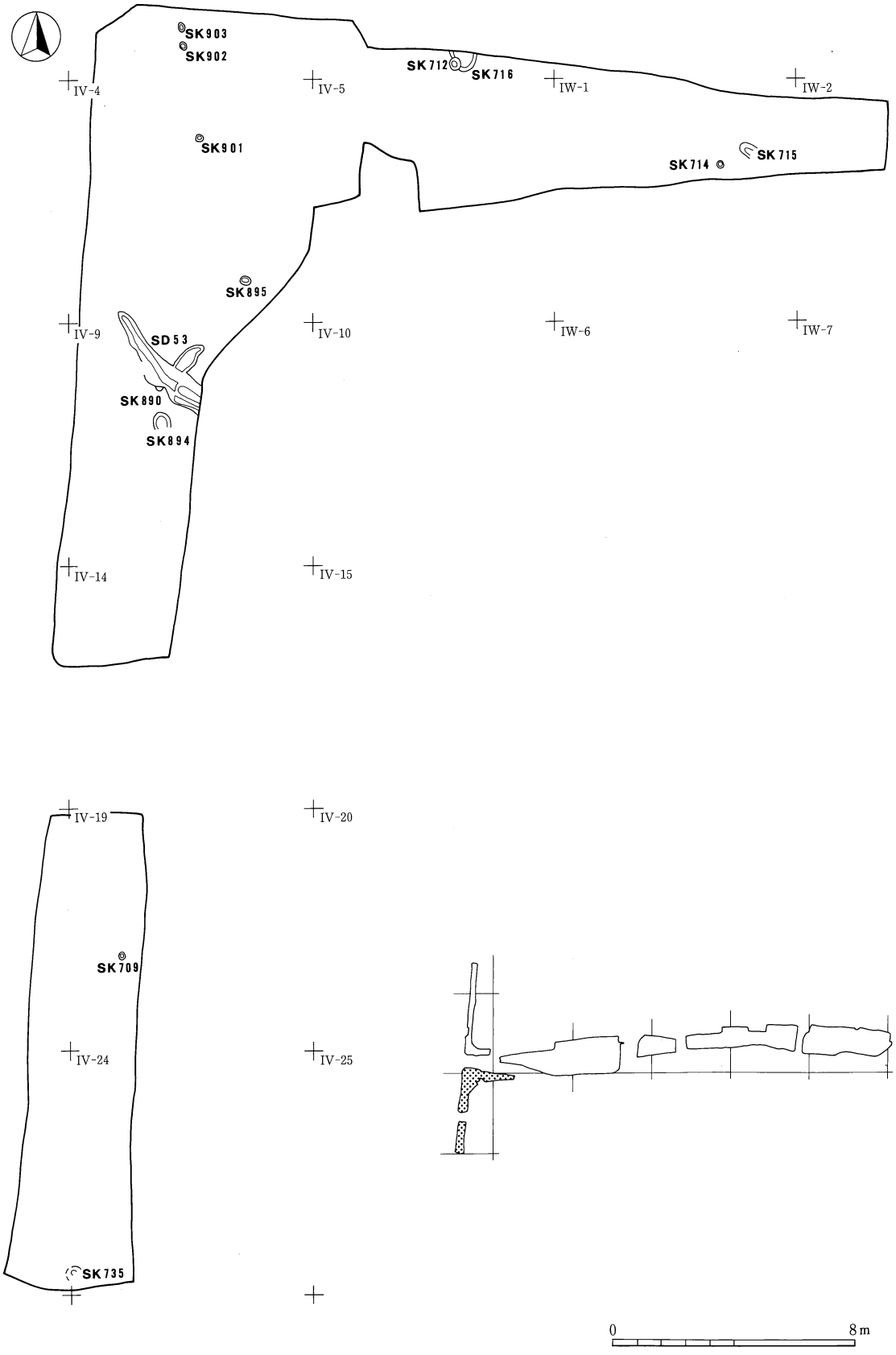
1．にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）
　灰黄褐色土含む、褐色砂質土少量．炭化物・焼土粒微量
2．灰黄褐色土（10YR4/2）
3．にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）
　灰黄褐色土、褐色砂質土含む
4．灰黄褐色砂質土（10YR4/2）褐色砂質土少量
5．灰黄褐色砂質土（10YR4/2）
　褐色砂質土含む、炭化物微量
6．暗褐色砂質土（10YR3/4）
　灰黄褐色砂質土含む．褐色砂質土少量
7．灰黄褐色砂質土（10YR4/2）底部に鉄分集積
8．灰黄褐色砂質土（10YR4/2）
　褐色砂質土少量、炭化物少量、底部に鉄分集積
9．にぶい黄褐色砂質土（10YR5/3）
　褐色砂質土少量、底部に鉄分集積
10．灰黄褐色砂質土（10YR4/2）
　褐色砂質土微量、炭化物微量、底部に鉄分集積
11．暗褐色砂質土（10YR3/4）
　灰黄褐色土微量、褐色砂質土少量



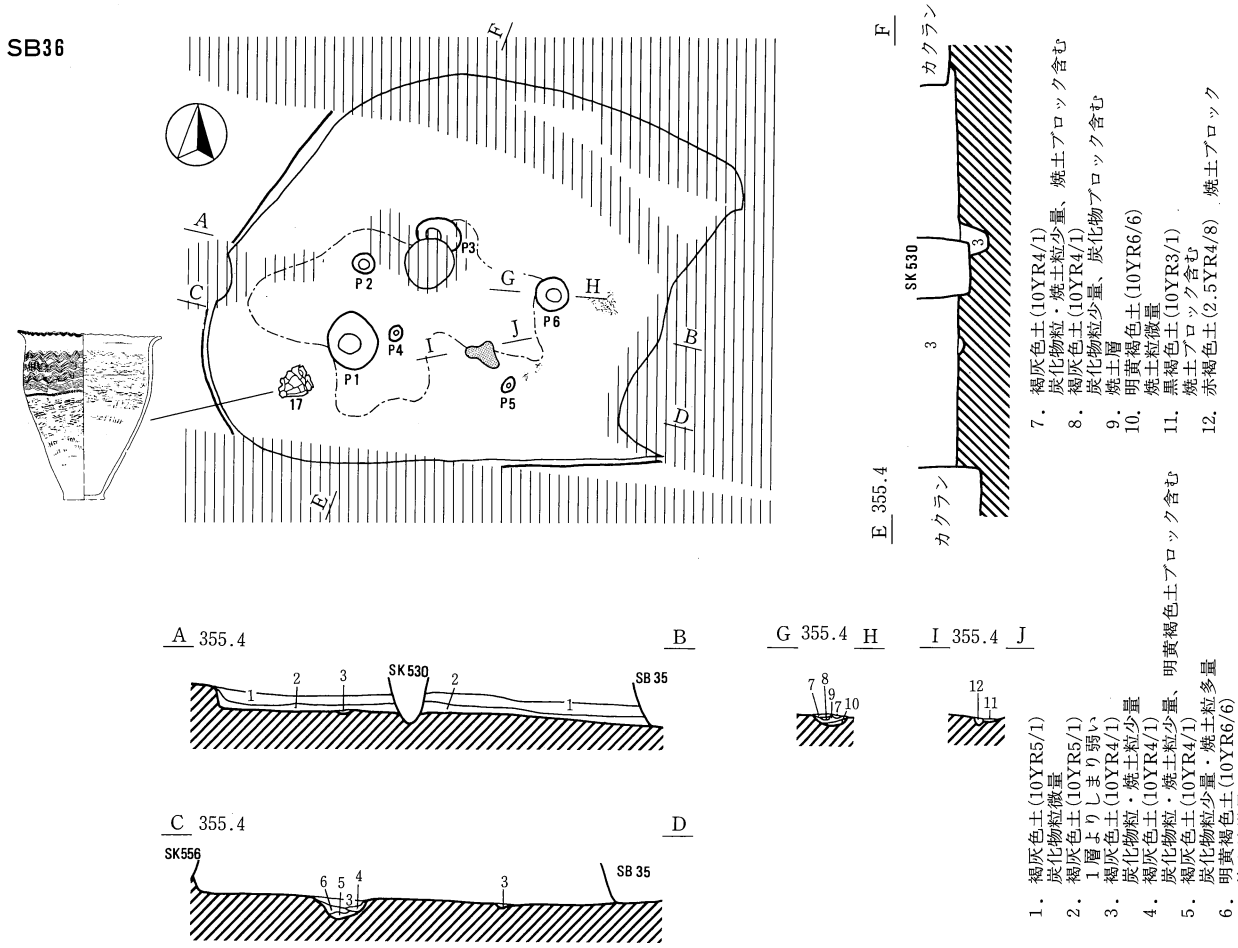
0　（断面図）　2m

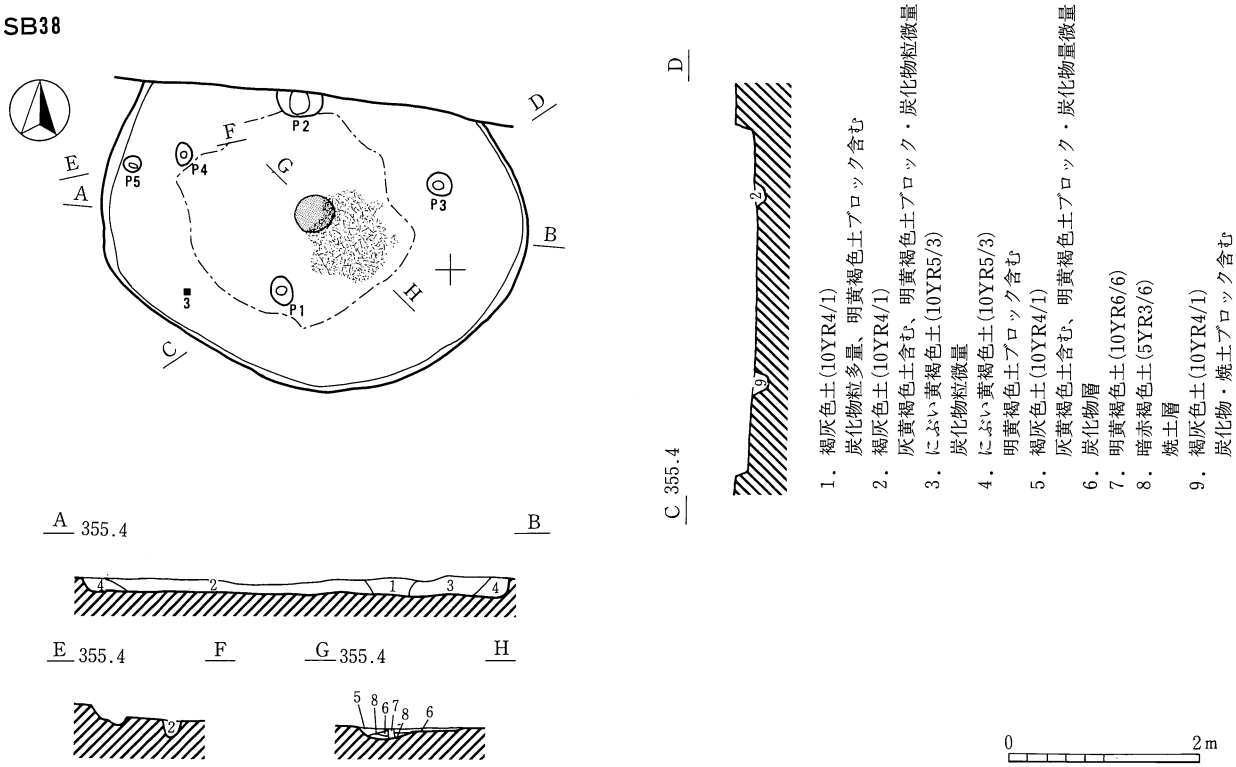
0　8m

第10図　弥生時代の遺構分布図　4



第11図　弥生時代の遺構分布図　5





第12図　弥生時代の遺構個別図

表1　弥生時代　竪穴住居跡（SB）一覧

SB番号	時期	根拠	仮地区	中地区	図番号	平面形	主軸方位	長軸（m）	短軸（m）	深さ（m）	床面積（㎡）	炉数	炉位置	柱穴数	付属施設掘方	特徴	色調	土色帳記号	埋土の特徴	遺物出土状況	遺物	遺物図	切合関係（古）	切合関係（新）
36	弥生中期	土	2	P11、16	7・12	楕円	—	—	—	0.25	—	1	中央付近	6	凹凸あり	一部貼床	にぶい黄褐色 褐灰色	10YR5/3、5/1	2層	床面に甕	土器・石器 骨	13・18	SD33	SB35、37、SD23 SK524、557、574、SK530、541、556
38	弥生中期	土	3	T11、12、16、17	8・12	円	N74°W	22.8	18.8	0.19	—	1	中央	5	なし	中央に貼床	にぶい黄褐色 褐灰色、灰黄褐色	10YR5/3 4/1～4/2	5層	床面に石鏃 埋土中に石器多い	土器・石器・種子 骨・ベンガラ	14・18	SD33	
39	弥生	土	3	T16	8	円	—	13.3	(12.2)	0.10	—		—	3	なし	—	にぶい黄褐色 明黄褐色	10YR5/4、6/6	1層	—	土器			SK512
40	弥生	土切	2	T13、18	8	円	—	—	—	0.8	—		—	2	中央に方形の穴	—	暗褐色、褐色	10YR3/4、4/4	5層	—	土器・石器			SD33

表2　弥生時代　溝（SD）一覧

仮地区	SD番号	時期	中地区	図番号	平面形	流路方向	全長（m）	最大幅（m）	深さ（m）	色調	土性	堆積状況	遺物出土状況	遺物図	切合関係（古）→（新）	備考
2・3	33	弥生中期	P16、17、18、19、20 T11、16、17、18、19、20 S15、20	7・8	直線的	西～東	(79.50)	3.22	0.63	灰黄褐色～褐灰色～暗褐色	砂、シルト	5層	土器・石器	14・18	SD41、SB40、SK621、625→SB11、22、24、26、27、28、30、34、36、38、SK254、255、283、341、348、376、383、384、448、506、508、532、582、583、586、587、589、618、SD24	
3	34	弥生	T16、17	8	直線的	西～東	(10.74)	0.58	0.23	褐灰色～黒褐色	シルト	1層	土器・石器		SK604、617→SK603、493、SD37	
3	35	弥生	T16、S20	8	直線的	北～南	(4.60)	1.04	0.30	褐灰色～黒褐色	シルト	1層	土器・石器		SK590→	
3	36	弥生	S20	8	緩やかに湾曲	西～南東	(5.46)	1.24	0.15	褐灰色～黒褐色	シルト	1層	土器		—	
3	37	弥生	T17	8	緩やか湾曲	北西～南東	(1.52)	0.32	0.29	褐灰色～黒褐色	シルト	1層	—		SK616、SD34→SK501	
3	38	弥生	T11	8	直線的	北西～南東	(1.88)	0.28	0.10	褐灰色～灰黄褐色	シルト	1層	土器		—	
3	39	弥生	S15	8	直線的	北西～南東	(2.10)	0.34	0.16	褐灰色～灰黄褐色	シルト	1層	—		SK609→	
2	40	弥生	P11、T15	7・8	直線的	南東～北西	(5.80)	0.58	0.25	褐色～暗褐色	シルト	2層	土器・石器		→SK392、555、556	
2	41	弥生	T13、18	8	緩やかに湾曲	南東～北西	(2.60)	1.26	0.30	—	砂	—	—		→SD33、SK374	
2	42	弥生	P17	7	直線的	東～西	(3.30)	0.24	0.11	暗褐色	シルト	1層	—		→SB30	
6	53	弥生	V4、9	11	緩やかに湾曲 枝あり	—	南北(4.00) 東西(1.14)	0.92	0.46	にぶい黄褐色～暗褐色	シルト	1層、砂を多く混入	土器・石器		SK890→SK905	
5	69	弥生	Q9	10	直線的	—	(2.60)	0.80	0.33	暗褐色	砂	1層	土器		—	
5	70	弥生中期	Q9、14	10	直線的	—	(2.56)	3.60	0.44	灰黄褐色～暗褐色	シルト、砂	11層、一部鉄分集積	土器・石器	14	→SD63、SK1000、1002、1015	
5	74	弥生	L19、20	10	緩やかに湾曲	—	(1.60)	0.70	0.35	暗褐色	砂	1層	土器		→1070.1111	

表３－１　弥生時代土坑（SK）一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色　調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
3	569	弥生	8	S20	不整形	A	0.70	0.42	0.16	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	1層	－		
3	570	弥生	8	S20	円形	C	0.30	0.26	0.16	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	1層	－		
3	580	弥生	8	S20	楕円形	C	0.32	0.24	0.14	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	1層	－		
3	581	弥生	8	T11	円形	D	0.74	0.72	0.16	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	1層	土器、石器		
3	582	弥生	8	S15、20	楕円形	B	1.30	1.10	0.34	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	1層（砂質）	土器		
3	583	弥生	8	S20	円形	B	0.74	0.62	0.27	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	1層	土器		
3	584	弥生	8	T16	方形	C	0.68	0.54	0.18	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	1層	土器、石器		
3	585	弥生	8	T16	円形	C	0.48	0.47	0.14	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	1層	土器		
3	587	弥生	8	S15	円形	A	0.24	0.24	0.06	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	1層	－		
3	588	弥生	8	T16	不整形	E	0.82	0.70	0.18	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	1層	土器、石器		
3	589	弥生	8	T16、S20	長楕円形	A	1.48	0.68	0.31	褐灰色～灰黄褐色	10YR4/1～4/2	1層	土器		
3	590	弥生	8	S20	長楕円形	－	－	－	0.16	褐灰色～灰黄褐色	10YR4/1～4/2	1層	土器、石器		
2	593	弥生	7･8	T15	円形	B	0.26	0.26	0.23	暗褐色	10YR3/4	1層	土器		
2	594	弥生	7･8	T20	円形	C	0.36	0.32	0.34	にぶい黄褐色～褐色	10YR4/3～4/4	2層	土器		
2	595	弥生	7･8	T20	円形	B	0.28	0.26	0.49	暗褐色	10YR3/4	1層	－		
2	596	弥生	8	P11	円形	F	0.48	0.43	0.24	暗褐色	10YR3/4	1層	－		
2	597	弥生	7･8	T14、15 19、20	円形	E	0.54	0.54	0.50	褐色～暗褐色	10YR4/4～3/4	2層	土器、石器		
2	598	弥生	8	T14	円形	C	0.30	0.26	0.16	暗褐色	10YR3/4	1層	－		
2	599	弥生	8	T14	円形	B	0.34	0.30	0.40	暗褐色	10YR3/4	1層	－		
2	600	弥生中期	8	T14	円形	B	0.42	0.40	0.24	暗褐色	10YR3/4	1層	土器、石器	15	
3	601	弥生	8	T16	円形	C	1.02	1.00	0.08	褐灰色～灰黄褐色	10YR4/1～4/2	1層	－		
3	602	弥生	8	T16	円形	C	0.64	0.52	0.13	褐灰色～灰黄褐色	10YR4/1～4/2	1層、粗砂を多く混入	土器		
3	603	弥生	8	T16	長楕円形	C	2.26	－	0.19	褐灰色～灰黄褐色	10YR4/1～4/2	1層	土器		
3	604	弥生	8	T16	－	C	－	－	0.14	褐灰色～灰黄褐色	10YR4/1～4/2	1層	－		
3	605	弥生	8	S20	－	－	－	－	0.11	褐灰色～灰黄褐色	10YR4/1～4/2	1層	－		
3	606	弥生	8	S20	楕円形	C	0.70	0.48	0.25	褐灰色～灰黄褐色	10YR4/1～4/2	1層	－		
3	607	弥生	8	S15	長方形	A	0.50	0.22	0.08	褐灰色～灰黄褐色	10YR4/1～4/2	1層	－		
3	608	弥生	8	T11	不整形	C	1.32	0.66	0.07	褐灰色～灰黄褐色	10YR4/1～4/2	1層、粗砂を多く混入	土器、石器		
3	609	弥生	8	S15	長楕円形	A	－	0.42	0.07	褐灰色～灰黄褐色	10YR4/1～4/2	1層	土器		
3	610	弥生	8	T11	円形	C	0.32	－	0.12	褐灰色～灰黄褐色	10YR4/1～4/2	1層	－		
2	611	弥生	8	T14	楕円形	E	0.70	0.52	0.34	褐色～暗褐色	10YR4/4～3/4	2層	土器、石器		
2	612	弥生	7･8	T14、15	方形	E	0.40	0.38	0.34	暗褐色	10YR3/3	1層	－		
2	614	弥生中期	7･8	T15	楕円形	C	0.80	0.72	0.11	褐色～暗褐色	10YR4/4～3/4	2層	土器	15	
3	615	弥生	8	T11	－	C	－	－	0.14	褐灰色～灰黄褐色	10YR4/1～4/2	1層、粗砂を多く混入	土器		
3	616	弥生	8	T17	楕円形	A	0.54	－	0.12	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	1層	－		
3	617	弥生	8	T16	－	－	－	－	0.10	褐灰色～灰黄褐色	10YR4/1～4/2	1層	－		
3	618	弥生	8	S20	楕円形	C	0.66	0.40	0.29	褐灰色～灰黄褐色	10YR4/1～4/2	1層、粗砂多く混入	土器		
2	619	弥生	7･8	T15	円形	B	0.38	0.36	0.46	暗褐色	10YR3/4	1層	土器		
2	620	弥生	8	T19	楕円形	C	0.32	0.26	0.33	暗褐色	10YR3/4	1層	－		
2	621	弥生	8	T18、19	楕円形	C	0.38	0.30	0.22	暗褐色	10YR3/4	1層	－		
2	622	弥生	7･8	T15	円形	B	0.42	－	0.49	－	－	－	－		
2	623	弥生	8	T18	楕円形	B	0.46	0.32	0.54	暗褐色	10YR3/4	1層	－		
2	624	弥生	8	T18	楕円形	B	0.38	0.30	0.57	暗褐色	10YR3/4	1層	土器		
2	625	弥生	8	T18	円形	B	0.42	0.38	0.51	暗褐色	10YR3/4	1層	－		
2	631	弥生	7	P17	円形	A	0.50	0.44	0.12	暗褐色	10YR3/4	1層	－		
2	632	弥生	7	P11	円形	C	0.51	0.50	0.06	暗褐色	10YR3/4	1層	土器、石器		
6	709	弥生	11	V19	円形	C	0.24	0.24	0.19	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
6	712	弥生	11	Q25	円形	C	0.40	0.36	0.39	灰オリーブ色	5Y4/2	1層	土器		
6	714	弥生	11	W1	円形	A	0.22	0.22	0.07	褐灰色～灰黄褐色	10YR4/1～4/2	1層	－		
6	715	弥生	11	W1	－	E	－	－	0.33	褐灰色～灰黄褐色	10YR4/1～4/2	1層	－		
6	716	弥生	11	Q25	－	－	－	－	0.08	明黄褐色	10YR6/6	1層	土器		
6	735	弥生	11	V23、24	－	－	－	－	0.32	暗褐色	10YR3/3	1層	－		
6	890	弥生	11	V9	_	－	－	－	0.18	褐灰色～にぶい黄褐色	10YR4/1～4/3	3層	－		
6	894	弥生	11	V9	円形	C	－	－	0.20	暗褐色	10YR3/3	1層	土器		
6	895	弥生	11	V4	楕円形	G	0.45	0.37	0.35	暗褐色	10YR3/3	1層	－		

表３－２　弥生時代土坑（SK）一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色　調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
6	901	弥生	11	V４	円形	C	0.28	0.28	0.21	暗褐色	10YR3/4	１層	土器		
6	902	弥生	11	Q24	円形	C	0.22	0.22	0.18	暗褐色	10YR3/4	１層	－		
6	903	弥生	11	Q24	円形	C	0.32	0.28	0.20	暗褐色	10YR3/4	１層	－		
4	919	弥生	9	R19	－	E	－	－	0.21	褐灰色～明黄褐色	10YR4/1～6/6	１層	－		
4	920	弥生	9	R19	円形	A	0.44	0.40	0.14	灰黄褐色	10YR4/2	１層	－		
4	921	弥生	9	R19	円形	C	0.38	0.34	0.29	灰黄褐色	10YR4/2	１層	－		
4	922	弥生	9	R19	円形	C	0.32	0.30	0.19	褐灰色～明黄褐色	10YR4/1～6/6	１層	土器		
4	923	弥生	9	R19	円形	C	0.22	0.22	0.11	暗褐色	10YR3/4	１層	－		
4	924	弥生	9	R19	円形	C	0.25	0.22	0.10	暗褐色	10YR3/4	１層	－		
4	925	弥生	9	R19	円形	C	0.36	0.30	0.19	褐灰色～明黄褐色	10YR4/1～6/6	１層	－		
4	926	弥生	9	R19	円形	C	0.42	0.40	0.09	褐灰色～明黄褐色	10YR4/1～6/6	１層	－		
4	927	弥生	9	R19	円形	C	0.23	0.22	0.12	にぶい黄褐色	10YR5/4	１層	－		
4	928	弥生	9	R19	楕円形	C	0.48	0.42	0.31	褐灰色～明黄褐色	10YR4/1～6/6	１層	土器		
4	929	弥生	9	R20	－	－	－	－	0.06	暗褐色	10YR3/4	１層	－		
4	930	弥生	9	S16	－	－	－	－	0.25	褐灰色～明黄褐色	10YR4/1～6/6	１層　焼土粒・焼土ブロックを多量に混入	土器		
4	931	弥生	9	S16	－	E	－	－	0.17	暗褐色	10YR3/4	１層	－		
4	932	弥生	9	S16	楕円形	C	0.40	0.32	0.05	明黄褐色	10YR6/6	１層	－		
4	933	弥生	9	S16、17	楕円形	G	－	1.04	0.28	明黄褐色	10YR6/6	１層	－		
4	934	弥生	9	S18	不整形	G	1.60	0.86	0.34	明黄褐色	10YR6/6	１層	－		
4	935	弥生	9	S18	楕円形	C	0.60	0.48	0.11	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層　明黄褐色土ブロックを多く混入、鉄分粒を多量に混入	－		
4	936	弥生	9	S18	円形	C	0.24	0.23	0.19	暗褐色	10YR3/4	１層	－		
4	937	弥生	9	S18	円形	C	0.38	0.36	0.17	灰黄褐色	10YR4/2	１層	－		
4	938	弥生	9	S18	楕円形	C	0.24	0.20	0.09	暗褐色	10YR3/4	１層	土器		
4	939	弥生中期	9	S18	円形	C	－	0.84	0.15	褐灰色～明黄褐色	10YR4/1～6/6	１層	土器	15	
4	940	弥生	9	S18	円形	C	0.28	0.27	0.17	灰黄褐色	10YR4/2	１層	石器		
4	941	弥生	9	R19	楕円形	C	0.32	0.26	0.12	明黄褐色	10YR6/6	１層	－		
4	942	弥生	9	R19	円形	C	0.22	0.20	0.07	暗褐色	10YR3/4	１層	－		
4	943	弥生	9	S18	楕円形	B	0.30	0.26	0.32	暗褐色	10YR3/4	１層	－		
4	944	弥生	9	S18	円形	C	0.28	0.24	0.10	暗褐色	10YR3/4	１層	－		
4	945	弥生	9	S18	円形	C	0.62	0.54	0.27	明黄褐色	10YR6/6	１層	－		
4	946	弥生	9	S18	不整形	G	1.14	0.58	0.24	明黄褐色	10YR6/6	１層	－		
4	947	弥生	9	S17、18	円形	C	0.40	0.38	0.26	明黄褐色	10YR6/6	１層	土器		
4	948	弥生	9	S17	円形	C	0.26	0.24	0.15	暗褐色	10YR3/4	１層	石器		
4	949	弥生	9	S18	－	C	－	－	0.12	褐灰色～明黄褐色	10YR4/1～6/6	１層	－		
4	950	弥生	9	S18	楕円形	G	0.42	0.36	0.27	明黄褐色	10YR6/6	１層	－		
4	951	弥生中期	9	R25	円形	C	0.90	0.90	0.15	褐灰色～明黄褐色	10YR4/1～6/6	１層	土器、石器	15	
4	952	弥生中期	9	R25	－	C	－	－	0.16	褐灰色～明黄褐色	10YR4/1～6/6	１層	土器	15	
4	953	弥生	9	R20、25	楕円形	C	0.56	0.38	0.14	灰黄褐色	10YR4/2	１層	－		
4	954	弥生	9	S17	円形	G	0.40	0.38	0.23	暗褐色	10YR3/4	１層	－		
4	955	弥生	9	R19	楕円形	E	0.40	0.22	0.38	暗褐色	10YR3/4	１層	－		
4	956	弥生	9	R24	円形	B	0.30	0.28	0.42	暗褐色	10YR3/4	１層	骨		
4	957	弥生	9	S17	円形	C	0.56	0.52	0.21	褐灰色～明黄褐色	10YR4/1～6/6	１層	－		
4	958	弥生	9	R20	楕円形	A	0.38	0.28	0.17	褐灰色～明黄褐色	10YR4/1～6/6	１層	－		
3	959	弥生	8	T16	円形	B	0.24	0.24	0.24	褐灰色～灰黄褐色	10YR4/1～4/2	１層	－		
4	961	弥生	9	R20	円形	C	0.26	0.26	0.13	灰黄褐色	10YR4/2	１層	－		
4	962	弥生	9	R20、25	楕円形	C	0.30	0.24	0.13	灰黄褐色	10YR4/2	１層	－		
4	963	弥生	9	R19、24	不整形	G	－	－	0.31	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層	土器、石器、骨		
3	964	弥生	8	T16	円形	A	0.34	0.32	0.13	褐灰色～灰黄褐色	10YR4/1～4/2	１層	－		
4	965	弥生	9	R20	－	－	－	－	0.13	褐灰色～明黄褐色	10YR4/1～6/6	１層	－		
4	966	弥生	9	R20	楕円形	C	0.40	0.24	0.11	褐灰色～明黄褐色	10YR4/1～6/6	１層	－		
4	967	弥生	9	R20	円形	C	0.36	0.36	0.17	灰黄褐色	10YR4/2	１層	－		
4	968	弥生	9	R20	円形	C	0.68	0.60	0.25	褐灰色～明黄褐色	10YR4/1～6/6	１層　焼土粒・炭化物粒を多量に混入	－		
4	969	弥生	9	R20	長楕円形	C	1.42	0.42	0.32	暗褐色	10YR3/4	１層	土器		
4	970	弥生	9	R20	－	C	－	－	0.13	褐灰色～明黄褐色	10YR4/1～6/6	１層	土器		
4	971	弥生	9	R20	円形	C	0.16	0.16	0.14	灰黄褐色	10YR4/2	１層　焼土粒・炭化物粒を多量に混入	－		

表３－３　弥生時代土坑（SK）一覧

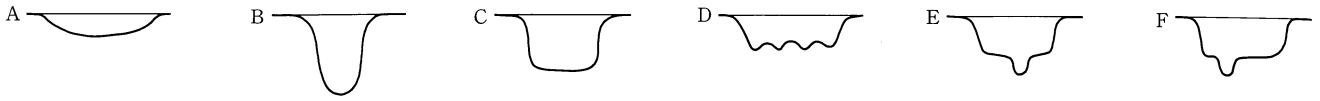
仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色　調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
4	972	弥生	9	S16	楕円形	B	0.40	0.30	0.21	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器		
4	973	弥生	9	S17	楕円形	C	1.30	0.98	0.25	褐灰色～明黄褐色	10YR4/1～6/6	1層	－		
4	974	弥生	9	S17	－	－	－	－	0.30	灰黄褐色	10YR4/2	1層　焼土粒・炭化物粒を多量に混入	土器		
4	975	弥生	9	S18	円形	C	0.32	0.30	0.15	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
4	976	弥生	9	S17	楕円形	G	0.30	0.24	0.29	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器		
4	977	弥生	9	S17	不整形	－	－	－	0.14	褐灰色～明黄褐色	10YR4/1～6/6	1層	土器		
4	978	弥生	9	S17	楕円形	C	0.29	0.24	0.20	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器		
4	979	弥生	9	R20、S16	円形	C	1.00	1.00	0.44	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	1層	土器		
3	980	弥生	8	T16	楕円形	C	0.28	0.24	0.22	褐灰色～明黄褐色	10YR4/1～4/2	1層	－		
4	981	弥生	9	S16	－	C	－	－	0.20	灰黄褐色	10YR4/2	1層底部堅固	土器		柱穴状
4	982	弥生	9	S17	円形	C	0.92	0.92	0.36	灰オリーブ～オリーブ色	5Y5/3～5/4	1層砂質	－		
4	983	弥生	9	R20、S16	－	G	－	－	0.48	褐灰色～明黄褐色	10YR4/1～6/6	1層　焼土粒・焼土ブロックを多く混入	土器.鉄滓		
4	984	弥生	9	S16	長方形	C	0.80	0.46	0.20	褐灰色～明黄褐色	10YR4/1～6/6	1層	－		
4	985	弥生	9	S16	円形	C	0.28	0.24	0.14	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
4	986	弥生	9	S17、18	－	－	－	－	0.20	明黄褐色	10YR6/6	1層　炭化物粒・炭化物ブロックを多く混入	－		
4	987	弥生	9	S16	－	－	－	－	0.35	褐灰色～明黄褐色	10YR4/1～6/6	1層　焼土粒・炭化物粒を多く混入	土器		
4	988	弥生	9	S16	不整形	－	－	－	0.17	灰黄褐色	10YR4/2	1層　焼土粒・焼土ブロックを多く混入	－		
3	989	弥生	8	T16	円形	A	0.24	0.22	0.10	褐灰色～灰黄褐色	10YR4/1～4/2	1層	－		
5	1004	弥生	10	Q4、9	－	A	－	－	0.19	暗褐色	10YR3/3～3/4	2層	土器		
4	1065	弥生	9	S16	－	C	－	－	0.13	－	－	1層	土器		
4	1086	弥生	9	R20	楕円形	C	0.28	0.22	0.12	黒褐色	10YR3/1	1層	－		
4	1087	弥生	9	R15	円形	C	0.24	0.24	0.15	明黄褐色～黒褐色	10YR6/6～2/3	1層　鉄分・マンガン粒を多く混入	－		
4	1088	弥生	9	R19	円形	C	0.36	0.30	0.24	黒褐色	10YR3/1	1層	－		
4	1089	弥生	9	R20	－	C	－	－	0.21	黒褐色	10YR3/1	1層	－		
4	1090	弥生	9	R20	不整形	C	0.92	0.80	0.13	明黄褐色～黒褐色	10YR6/6～2/3	1層　鉄分・マンガン粒を多く混入	－		
4	1091	弥生	9	S16	円形	E	0.32	0.30	0.18	明黄褐色～黒褐色	10YR6/6～2/3	1層　鉄分・マンガン粒を多く混入	土器		
4	1092	弥生	9	S16	楕円形	B	－	0.22	0.17	明黄褐色～黒褐色	10YR6/6～2/3	1層　鉄分・マンガン粒を多く混入	－		
4	1093	弥生	9	R20	楕円形	C	0.18	0.14	0.07	明黄褐色～黒褐色	10YR6/6～2/3	1層　鉄分・マンガン粒を多く混入	－		
4	1094	弥生	9	S11、16	－	C	－	－	0.29	黒褐色	10YR3/1	1層	－		
4	1096	弥生	9	S16	－	G	－	－	0.81	オリーブ色	5Y5/4	1層	－		
4	1097	弥生	9	S12、17	楕円形	C	0.80	0.74	0.62	オリーブ色	5Y5/4	1層	－		
4	1098	弥生	9	S16	円形	C	0.40	0.38	0.21	オリーブ色	5Y5/4	1層	－		
4	1099	弥生	9	S16	－	－	－	－	0.21	オリーブ色	5Y5/4	1層	－		
4	1100	弥生	9	S13	－	－	－	－	0.09	にぶい黄褐色	10YR5/4	1層　焼土ブロックを多く混入	－		
4	1102	弥生	9	S12	不整形	G	－	－	0.79	オリーブ色	5Y5/4	1層	－		
4	1103	弥生	9	S12	不整形	G	－	－	0.52	オリーブ色	5Y5/4	1層	－		
4	1104	弥生	9	S11、16	円形	B	0.86	0.84	0.55	オリーブ色	5Y5/4	1層	－		
4	1105	弥生	9	S12、17	不整形	G	(1.96)	1.28	0.36	褐色～黒褐色	10YR4/4～3/4	4層　炭化物を多量に混入	－		
4	1106	弥生	9	S12	－	C	－	－	0.63	オリーブ色	5Y5/4	1層	－		
5	1129	弥生	10	L19	円形	A	0.27	0.20	0.17	暗褐色	10YR3/4	1層砂質	－		
5	1130	弥生	10	L19	円形	A	0.30	0.30	0.09	暗褐色	10YR3/4	1層砂質	－		
5	1131	弥生	10	L19、24	－	C	－	－	0.23	暗褐色	10YR3/3～3/4	2層	－		
5	1132	弥生	10	L24	円形	C	1.20	1.08	0.61	オリーブ色	5Y5/4	1層	－		
5	1133	弥生	10	L24	楕円形	B	0.57	0.44	0.27	暗褐色	10YR3/4	1層	－		
2	1244	弥生	7	P14	－	A	－	－	0.14	暗褐色	10YR3/3	1層	土器		
2	1278	弥生	7	P13	楕円形	C	0.58	0.40	0.16	暗褐色	10YR3/3	1層	－		
2	1279	弥生	7	P13	円形	C	0.26	0.24	0.11	暗褐色	10YR3/3	1層	－		
2	1280	弥生	7	P13	楕円形	G	－	0.36	0.23	暗褐色	10YR3/3	1層	土器		
2	1284	弥生	7	P13	円形	A	0.48	0.40	0.14	暗褐色	10YR3/3	1層	－		
2	1285	弥生	7	P13	－	－	－	－	0.09	暗褐色	10YR3/3	1層	－		

表3－4　弥生時代土坑（SK）一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色　調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
2	1286	弥生	7	P13	楕円形	A	0.52	0.24	0.10	暗褐色	10YR3/3	1層	－		
2	1287	弥生	7	P13	不整形	A	1.14	0.56	0.18	暗褐色	10YR3/3	1層	－		
2	1288	弥生	7	P13､14	円形	A	0.30	0.30	0.06	暗褐色	10YR3/3	1層	－		
2	1289	弥生	7	P14	楕円形	A	0.40	0.32	0.11	暗褐色	10YR3/3	1層	－		
2	1291	弥生	7	P14	円形	C	0.33	0.30	0.30	暗褐色	10YR3/3	1層	－		
2	1300	弥生	7	P11	円形	C	0.21	0.18	0.12	暗褐色	10YR3/3	1層	－		
2	1301	弥生	7・8	T15	－	－	－	－	0.19	暗褐色	10YR3/3	1層	－		
2	1302	弥生	7	P11	不整形	C	0.18	0.16	0.07	暗褐色	10YR3/3	1層	－		
2	1303	弥生	7	P11	楕円形	E	0.46	0.39	0.40	暗褐色	10YR3/4	1層	－		
2	1304	弥生	7	P11	楕円形	E	0.50	0.42	0.43	暗褐色	10YR3/4	1層	土器		
2	1305	弥生	7	P14	楕円形	C	－	－	0.20	暗褐色	10YR3/3	1層	－		
2	1306	弥生	7	P14	円形	E	0.60	0.58	0.38	暗褐色	10YR3/3	1層	土器		
2	1307	弥生	7	P14	円形	A	0.26	0.26	0.15	－	－	－	－		
2	1308	弥生	7	P14	－	A	－	－	0.22	暗褐色	10YR3/3	2層	土器		

凡　例

A＝なだらかなU字形　　B＝急なU字形　　C＝落ち込みが直で、底面がほぼ平ら　　D＝底面の凹凸が激しいもの
E＝中央部に凹があるもの　　F＝壁際に凹があるもの　　G＝その他



球形の胴を呈し、肩部と頸部境界に変換点があり、直立的に立ち上がる。胴部から頸部の形状は阿島式の壺を想起させるものがある。７、９は肩部と頸部の境界に変換点は認められない。

１は細頸壺で、口縁部が短く外反する。図示し得た最下部に横走沈線が１条認められる。頸部から肩部にかけて多段横帯施文が予想される。口縁部内外面はヨコナデ後丁寧なヘラミガキが施されている。口縁部に円孔が１つ確認できるが、欠損部を考慮すると２孔であろう。口縁端部はLR縄文、赤彩の痕跡が認められる。

２は細頸壺の頸部で、３条の横走沈線が施文され、その最上位区画には、右回りの押し引き列点文が充填される。頸部および文様帯はヘラミガキされる。

３～５は横走沈線文により横帯区画され、３がLR縄文、４がLR縄文と刺突文、５が櫛描斜線文で重填される。６～７は横走沈線で区画される肩部文様帯で、６は重山形文系連繁文と縄文帯で、７は櫛描波状文と、波状沈線文で充填される。８は肩部に工字文系の長楕円系文が２段連続、頸部には押し引き列点文が弧状に垂下している。９は胴最大径下半に文様帯が認められ、沈線による重三角文が想定される。地文はLR縄文である。10は重四角文で、その間に波状沈線文、円形浮文が付加する。地文はLR縄文である。

11～14は羽状文を施文する甕である。11～12は口縁端部近くまで文様帯となり、11は縦羽状文、12は横羽状文が想定される斜線文を施文する。施文原体は４本結束の櫛であるが、１本あたりのヒゴが太い。13はヨコナデを施した口縁部が無文帯となり、頸部以下に横羽状文が想定される斜線文が施文される。13は横羽状文の下位部分にあたる斜線文である。右回りに施文され、その下位に刺突列点文が施されている。口唇端部には、11、13に指オサエ、12、13にLR縄文が施文される。

16、17は櫛描波状文を施文する甕である。17は倒鐘型をなし、頸部の括れが弱く、頸部最小径と胴最大径がほぼ等しいことから、頸部と胴部が直線的になる。内外面をヨコハケ調整し、胴外面大半をタテミガキ、内面にタテミガキを施す。櫛描波状文は、頸部以下から胴最大径上位にかけて施文される。口縁部に施文されることはない。櫛描波状文は５本結束の櫛原体で施文され、静止部をもちながら右回りに施文する中部高地型櫛描文で、下から上に向って施文される。文様帯下半は刺突列点文によって文様帯を区画する。口唇端部はLR縄文が施され、指オサエにより口唇端部が波状を呈する。15は文様帯を区画する刺突列点文が認められる。

ＳＢ38（第14図18～26）

18～26は、埋土中より出土した細片で、18～19が甕、20～26が壺である。

18～19は甕の口縁部である。軽いヨコナデを施した後、櫛描斜条痕で充填する。19の原体は２本組の可能性があり、右から左へ施文する。口唇端部は18がLR縄文を、19がLR縄文施文後指オサエを行う。

20は壺の肩部で、櫛描直線文を数条重ねる。21は肩部から頸部への立ち上がり部で、横走沈線間に長楕円形の沈線文様を並べ、押し引き列点文で囲郭する。22は肩部と想定され、弧状の沈線文と押し引き列点文で充填する。23～26は胴部最大径付近の破片である。23はLR縄文施文後に横走沈線を引く。24は上位の横走沈線間に波状沈線が、その下位に重三角連繁文が付加し、押し引き列点文で充填する。沈線施文後、文様帯全体にLR縄文を施文する。25はLR縄文施文後、重菱形連繁文が施文される。26は重三角連繁文をLR縄文と押し引列文で充填する。

ＳＤ33（第14図27～46）

27～46は埋土中より出土した細片で、27～36が甕、37～45が壺、46が鉢である。

27～34は甕の口縁部、35は甕の胴部最大径付近である。27～31は口縁部付近まで櫛描斜条痕を充填する。原体は、27～30が２～３本のヒゴを結束し１本あたりのヒゴが太く、31が多条で細い。施文方向は28が左回りである。口縁部は軽いヨコナデ後に施文を行い、27、30、31は文様上にナデあるいはミガキを行い、

光沢がある。口唇端部は27、28、30にLR縄文が、27、28に刺突、31に内側から外側に向って指オサエが施される。内面はヨコミガキする。32は大きく外反する口縁部に櫛描波状文を充填する。ヨコナデ調整後に上位から下位に向って施文される。口唇端部にはLR縄文が施され、後期箱清水式土器でないことが理解される。33、34は口縁部が無文帯となり、33は内外面に精製ヨコミガキを施す。35は櫛描羽状条痕を施文し、ハケ原体の小口で押し引き状の刺突列点文を右回りに施文する。36は重四角沈線文で、上位はLR縄文帯となる。

壺に分類される37～45のうち、37は肩部から頸部、38～45は胴最大径上位の肩部～頸部である。37は頸部径８㎝の細頸壺である。LR縄文帯を横走沈線で多段区画し、押し引き列点文・重菱形文で充填する。重菱形文は２段認められる。38は横走沈線、押し引き列点文で横帯区画し、複合鋸歯文で充填する。鋸歯文帯の地文にはLR縄文が認められる。39も複合鋸歯文になるものと思われる。40～41は、40が頸部の、41が肩部の横帯区画文である。40は押し引き列点文と沈線で横帯区画し、縄文で充填する。41は工字文系の長楕円形を連続させ、上位にLR縄文帯が認められる。

42～43は壺の肩部で、横帯区画された文様帯を斜状沈線で充填する。42は横走沈線で区画するが、その下位に沈線施文原体で刺突列点文を配列している。43は櫛描直線文で区画する。44～45は、44が肩部、45が胴最大径部である。波状の櫛描文を有し沈線で区画する。45では刺突文が認められる。44は貼り付けの凸帯をもち、凸帯上は横走沈線を１本施文し縦位の刺突を行う。無頸壺の可能性もある。46は口縁部が外反する鉢で、口縁部は強いヨコナデが施される。胴部には刺突列点文、沈線区画文が施され、LR縄文が充填される。

ＳＤ70（第14図47～53）

47～53は埋土中より出土した細片で、47～52が壺、53が甕である。

47、48が細頸壺の口縁部である。口径は47・48ともに８㎝を測る。いずれも口縁部に文様帯があり、47は２条の波状沈線下に１条の横走沈線文が、48はLR縄文帯が認められる。47内面はミガキが施される。49ａ・ｂは細頸壺の頸部で径10㎝を測る。頸部文様帯は２条の横走沈線で区画され、LR縄文施文後に波状沈線文、重山形連繁文を充填する。頸部文様帯以下は、図示できない破片から推定すると文様帯は認められない。胴上位はタテミガキ、胴下位はヨコミガキを施す。50～52は壺の肩部である。50は横走沈線下にRL縄文帯を施文し、その両端を竹管刺突列で区画する。文様帯以下はヨコミガキが施され、以下ミガキ帯になるものと思われる。51は横走沈線下に鋸歯状文が付加する。52はLR縄文施文後、横走沈線および押し引き列点文を施文する。

53は倒鐘型のプロポーションをなし、口縁部は左上がりのハケ調整を行い、櫛描施文を行う。波状文は右から左へ、下から上へ向って施文し、最後に縦の垂下文をかきおろしている。垂下文同志の横の間隔は短く、多条である。口縁端部は指オサエされる。

ＳＫ600（第15図54）

54は埋土中より出土した壺で沈線文、櫛描文による横帯構成をとる。胴上位文様帯には、横走沈線文、押し引き列点文で区画された横帯間を４条の連弧文で充填する。地文はLR縄文。胴下位文様帯では、横帯区画内を充填する文様に沈線文と櫛描文があり、横走沈線文間を櫛描直線文、櫛描横羽状文で充填する。

ＳＫ614（第15図55）

55は埋土中より出土した土器である。図示部分の１／２が残存する。器形は口径と胴最大径がほぼ等しく頸部が括れ、口縁部が長く外反するものである。栗林様式に同様なプロポーションはなく、前階段の在来系譜甕の伝統上に位置するものとみたい。外面は数本を束ねた条痕で右下がりに調整あるいは施文を行った後、口縁部から胴部にかけて荒い縦方向の条痕を施す。条痕の原体は明らかにし得なかったが、他

の甕に認められる条痕と異なり、痕跡が細く弱い感じがする。器形と同様に前段階からの変容型として捉えたい。栗林式の甕における調整手法、文様手法とは明らかに異なるものである。

ＳＫ939（第15図56）

56は埋土中より出土した甕で、１／４残存の大型破片を図示した。プロポーションは、口径 ＞ 胴最大径となり倒鐘型をなすもので、頸部にやや括れをもつ。口縁部にはヨコナデが施され、この手法が頸部の括れと密接に関連する。

文様帯は頸部から胴上位に施文され、口縁部に文様帯は認められない。文様は櫛描横羽条文で、その下位は刺突列点文で区画される。原体はストロー状のヒゴが５本結束される。施文方向は上位斜線文が左回り、下位斜線文が右回りである。口唇端部はLR縄文を施す。

ＳＫ951（第15図57～62）

57～62は埋土中より出土した土器で、57～60が細片、61が完形、62が１／２残存の大型破片を図示した。58～60が壺、57・61が鉢、62が甕である。

58・59は壺の肩部から胴最大径付近に至る破片で、横帯文構成の文様が施される。58は横走沈線、櫛描直線上に指ナデによる文様が施され、その周囲をオサエによる刺突文で囲郭する。59、60は横帯構成の文様帯で、59は櫛描文と横走沈線を配し、LR縄文を充塡する。60は横走沈線文と押し引き列点文を配列し、無文帯間はミガキ調整する。

57は内彎口縁の鉢で、口唇部内面側に１条の沈線を施す。内面はヨコハケ調整後ナデ、外面はナデ調整を行う。器壁が厚い。61は口縁が外反する鉢で、内面はヨコハケ調整後ナデを施しハケを残す。外面は荒いミガキを施す。口唇部に縄文を施文する。

62は羽状条痕を施文する甕である。頸部の括れのない深鉢型を呈する。条痕原体は４本のヒゴを結束したもので、１本あたりのヒゴが太い。羽状文は横羽状文で、上位斜線は右回り、下位斜線は左回りに施文する。胴下半部はミガキが、内面はヨコハケ後ナデ調整が施される。

ＳＫ952（第15図63、第16図64～65）

63～65は埋土中より出土した土器で、いずれも壺である。63は図示部分の１／５が残存する。受口状口縁を呈する太頸壺で、その所属時期が問題となろう。口縁部は直立し、その端部が短く外反した受口部を形成する。受口部の外面は明瞭な稜をもち、内面には強いヨコナデが施される。口縁部上位は無文帯であるが、下位には棒状工具による円形刺突文列、横走沈線文、櫛描直線文が認められる。受口部外面にはLR縄文帯を地文に、複合鋸歯状文が連繋する。２本組の棒状浮文を添付している。

64、65は壺の底部で、底部に布目圧痕が認められる。平織系の布と想定されるが目は１㎜程で緻密に織られている。外面はいずれもミガキ調整される。

１区出土土器（第16図、66）

66はII層中より出土した甕の細片である。長く外反する口縁の端部で器壁が厚い。内外面に丁寧なミガキを加える。口唇部には指オサエが認められる。

２区出土土器（第16図、67～79）

67～75が壺、79は甕、76・77については保留。78は弥生時代後期の甕である。69、75がIII層より、他は弥生面の出土で、67はＰ－11グリッド、79はＴ－19グリッドより取り上げられた。67が図示部分ほぼ残存、79が図示部分の１／４個体が残存した。

67は口縁部が短く外反する細頸系の壺である。文様帯は頸部以下に位置し、横走沈線区画内を押し引き列点文とLR縄文を交互に施し、多段横帯文を構成する。図示部以下、胴部に至るまで横帯文が連続すると想定される。縄文は沈線施文後施されている。口縁部は強いヨコナデを行い、外面には荒いタテミガキ、

内面にはヨコミガキが施される。68は頸部最小径以下の破片で、口縁部が短く外反する細頸系の壺である。頸部に器形の変換点があり、最小径が締まる点は67と異なる。器形変換点以下が文様帯となり、頸部から肩部にかけて沈線がLR縄文上に施文される。

69～71は細頸系壺の頸部から肩部で、いずれも多段横帯系の文様構成をとる。69は横走沈線区画内を上位にLR縄文、下位に刺突文を施文する。刺突原体は小口板である。70にも刺突文が認められる。71はLR縄文を地文とし、横走沈線で多段区画が連続する。

72～75は胴最大径付近の文様帯である。72は横走沈線区画内を6本連結の櫛で、上位に直線文、下位に押し引き状の刺突列点文を施す。73は胴下半部で、LR縄文地文帯に横走沈線で横帯区画し、同一原体で左回りに押し引き列点文を施文する。その下位は連弧文が付加するものと思われる。74、75は別個体ながら同一のモチーフをとるものと想定され、74が胴最大径以下、75が胴最大径以上の破片である。73は胴最大径に3本の横走沈線を配し、その上位に同一原体による右回りの押し引き列点文を、その下位に3本1組の重三角文を施文する。

76の器形、器種については保留することにしたい。内面は左上がりのハケ調整後、全面にヨコミガキが施されている。文様は5本1組の櫛で、上から下方向に4条の櫛描直線文を配し、同一原体で垂下文を3条以上施文する。垂下文は左回りに施文する。篠ノ井遺跡群高速道地点に類例がある。77は大型の鉢か。LR縄文帯上に重山形文を施文する。

79は甕の胴下半部である。器壁および底部を非常に薄く仕上げている。器壁が荒れ、調整は不明瞭であるが内面はミガキが施される。

3区出土土器（第17図、80～89）

80・81・83～85が壺、82が蓋、86～89が甕である。80・81がII層、82がIII層、83～89が弥生面より取り上げられた。82が完存した外は破片資料である。

80は細頸壺の口縁部で、口縁外面に有段部をもち短く外反する。有段部に刺突列点文を、その上位にはLR縄文帯を施す。1㎜程の小砂粒を多量に含む。81は細頸壺の口縁部であるが80と異なり大きく外反する。ヨコナデ調整後、内外面に丁寧なミガキを施す。口唇部に擬似縄文を施し、突起も認められる。

82は蓋形を呈する小型土器である。器面が荒れ文様調整が不明瞭ではあるが、沈線を放射状に配しその間を刺突充填している。2孔の紐穴が対面上に2箇所認められる。

83は細頸壺の口縁部端部で、口縁部は短く外反する。器面が荒れ不明瞭ではあるが、口縁部の縄文帯には重山形文が、口唇端部にはLR縄文が施される。

84、85は壺の胴部最大径付近の文様帯で、沈線区画内を84では太い刺突文、85では押し引き列点文を充填する。沈線外部の文様帯にはLR縄文が充填される。

86～89は平底甕の細片で、86は底部、87～89は口縁部である。86は沈線が垂下し、コの字重ね文となろう。87～89は口縁部に強くヨコナデを施し、87、89が櫛描文、88が条痕文を施す。87が縦羽状文、88～89が横羽状文となる。口唇端部は87が縄文、89が縄文施文後指オサエを行う。

4区出土土器・土製品（第17図、90～92・95）

90・91が壺、92は匙形土製品、95は土器片加工円盤である。90・91が飛鳥・平安時代面、92が弥生面で取り上げられた。90は細頸壺の口縁部で、外反は弱く、縦位の棒状浮文が添付される。口縁部文様帯には重菱形文と重山形文が沈線施文され、その下位文様帯は横走沈線による横帯構成になると思われる。91は壺の頸部である。頸部内面に強いヨコナデを加え、凸帯部を押し出している。凸帯部は上下をヨコナデして凸帯を形成し、縦位の刺突例を配した後、横走沈線を1状施文する。また指オサエが1箇所確認できる。凸帯より上位の口縁部に文様施文はなく、ミガキが施され、下位の肩部には横走の沈線が認められる。色

調は黄白色、砂粒の混入が少ない。92は椀状部に断面円形の棒状把手がついた匙形土製品である。ハケ後ナデ調整を行う。口唇部上面には擬似縄文が、口縁外面には１条の横走沈線が施文される。95は、土器片を打ち欠いて作られた土器片加工円盤である。中央付近に、径３㎜の小穴が両面穿孔される。

５区出土土器（第17図、93・94）

93がＱ－14グリット、94が飛鳥・平安時代面で取り上げられた。93は小型土器で、内外面ナデ調整される。94は細頸壺の肩部から胴部である。肩部は多段横帯構成で横走沈線と連弧が施文され、横帯文間にLR縄文が充塡される。胴部には浮文が添付される。

(2)　石器・石製品

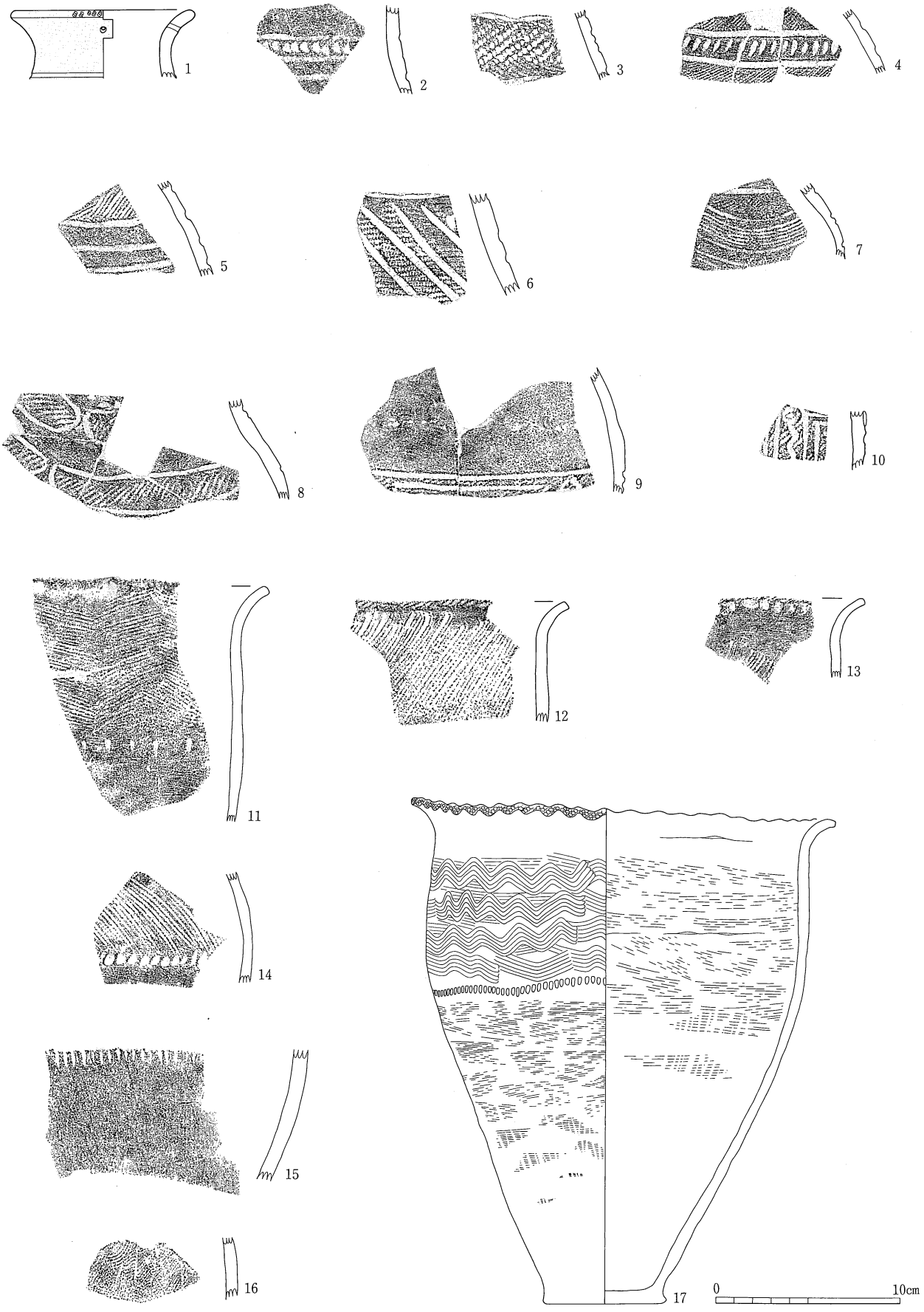
Ｖ層及び弥生時代に該当する遺構から出土した資料は、石器381点・石製品１点である。出土層位を重視して報告するため、形式的に所属時期が他の時期と判断できる石器であっても、出土遺構及び検出面の時代により、本項にて扱うこととした。遺物中325点が石器製作に伴い石屑として弾き出された資料で、45点が道具として認定できた石器である。その内訳については表４に示す。ここではすべてを紹介することができないため、石器15点・石製品１点を図示（図18）し、掲載した遺物の属性を一覧表（表５）に示した。

表４　弥生時代出土石器組成表

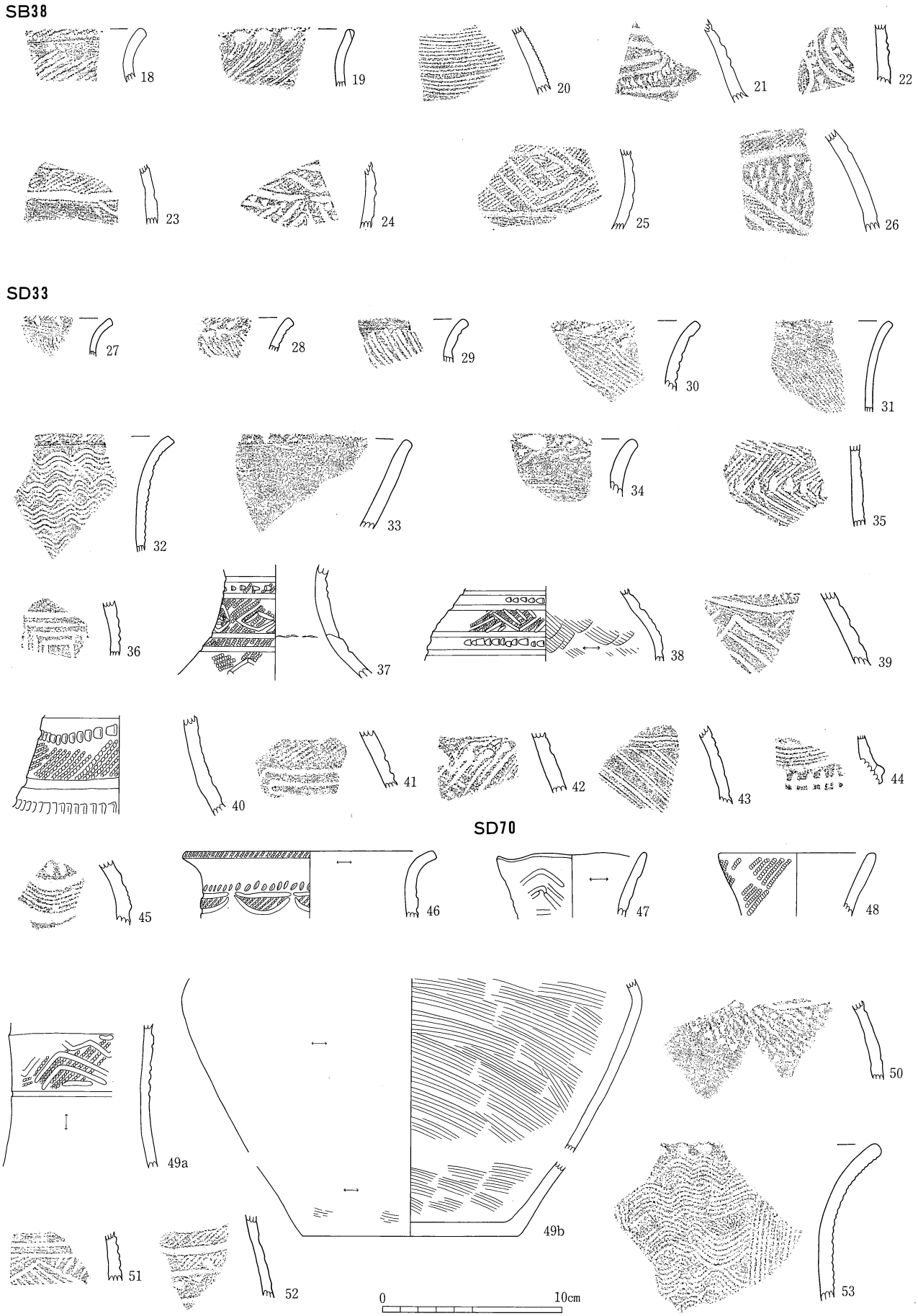
名称	総数	原石	石核	剥　片	砕　片	石鏃	刃器	敲石	磨石	石錐	石包丁	砥石	みがき石
数量	381	11	9	143(1495.13)	173(136.97)	13	15	1	4	4	2	3	3

（　）内は数量〈ｇ〉を示す

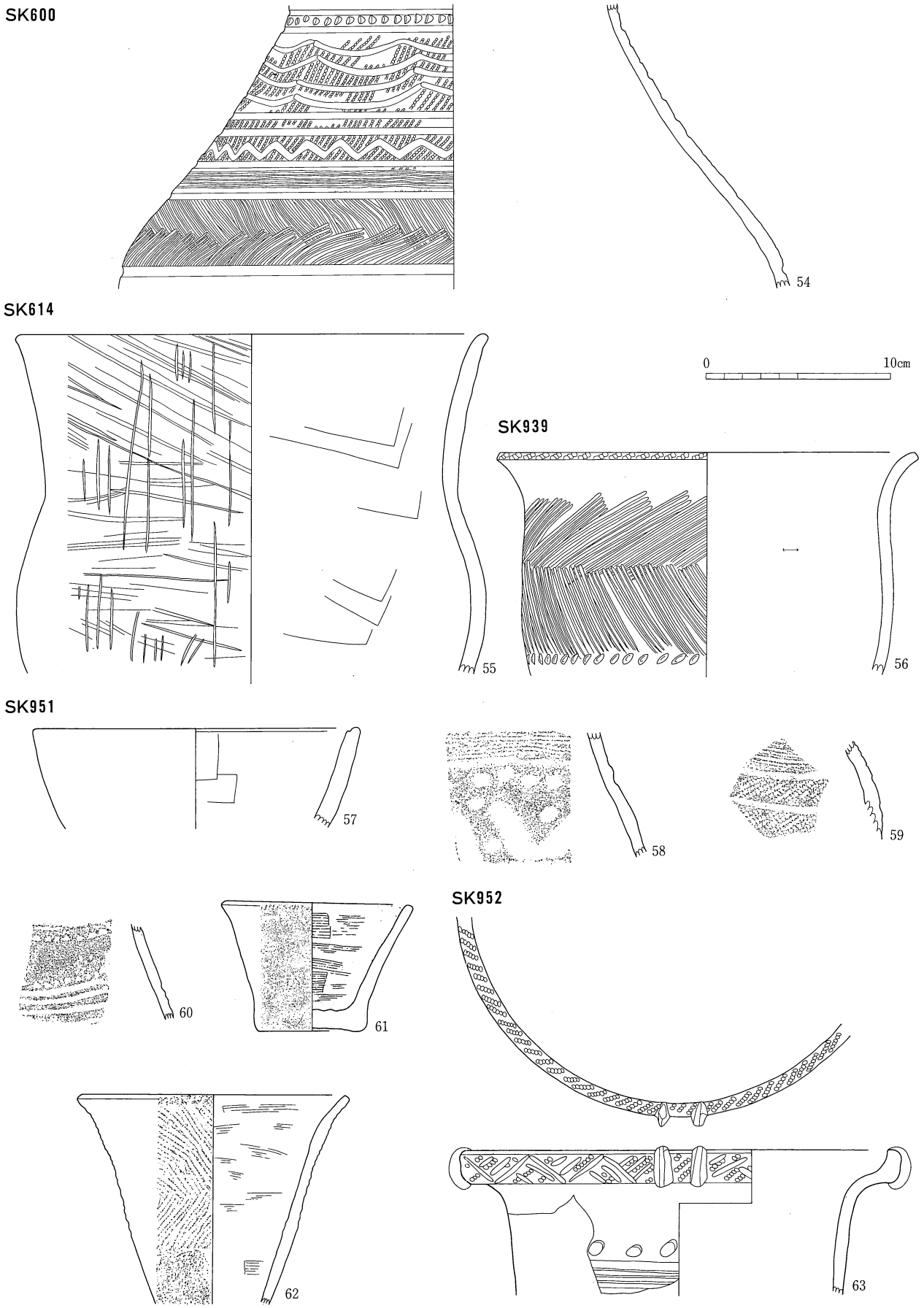
SB36



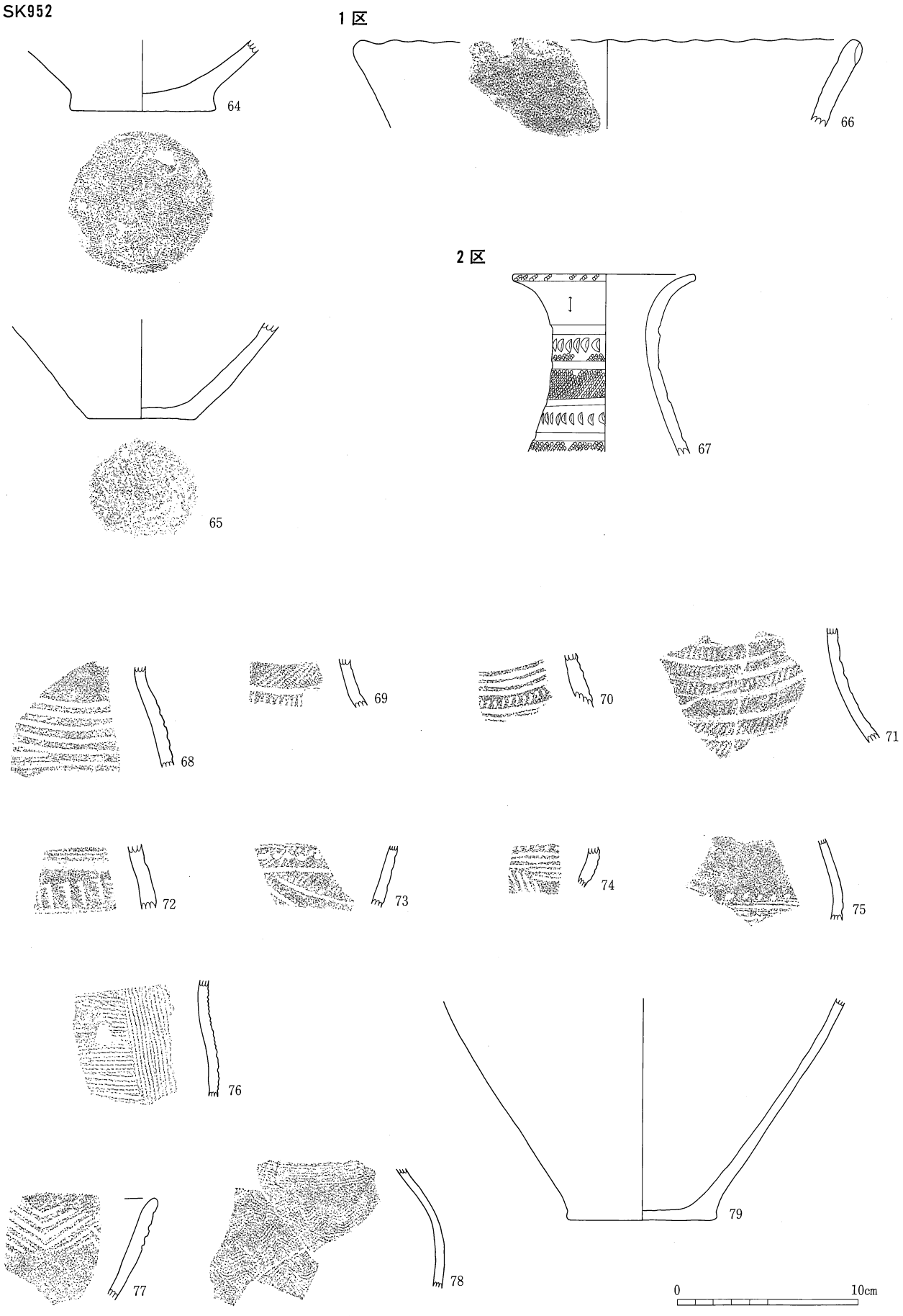
第13図　弥生時代の土器　1



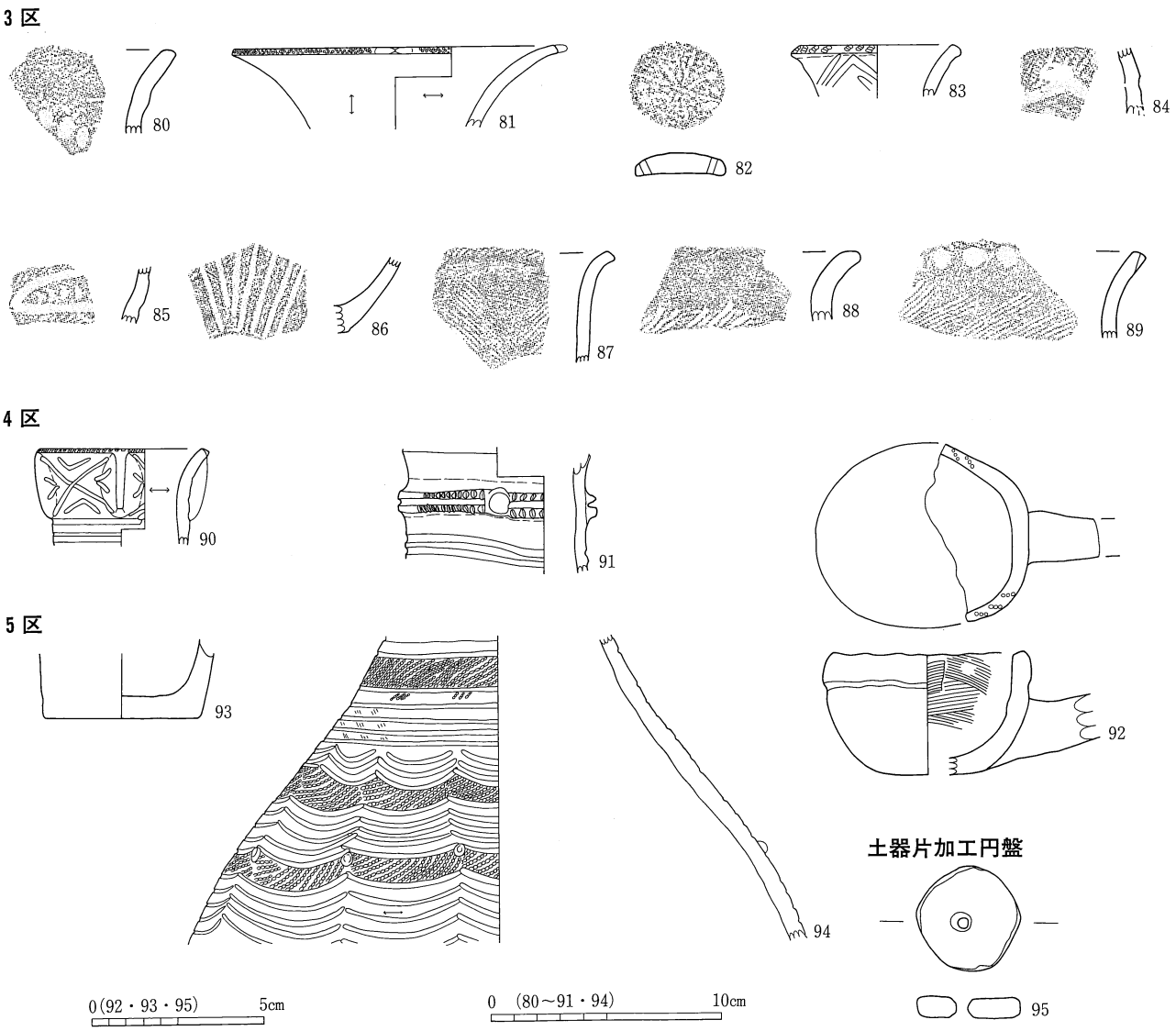
第14図　弥生時代の土器　2



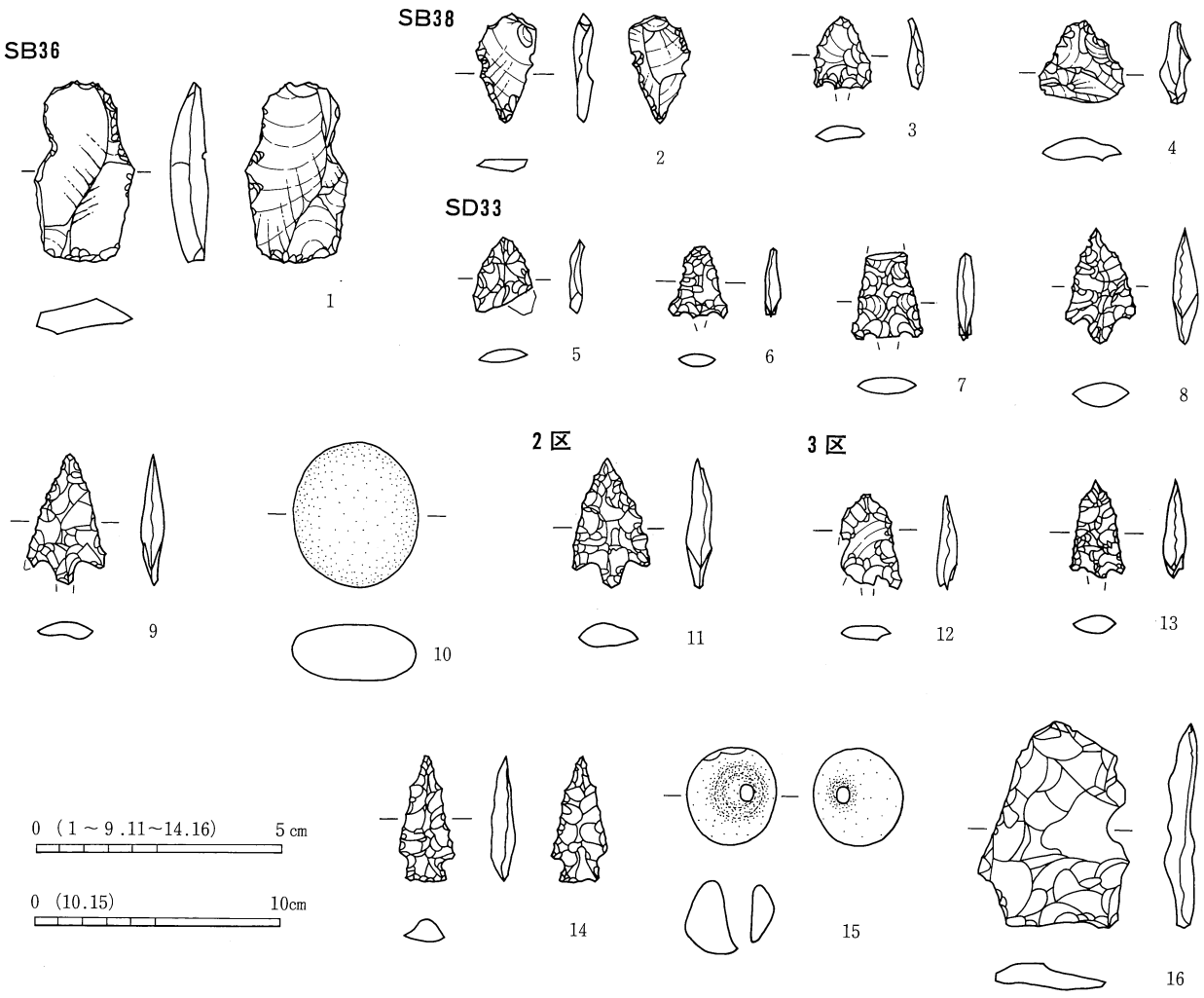
第15図　弥生時代の土器　3



第16図　弥生時代の土器　4



第17図　弥生時代の土器　５　土製品



第18図　弥生時代の石器・石製品

表５　弥生時代の石器・石製品属性表

図番号	番号	遺構番号	出土位置	器　種	状　態	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材　質	備　考
18	1	ＳＢ36	埋土	刃器	完　形	3.7	2.1	0.8	4.3	黒曜石	
18	2	ＳＢ38	埋土	石錐	完　形	2.25	1.2	0.4	0.7	黒曜石	未製品
18	3	ＳＢ38	床	石鏃	基部欠損	(1.5)	1.2	0.3	(0.4)	黒曜石	
18	4	ＳＢ38	埋土	石鏃	完　形	1.7	1.7	0.4	1.15	黒曜石	未製品
18	5	ＳＤ33	埋土	石鏃	片脚欠損	(1.5)	1.2	0.3	(0.35)	黒曜石	
18	6	ＳＤ33	埋土	石鏃	基部欠損	(1.4)	1.2	0.3	(0.36)	黒曜石	
18	7	ＳＤ33	埋土	石鏃	先端・基部欠損	(1.8)	1.4	0.3	(0.78)	黒曜石	
18	8	ＳＤ33	埋土	石鏃	完　形	2.4	1.4	0.5	0.93	黒曜石	
18	9	ＳＤ33	埋土	石鏃	片脚・基部欠損	(2.7)	(1.6)	0.45	(1.14)	珪質頁岩	
18	10	ＳＤ33	埋土	磨石	完　形	6.0	5.2	2.3	110	安山岩	
18	11		２区Ⅴ層	石鏃	完　形	2.6	1.6	0.5	1.25	黒曜石	
18	12		３区Ⅴ層	石鏃	片脚・基部欠損	(1.9)	(1.2)	0.4	(0.65)	黒曜石	
18	13		３区Ⅴ層	石鏃	基部欠損	(2.0)	1.1	0.5	(0.55)	黒曜石	
18	14		３区Ⅴ層	石鏃	完　形	2.6	1.1	0.5	0.93	チャート	アメリカ式石鏃
18	15		３区Ⅴ層	石製品	ほぼ完形	4.0	3.7	3.2	(15.0)	軽石	
18	16		３区Ⅴ層	磨製石鏃	完　形	4.2	3.1	0.6	7.55	頁岩	未製品

（　）の数字は残存している所の最大値

第３節　古墳時代

１　遺構各説

古墳時代に所属する遺構は、土坑が１基６区で検出された以外は、１区及び２区の東側に集中する。古墳時代の遺構は、検出面で他の遺構と区別することは困難であった為、遺構内出土遺物及び切り合いにより遺構の時期を判断した。したがってこの他にも、遺物の出土していない遺構で、当概期に所属する遺構も若干存在すると思われる。検出された遺構は、竪穴住居跡11軒、掘立柱建物跡１軒、溝４条、土坑69基である。

(1)　竪穴住居跡

古墳時代の住居跡は、２区よりＳＢ24が検出された以外は、全て１区に集中している。遺構の概要は表６に示した。ただし説明を簡略化できないものについては、ここで番号順に解説を加えることにする。

ＳＢ１（図21）

本住居跡のカマドは、東壁やや南よりに一部破壊された状態で検出された。カマドは粘土により構築されている。住居内南東部の床面から、およそ12×５㎝の石が９点集中して出土している。埋土中よりガラス玉１点（１）、臼玉３点（２～４）、勾玉１点（34）が出土している。

ＳＢ７（図21、ＰＬ５）

本住居跡は焼失住居である。床面に炭化した材や灰、焼土が堆積している。カマドは、東壁面南よりにあり、その南側に炭化物の詰まったピット１が検出されている。カマドは、粘土により構築されており、カマド内より、壺（24）と甕（28）が正位の状態で出土している。本住居跡の時期は、５世紀末～６世紀初頭、屋代編年の古墳６期と認定される。

ＳＢ８（図22）

本住居跡のカマドは、北西の壁中央付近に破壊された状態で検出された。ピット１・３・５・６に、径15～20㎝でほぼ円形の柱痕が認められた。カマド内より鹿の左右の中足骨が、床面より牛の橈骨と中手骨が出土している(註1)。埋土中より鍛冶滓が２点出土している。

ＳＢ16（図23）

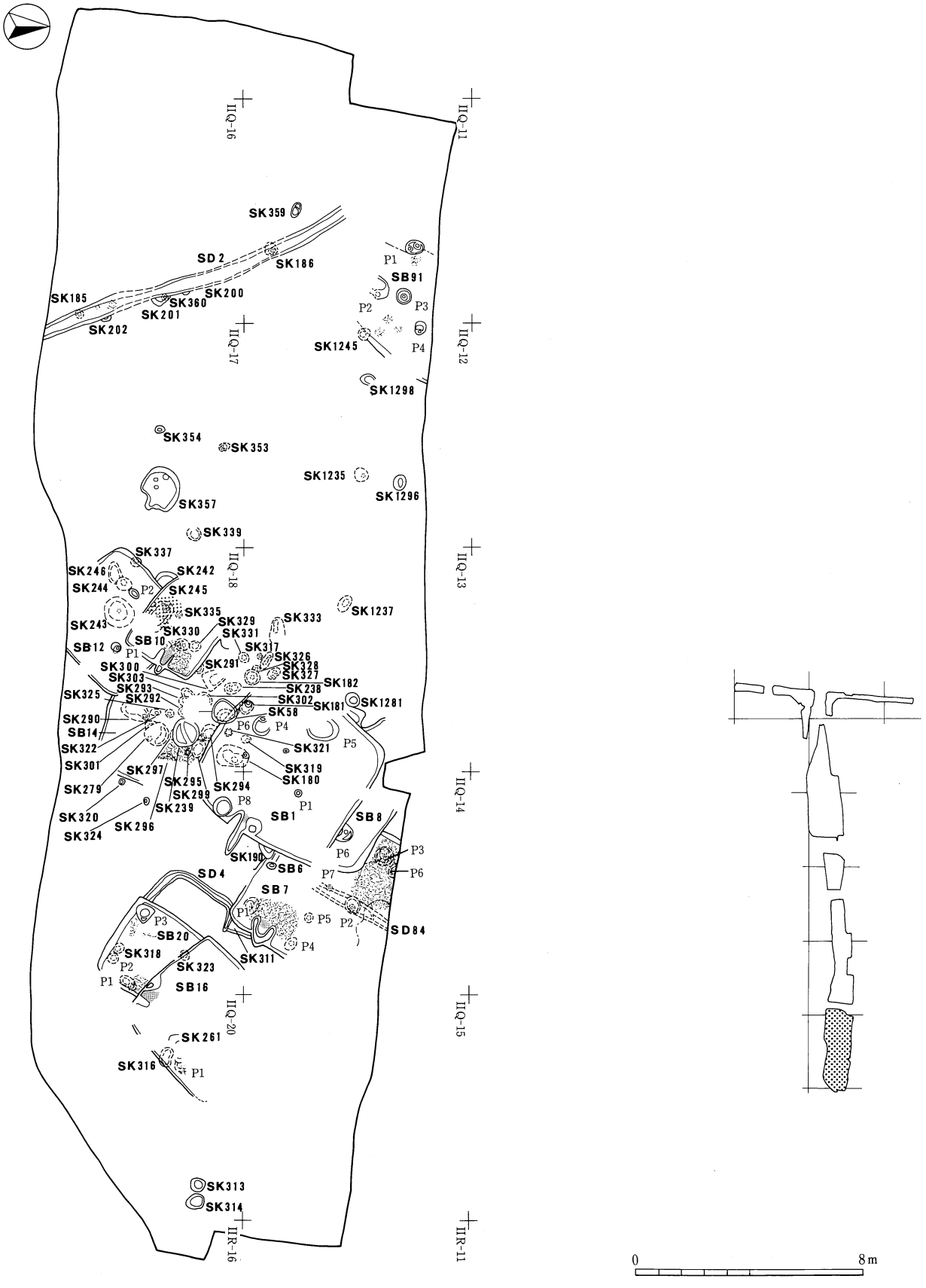
本住居跡のカマドは、南西の壁南よりに破壊された状態で検出された。本住居跡南東壁、中央付近の床面から、およそ16×６㎝の石が８点集中して出土している。埋土中より臼玉（５）が１点出土している。本住居跡の時期は、５世紀末～６世紀中頃、屋代編年の古墳６～７期と認定される。

ＳＢ20（図23、ＰＬ５）

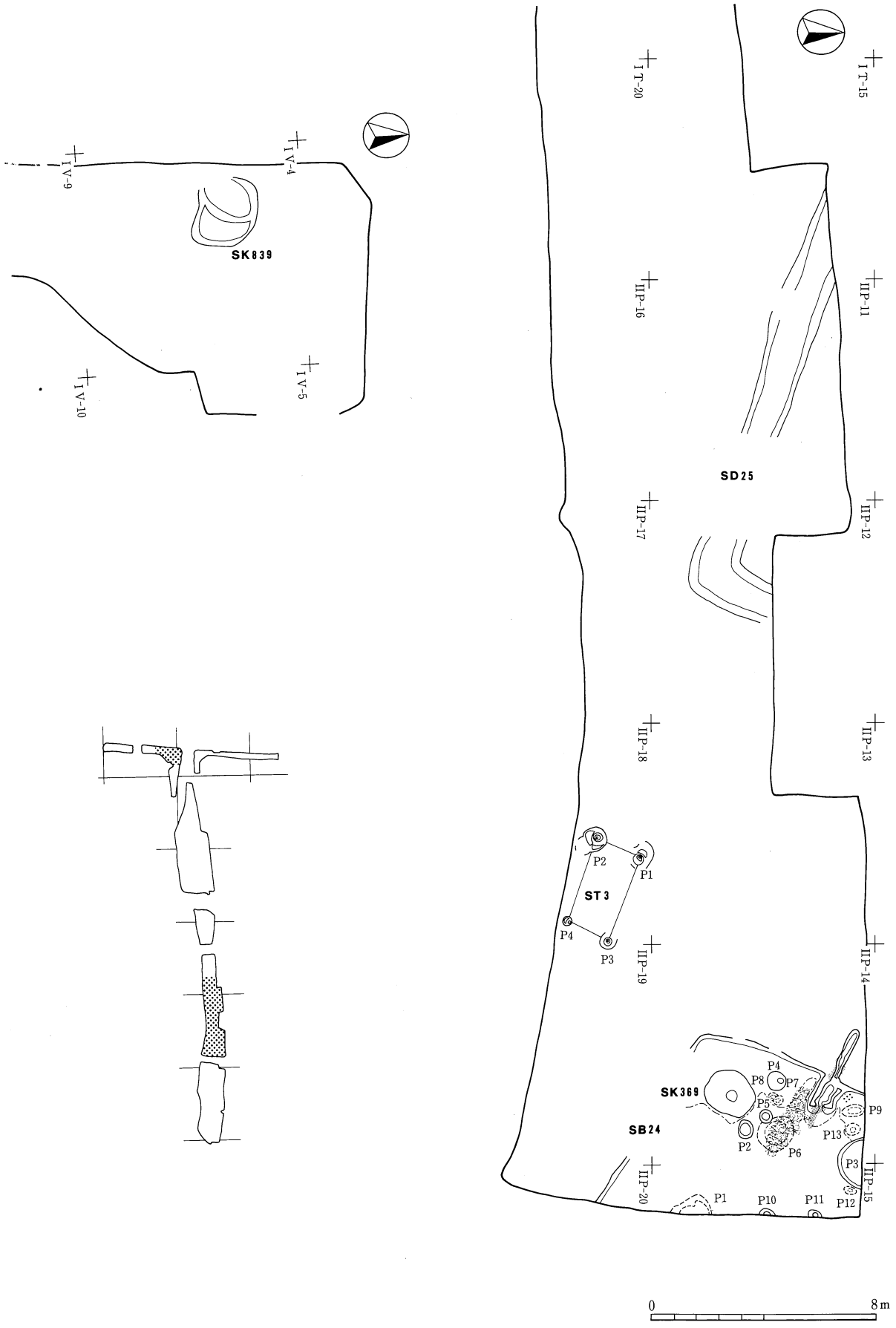
本住居跡は南壁西よりに破壊された状態と推定されるカマドを有し、床下から石製の勾玉模造品（35）が１点出土している。本住居跡の時期は、６世紀前半～７世紀初頭、屋代編年の古墳７～８期と認定される。

ＳＢ24（図24、ＰＬ５）

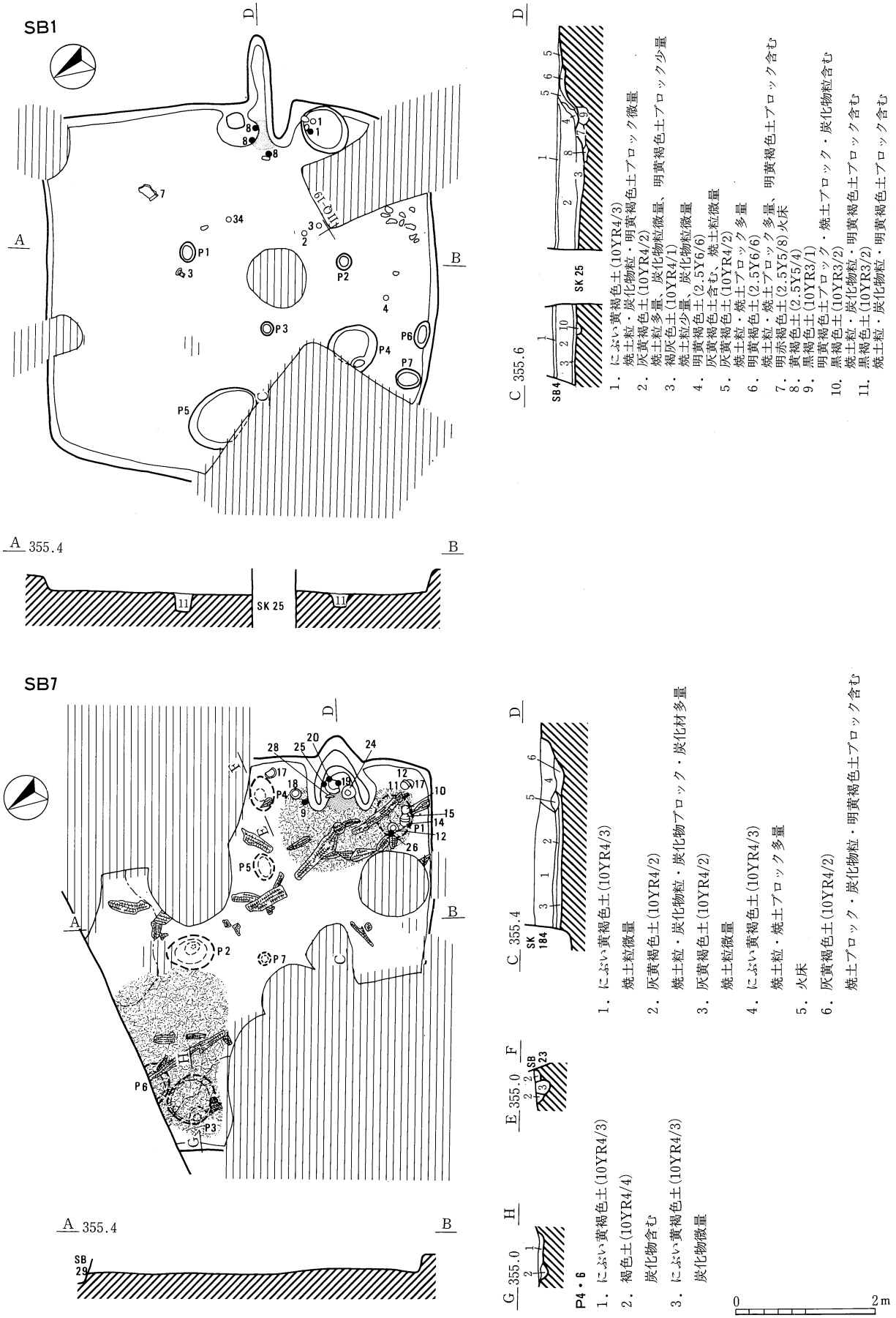
西壁面にカマドを持つやや大型の住居跡である。カマドは粘土により構築されており、天井部は破壊されているものの、袖及び粘土により作られた支脚（69）がカマド中央に残っている。カマド周辺は、床面に炭化物や灰、焼土が廃棄されていた。床面から臼玉24点（6～29）・管玉１点（31）が出土している。ピット３の埋土中より鍛冶滓が１点出土している。本住居跡の時期は、５世紀末～６世紀初頭、屋代編年の古墳６期と認定される。



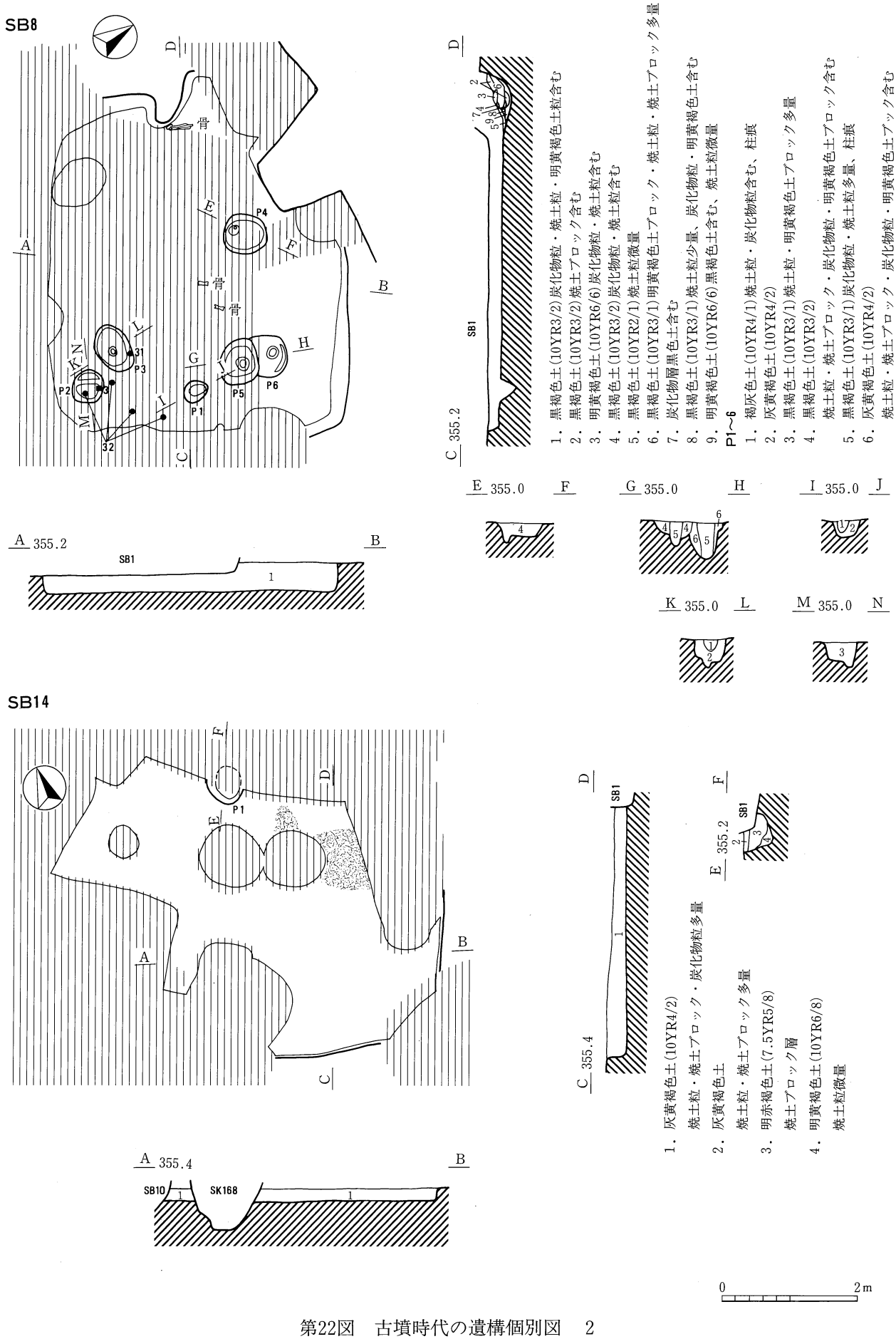
第19図　古墳時代の遺構分布図　1



第20図　古墳時代の遺構分布図　2

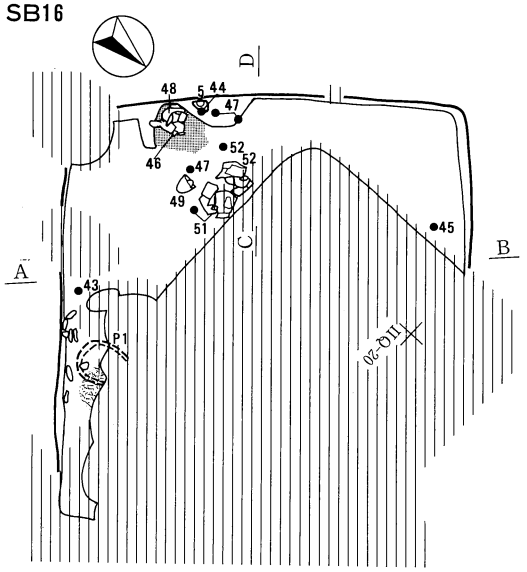


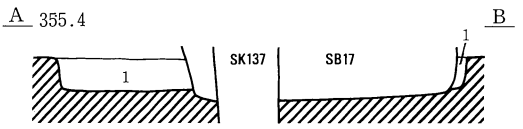
第21図　古墳時代の遺構個別図　1



第22図　古墳時代の遺構個別図　2

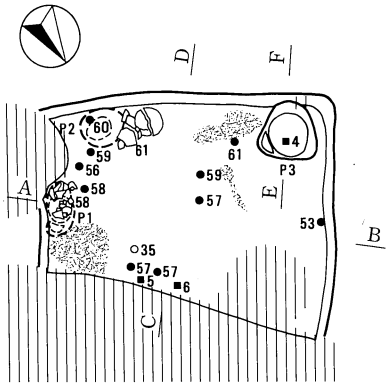
SB16

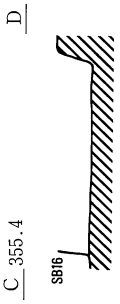


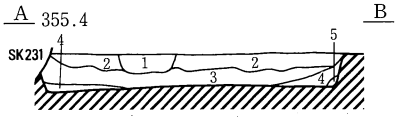


1．灰黄褐色土(10YR4/2)
　明黄褐色土ブロック多量、焼土粒・炭化物粒少量

SB20

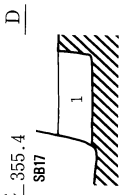




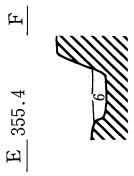


1．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒・炭化物粒・明黄褐色土ブロック微量
2．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒・炭化物粒多量
3．灰黄褐色土(10YR4/2)
　焼土粒・炭化物粒微量、明黄褐色土ブロック含む
4．褐色土(10YR4/4)
　焼土粒微量
5．灰黄褐色土(10YR4/2)
　炭化物粒・明黄褐色土ブロック含む
6．灰黄褐色土(10YR4/2)
　明黄褐色土ブロック含む
　明黄褐色土ブロック含む

SB24 P2～P6・9

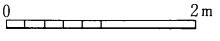


1．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒・炭化物微量
2．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土ブロック多量
3．焼土ブロック
4．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　炭化物・焼土粒多量
5．暗褐色土(10YR3/3)
　褐色土多量
6．暗褐色土(10YR3/3)
　褐色土含む、炭化物・焼土粒微量
7．暗褐色土(10YR3/3)
　炭化物多量、焼土粒・褐色土含む
8．暗褐色土(10YR3/3)
　褐色土多量、炭化物・焼土粒微量
9．暗褐色土(10YR3/3)
　炭化物少量、褐色土含む
10．褐色土(10YR4/4)
　暗褐色土・炭化物・焼土粒微量
11．暗褐色土(10YR3/3)
　褐色土含む
12．炭化物層
　褐色土少量、焼土粒微量
13．暗褐色土(10YR3/3)
　褐色土多量、焼土粒・炭化物少量
14．暗褐色土(10YR3/3)
　焼土粒・焼土ブロック多量、炭化物含む、褐色土少量
15．暗褐色土(10YR3/3)
　褐色土少量
16．暗褐色土(10YR3/3)
　にぶい黄褐色土・焼土粒少量、褐色土・炭化物微量
17．暗褐色土(10YR3/3)
　褐色土多量、灰黄褐色土少量
18．褐色土(10YR4/4)　暗褐色土少量

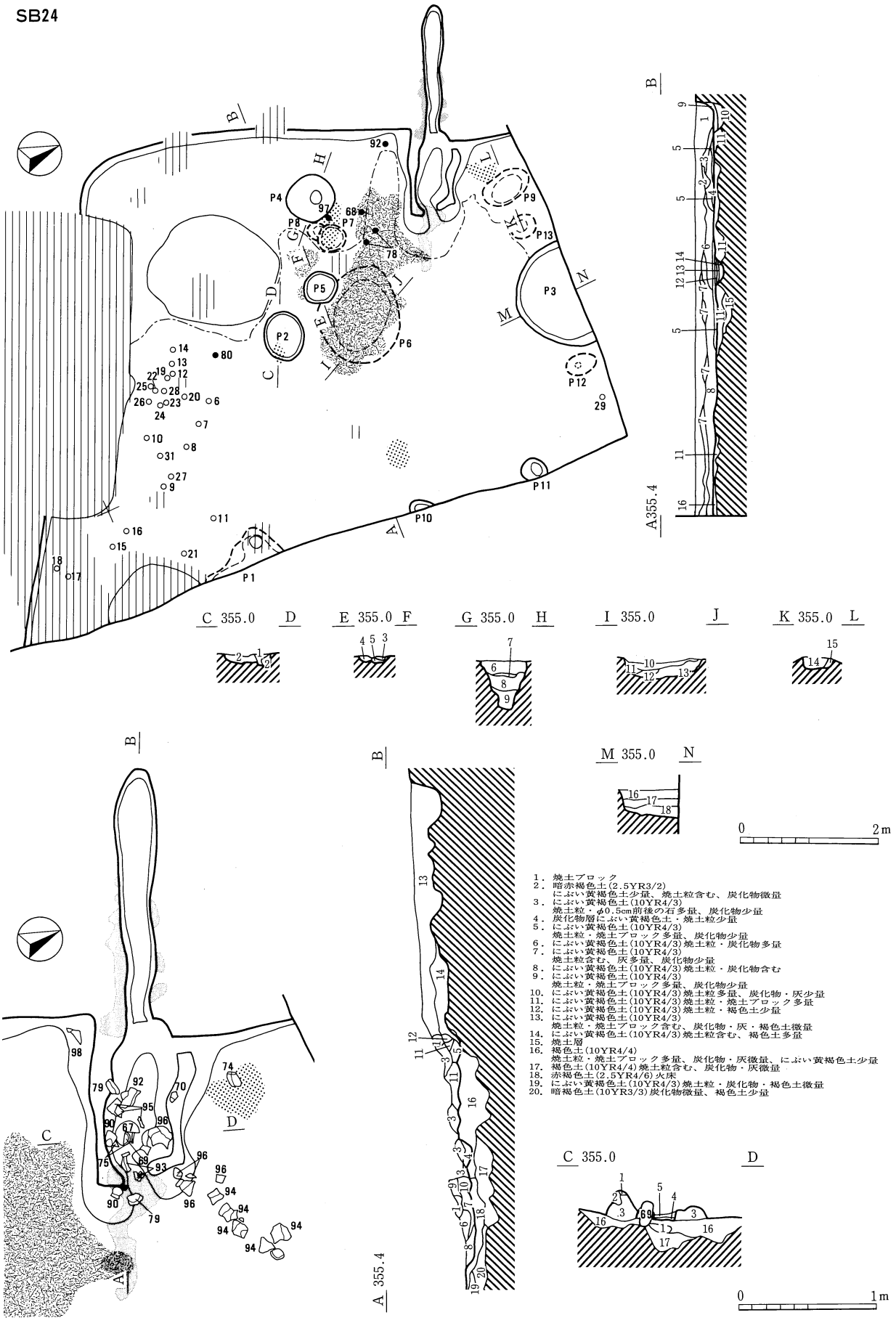


SB24

1．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　鉄分集積
2．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　褐色土含む、炭化物・焼土粒微量
3．灰黄褐色土(10YR4/2)
　褐色土少量、炭化物・焼土粒微量
4．暗褐色土(10YR3/4)
　褐色土多量
5．灰黄褐色土(10YR4/2)
6．褐色土(10YR4/6)
　暗褐色土ブロック微量
7．灰黄褐色土(10YR4/2)
8．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　褐色土含む、焼土粒少量、炭化物微量
9．暗褐色土(10YR3/4)
　褐色土多量
10．暗褐色土(10YR3/4)
　褐色土多量、炭化物・焼土粒微量
11．暗褐色土(10YR3/4)
　褐色土多量
12．炭化物層
13．暗褐色土(10YR3/4)
　褐色土多量
14．暗褐色土(10YR3/4)
　焼土ブロック・炭化物多量
15．褐色土(10YR4/6)
　暗褐色土少量、焼土粒微量
16．褐色土(10YR4/6)
　にぶい黄褐色土少量、炭化物微量

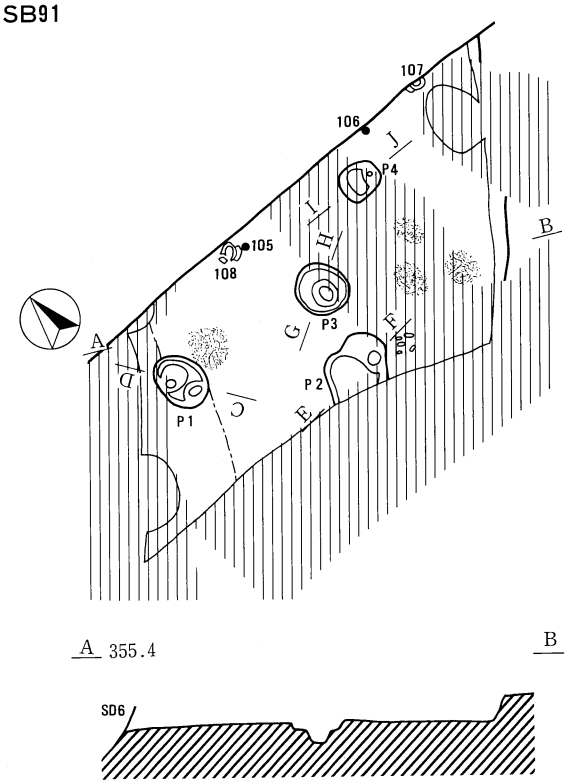


第23図　古墳時代の遺構個別図　3



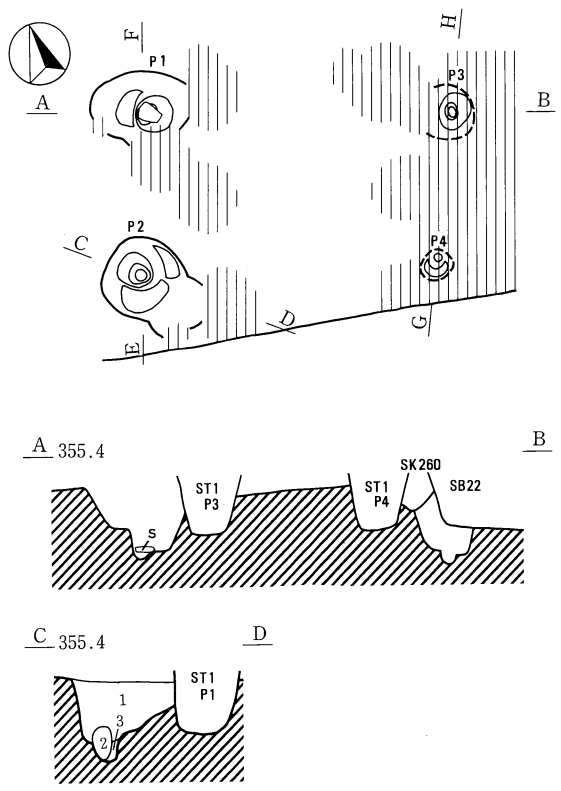
第24図　古墳時代の遺構個別図　4

SB91



1．灰黄褐色土(10YR4/2)
　焼土粒・炭化物粒微量
2．灰黄褐色土(10YR4/2)
　明黄褐色土ブロック含む
3．暗褐色土(10YR3/3)
　炭化物粒・焼土粒・明黄褐色土ブロック多量
4．黒色土(10YR1.7/1)
　焼土粒含む
5．灰黄褐色土(10YR4/2)
　炭化物粒・焼土粒含む、明黄褐色土ブロック多量

ST3



1．暗褐色土(10YR3/3)
　にぶい黄褐色土・黄褐色土ブロック多量
2．灰黄褐色土(10YR4/2)　柱痕
3．にぶい黄褐色土(10YR5/3)
4．灰黄褐色土(10YR4/2)
　褐色土ブロック少量、暗褐色土ブロック微量、底部に鉄分集積
5．暗褐色土(10YR3/3)
　褐色土ブロック多量
6．灰黄褐色土(10YR4/2)
7．にぶい黄褐色土(10YR5/3)
　底部に鉄分集積

0　2m

第25図　古墳時代の遺構個別図　5

表6　古墳時代　竪穴住居跡（SB）一覧

SB番号	時期	実年代比定	仮地区	中地区	図番号	平面形	主軸方位	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	床面積(m²)	カマド数	カマド位置	柱穴数	付属施設掘方	カマド構築材	特徴	色調	土色帳記号	埋土の特徴	遺物出土状況	遺物	遺物図	切合関係（古）	切合関係（新）
1	古墳後期？		1	Q13、14、18、19	19・21	方形	S122°E	5.66	5.54	0.30	28.61	1	東壁やや右	8	なし	粘土	－	にぶい黄褐色、灰黄褐色	10YR4/3.4/2	2層	埋土中より玉など	土器、石器、骨、鉄製品、玉	26・34	SB6、7、8、14 SK180、181、184、190、294	SB4、SK25、68、1144、1146
6	古墳		1	Q14	19	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	煙道のみ	にぶい黄褐色、灰黄褐色	10YR4/3.4/2	2層	－	土器		SB7	SB1
7	古墳6期	5C末～6C初頭	1	Q14、19	19・21	－	S122°E	－	－	0.26	－	1	南東壁右	7	掘方凹凸あり	粘土	焼失住居	にぶい黄褐色、灰黄褐色	10YR4/3.4/2	3層	カマドより甕・壷	土器、石器、骨、鉄製品、炭化材	26・27・33・34	SK311、1292、1293、1294、SD4、84	SB1、6、8、23、29 SK24、154、184、190、1137、1141、1146
8	古墳		1	Q13、14	19・22	方形	N54°W	520	4.48	0.45	19.09	1	北西壁中央	6	なし	－	P.1.3.5.6に柱痕あり	黒褐色	10YR3/2	1層	床面より獣骨埋土中より鉄滓	土器、石器、鉄滓、骨	33	SB7	SB1、4、89 SK25、184、1144、1146、1242
10	古墳		1	Q18	19	－	N22°E	－	－	0.26	－	1	南東壁やや左	－	なし	－	－	にぶい黄褐色	10YR5/3	1層	－	土器、石器		SB12、14 SK242、245、291	SK183、207、211
12	古墳		1	Q18	19	方形	－	－	－	0.21	－	－	－	2	なし	－	－	灰黄褐色	10YR4/2	1層	床面より杯・甕	土器、石器		SB14 SK242、243、244、246	SB2、10 SK41、76、77、85、142、143、161、211、232
14	古墳5～6期（古相）	5C中頃～5C末	1	Q13、18、19	19	－	－	－	－	0.17	－	－	－	1	なし	－	－	灰黄褐色	10YR4/2	1層	埋土中より鉄滓	土器、石器、骨、鉄滓	27	SK236、238、279、290、291、292、293、294、295、296、297、298、299、300、301、302、303、320	SB1、4、10、12、SK41、70、75、162、168、194、239
16	古墳6～7期	5C末～6C中頃	1	Q19、20	19・23	－	－	－	－	0.33	－	1	南西壁左	1	なし	－	－	灰黄褐色	10YR4/2	1層	埋土中より玉など、床面より杯・壷など、カマドより甕	土器、石器、玉	28・34	SB20	SB17、SK7、10、170、171、172、191、214、247、261、278
20	古墳7～8期	6C前半～7C初頭	1	Q19、20	19・23	－	－	－	－	0.35	－	1	南壁右	2	掘方凹凸あり	－	－	にぶい黄褐色灰黄褐色、褐色	10YR4/2～4/4	5層	床より杯・甕など、床下より石製模造品	土器、石器	29・33・34	SD4	SB16 SK36、38、59、170、231
24	古墳6期	5C末～6C初頭	2	P14、15、19、20	22・24	－	N65°W	－	－	0.45	－	1	西壁	13	掘方凹凸あり	粘土	部分的に床が焼けている、堅固な貼床	にぶい黄褐色	10YR4/3	4層	P3より鉄滓、床面より玉、カマドと周辺より土器多い	土器、石器、骨、鉄滓、玉、ベンガラ、銅製品	29・30・31・33・34	SD5 SK369、1308	SB11、SK220、221、222、258、274、286、288、304、345、1255、1256
91	古墳5～6期（古相）	5C中頃～5C末	1	Q11、12	19・25	－	－	－	－	0.29	－	－	－	4	－	－	一部貼床	黒褐色	10YR3/1～3/2	4層	床面より甕など	土器、石器	31	SK1245	SD6、SK1142、1143、1157、1234、1243

表7　古墳時代　溝（SD）一覧

仮地区	SD番号	時期	中地区	図番号	平面形	流路方向	全長(m)	最大幅(m)	深さ(m)	色調	土性	堆積状況	遺物出土状況	遺物図	切合関係（古）→（新）	備考
1	2	古墳	Q11、16、17	19	直線的	南東～北西	(11.20)	0.68	0.39	灰黄褐色	シルト	1層	土器		SK185、186、200、201、202→	
1	4	古墳	Q19	19	2ケ所で屈曲、直線的	—	5.98	0.34	0.36	黒褐色	シルト	1層	—		SK311→SB7、20	建物跡？
2	25	古墳	P11、12	20	1ケ所で屈曲、直線的	北西～東南南西～北東	(18.20)	1.60	0.63	褐灰色	シルト	3層 明黄褐色土ブロックを多く混入	土器、石器		SK633、1301→SB37、SD23、24 SK1185	
1	84	古墳	Q14	19	直線的	北～南	(3.10)	0.42	0.26	黒褐色	シルト	1層	—		→SB7、SK1293	

表8－1　古墳時代　土坑（SK）一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
1	58	古墳	19	Q18	円形	A	0.88	0.80	0.08	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層 炭化物を多量に混入 焼土粒・焼土ブロックを多く混入	土器、石器、鉄滓	33	
1	180	古墳	19	Q13、18	楕円形	E	1.16	0.73	0.81	黒褐色	10YR3/2	1層	土器		
1	181	古墳	19	Q13、18	楕円形	E	0.56	0.50	0.28	黒褐色	10YR3/2	1層	—		
1	182	古墳	19	Q13	円形	E	0.56	0.52	0.71	黒褐色	10YR3/2	1層	土器		
1	185	古墳	19	Q16	円形	A	0.30	0.26	0.17	暗褐色	7.5YR3/4	1層	石器		
1	186	古墳	19	Q11	円形	E	0.50	0.46	0.48	暗褐色	7.5YR3/4	1層	—		
1	190	古墳	19	Q14	不整形	G	0.78	0.60	0.52	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	200	古墳	19	Q16	—	—	—	—	—	暗褐色	7.5YR3/4	1層	—		
1	201	古墳	19	Q16	—	—	—	—	—	暗褐色	7.5YR3/4	1層	土器		
1	202	古墳	19	Q16	円形	C	0.28	0.24	—	暗褐色	7.5YR3/4	1層	—		
1	238	古墳	19	Q18	楕円形	G	0.54	0.42	0.21	灰黄褐色	10YR4/2	1層 明黄褐色土ブロックを多く混入	土器		
1	239	古墳	19	Q18	円形	G	0.98	0.98	0.41	灰黄褐色	10YR4/2	2層 焼土粒・焼土ブロック 炭化物粒・炭化物ブロックを多量に混入	土器、骨		
1	242	古墳	19	Q18	円形	C	1.04	1.00	0.68	灰黄褐色	10YR4/2	2層 焼土粒・焼土ブロック・明黄褐色土ブロックを多く混入	土器		
1	243	古墳	19	Q18	円形	B	1.10	1.06	0.26	黒褐色	10YR3/1	1層	土器		
1	244	古墳	19	Q18	楕円形	B	0.60	0.46	0.51	黒褐色	10YR3/1	1層	—		
1	245	古墳	19	Q18	楕円形	O	—	0.64	0.26	黒褐色	10YR3/1	2層 焼土粒・焼土ブロック・明黄褐色土ブロックを多量に混入	土器		
1	246	古墳	19	Q18	不整形	C	—	—	0.17	黒褐色	10YR3/1	1層 明黄褐色土ブロックを多く混入	—		
1	261	古墳	19	Q20	—	A	—	—	0.48	褐色	7.5YR4/3	1層 明黄褐色土ブロックを多く混入	土器		
1	279	古墳	19	Q18	円形	G	0.90	0.82	0.72	灰黄褐色～黒褐色	10YR4/2～3/2	2層 焼土粒・焼土ブロックを多量に混入	土器		
1	290	古墳	19	Q18	楕円形	E	1.04	—	0.21	灰黄褐色～明赤褐色	10YR4/2～2.5YR5/8	1層 焼土粒・焼土ブロックを多量に混入	土器、石器		
1	291	古墳	19	Q18	円形	A	0.40	0.36	0.20	灰黄褐色～明赤褐色	10YR4/2～2.5YR5/8	1層 焼土粒・焼土ブロックを多量に混入	土器		
1	292	古墳	19	Q18	—	—	—	—	—	灰黄褐色～明赤褐色	10YR4/2～2.5YR5/8	1層 焼土粒・焼土ブロックを多量に混入	土器		
1	293	古墳	19	Q18	—	—	—	—	—	灰黄褐色～明赤褐色	10YR4/2～2.5YR5/8	1層 焼土粒・焼土ブロックを多量に混入	土器		
1	294	古墳	19	Q18	不整形	B	0.60	0.44	0.28	灰黄褐色～明赤褐色	10YR4/2～2.5YR5/8	1層 焼土粒・焼土ブロックを多量に混入	土器	32	
1	295	古墳	19	Q18	楕円形	A	0.30	0.18	0.08	暗褐色	10YR3/4～3/3	1層 焼土粒・焼土ブロックを多量に混入	—		
1	296	古墳	19	Q18	—	—	—	—	—	灰黄褐色～明赤褐色	10YR4/2～2.5YR5/8	1層 焼土粒・焼土ブロックを多量に混入	土器		
1	297	古墳	19	Q18	—	—	—	—	—	灰黄褐色～明赤褐色	10YR4/2～2.5YR5/8	1層 焼土粒・焼土ブロックを多量に混入	土器		
1	298	古墳	19	Q18	—	B	—	—	0.21	灰黄褐色～明赤褐色	10YR4/2～2.5YR5/8	1層 焼土ブロックを多量に混入	土器		
1	299	古墳	19	Q18	不整形	G	0.64	0.44	0.18	灰黄褐色～明赤褐色	10YR4/2～2.5YR5/8	1層 焼土ブロックを多量に混入	土器		
1	300	古墳	19	Q18	不整形	G	—	—	0.12	灰黄褐色～明赤褐色	10YR4/2～2.5YR5/8	1層 焼土ブロックを多量に混入	—		

表8－2　古墳時代　土坑（SK）一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
1	301	古墳	19	Q18	－	－	－	－	－	明灰褐色～褐色	2.5YR5/8～10YR4/4	2層　焼土粒・焼土ブロックを多量に混入	－		
1	302	古墳	19	Q18	－	－	－	－	－	灰黄褐色～明赤褐色	10YR4/2～2.5YR5/8	1層　焼土ブロックを多量に混入	土器		
1	303	古墳	19	Q18	－	－	－	－	－	灰黄褐色～明赤褐色	10YR4/2～2.5YR5/8	1層　焼土ブロックを多量に混入	－		
1	311	古墳	19	Q14、19	－	－	－	－	(0.36)	黒褐色	10YR3/2	1層	－		
1	313	古墳	19	Q20	円形	C	0.56	0.54	0.28	黒褐色	10YR3/2	1層　明黄褐色土ブロックを多く混入	土器		
1	314	古墳	19	Q20	不整形	A	0.65	0.60	0.20	黒褐色	10YR3/2	1層　明黄褐色土ブロックを多く混入	土器		
1	316	古墳	19	Q20	不整形	C	0.80	0.44	0.15	黒褐色	10YR3/2	1層	－		
1	317	古墳	19	Q13	円形	A	0.20	0.16	0.15	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
1	318	古墳	19	Q19	楕円形	A	0.40	0.30	0.07	黒褐色	10YR3/2	1層	石器		
1	319	古墳	19	Q13、18	楕円形	E	0.32	0.26	0.52	黒褐色	10YR3/2	1層	－		
1	320	古墳	19	Q19	円形	A	0.22	0.22	0.07	黒褐色	10YR3/2	1層	－		
1	321	古墳	19	Q18	円形	A	0.28	0.28	0.15	黒褐色	10YR3/2	1層	－		
1	322	古墳	19	Q18	楕円形	E	0.40	0.24	0.43	黒褐色	10YR3/2	1層	土器		
1	323	古墳	19	Q19	円形	A	0.34	0.30	0.11	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
1	324	古墳	19	Q19	円形	A	0.28	0.26	0.08	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
1	325	古墳	19	Q18	円形	A	0.34	0.32	0.14	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
1	326	古墳	19	Q13	楕円形	C	0.66	0.24	0.24	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器		
1	327	古墳	19	Q13	不整形	D	0.50	0.24	0.29	黒褐色	10YR3/2	1層	－		
1	328	古墳	19	Q13	円形	A	0.28	0.24	0.09	黒褐色	10YR3/2	1層	－		
1	329	古墳	19	Q18	円形	A	0.48	0.42	0.12	黒褐色	10YR3/2	1層	土器		
1	330	古墳	19	Q18	円形	E	0.50	0.44	0.32	黒褐色	10YR3/2	1層	土器		
1	331	古墳	19	Q13、18	円形	A	0.32	0.28	0.16	黒褐色	10YR3/2	1層	土器		
1	333	古墳	19	Q13	楕円形	C	－	0.48	0.35	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
1	335	古墳	19	Q18	円形	A	0.22	0.22	0.08	黒褐色	10YR3/2	1層	－		
1	337	古墳	19	Q18	円形	C	0.38	0.34	0.50	黒褐色	10YR3/2	1層	－		
1	339	古墳	19	Q17	円形	A	0.66	0.58	0.13	黒褐色	10YR3/2	1層	－		
1	353	古墳	19	Q17	楕円形	E	0.38	0.28	0.32	黒褐色	10YR3/2	1層	－		
1	354	古墳	19	Q17	円形	A	0.36	0.32	0.11	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
1	357	古墳	19	Q17	不整形	G	1.56	1.32	0.37	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
1	359	古墳	19	Q11	楕円形	G	0.54	0.29	0.16	黒褐色	10YR3/2	1層	土器		
1	360	古墳	19	Q16	円形	C	0.26	0.24	0.32	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
2	369	古墳	20	P14	不整形	C	1.82	1.60	1.27	褐灰色～暗褐色	10YR4/1～3/4	1層	土器、石器		
6	839	古墳後期?	20	V4	不整形	－	－	－	0.36	灰黄褐色～褐色	10YR4/2～4/4	7層　炭化物・焼土粒を多く混入	土器、石器	32・33	
1	1235	古墳	19	Q12	円形	A	0.50	0.47	0.39	黒褐色	10YR3/2	1層　炭化物粒・焼土粒・明黄褐色土ブロックを多く混入	土器		
1	1237	古墳	19	Q13	楕円形	A	0.60	0.45	0.45	黒褐色	10YR3/1	1層	土器		
1	1245	古墳	19	Q12	円形	E	0.40	0.36	0.30	暗褐色	10YR3/4	1層	土器		
1	1281	古墳	19	Q13	円形	C	0.50	0.48	0.27	黒褐色	10YR2/2	1層	土器		
1	1296	古墳	19	Q12	円形	B	0.54	0.46	0.66	黒褐色	10YR3/2	1層	－		
1	1298	古墳	19	Q12	円形	C	0.50	0.46	0.16	黒褐色	10YR2/2	1層	－		

ＳＢ91（図25）

本住居跡ピット２東側の床面から、およそ９×４㎝の石が５点出土している。本住居跡の時期は、５世紀中頃～５世紀末、屋代編年の古墳５～６期古相と認定される。

(2)　掘立柱建物跡（図25）

古墳時代の掘立柱建物跡は２区から１棟検出されている。ＳＴ３は、２区の南端に位置し調査区の外側に続くと思われ、また古代の遺構にも切られている為全体はわからない。南北１間、東西１間の建物で、軸は東へ20°ふれている。柱間寸法は東西方向が315～330㎝とやや不規則で、南北方向はほぼ160㎝と一定である。掘り方は楕円形に近く、深さは70～90㎝である。柱痕はピット２・３にみられ、径20㎝ほどで円形である。ピット１は底部に礎石と思われる板状の石が配されていた。

(3)　溝

古墳時代の溝跡は、１区から３条、２区から１条検出されている。ＳＤ25は２区調査区の北側から南東の方向に直線的に伸び北東方向に直角に折れ、人工的な溝と思われる。古代の遺構に切られている。本溝跡の時期は、埋土と切り合いなどから古墳としたが、前時期まで、遡る可能性がある。溝の概要は、表７に示した。

(4)　土坑

古墳時代の土坑は69基で、２区と６区で１基ずつ検出された以外は、すべて１区に分布する。土坑の概要は表８に示した。

２　遺物

(1)　土器・土製品

古墳時代の遺構から出土した土器・土製品は、10箱である。ここでは、全てを紹介することができないため、各遺構の時期を推定できる資料を中心に図示し（図26～32）、掲載した遺物の属性を一覧表（表10）に示した。器種分類は屋代遺跡群高速道地点の分類に準じた。

(2)　石器

古墳時代に該当する遺構から出土した資料は石器118点である。出土層位を重視して報告する為、形式的に所属時期が異なる石器であっても、出土遺構の時代により、本項にて扱うこととした。遺物中14点が石器製作に伴い石屑として弾き出された資料で、78点が道具として認定できた石器である。その内訳については表９に示した。ここでは、全てを紹介することができないため、主なもの９点を図示し（図33）、掲載した遺物の属性を一覧表（表11）に示した。

表９　古墳時代出土石器組成表

名称	総数	原石	剥　片	砕　片	石鏃	刃器	敲石	磨石	砥石	台石	こもあみ石	玉石	みがき石
数量	118	26	9（565.5）	5（4.75）	1	2	7	6	6	1	45	2	8

（　）内は数量〈ｇ〉を示す

(3)　玉類・石製模造品

本遺跡から出土した、古墳時代の玉類・石製模造品は、ガラス玉１点、臼玉29点、管玉５点、勾玉１点である。石製模造品は勾玉模造品と剣形模造品の２点が出土している。後者は古代の住居跡からの出土であるが、本項で扱うこととする。出土した玉類はそのほとんどが住居跡床面からの出土である。以下に住

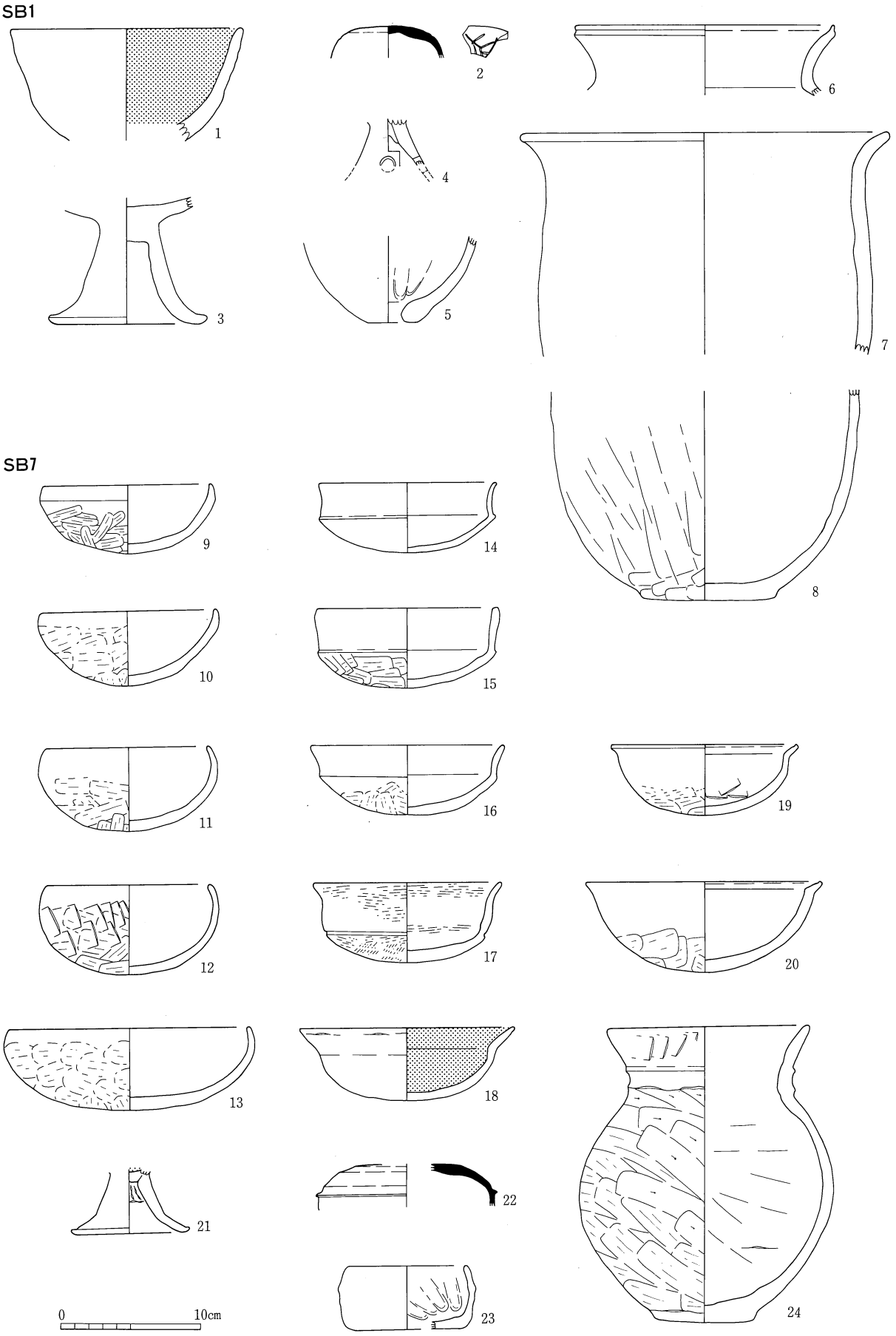
居跡出土の資料を中心に図示し（図34）、掲載した遺物の属性を一覧表（表12）に示した。

(4)　金属製品・鉄生産関連遺物

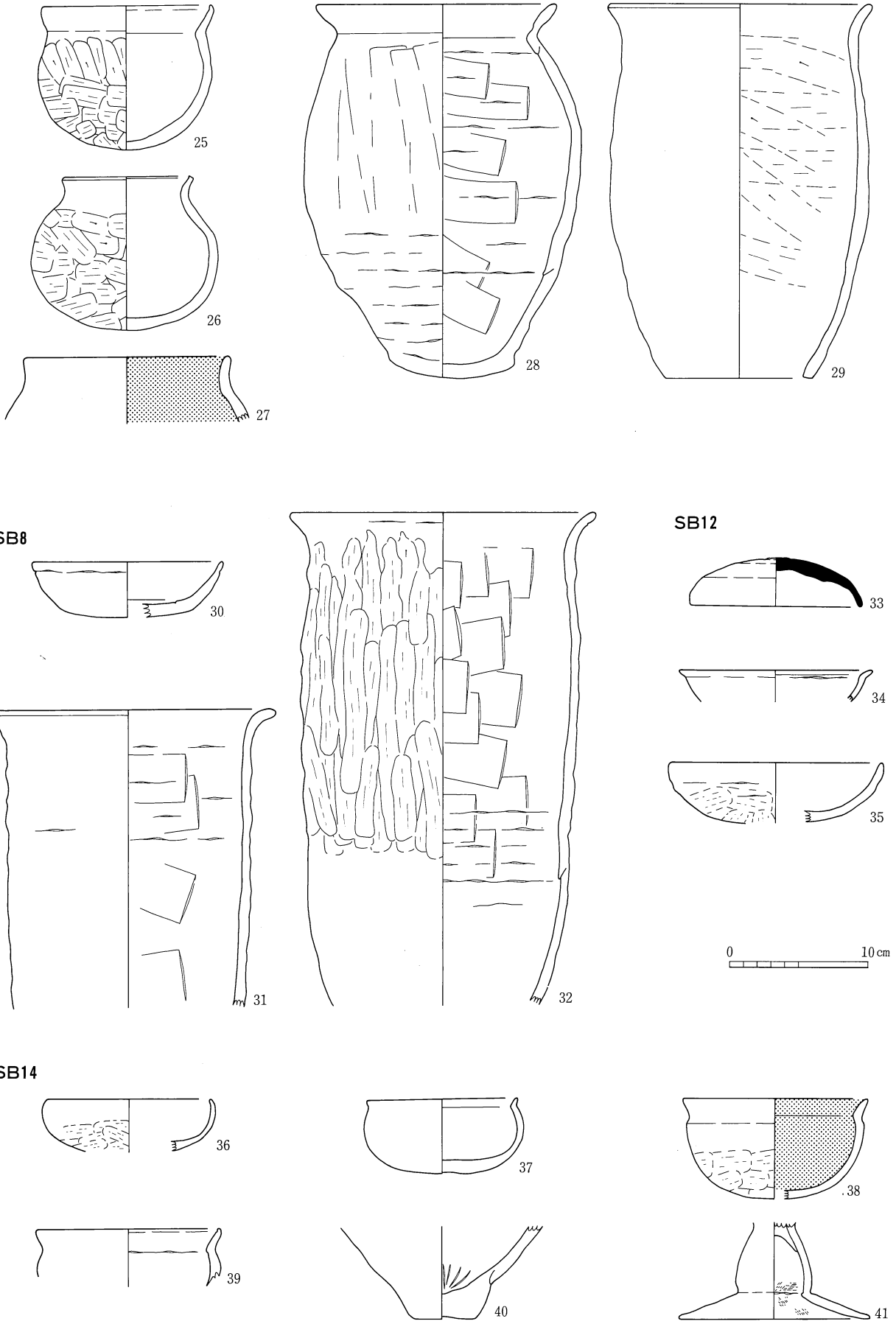
古墳時代に該当する遺構から出土した金属製品は３点、鉄生産関連遺物は、５点27.2ｇである。金属製品のうち２点は鉄製品で、もう１点は銅製品である。いずれも住居跡からの出土である。うち、器種のわかる鉄製品のみ２点を図示した（図34）。１は、ＳＢ１の埋土中からの出土で、鎌刃部の接合部付近の破片である。現存する長さは５㎝、幅3.2㎝、厚さ0.2㎝を計る。２は、ＳＢ７の埋土中からの出土で、先端が欠損した角釘である。現存する長さは5.3㎝、幅1.3㎝、厚さ0.8㎝を測る。鉄生産関連遺物は全て鍛冶滓で、４点が住居跡埋土中より、残る１点が土坑埋土中より出土している。

註

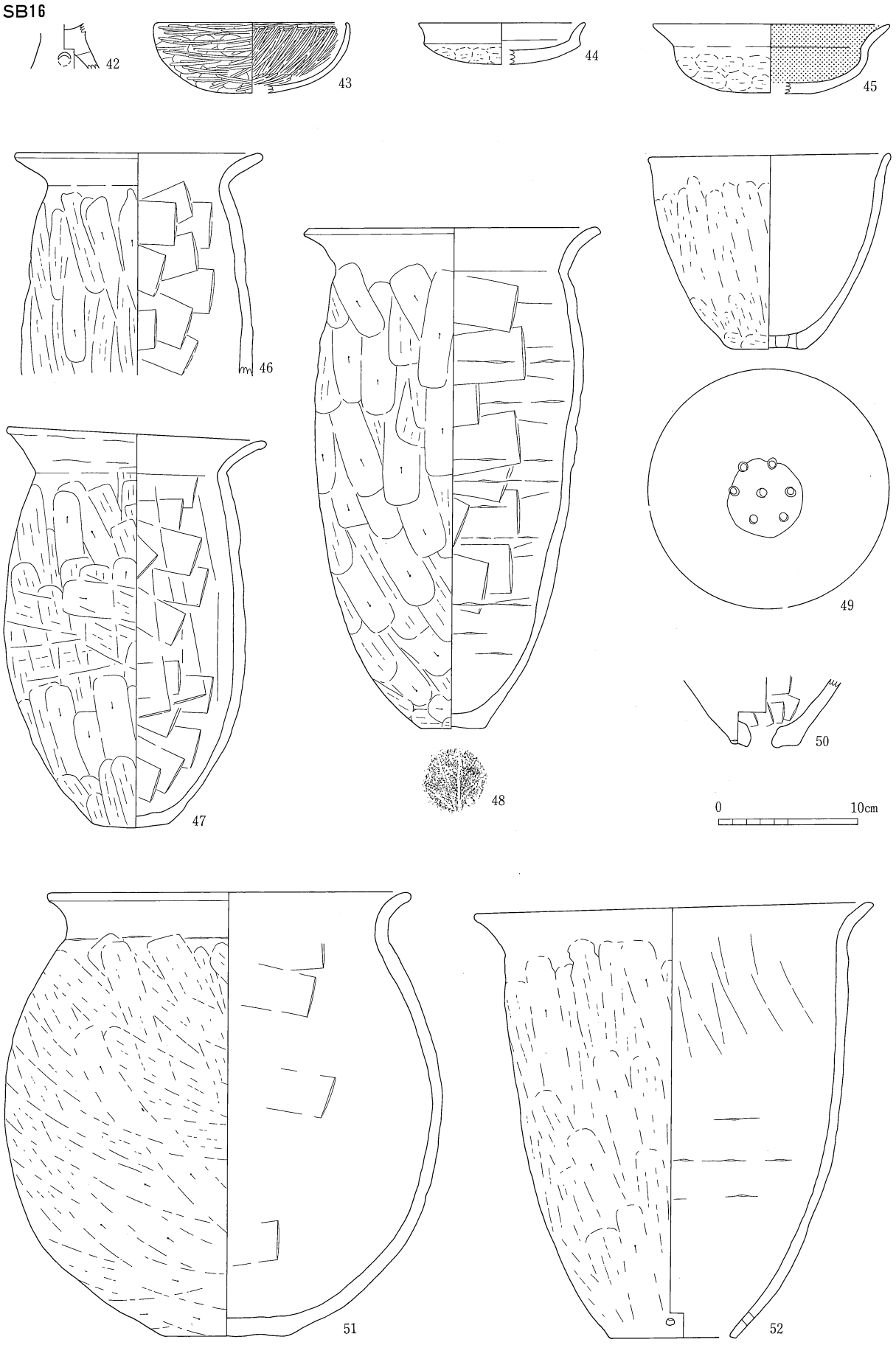
1　茂原信生氏の御教示による。



第26図　古墳時代の土器　1

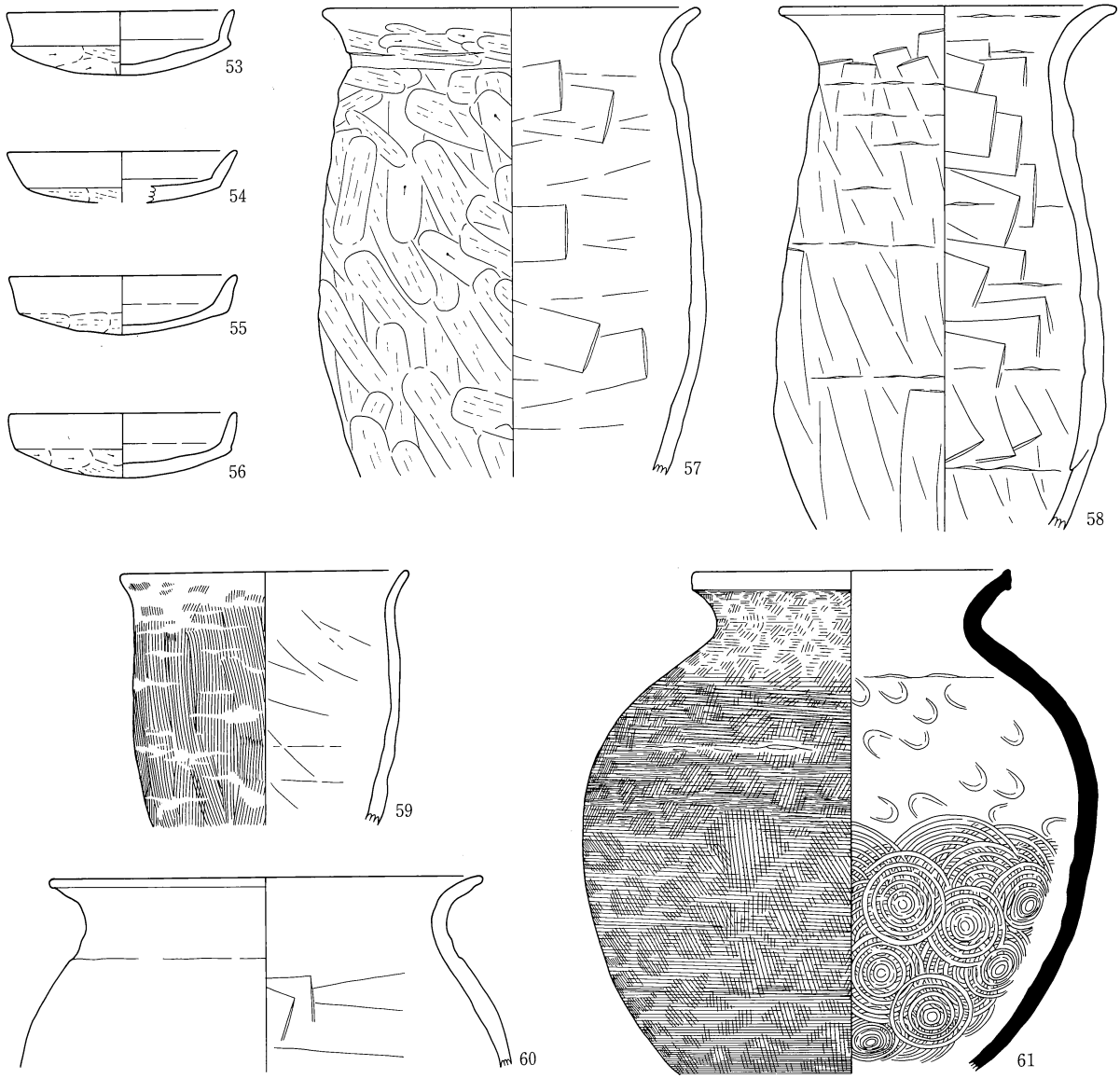


第27図　古墳時代の土器　2

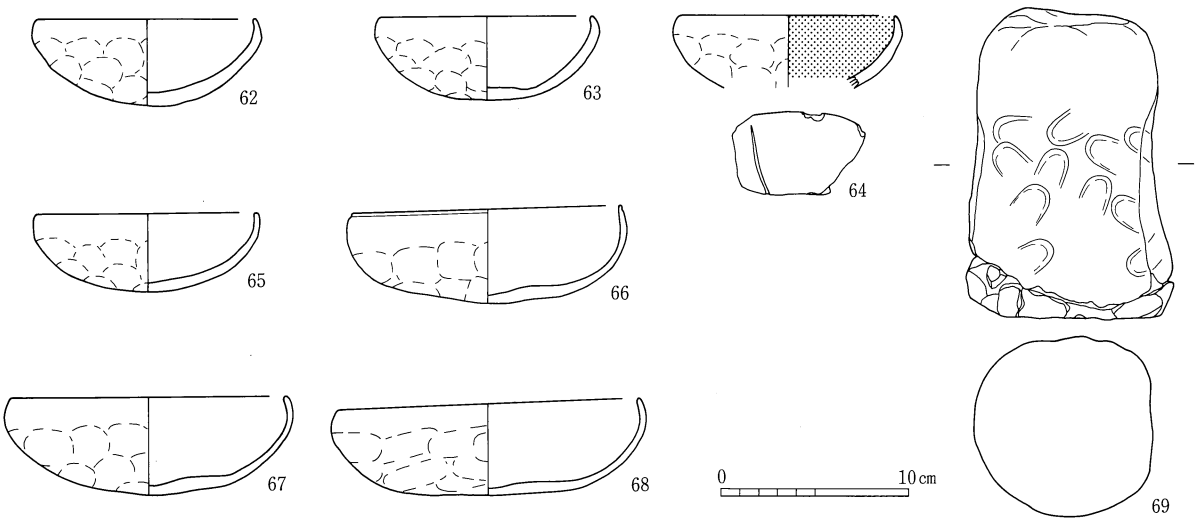


第28図　古墳時代の土器　3

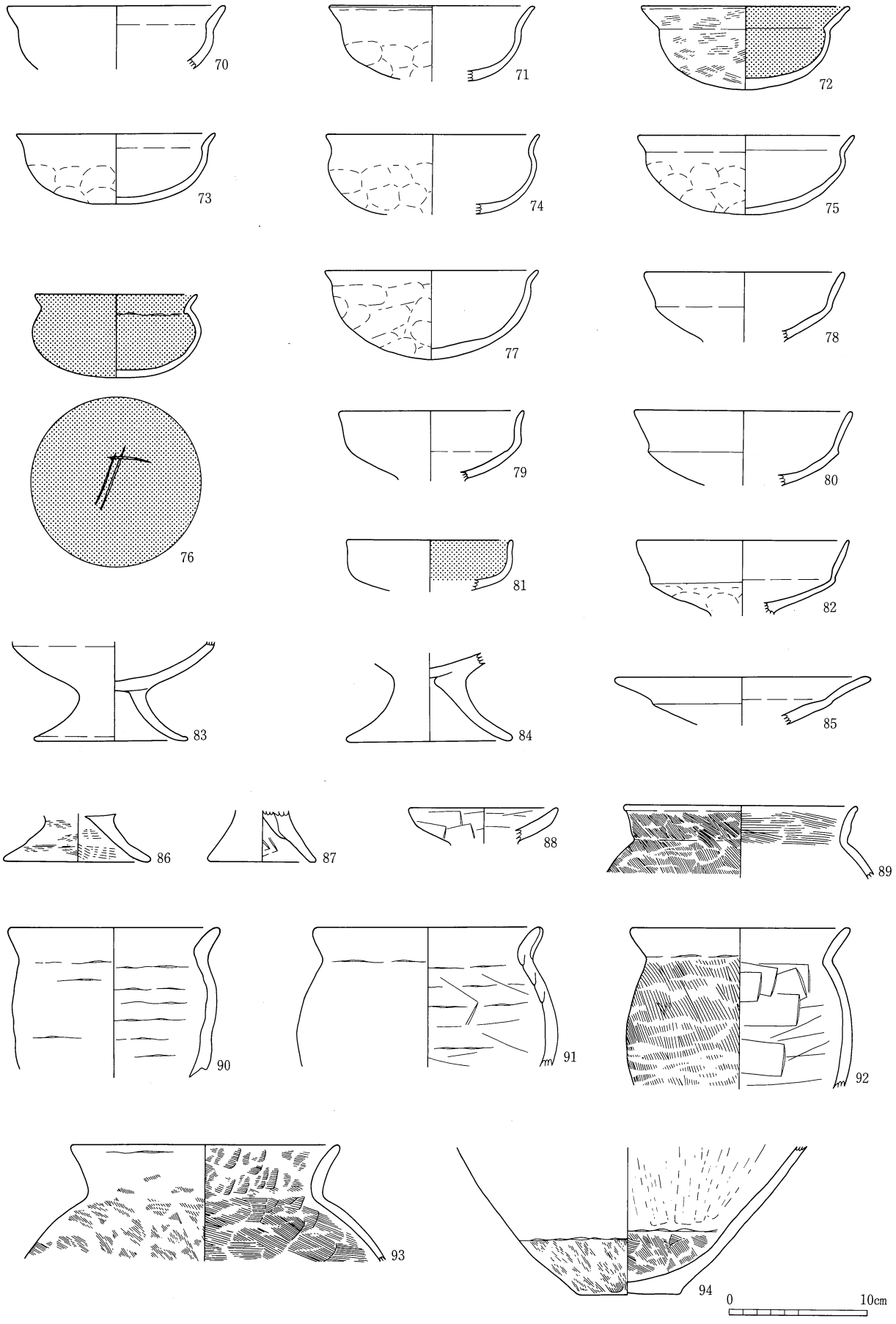
SB20



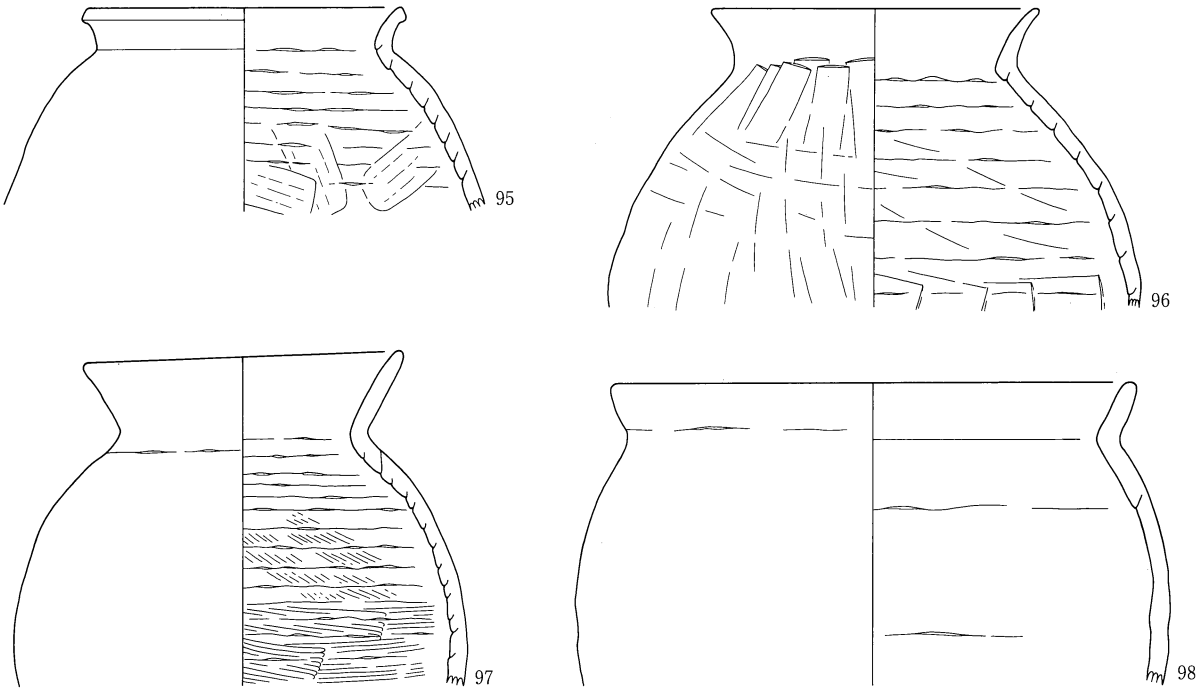
SB24



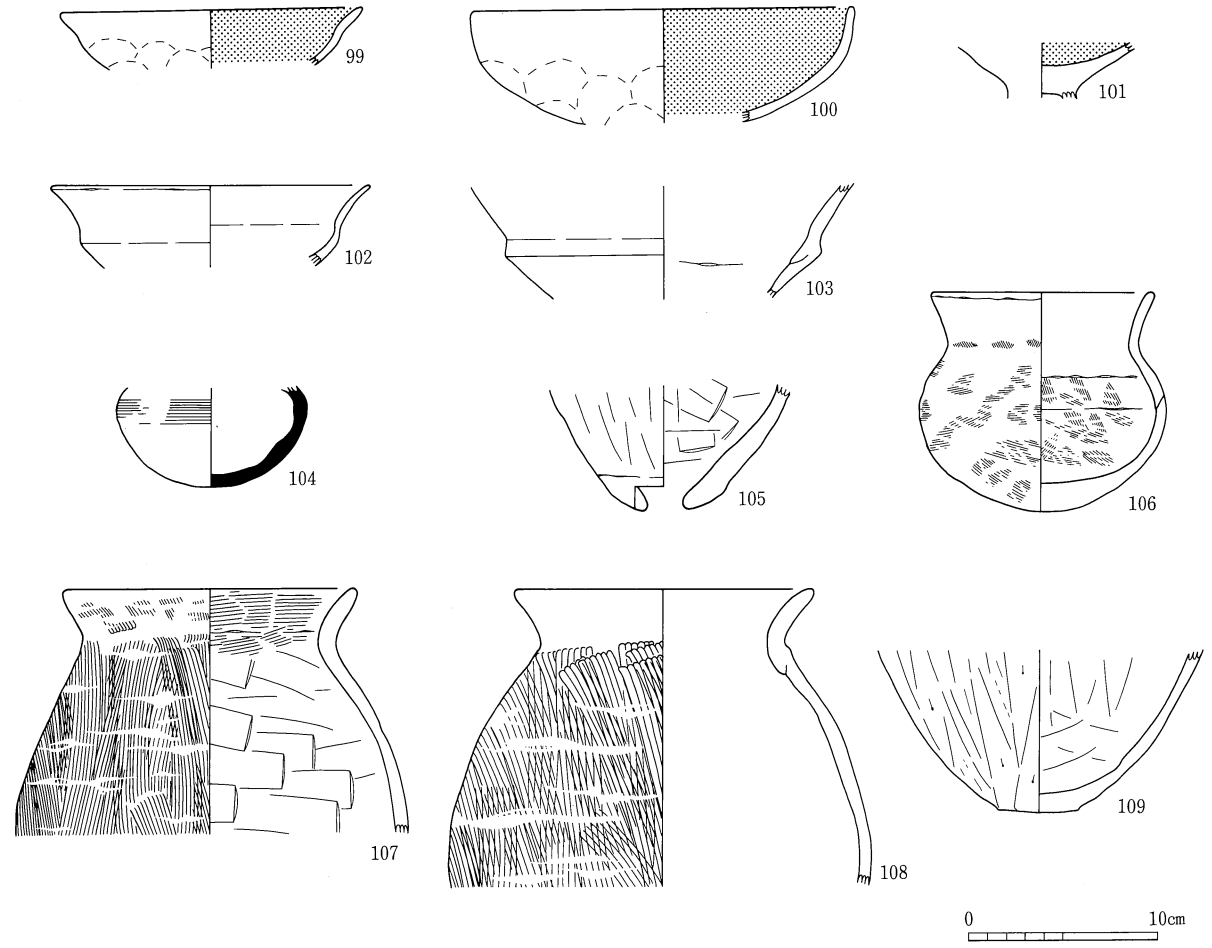
第29図　古墳時代の土器　4



第30図　古墳時代の土器　5

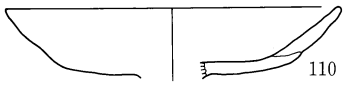


SB91

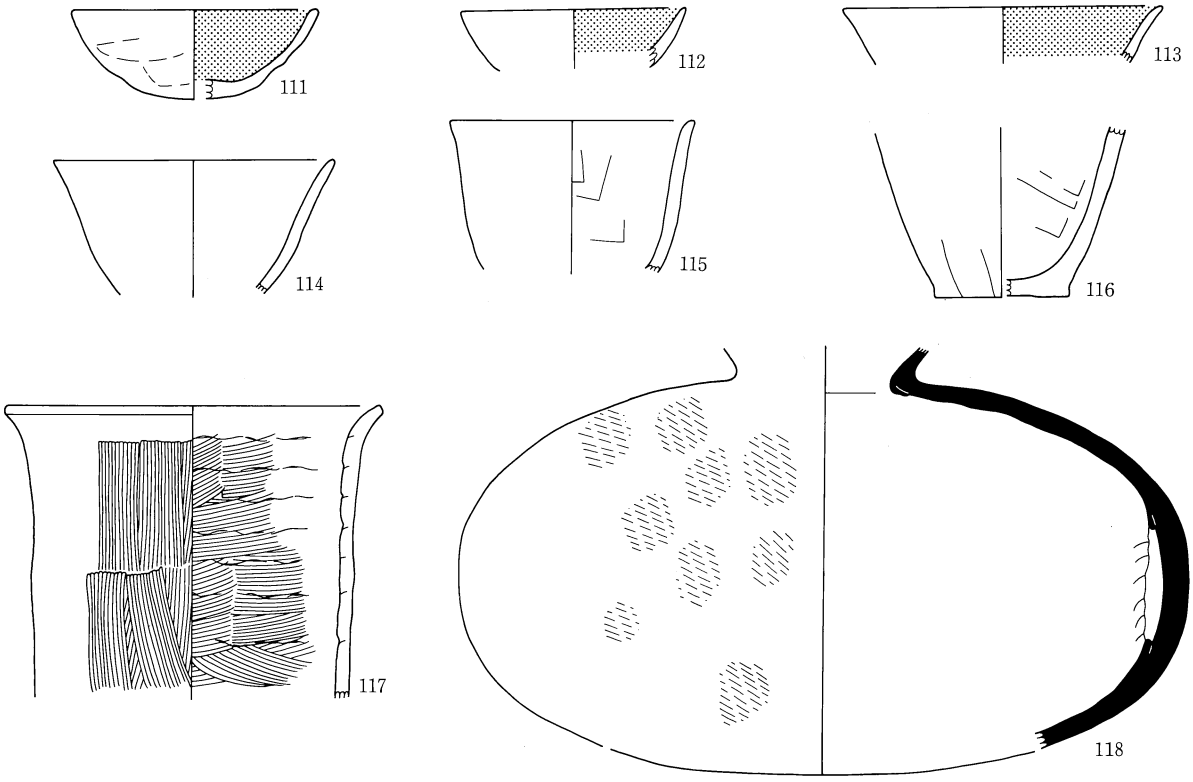


第31図　古墳時代の土器　6

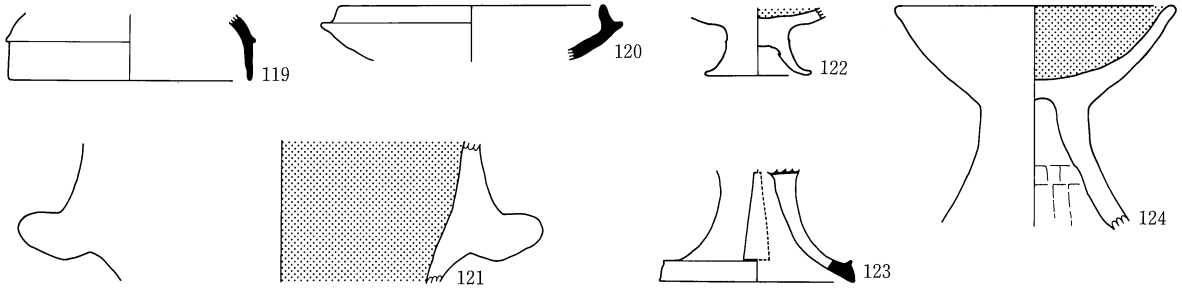
SK294



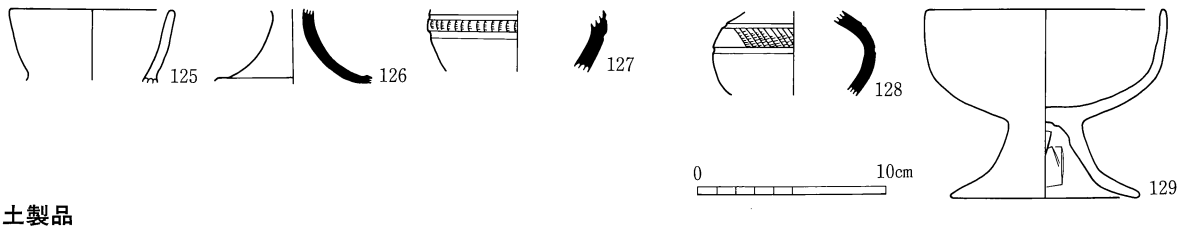
SK839



1区



2区



土製品

第32図　古墳時代の土器　7　土製品

表10－１　古墳時代の土器・土製品一覧

遺構番号	図番号	報告書番号	出土位置	器種	焼き物種別	口径	底径	器高	残存率	色　調	外面整形	内面整形	底部整形	備　考
SB1	26	1	P8	鉢	内黒	16.6	－	－	1/4	外にぶい赤褐 内黒	口縁ヨコミガキ 他ナナメミガキ	ミガキ→黒色処理	－	－
SB1	26	2	埋土	杯蓋 H	須恵	－	－	－	1/6	青灰	回転ヘラケズリ、 ナデ	ロクロナデ	－	線刻
SB1	26	3	埋土	高杯	内黒	－	11.3	－	脚2/3	橙 杯内黒	脚部タテミガキ すそ部ヨコミガキ	杯部ミガキ→黒色処理 脚部工具ナデ すそ部みがき		
SB1	26	4	埋土	器台	土師	－	－	－	脚1/3	橙	ナデ→ナナメミガキ	ナデ	－	脚部３孔
SB1	26	5	床下	甑	土師	－	3.7	－	底1/5	にぶい黄褐	ナデ	ナデ	－	単孔
SB1	26	6	カマド、P8、 IV層	壷	土師	18.2	－	－	口1/4	淡黄	ナデ→ナナメミガキ	ヨコミガキ	－	外来系
SB1	26	7	床フキン	甕F	土師	26.4	－	－	1/3	外橙＋黒 内にぶい黄橙	口縁ヨコミガキ 胴部タテミガキ	口縁ヨコミガキ 胴部タテミガキ	－	
SB1	26	8	カマド 埋土	甕F	土師	－	9.5	－	1/2	外赤褐 内にぶい黄橙	ケズリ→ミガキ	ミガキ	ケズリ	
SB7	26	9	床	杯C	土師	12.0	－	6.0	ほぼ完	橙	口縁ナデ 他ケズリ→ミガキ	口縁ミガキ 他ナデ	ケズリ	
SB7	26	10	P1	杯C	土師	12.5	－	5.4	ほぼ完	にぶい黄橙	上半ヨコミガキ 下半ケズリ	タテミガキ	ケズリ	
SB7	26	11	床	杯C	土師	11.5	－	6.0	ほぼ完	外黒褐 内にぶい褐	上半ナデ 下半ケズリ	上半ナデ 下半工具ナデ	ケズリ	
SB7	26	12	床、埋土	杯C	土師	11.6	－	6.4	ほぼ完	外明赤褐 内暗褐	口縁ナデ 中央部ケズリ→工具ナデ 下半ケズリ	口縁ヨコミガキ 中央部ナナメミガキ 底部工具ナデ	ケズリ	
SB7	26	13	P1	杯C	土師	17.1	－	5.9	ほぼ完	橙	口縁ヨコミガキ 他ケズリ→ミガキ	口縁ヨコミガキ 他ミガキ	ケズリ→ミガキ	
SB7	26	14	P1	杯A	土師	12.8	－	5.1	ほぼ完	橙＋灰褐	口縁ナデ 他ケズリ→ナデ	ナデ	ケズリ→ナデ	
SB7	26	15	P1	杯A	土師	13.0	－	5.8	完	外橙＋灰褐 内黒褐	口縁ナデ 下半ケズリ	ナデ	ケズリ	口縁部面取り
SB7	26	16	床	杯A	土師	13.8	－	5.0	9/10	外橙＋黒褐 内赤褐＋黒	口縁ナデ 他ケズリ→ミガキ	ナナメミガキ	ケズリ→ミガキ	
SB7	26	17	床	杯A	土師	13.5	－	5.8	ほぼ完	外橙 内にぶい橙	上半ハケ→ヨコミガキ 下半ハケ→ミガキ	口縁ハケ→ヨコミガキ 他ハケ→ミガキ	ハケ→ミガキ	
SB7	26	18	床	杯E	内黒	15.3	－	5.2	完	外橙 内黒＋橙	口縁ヨコミガキ 他ナナメ、ヨコミガキ	口縁ヨコミガキ 他放射状ミガキ →黒色処理	ミガキ	
SB7	26	19	カマド	杯M	土師	13.5	－	5.1	ほぼ完	橙	口縁ナデ、上半工具ナデ 下半ケズリ	口縁ヨコミガキ 中央部ナナメミガキ 底部工具ナデ	ケズリ	口縁部面取り
SB7	26	20	カマド、床	杯M	土師	17.0	－	6.5	ほぼ完	橙	口縁ナデ、下半ケズリ	口縁ナデ 中央部ナナメミガキ 底部ナデ	ケズリ	
SB7	26	21	埋土	高杯 H	土師	－	8.3	－	脚1/2	橙 杯内黒	タテミガキ すき部ヨコミガキ	シボリ→ナデ 杯内黒色処理	－	
SB7	26	22	埋土	杯蓋 H	須恵	－	－	－	蓋1/4	暗青灰	回転ヘラケズリ、ナデ	ロクロナデ	－	
SB7	26	23	埋土	杯	土師	8.5	8.0	4.5	1/3	外にぶい橙 内橙	ナデ	ナデ	－	
SB7	26	24	カマド	壷	土師	14.5	7.3	21.2	ほぼ完	外橙 内淡赤褐	口縁ナデ 他ケズリ	口縁ナデ 他工具ナデ	ナデ	
SB7	27	25	カマド 埋土	壷	土師	12.4	－	10.5	2/3	外明赤褐 内橙	口縁他 ナデ、ケズリ	口縁ナデ 上半ヨコミガキ 下半ナデ	ケズリ	外面スス
SB7	27	26	P1	壷	土師	9.3	－	11.1	ほぼ完	明赤褐	口縁ナデ、他ケズリ	ナデ	ケズリ	
SB7	27	27	埋土	鉢	内黒	14.7	－	－	1/4	外にぶい黄橙 内黒	口縁ヨコミガキ 胴部ナナメミガキ	ヨコミガキ→ 黒色処理	－	
SB7	27	28	カマド	甕A	土師	17.3	10.0	26.9	2/3	外黄灰 内黄褐	口縁ナデ 上半工具ナデ 下半ナデ	口縁ナデ 他工具ナデ	ナデ	
SB7	27	29	埋土	甑	土師	19.0	10.6	27.1	1/3	外明赤褐 内にぶい赤褐	口縁ヨコミガキ 胴部ナナメミガキ	口縁ナデ 他ケズリ→ミガキ		底部面取り
SB8	27	30	埋土	杯 E4	土師	13.8	9.2	4.0	1/4	橙	上半ヨコミガキ、下半ミガキ	ミガキ	ミガキ	
SB8	27	31	P3、埋土	甕A	土師	21.1	－	－	1/3	橙	ナデ	口縁ナデ、他工具によるナデ	－	外面スス
SB8	27	32	P2、床	甕A	土師	22.0	－	－	1/2	外赤褐 内明赤褐	口縁ナデ 上半ケズリ 下半ナデ	口縁ナデ 他工具によるナデ	－	
SB12	27	33	床	杯蓋 D	須恵	13.5	－	3.4	ほぼ完	外灰黄 内青灰	回転ヘラケズリ 回転ナデ	回転ナデ	－	

表10－2　古墳時代の土器・土製品一覧

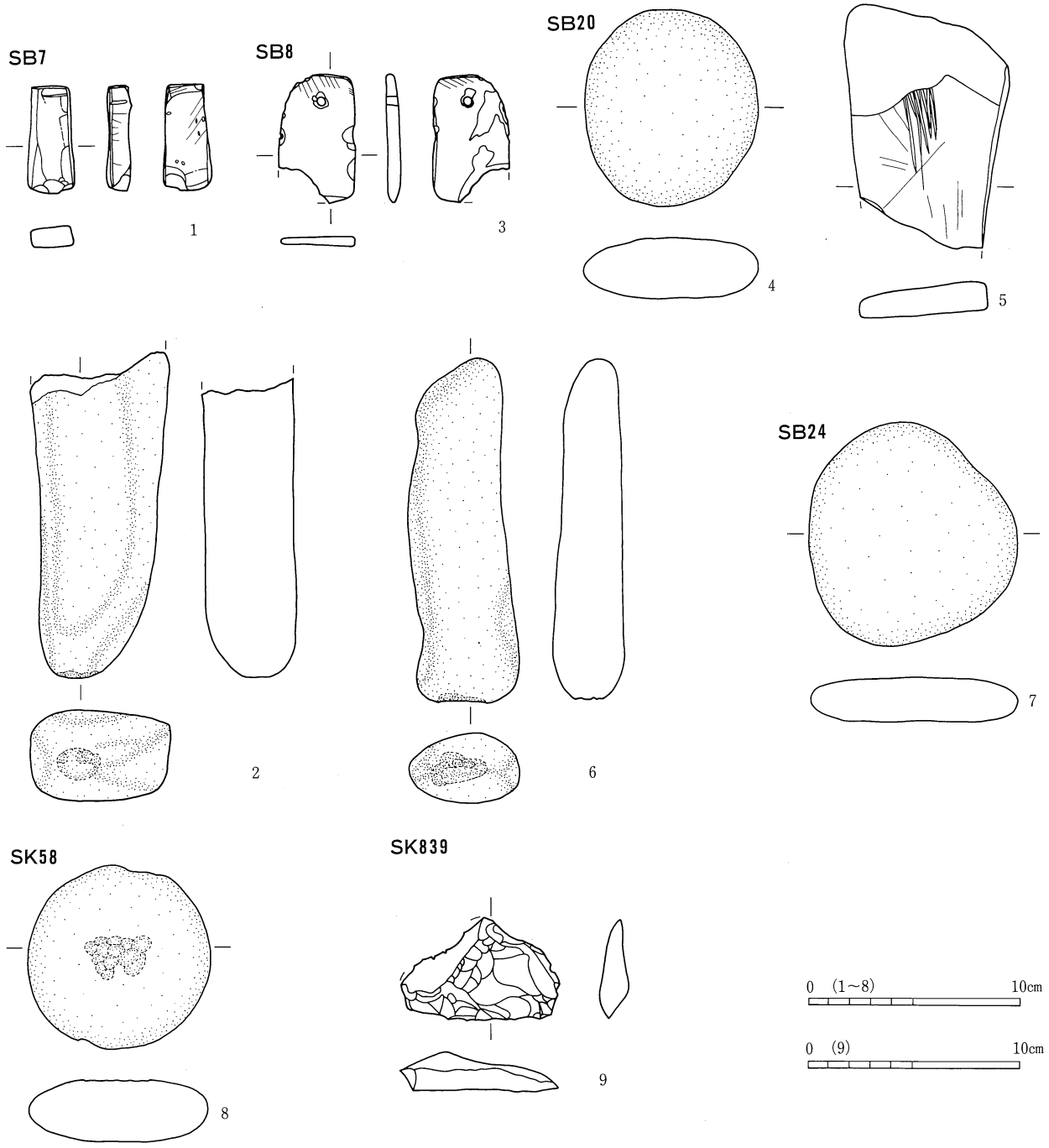
遺構番号	図番号	報告書番号	出土位置	器種	焼き物種別	口径	底径	器高	残存率	色調	外面整形	内面整形	底部整形	備考
SB12	27	34	埋土1、SK41	杯M	土師	14.0	－	－	1/6	浅黄橙	ヨコミガキ	ヨコミガキ	－	
SB12	27	35	埋土	杯C	土師	15.4	－	4.3	1/5	外褐、内にぶい橙	下半ケズリ→ミガキ	口縁ヨコミガキ他ミガキ	－	
SB14	27	36	埋土	杯C	土師	12.0	－	－	15	黄橙	ケズリ→ヨコミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガキ		
SB14	27	37	埋土、SK162	杯M	土師	11.0	8.0	5.3	2/3	黄橙	上半ヨコミガキ、下半ミガキ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ	ミガキ	
SB14	27	38	埋土	杯E	内黒	13.4	－	7.2	1/4	外にぶい黄褐、内黒	ケズリ→ヨコミガキ、ミガキ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ→黒色処理	ケズリ→ミガキ	
SB14	27	39	埋土	鉢	土師	13.5	－	－	1/6	灰黄褐	ナデ→ヨコミガキ	ナデ→ヨコミガキ		
SB14	27	40	埋土	甕	土師	－	5.2	－	1/4	外橙、内にぶい赤褐	ナデ	工具ナデ	ナデ	
SB14	27	41	埋土	和鉢高杯	土師	－	14.0	－	1/2	橙	タテミガキ、すそ部ヨコミガキ	ナデ、すそ部ハケ→ナデ	－	
SB16	28	42	埋土	器台	土師	－	－	－	1/4	外にぶい褐、内橙	タテミガキ	ナデ、受部ミガキ	－	脚部3孔混入
SB16	28	43	埋土	杯C	土師	14.0	－	－	1/2	外橙、内浅黄褐	口縁ヨコミガキ、他ケズリ→ヨコミガキ	口縁ヨコミガキ、他ナナメミガキ	ケズリ→ミガキ	
SB16	28	44	カマド、SB20	杯A	土師	12.0	－	－	1/3	にぶい橙	口縁ミガキ、他ケズリ→ミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガキ	ケズリ→ミガキ	
SB16	28	45	床フキン	杯E	内黒	17.0	－	－	1/3	外にぶい黄橙、内黒	口縁ヨコミガキ、他ケズリ→ミガキ	上半ヨコミガキ、他ミガキ→黒色処理	ケズリ→ミガキ	
SB16	28	46	カマド	甕H	土師	18.0	－	－	2/5	外灰黄褐、内褐灰	口縁ナデ胴部タテケズリ	口縁ナデ、胴部工具ナデ	－	
SB16	28	47	カマド、埋土	甕H	土師	18.8	5.6	28.4	4/5	外にぶい橙、内橙	口縁ナデ、胴部タテケズリ一部ヨコケズリ	口縁ナデ、他工具ナデ	ケズリ	外面スス
SB16	28	48	カマド、埋土	甕H	土師	21.2	4.6	36.1	4/5	外にぶい赤褐、内にぶい橙	口縁ナデ、胴部タテケズリ、下部ヨコケズリ	口縁ナデ、胴部工具ナデ、下部ナデ	木葉痕	内面煮こげ、外面スス
SB16	28	49	床	甑	土師	17.3	5.6	14.0	ほぼ完	明赤褐	口縁ナデ、胴部ケズリ→タテミガキ	ナデ→ミガキ	－	7孔
SB16	28	50	埋土	甑	土師	－	5.1	－	1/4	にぶい赤褐	口縁ナデ、胴部ケズリ→ヘラミガキ	口縁ナデ、胴部工具ナデ→タテミガキ	－	単孔
SB16	28	51	床、埋土	壺	土師	26.2	9.0	31.9	1/2	外橙、内にぶい褐	口縁ナデ、ケズリ→ミガキ	口縁ナデ、他工具ナデ	ケズリ	内面煮こげ
SB16	28	52	床、埋土	甑	土師	28.8	9.7	31.0	4/5	外明赤褐、内橙	口縁ナデ、胴部ケズリ→タテのヘラミガキ	口縁ナデ、胴部工具ナデ→タテミガキ	－	底部面取り、底部付近2孔
SB20	29	53	床	杯A	土師	13.0	12.5	3.7	2/3	外橙、内にぶい橙	上半ヨコミガキ、下半ケズリ→ミガキ	口縁ヨコミガキ、他放射状ミガキ	ケズリ→ミガキ	
SB20	29	54	埋土	杯A	土師	13.0	11.1	－	1/5	橙	上半ヨコミガキ、下半ケズリ→ミガキ	口縁ヨコミガキ、他放射状ミガキ	ケズリ→ミガキ	
SB20	29	55	埋土	杯A	土師	13.0	11.9	3.3	1/4	外にぶい橙、内橙	上半ナデ、下半ケズリ→ミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガキ	ケズリ→ミガキ	
SB20	29	56	床	杯A	土師	13.0	12.2	3.7	4/5	外橙、内にぶい橙	口縁ヨコミガキ、下半ケズリ→ミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガキ	ケズリ→ミガキ	
SB20	29	57	床、埋土	甕H	土師	21.3	－	－	1/2	外にぶい褐、内にぶい赤褐	口縁ナデ、胴部ナナメ、タテケズリ	口縁ナデ、胴部工具ナデ	－	
SB20	29	58	床	甕A	土師	19.0	－	－	2/3	外にぶい黄橙、内浅黄橙	口縁ナデ、胴部工具ナデ	口縁ナデ、胴部工具ナデ	－	外面スス
SB20	29	59	床、埋土	甕B	土師	16.4	－	－	1/2	外明赤褐、内橙	口縁ナデ、胴部タテのハケ	口縁ナデ、胴部工具ナデ	－	外面スス
SB20	29	60	P2、埋土	壺	土師	24.7	－	－	2/5	橙	ナデ	口縁ナデ、胴部工具ナデ	－	
SB20	29	61	カマド、床	甕	須恵	18.2	－	－	2/3	外灰白、内黄橙	口縁ナデ、胴部平行タタキ→カキ目	口縁ナデ、胴上半ナデ、当て具痕、胴下半同心円文	－	
SB24	29	62	床下	杯C	土師	11.4	－	4.7	2/3	明赤褐	口縁ヨコミガキ、他ケズリ→ミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガキ	ケズリ→ミガキ	
SB24	29	63	床下	杯C	土師	10.3	4.5	4.4	1/2	明赤褐	口縁ヨコミガキ、他ケズリ→ミガキ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ	ケズリ→ミガキ	
SB24	29	64	床下	杯C	内黒	11.6	－	－	口1/5	外明赤褐、内黒	口縁ヨコミガキ、他ケズリ→ミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガキ→黒色処理	－	ヘラガキ
SB24	29	65	P6、床下	杯C	土師	12.0	－	4.1	1/4	外黒、内にぶい黄橙	口縁ヨコミガキ、他ケズリ→ミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガキ	ケズリ→ミガキ	口縁面取り
SB24	29	66	床、埋土、SK369	杯C	土師	14.4	－	5.0	1/2	外橙、内明赤褐	口縁ヨコミガキ、他ケズリ→ミガキ	ミガキ	ケズリ→ミガキ	
SB24	29	67	カマド	杯C	土師	14.8	－	5.2	ほぼ完	外浅黄橙、内橙	口縁ヨコミガキ、他ケズリ→ミガキ	口縁ヨコミガキ、他放射状ミガキ	ケズリ→ミガキ	
SB24	29	68	床、埋土	杯C	土師	16.2	9.4	4.8	ほぼ完	浅黄橙	口縁ヨコミガキ、他ケズリ→ミガキ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ	ケズリ→ミガキ	

表10－３　古墳時代の土器・土製品一覧

遺構番号	図番号	報告書番号	出土位置	器種	焼き物種別	口径	底径	器高	残存率	色　調	外面整形	内面整形	底部整形	備　考
SB24	29	69	カマド	支脚	土師	－	幅9.4	長さ16.4	ほぼ完	外褐	ナデ	－	－	
SB24	30	70	カマド、埋土	杯E1	土師	16.0	－	－	1/4	外橙、内にぶい褐	口縁ヨコミガキ、他ケズリ→ミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガキ	－	
SB24	30	71	P9	杯	土師	14.8	－	－	2/3	橙	口縁ヨコミガキ、他ケズリ→ミガキ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ	－	口縁面取り
SB24	30	72	床下	杯E1	土師	15.0	－	6.0	4/5	外浅黄橙、内黒	ハケ→ミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガキ→黒色処理	ハケ→ミガキ	
SB24	30	73	床下	杯K	土師	14.4	9.0	5.1	1/2	外にぶい黄橙、内浅黄橙	口縁ヨコミガキ、他ケズリ→ミガキ	口縁ヨコミガキ、他放射状ミガキ	ケズリ→ミガキ	
SB24	30	74	カマド、埋土	杯K	土師	15.6	－	－	1/2	外明黄橙、内浅黄	口縁ナデ、他ケズリ→ミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガキ	－	
SB24	30	75	カマド	杯K	土師	15.6	－	5.8	1/2	外黄橙、内明赤褐	口縁ヨコミガキ、他ケズリ→ミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガキ	ケズリ→ミガキ	
SB24	30	76	床下	鉢	両黒	11.6	5.8	6.0	ほぼ完	黒	上半ヨコミガキ、下半ミガキ→黒色処理	口縁ヨコミガキ、他放射状ミガキ→黒色処理	ヘラガキ	ヘラガキ
SB24	30	77	P5、床下	杯K	土師	15.3	－	6.5	1/2	外明黄褐、内にぶい橙	口縁ヨコミガキ、他ケズリ→ミガキ	口縁ヨコミガキ、他ナナメミガキ、ミガキ	ケズリ→ミガキ	
SB24	30	78	床、埋土	須恵器模倣高杯	土師	14.5	－	－	杯2/3	外黄褐、内橙	口縁ヨコミガキ、杯部他ミガキ	口縁ヨコミガキ、杯部他ミガキ	－	
SB24	30	79	カマド	高杯	土師	13.3	－	－	杯3/4	外明赤褐、内橙	杯部タテミガキ	口縁ナナメミガキ、杯部他放射状ミガキ	－	
SB24	30	80	床	須恵器模倣高杯	土師	16.0	－	－	杯1/3	外黄褐、内明褐	ミガキ？	ミガキ？	－	内外面摩滅
SB24	30	81	埋土	杯	内黒	12.0	－	－	1/4	外明赤褐、内黒	口縁ヨコミガキ、他ミガキ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ→黒色処理	－	
SB24	30	82	カマド	須恵器模倣高杯	土師	15.4	－	－	杯1/3	橙	杯部上半ハケ→ヨコミガキ、坏部下半ケズリ→ミガキ	杯部上半ヨコミガキ、下半ミガキ	－	
SB24	30	83	床下	高杯	土師	－	11.1	－	1/2	黄褐	ミガキ？	脚部ナデ	－	内外面摩滅
SB24	30	84	埋土	高杯	土師	－	12.0	－	脚1/2	外にぶい橙、内橙	脚部タテミガキ、すそ部ヨコミガキ	杯部ミガキ、脚部ナデ	－	
SB24	30	85	埋土	有段高杯	土師	18.6	－	－	杯1/4	外にぶい橙、内橙	杯部ミガキ	杯部ミガキ	－	混入？
SB24	30	86	P2	高杯	土師	－	10.7	－	脚2/3	外橙、内黒褐	脚部ハケ→ミガキ	脚部ハケ→ミガキ	－	
SB24	30	87	カマド掘り方	高杯	土師	－	8.5	－	脚2/5	橙	脚部タテミガキ	脚部工具ナデ	－	すそ部面取り
SB24	30	88	埋土	器台	土師	10.9	－	－	受部1/10	橙	受部工具ナデ	受部工具ナデ	－	混入？
SB24	30	89	埋土	甕B	土師	17.0	－	－	口1/5	外明赤褐、内橙	ハケ	口縁ハケ、他ナデ	－	混入？
SB24	30	90	カマド、埋土	甕A	土師	15.4	－	－	2/3	外にぶい赤褐、内にぶい橙	ナデ	ナデ	－	
SB24	30	91	カマド、埋土	甕A	土師	16.8	－	－	2/5	にぶい赤褐	ナデ	ナデ	－	
SB24	30	92	カマド、床	甕B	土師	15.8	－	－	2/3	外赤褐、内明褐	口縁ナデ、胴部ハケ	口縁ナデ、胴部工具ナデ	－	
SB24	30	93	カマド、埋土	壺	土師	19.6	－	－	口1/2	明赤褐	口縁ナデ→ミガキ、胴部ハケ→ミガキ	口縁ハケ→ナデ、胴部ハケ	－	混入？
SB24	30	94	カマド、埋土、床下	甕F	土師	－	7.4	－	1/4	外にぶい黄橙、内にぶい橙	胴部ミガキ、底部付近ハケ→タテミガキ	胴部ケズリ→ミガキ、底部付近ハケ	ケズリ→ミガキ	
SB24	31	95	カマド	甕A	土師	17.2	－	－	1/5	明赤褐	ナデ	口縁ナデ、胴下半ケズリ	－	
SB24	31	96	カマド、埋土	甕A	土師	17.4	－	－	1/2	外にぶい橙、内にぶい赤褐	口縁ナデ、胴部工具ナデ	ナデ		外面スス
SB24	31	97	埋土	甕A	土師	16.9	－	－	2/3	外にぶい橙、内暗褐色	ナデ	口縁、胴上半ナデ、胴下半ハケ	－	
SB24	31	98	カマド、P6、床、床下	甕F	土師	27.8	－	－	1/4	橙	口縁ヨコミガキ、胴部ナナメミガキ	ヨコミガキ	－	
SB91	31	99	埋土	杯E1	内黒	15.9	－	－	1/5	外にぶい黄橙、内黒	口縁ヨコミガキ、他ケズリ→ミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガキ→黒色処理	－	
SB91	31	100	埋土	杯C	内黒	20.4	－	－	1/3	外にぶい黄橙、内黒	口縁ヨコミガキ、他ケズリ→ミガキ	上半ヨコミガキ、下半放射状ミガキ→黒色処理	－	
SB91	31	101	埋土	高杯	内黒	－	－	－	杯1/5	外明赤褐、内黒	－	杯部ミガキ→黒色処理	－	外面摩滅
SB91	31	102	P3	高杯？	土師	16.9	－	－	杯1/5	外にぶい黄褐、内にぶい黄橙	杯部上半ヨコミガキ、他ミガキ	杯部上半ヨコミガキ、他ミガキ	－	

表10－４　古墳時代の土器・土製品一覧

遺構番号	図番号	報告書番号	出土位置	器種	焼き物種別	口径	底径	器高	残存率	色　調	外面整形	内面整形	底部整形	備　考
SB91	31	103	P3	有段高杯	土師	－	－	－	杯1/6	明赤褐	ヨコミガキ	ヨコミガキ	－	
SB91	31	104	P1	甕	須恵	－	－	－	1/3	暗灰	ロクロナデ→中央部カキメ	ロクロナデ	ロクロナデ	
SB91	31	105	埋土	甑	土師	－	6.0	－	1/4	外にぶい褐、内黒	工具ナデ	工具ナデ	－	単孔
SB91	31	106	床	坩	土師	11.8	－	11.6	1/2	外にぶい橙、内褐灰	上半ハケ→ヨコミガキ、下半ハケ→ミガキ	上半ヨコミガキ、下半ハケ→ミガキ	ハケ→ミガキ	
SB91	31	107	床	甕B	土師	15.5	－	－	1/2	外黄橙、内橙	口縁ハケ→ナデ、胴部ハケ	口縁ハケ、胴部工具ナデ	－	外面スス、内面煮こげ
SB91	31	108	床	甕B	土師	14.9	－	－	2/3	橙	口縁ナデ、胴部ハケ	口縁ナデ、胴部工具ナデ	－	外面スス、内面煮こげ
SB91	31	109	埋土	甕H	土師	－	4.2	－	1/6	外にぶい褐、内黄灰	ケズリ	工具ナデ	ケズリ	外面スス
SK294	32	110	埋土	高杯	土師	17.6	－	－	杯1/4	橙	杯部上半ナデ、杯部下半ミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガキ	－	
SK739	32	111	埋土	杯C	内黒	12.8	－	4.8	1/3	外にぶい褐、内黒	ケズリ→ヨコミガキ	口縁ヨコミガキ、他ミガキ→黒色処理	ケズリ→ミガキ	
SK839	32	112	埋土	杯	内黒	12.4	－	－	口1/8	外にぶい橙、内黒	ナデ	ヨコミガキ→黒色処理	－	
SK839	32	113	埋土	杯	内黒	15.8	－	－	口1/4	外にぶい橙、内黒	ヨコミガキ	ヨコミガキ→黒色処理	－	
SK839	32	114	埋土	鉢？	土師	14.8	－	－	1/4	外明赤褐、内にぶい橙	ミガキ？	口縁ヨコミガキ、胴部ミガキ	－	外面摩滅
SK839	32	115	埋土	鉢？	土師	12.8	－	－	1/3	外にぶい橙、内にぶい黄橙	ナデ	口縁ナデ、胴部工具ナデ	－	
SK839	32	116	埋土	甕A	土師	－	7.2	－	底1/3	外にぶい黄橙、内にぶい橙	工具ナデ	工具ナデ	木葉痕	
SK839	32	117	埋土	甕B	土師	20.0	－	－	1/4	外明赤褐、内褐	口縁ナデ、胴部ハケ	口縁ナデ、胴部ハケ	－	
SK839	32	118	埋土	横瓶	須恵	－	－	－	1/4	灰	タタキ→ロクロナデ	胴部ロクロナデ、被蓋部ナデ	－	
	32	119	1区IV層	杯蓋H	須恵	12.8	－	－	小片	外黒、内黒褐	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
	32	120	1区IV層	杯H	須恵	15.2	－	－	小片	オリーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
	32	121	1区IV層	甑	内黒	－	－	－	把手、胴部小片	外極暗赤褐、内黒	把手部工具ナデ、他工具ナデ→ミガキ	工具ナデ→ヨコミガキ→黒色処理	－	
	32	122	1区IV層	高杯	内黒	－	5.6	－	2/3	外にぶい褐、内黒	杯部ヨコミガキ、脚部タテミガキ、すそ部ヨコミガキ	杯部ミガキ→黒色処理、脚部工具ナデ、すそ部ヨコミガキ	－	
	32	123	1区IV層	高杯	須恵	－	12.0	－	脚1/4	青灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	脚部長方形透、４孔
	32	124	IIQ－19IV層	高杯	内黒	14.8	－	－	1/2	外橙、内黒	杯部ヨコミガキ、脚部タテミガキ	口縁ヨコミガキ、杯部他ミガキ→黒色処理、脚部シボリ→工具ナデ	－	
	32	125	2区IV層	壺	土師	8.8	－	－	口1/4	橙	タテミガキ	タテミガキ	－	
	32	126	2区IV層	高杯	須恵	－	－	－	脚1/2	外灰、内青灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
	32	127	2区II層	甕	須恵	－	－	－	小片	灰	ロクロナデ、沈線２本、櫛状工具による刺突文	ロクロナデ	－	
	32	128	3区IV層	甕	須恵	－	－	－	小片	灰	ロクロナデ、沈線２本、櫛状工具による刺突文	ロクロナデ	－	
	32	129	3区IV層	高杯	土師	12.8	10.2	10.0	1/3	にぶい黄橙	杯部ヨコミガキ、脚部タテミガキ、すそ部ヨコミガキ	杯部ミガキ？、脚部工具ナデ、すそ部ナデ	－	杯内面摩滅
	32	130	1区IV層	ミニチュア	土師	－	2.0	－	1/2	外赤褐、内にぶい赤褐	ナデ	ナデ	ナデ	



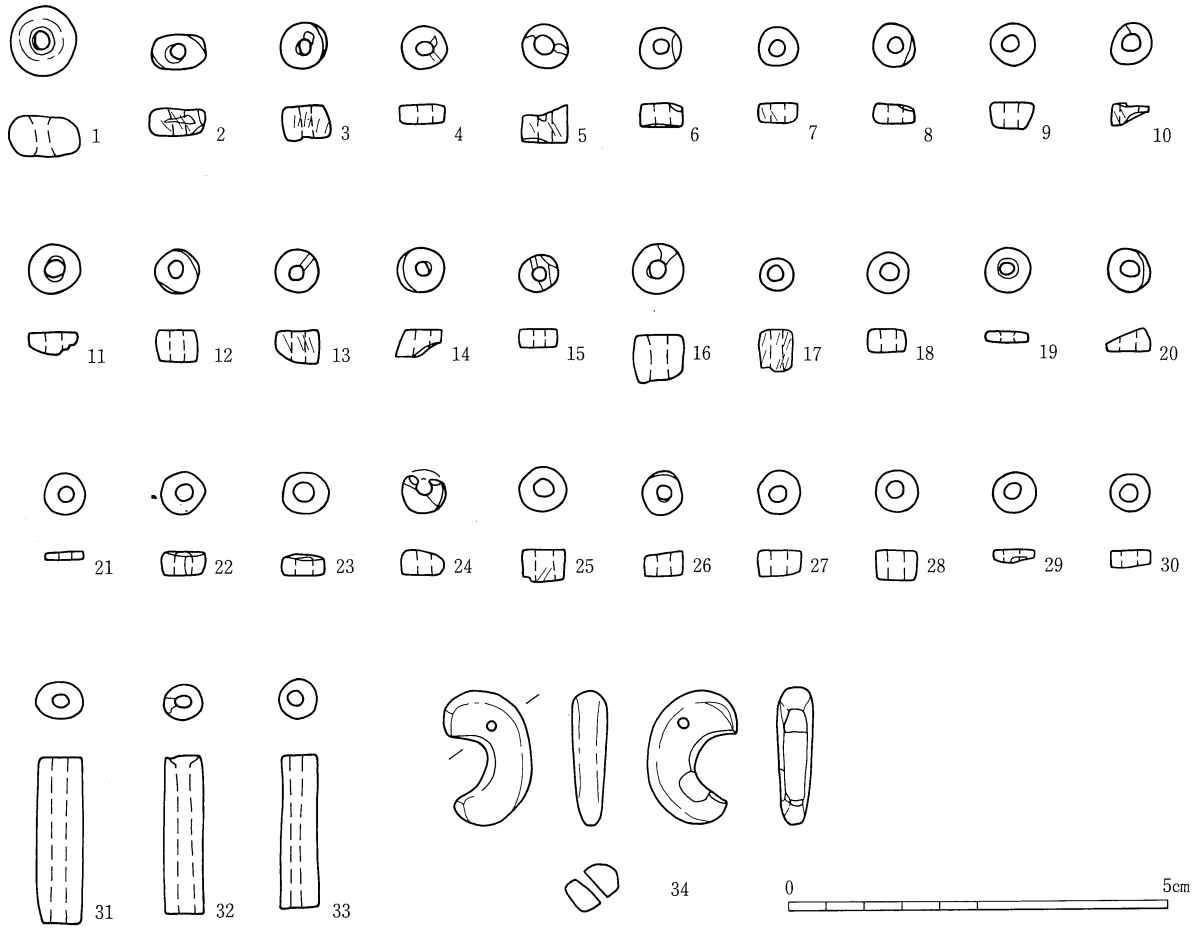
第33図　古墳時代の石器

表11　弥生時代の石器属性表

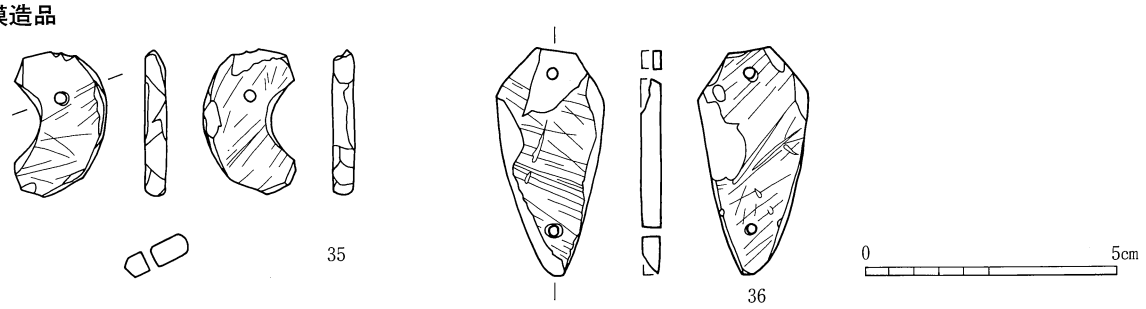
図番号	番号	遺構番号	出土位置	器　種	状　態	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	材　質	備　考
33	1	ＳＢ７	埋土	砥　石	ほぼ完形	5.2	2.2	1.1	(15.0)	凝灰岩	
33	2	ＳＢ７	埋土	敲　石	一部欠損	(14.6)	6.7	4.6	(720.0)	閃緑岩	
33	3	ＳＢ８	Ｐ２	砥　石	ほぼ完形	6.3	3.7	0.5	(15.0)	頁岩	
33	4	ＳＢ20	Ｐ３	磨　石	完形	9.4	8.3	3.0	300.0	安山岩	
33	5	ＳＢ20	床	砥　石	１／２残存	(10.5)	(7.7)	(1.4)	(260.0)	頁岩	
33	6	ＳＢ20	床	敲　石	完形	16.4	5.2	3.3	440.0	粘板岩	
33	7	ＳＢ24	床	磨　石	完形	10.7	9.9	2.1	335.0	砂岩	
33	8	ＳＫ58	埋土	敲　石	ほぼ完形	8.6	8.8	3.0	(290.0)	安山岩	
33	9	ＳＢ839	埋土	刃　器	一部欠損	(3.75)	(2.45)	0.9	(6.45)	珪質岩	

（　）の数字は残存している所の最大値

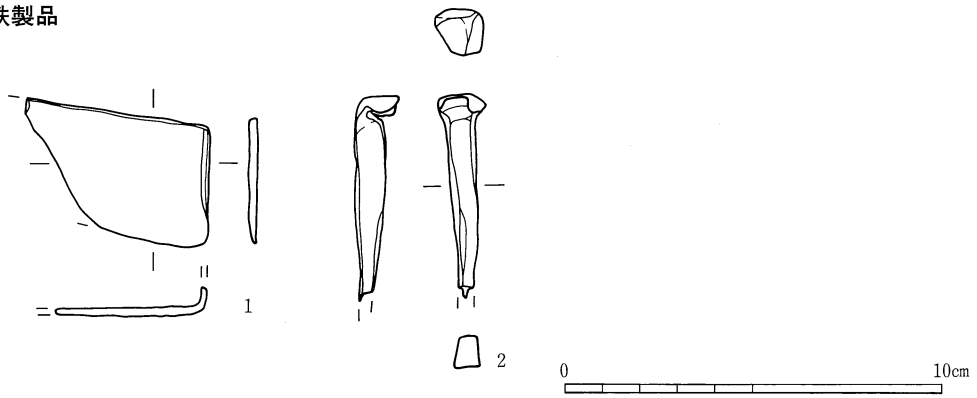
玉類



石製模造品



鉄製品



第34図　古墳時代の玉類・石製模造品・鉄製品

表12　古墳時代の玉類・石製模造品一覧

図番号	番号	器種	遺構	層位	側部形態	高さ(mm)	径(mm)	孔径(mm)	重量(g)	石材	色調	備考
34	1	ガラス玉	SB1	埋土		5.3	8.5	2.0	0.5		緑	
34	2	臼玉	SB1	埋土	B	3.5	7.0	2.0	0.2	滑石	灰	
34	3	臼玉	SB1	埋土	B	4.5	6.0	1.8	0.2	滑石	暗オリーブ灰	
34	4	臼玉	SB1	埋土	B	2.5	6.0	2.0	0.1	滑石	灰	
34	5	臼玉	SB16	埋土	C	5.0	6.0	2.0	(0.2)	滑石	灰オリーブ	
34	6	臼玉	SB24	床	B	3.0	5.5	2.0	(0.1)	滑石	オリーブ灰	
34	7	臼玉	SB24	床	B	2.5	5.0	2.0	0.1	滑石	オリーブ灰	
34	8	臼玉	SB24	床	B	2.8	5.5	2.0	(0.05)	滑石	灰オリーブ	
34	9	臼玉	SB24	床	B	3.5	5.5	2.0	0.15	滑石	灰オリーブ	
34	10	臼玉	SB24	床	B	3.0	5.0	2.5	(0.05)	滑石	オリーブ灰	
34	11	臼玉	SB24	床	B	2.5	6.3	2.5	(0.1)	滑石	灰	
34	12	臼玉	SB24	床	B	4.0	5.5	1.8	0.15	滑石	灰オリーブ	
34	13	臼玉	SB24	床	B	4.0	6.0	2.0	0.1	滑石	灰	
34	14	臼玉	SB24	床	B	4.0	6.0	2.0	(0.12)	滑石	灰オリーブ	
34	15	臼玉	SB24	床	B	2.5	5.0	1.8	0.1	滑石	灰	
34	16	臼玉	SB24	床	B	6.0	6.5	2.5	0.27	滑石	灰	
34	17	臼玉	SB24	床	B	5.7	4.2	1.8	0.1	滑石	暗緑灰	
34	18	臼玉	SB24	床	B	3.0	5.0	2.0	0.08	滑石	灰	
34	19	臼玉	SB24	床	B	1.5	5.5	1.9	0.05	滑石	灰オリーブ	
34	20	臼玉	SB24	床	B	3.0	5.5	2.1	(0.05)	滑石	灰オリーブ	
34	21	臼玉	SB24	床	B	1.0	5.0	1.9	0.01	滑石	オリーブ黄	
34	22	臼玉	SB24	床	B	3.0	5.5	2.0	0.1	滑石	灰オリーブ	
34	23	臼玉	SB24	床	B	3.0	5.5	2.2	0.15	滑石	灰	
34	24	臼玉	SB24	床	B	3.0	5.5	2.0	(0.05)	滑石	灰	
34	25	臼玉	SB24	床	B	4.2	6.0	2.4	0.2	滑石	灰	
34	26	臼玉	SB24	床	B	3.5	5.5	1.9	0.07	滑石	灰	
34	27	臼玉	SB24	床	B	3.8	5.5	2.1	0.15	滑石	灰オリーブ	
34	28	臼玉	SB24	床	B	4.0	5.8	2.1	0.15	滑石	灰オリーブ	
34	29	臼玉	SB24	床	B	1.8	5.2	2.0	(0.05)	滑石	灰オリーブ	
34	30	臼玉		1区IV層	C	2.3	5.0	2.1	0.05	滑石	灰オリーブ	
34	31	管玉	SB24	床		22.5	6.0	2.0	1.3	滑石	オリーブ灰	
34	32	管玉		1区IV層		21.0	5.0	2.0	0.92	滑石	暗緑灰	
34	33	管玉		IIQ－11 IV層		20.5	5.0	1.8	0.75	滑石	暗緑灰	
34	34	勾玉	SB1	埋土				1.0	(1.25)	めのう	灰オリーブ	
34	35	勾玉模造品	SB20	床下				2.0	(3.72)	滑石	褐灰	
34	36	剣形模造品	SB11	埋土				2.0:2.0	(6.6)	滑石	暗灰	混入

※側部形態は、屋代遺跡群高速道地点の分類に準じた。

第４節　飛鳥・平安時代

本項に掲載した遺構は、飛鳥時代から平安時代９世紀末の洪水より前に所属する遺構で、粗密の差はあるが１～６区のほぼ全域に分布している。当該期に所属する遺構は、Ⅳ層を剝いで検出した。検出された遺構は、竪穴住居跡70軒、掘立柱建物跡2棟、溝51条、土坑506基である。粗密の差はあるが１～６区のほぼ全域に分布している。

１　遺構各説

(1)　竪穴住居跡

当概期の竪穴住居跡は、１区西側及び３区で、やや少ないもののほぼ全域で確認されている。遺構の概要は、表13に示した。ただし説明を簡略化できないものについては、ここで番号順に解説を加えることにする。

ＳＢ３（図41、ＰＬ９）

本住居跡のカマドは、北壁中央に一部破壊された状態で検出された。カマドは粘土により構築されている。ピット１・４・５に、径15～25cmでほぼ円形の柱痕が認められた。本住居跡の時期は、７世紀最末～８世紀前半、屋代編年の古代２期と認定される。

ＳＢ11（図42、ＰＬ９）

本住居跡は検出段階で、ａ～ｃの４本の煙道が認められたが、一番新しいカマドはｃとしたカマドで、東壁面中央付近に板状の石を芯材としてその周りを粘土で固めて構築されている。構築材に使われた石の石材は、主に閃緑岩で一部安山岩や凝灰岩が使われている。天井部は残存していないものの袖・火床部分は、良好に残存していた。本住居跡は、掘り方などの様子から、少なくとも2段階の変遷がたどれる。床下に一部残っている貼床や、掘り方・床下の焼土の出土状態から前段階の住居は、やや小さめのプランであったと思われる。この前段階の住居に伴うカマドは、ｄとしたカマドである。埋土中より、石製模造品・土錘・鉄鎌・椀形鍛冶滓が、床下より、土錘・鉄釘が出土している。本住居跡の時期は、９世紀第３四半期、屋代編年の古代７期後半と認定される。

ＳＢ18（図42、ＰＬ９）

本住居跡のカマドは、東壁面南よりに板状の石を芯材としてその周りを粘土で固め構築されている。構築材に使われた石の石材は、全て閃緑岩である。カマド内から赤く焼けた凝灰岩の切石が出土しているが、支脚として使われていた可能性が高い。本住居跡の時期は、９世紀後半、屋代編年の古代８期前半と認定される。

ＳＢ25（図43）

本住居跡のカマドは、北壁面東端に石を芯材としてその周りを粘土で固め構築されている。構築材に使われた石の石材は、全て閃緑岩である。本住居跡の時期は、９世紀前半、屋代編年の古代６期と認定される。

ＳＢ27（図43、ＰＬ９）

本住居跡は東壁面南端に破壊された状態と推測されるカマドを有し、床面には炭化物・焼土・灰が散乱している。埋土中より鉄製の刀装具が出土している。本住居跡の時期は、９世紀中頃、屋代編年の古代７期と認定される。

ＳＢ34（図43）

本住居跡のカマドは、撹乱により破壊されているが、煙道の一部と床下の様子から、北壁面東端と推定

される。床面より椀形鍛錬鍛冶さいが、カマド付近よりわずかに炭化米が出土している。

ＳＢ41（図43）

本住居跡は北壁面中央付近に破壊された状態と推測されるカマドを有し、床面には炭化物・焼土が散乱している。床面より石包丁が、埋土中より土錘が出土している。本住居跡の時期は、９世紀後半、屋代編年の古代８期と認定される。

ＳＢ77（図46）

埋土中より椀形鍛冶滓・石包丁の破片が出土している。本住居跡の時期は、８世紀後半、屋代編年の古代４期と認定される。

(2)　掘立柱建物跡（図47、ＰＬ10）

飛鳥・平安時代の掘立柱建物跡は２区でＳＴ１、４区でＳＴ２の２棟が検出されている。ＳＴ１は古墳時代の掘立柱建物跡としたＳＴ３とほぼ同じ位置にあり、南側が調査区域外へ広がると思われるので全体は不明である。東西１間南北２間の総柱建物と推定され、軸は東へ15°ふれる。柱間寸法は東西方向が200cmと一定で、南北方向は100～120cmとやや不規則である。掘り方は径70～80cmの円形あるいは楕円形で、深さは50～60cmである。ＳＴ２は南側をＳＢ60に切られて全体は不明であるが、東西１間、南北１間の建物と推定される。軸は西へ10°ふれている。柱間寸法は東西方向350cmと一定で、南北方向130～150cmとやや不規則である。掘り方は径60～110cmの円形か楕円形で、深さは40～50cmである。ピット１～４の底部に径15～20cmで円形の硬く締まった鉄分の集積が認められる。

(3)　溝

飛鳥・平安時代の溝跡は51条検出されていて、１区でＳＤ６の１条のみと少ないもののほぼ全域で確認されている。溝の詳細な説明は全て表14に示した。

(4)　土坑

飛鳥・平安時代の土坑は506基検出されていて、粗密の差はあるもののほぼ全域に分布する。ＳＫ305・711・713・840・900・1061・1082・1167は井戸跡で、全て掘り抜きの井戸である。ＳＫ305からは木製品や墨書土器が、ＳＫ864からは木製品が、埋土中より出土している。井戸跡の調査は調査区が狭いという条件の中で、可能な限り重機による半裁を行い、その底部の確認と遺物の採集を行ったが、遺構によっては底部の確認ができなかったものもある。ＳＫ1109の埋土中より鍛冶滓・粒状滓・鍛造剝片及び炉壁の一部が出土している。少量ではあるがまとまって廃棄されたものかと思われる。その他に柱穴と思われる土坑がいくつかあるが、多くの土坑の性格は不明である。土坑の詳細な説明は、表15に示した。

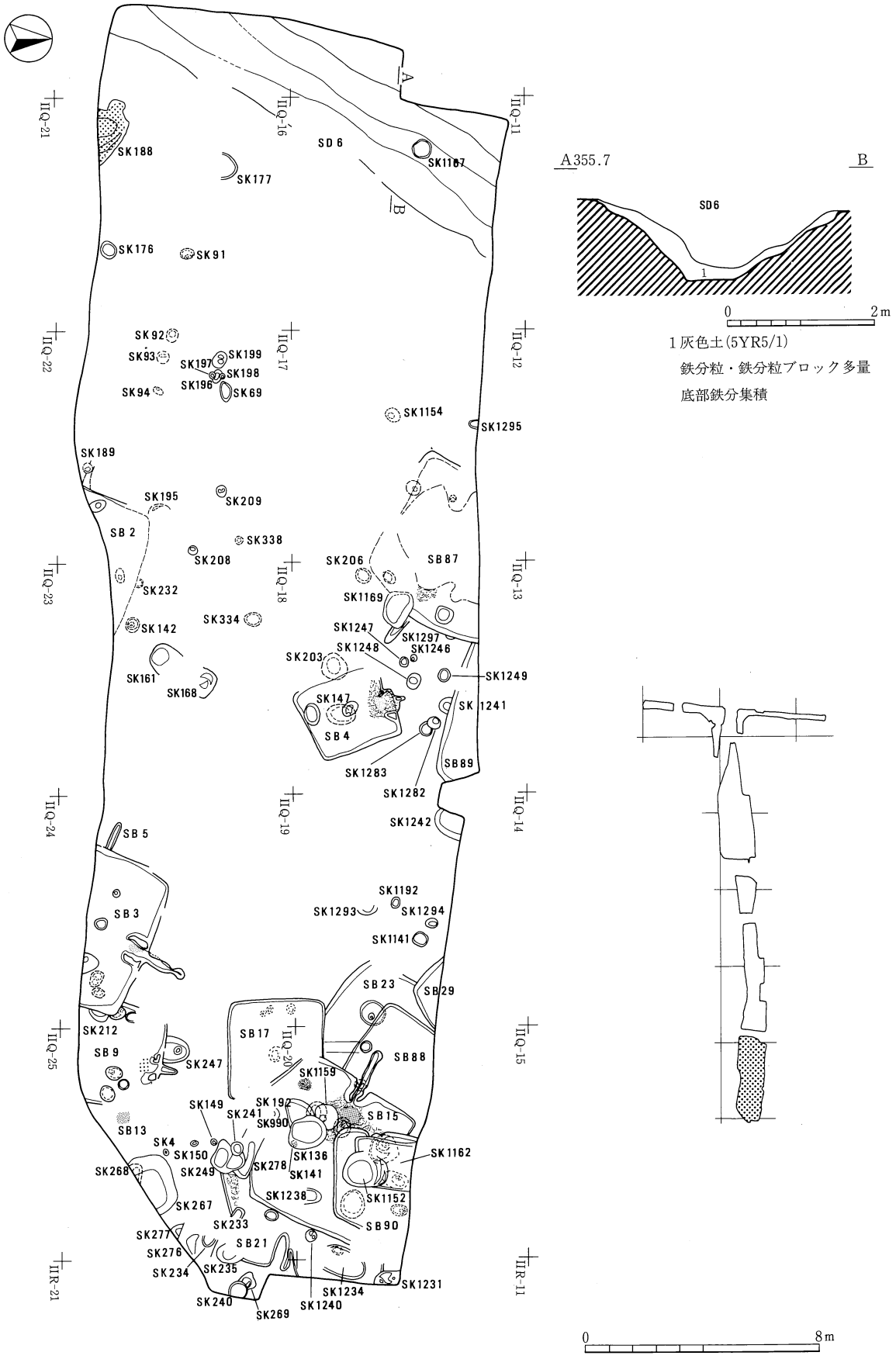
２　遺物

(1)　土器・土製品

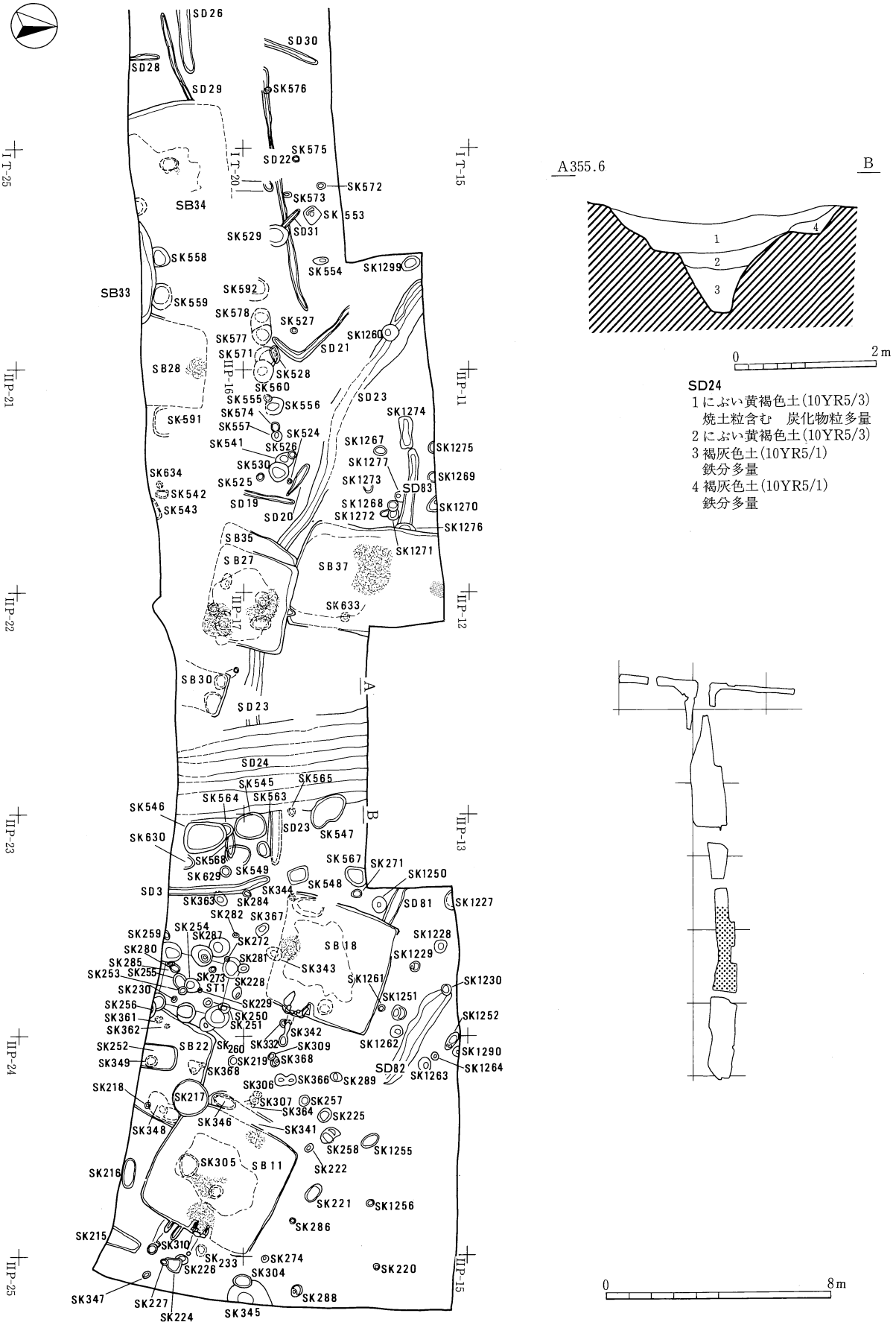
Ⅳ層及び飛鳥・平安時代の遺構から出土した土器・土製品は、46箱である。ここでは、全てを紹介することができないため、各遺構の時期を推定できる資料を中心に図示し（図48～60）、掲載した遺物の属性を一覧表（表16）に示した。土器の器種分類は、屋代遺跡群高速道地点の分類に順ずる。

(2)　石器・石製品

Ⅳ層および飛鳥・平安時代の遺構から出土した資料は石器791点、石製品２点である。出土層位を重視して報告する為、形式的に所属時期が異なる石器であっても、出土遺構の時代により、本項にて扱うこととした。遺物中467点が石器製作に伴い石屑として弾き出された資料で、215点が道具として認定できた石器である。その内訳については表17に示した。ここでは、全てを紹介することができない為、主なもの17点を図示し（図61・62）、掲載した遺物の属性を一覧表（表18）に示した。

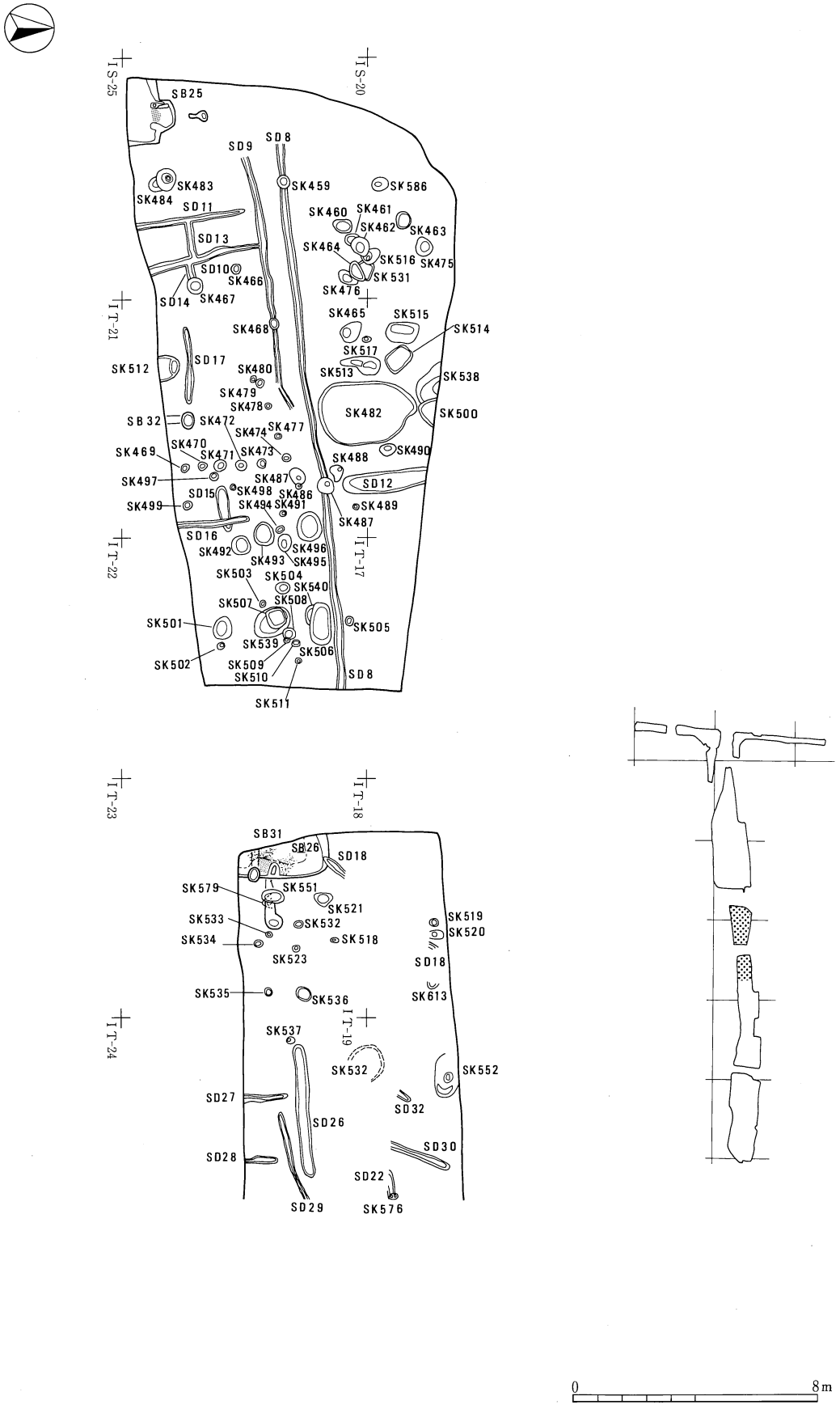


第35図　飛鳥・平安時代の遺構分布図　1

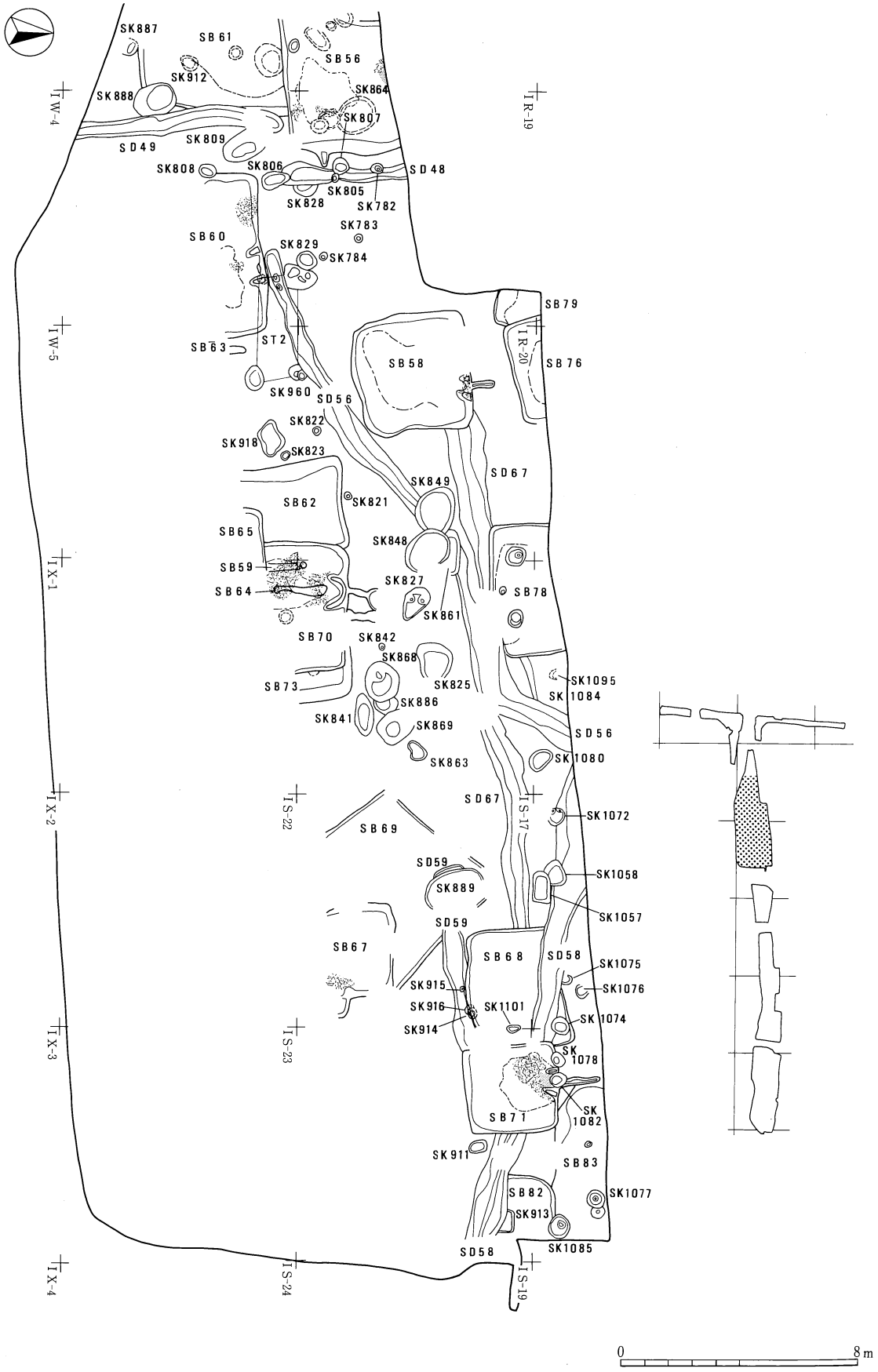


SD24
1 にぶい黄褐色土(10YR5/3)
　焼土粒含む　炭化物粒多量
2 にぶい黄褐色土(10YR5/3)
3 褐灰色土(10YR5/1)
　鉄分多量
4 褐灰色土(10YR5/1)
　鉄分多量

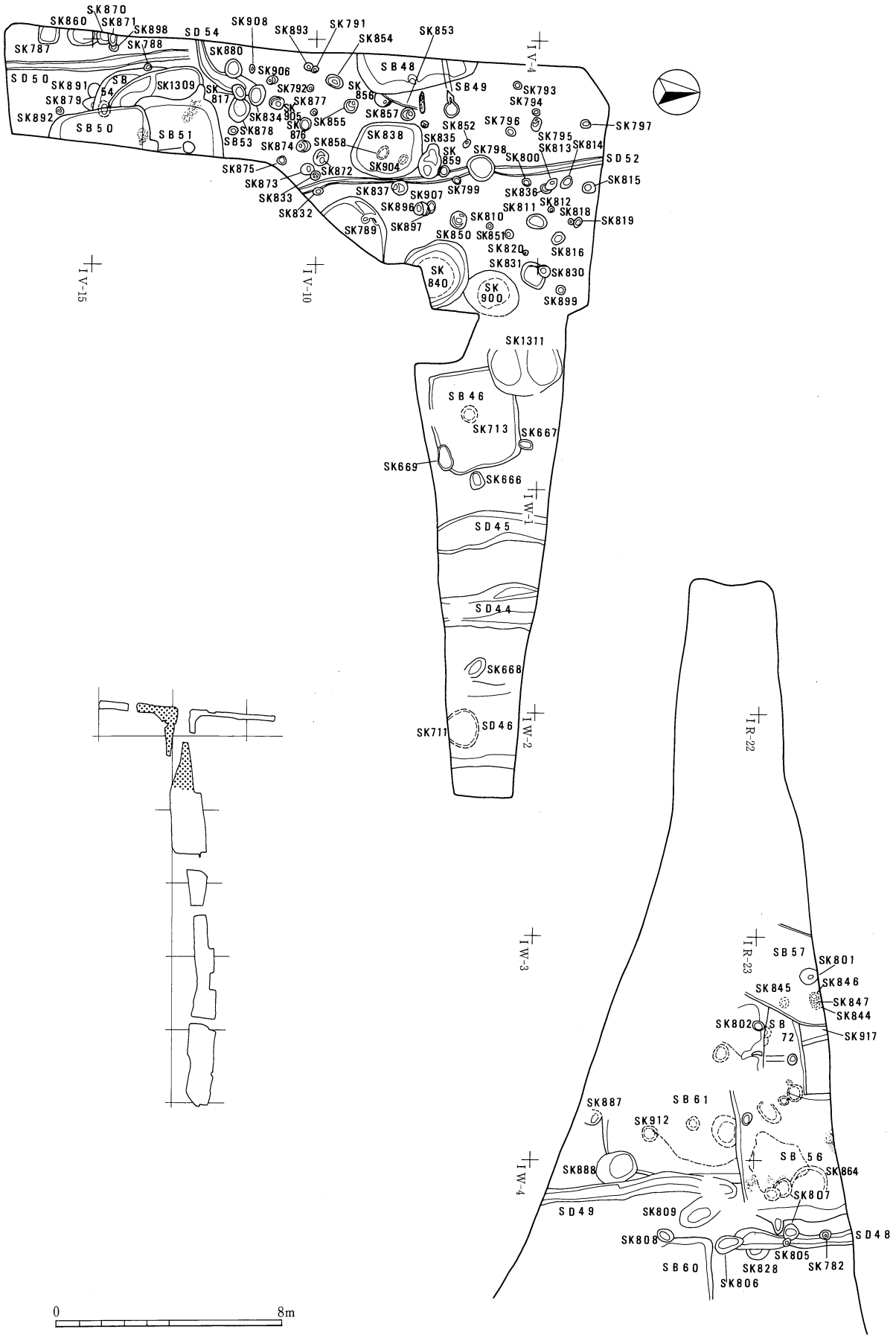
第36図　飛鳥・平安時代の遺構分布図　2



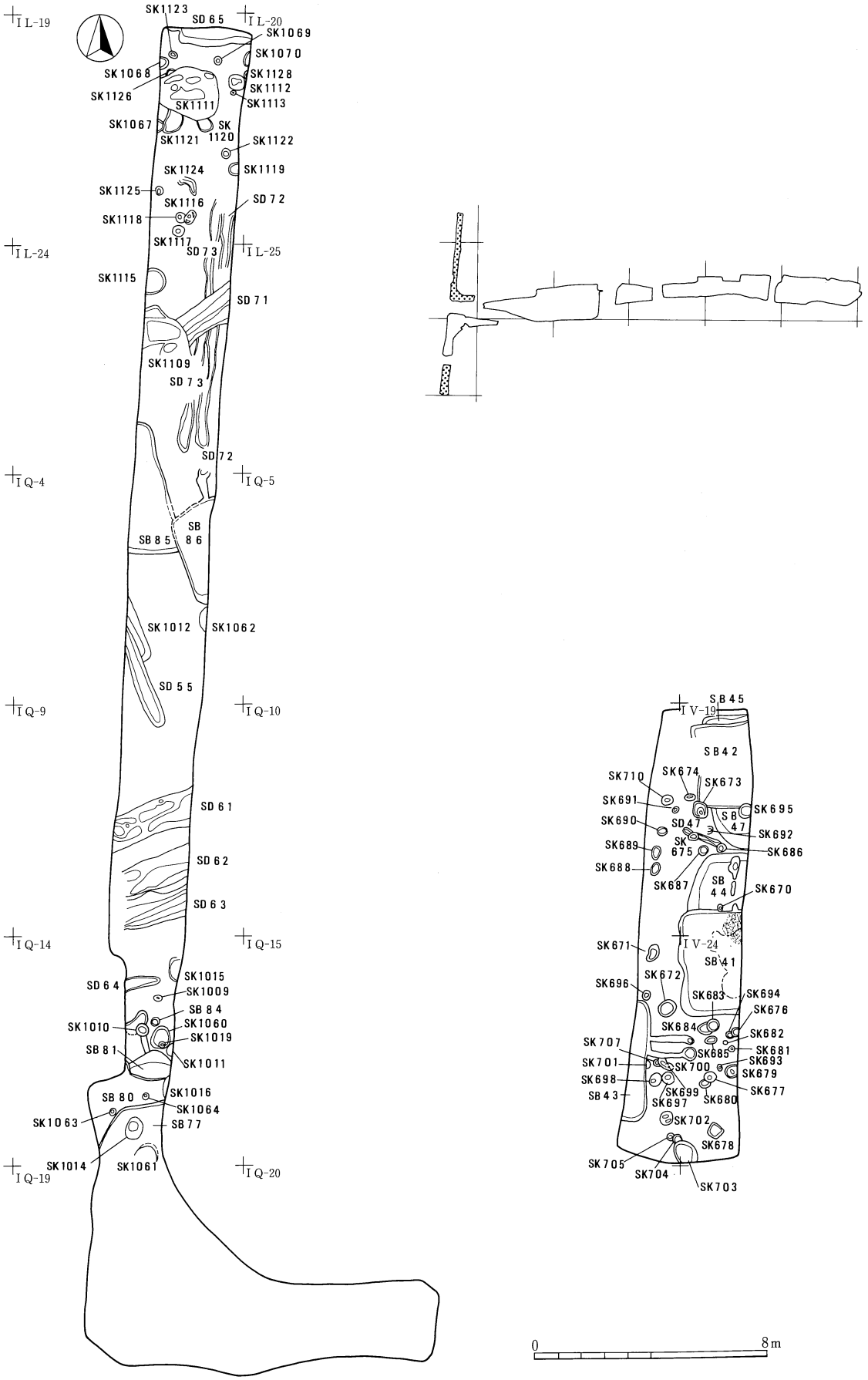
第37図　飛鳥・平安時代の遺構分布図　3



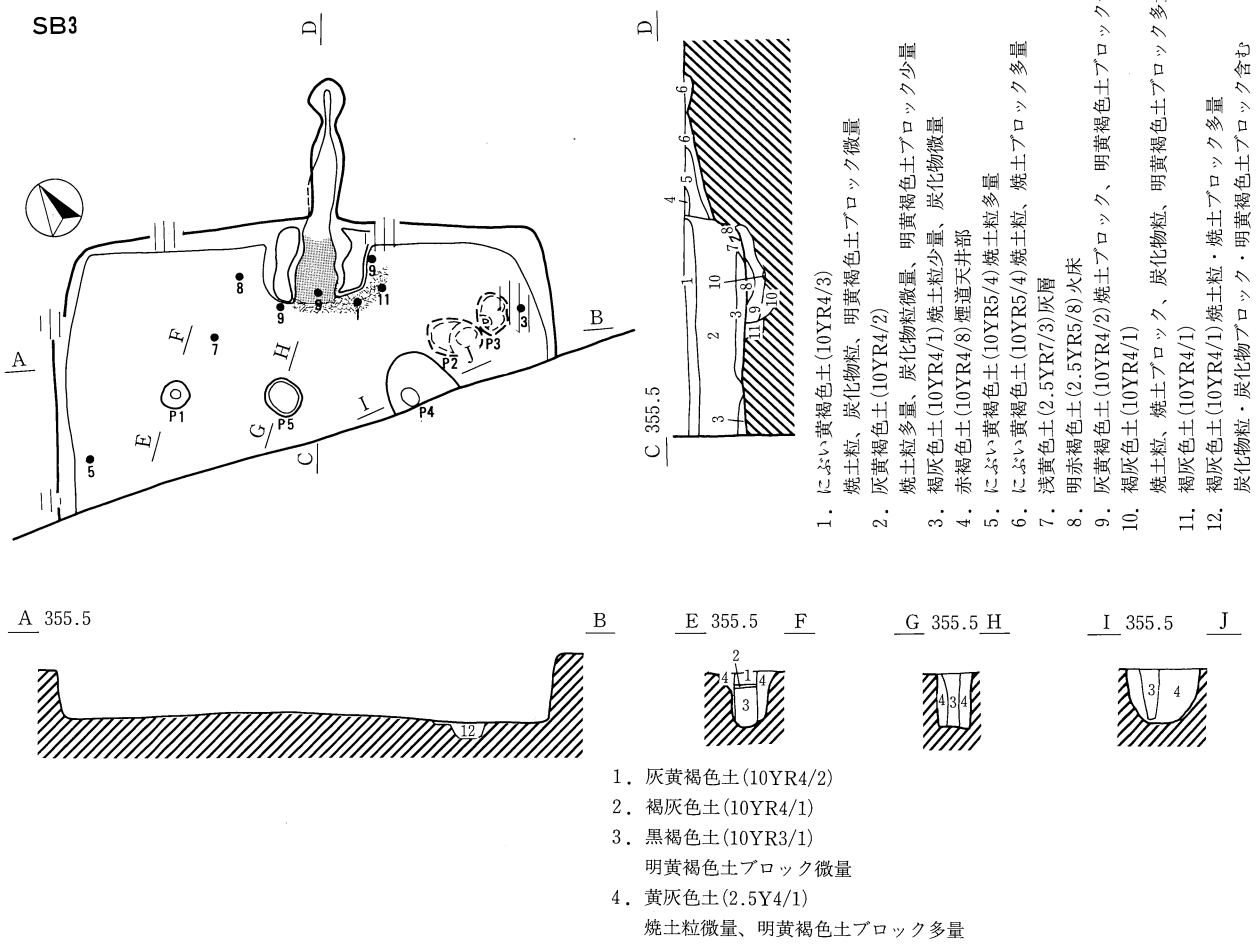
第38図　飛鳥・平安時代の遺構分布図　4

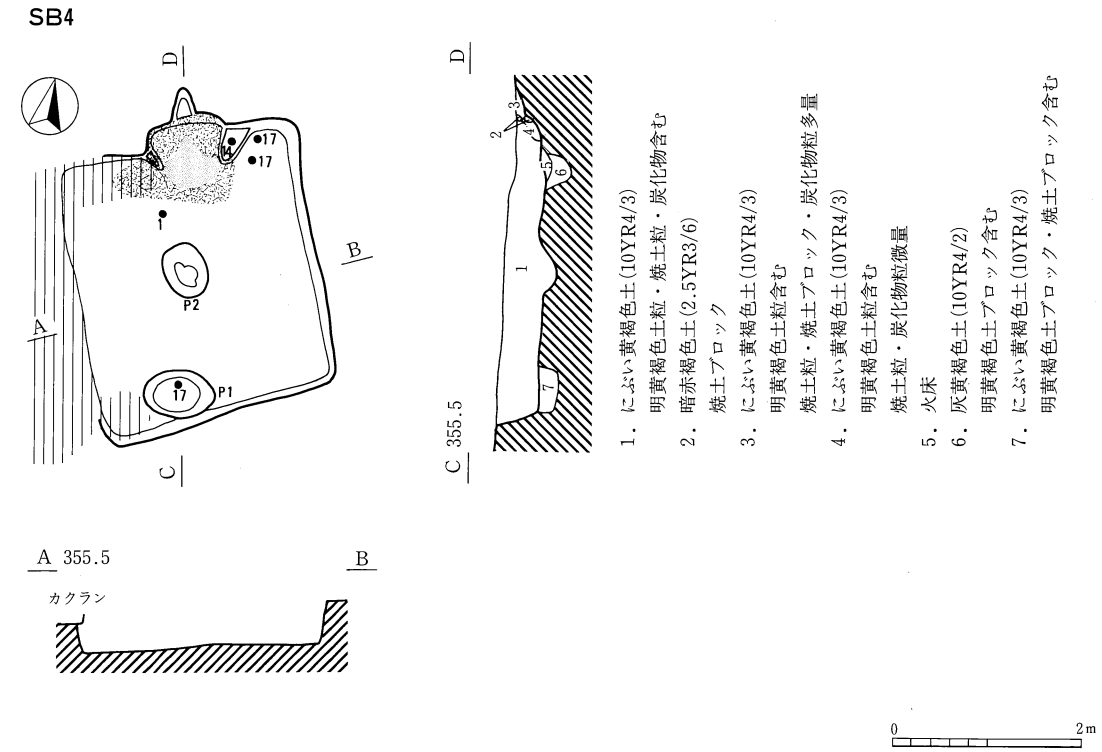


第39図　飛鳥・平安時代の遺構分布図　5

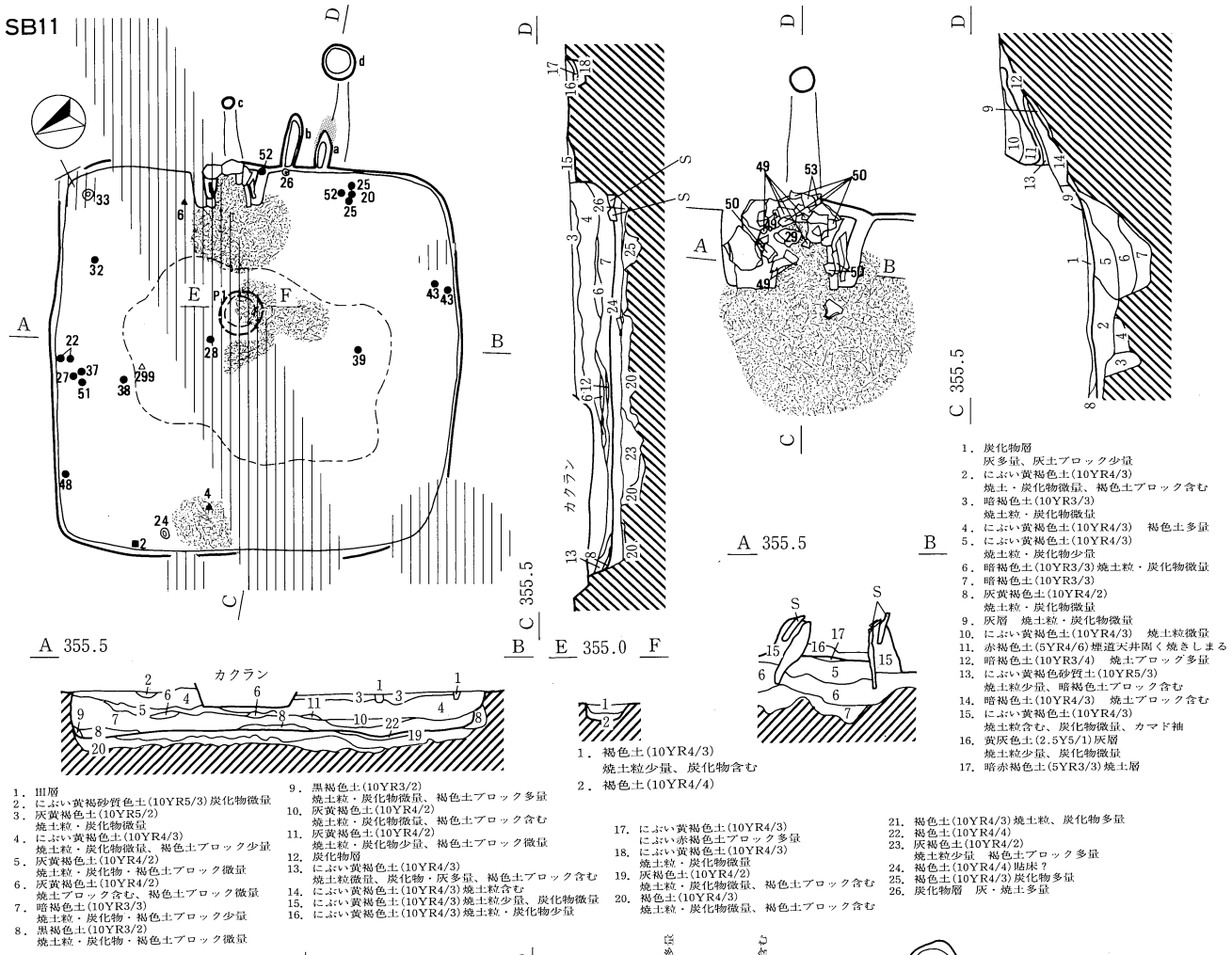


第40図　飛鳥・平安時代の遺構分布図　6

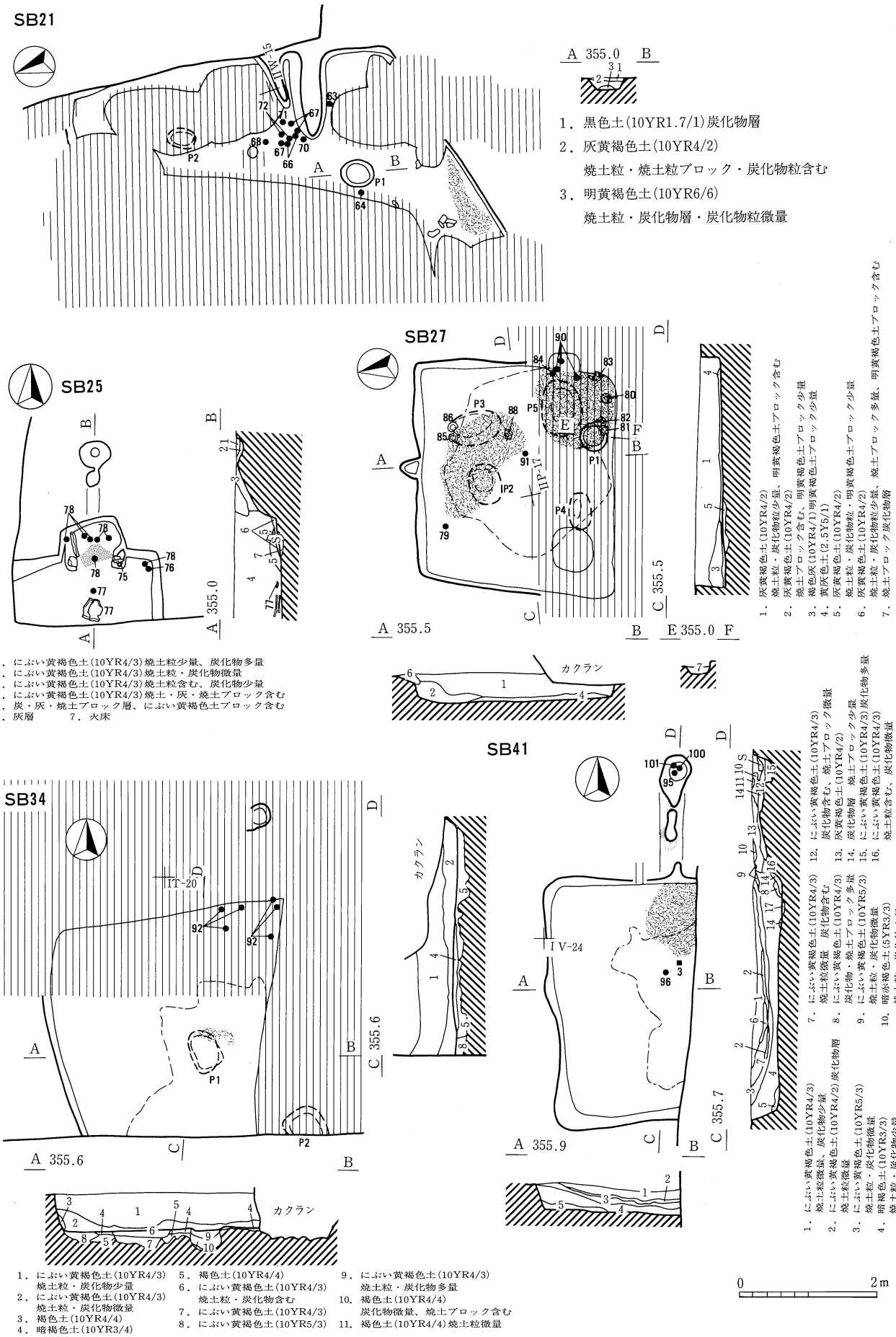




第41図　飛鳥・平安時代の遺構個別図　1

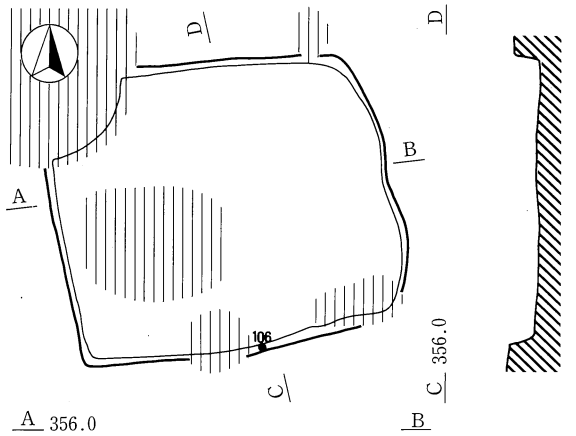


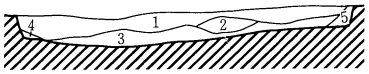
第42図　飛鳥・平安時代の遺構個別図　2



第43図　飛鳥・平安時代の遺構個別図　3

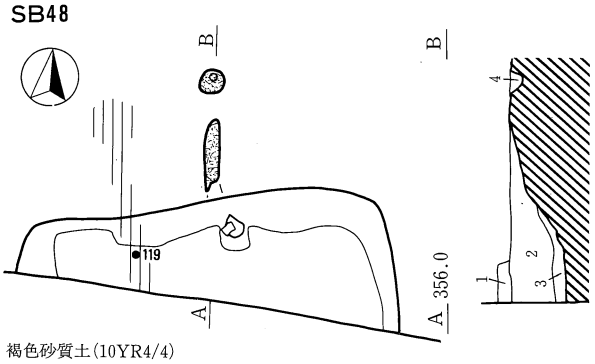
SB46





1．灰黄褐色土(10YR4/2)
2．灰黄褐色土(10YR4/2)
　焼土粒・焼土ブロック・炭化物・炭化物ブロック多量
3．灰黄褐色土(10YR4/2)
　明黄褐色土ブロック多量、鉄分・マンガン含む
4．褐灰色土(10YR5/1)鉄分多量
5．黒褐色土(10YR3/2)焼土粒・炭化物粒微量

SB48

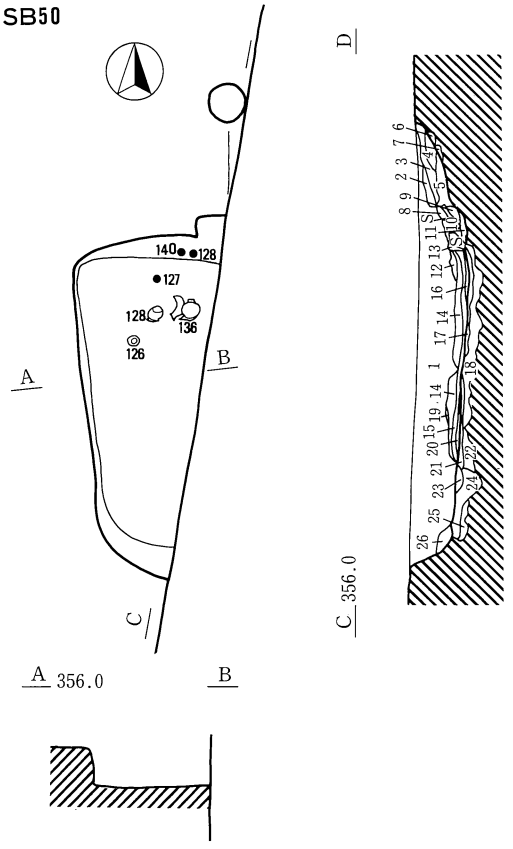


1．褐色砂質土(10YR4/4)
2．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒・炭化物灰黄褐色土微量、焼土ブロック含む、褐色砂質土多量
3．灰黄褐色土(10YR4/2)焼土粒微量、炭化物少量、褐色砂質砂多量
4．にぶい黄褐色土(10YR4/3)焼土粒微量、炭化物少量、褐色砂質土多量

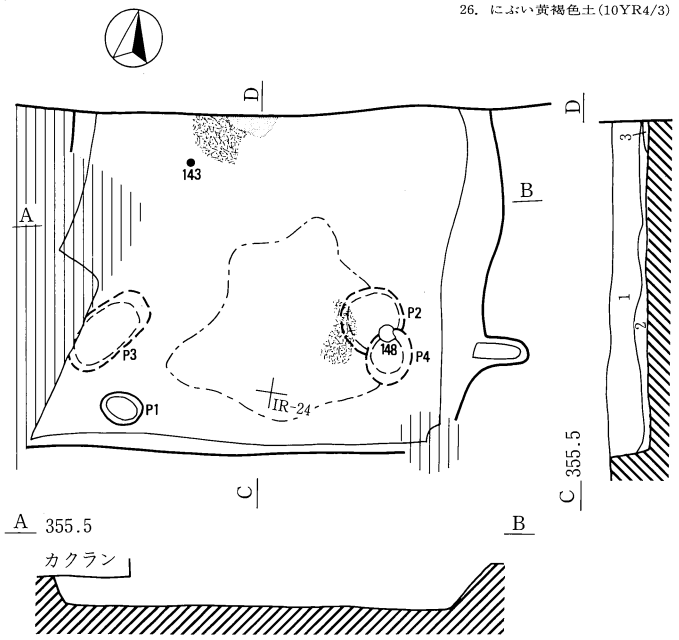
SB50

1．灰黄褐色土(10YR4/2)
2．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒・炭化物含む
3．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒・炭化物少量
4．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒少量、炭化物多量
5．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒・炭化物含む、焼土ブロック少量
6．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒少量、炭化物多量
7．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒・炭化物含む
8．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒・炭化物多量
9．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒・炭化物多量
10．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒・炭化物多量
11．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　炭化物微量
12．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒・炭化物多量
13．褐色土(10YR4/4)
　焼土ブロック微量
14．灰黄褐色土(10YR4/2)
　焼土粒・炭化物少量
15．灰黄褐色土(10YR4/2)
　焼土粒・炭化物微量
16．灰黄褐色土(10YR4/2)
　焼土粒・炭化物多量
17．灰黄褐色土(10YR4/2)
　焼土粒・炭化物少量
18．暗褐色土(10YR3/4)
　焼土粒・炭化物少量
19．灰黄褐色土(10YR4/2)
　焼土粒微量、炭化物多量
20．灰黄褐色土(10YR4/2)
　焼土粒・炭化物少量
21．灰黄褐色土(10YR4/2)
　焼土粒・炭化物少量
22．暗褐色土(10YR3/4)
　焼土粒・炭化物微量
23．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒微量、炭化物多量
24．暗褐色土(10YR3/4)
　焼土粒・炭化物微量
25．暗褐色土(10YR3/4)
26．にぶい黄褐色土(10YR4/3)

SB50



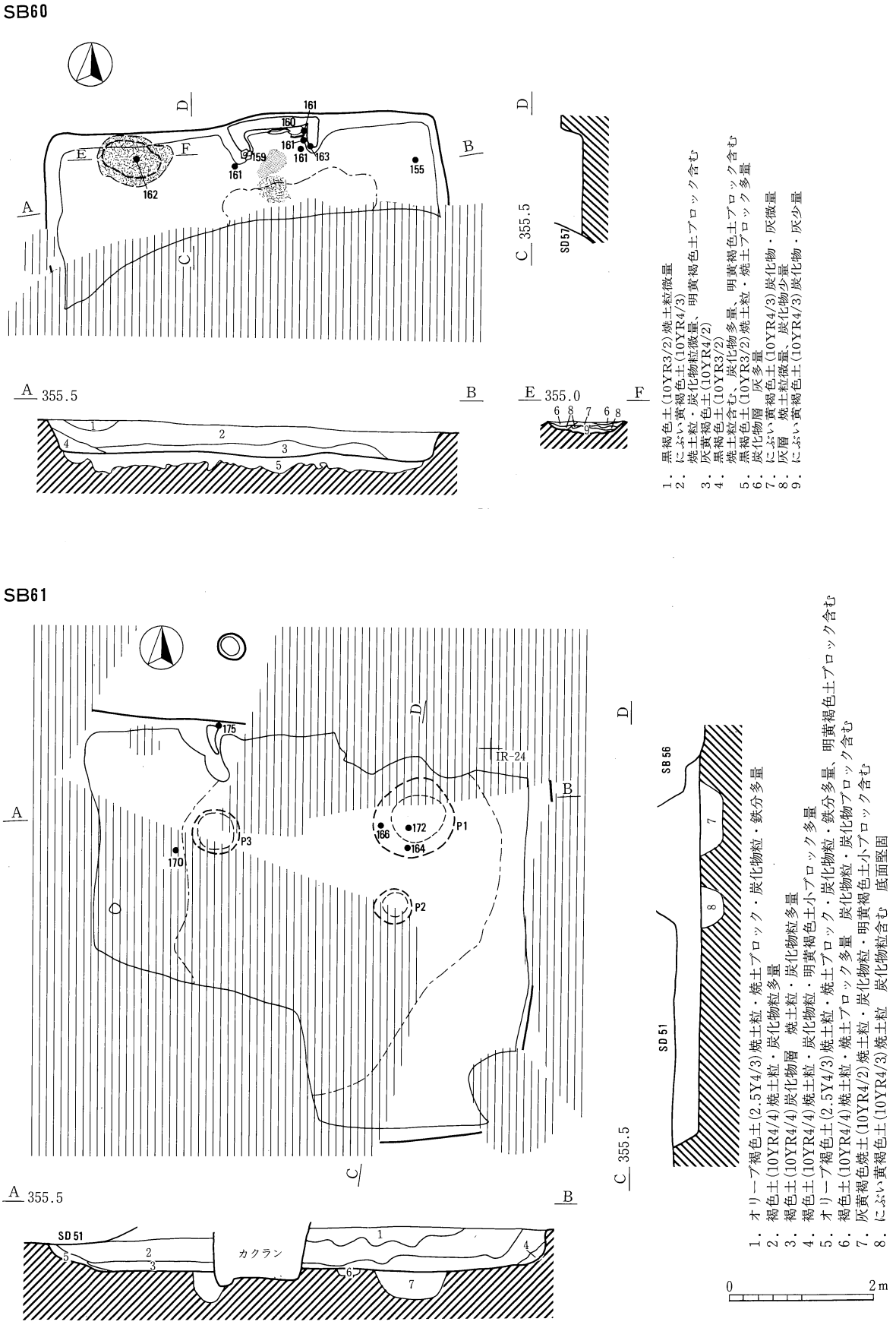
SB56



1．にぶい黄褐色土(10YR4/3)焼土粒、焼土ブロック多量
2．灰黄褐色土(10YR4/2)焼土粒、焼土ブロック少量
3．明赤褐色土(10YR6/8)暗褐色土ブロック含む

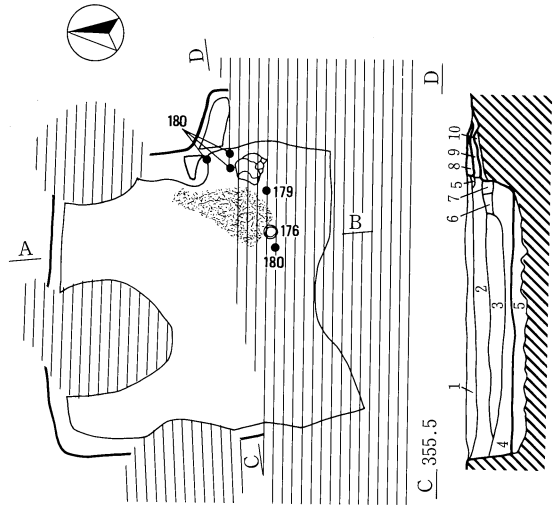
0　2m

第44図　飛鳥・平安時代の遺構個別図　4



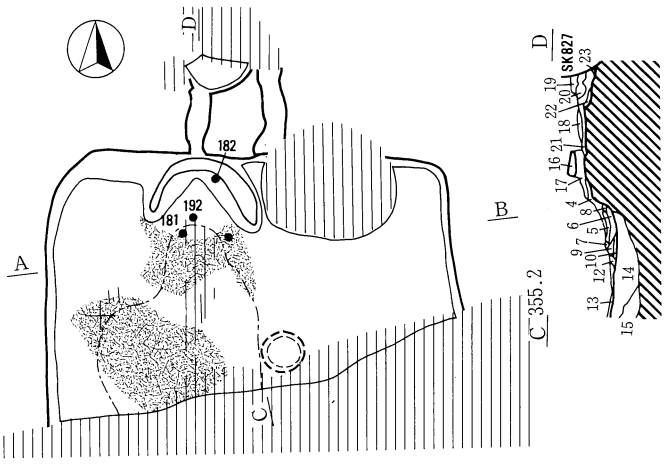
第45図　飛鳥・平安時代の遺構個別図　5

SB67



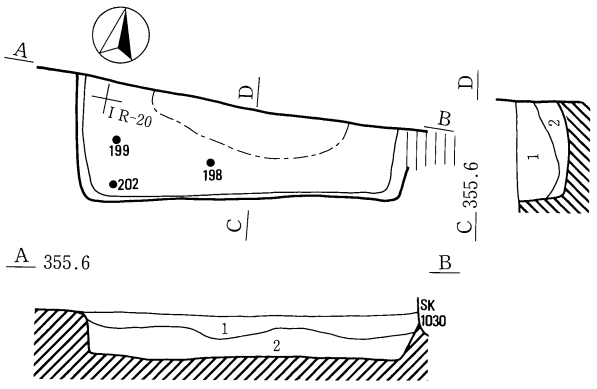
1．灰黄褐色土(10YR4/2)焼土粒微量、鉄分・マンガン粒多量
2．褐灰色土(10YR4/1)焼土粒微量、鉄分・マンガン粒含む
3．褐灰色土(10YR4/1)
　焼土粒・炭化物粒・炭化物ブロック・鉄分・マンガン含む
4．褐灰色土(10YR4/1)
　焼土粒・炭化物粒含む、鉄分粒多量、明黄褐色土ブロック少量
5．褐灰色土(10YR4/1)
　焼土粒微量、焼土ブロック多量、鉄分・マンガン含む
6．灰黄褐色土(10YR4/2)焼土粒含む、明黄褐色土ブロック多量
7．灰黄褐色土(10YR4/2)焼土粒微量、焼土ブロック多量
8．煙道天井　下部固く焼きしまる
9．にぶい黄褐色土(10YR4/3)焼土ブロック・明黄褐色土ブロック多量
10．焼土壁

SB70



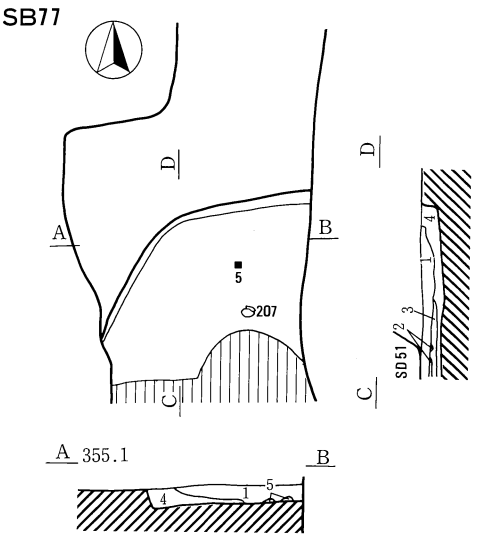
1．褐色土(10YR4/4)
　明赤褐色土粒含む
2．褐色土(10YR4/4)
　極暗赤褐色焼土ブロック多量
　明赤褐色焼土粒・炭化物粒含む
3．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　明黄褐色焼土粒・炭化物粒含む
4．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒多量、炭化物・灰少量
5．灰層　焼土粒・炭化物少量
6．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒・炭化物粒微量
7．焼土ブロック
8．炭化物層　焼土粒・灰少量
9．灰層　焼土粒・炭化物粒微量
10．焼土層
11．灰層　焼土粒少量、炭化物含む
12．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒・炭化物少量
13．炭化物層　焼土粒・灰微量
14．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒多量、炭化物含む、灰微量
15．褐色土(10YR4/4)
16．煙道天井　下部固く焼きしまる
17．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒・焼土ブロック少量
18．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒・焼土ブロック多量、炭化物少量
19．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土ブロック多量、炭化物微量
20．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土ブロック少量、炭化物微量
21．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒・炭化物微量
22．炭化物層　焼土粒少量

SB76



1．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒・炭化物・鉄分含む
2．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒・炭化物・鉄分・明黄褐色土ブロック含む

SB77

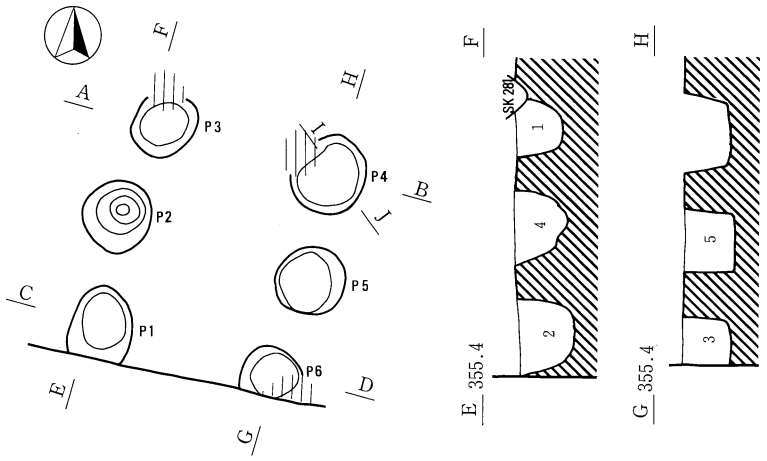


1．にぶい黄褐色土(10YR4/3)焼土粒少量、炭化物多量
2．にぶい黄褐色土(10YR4/3)焼土粒少量、炭化物多量
3．にぶい黄褐色土(10YR4/3)焼土粒・炭化物少量
4．にぶい黄褐色土(10YR4/3)焼土粒・焼土ブロック・炭化物少量
5．にぶい黄褐色土(10YR4/3)焼土粒微量、炭化物多量、灰少量

0　2m

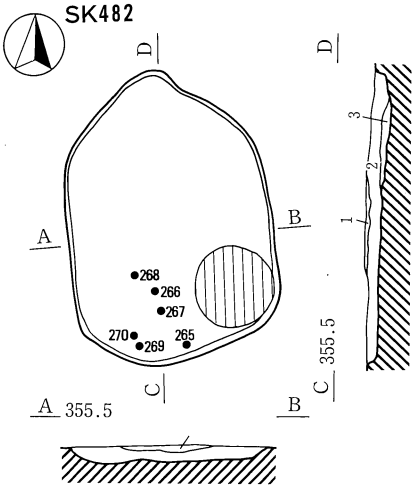
第46図　飛鳥・平安時代の遺構個別図　6

ST1



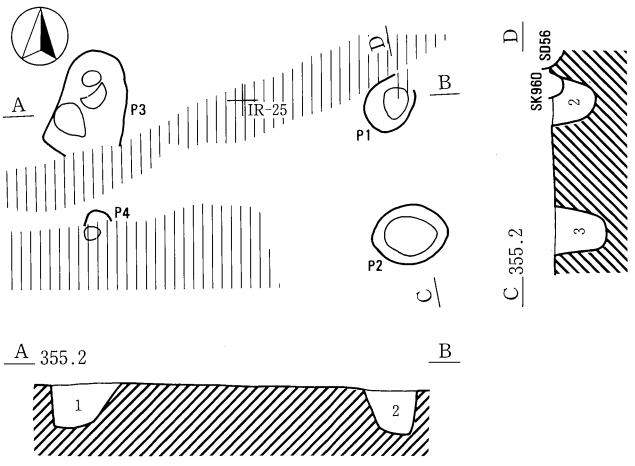
1．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒・炭化物微量
2．にぶい黄褐色土(10YR4/3)炭化物微量
3．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒・炭化物微量
4．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　炭化物微量、黄褐色土ブロック含む
5．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒・炭化物微量
6．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　にぶい黄褐色土ブロック少量
7．暗褐色土(10YR4/3)
　にぶい黄褐色土ブロック多量

SK482



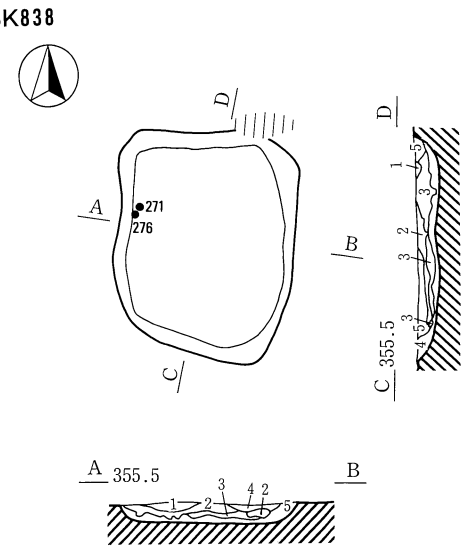
1．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒少量、炭化物多量
2．にぶい黄褐色土(10YR4/3)
　焼土粒含む、炭化物少量
3．暗褐色土(10YR3/4)
　焼土粒・炭化物微量

ST2



1．褐灰色土(10YR4/1)＋明黄褐色土(10YR6/6)
　焼土粒、炭化物粒、暗褐色土ブロック含む
2．褐灰色土(10YR4/1)～黒褐色土(10YR3/1)
　明黄褐色土ブロック、鉄分粒多量
3．明黄褐色土(10YR6/6)
　灰色土、暗褐色土ブロック含む
　(P1～4底部鉄文集積)

SK838



1．にぶい黄褐色土(10YR4/3)焼土粒、炭化物微量
2．にぶい黄褐色土(10YR4/3)焼土粒、炭化物多量
3．にぶい黄褐色土(10YR4/3)焼土粒、炭化物多量
4．にぶい黄褐色土(10YR4/3)焼土粒、炭化物少量
5．にぶい黄褐色土(10YR4/3)焼土粒、炭化物微量

0　2m

第47図　飛鳥・平安時代の遺構個別図　7

表13－1　飛鳥・平安時代竪穴住居跡（SB）一覧

SB番号	時期	実年代比定	根拠	仮地区	中地区	図番号	平面形	主軸方位	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	床面積(㎡)	カマド数	カマド位置	柱穴数	付属施設掘方	カマド構築材	特徴	色調	土色帳記号	埋土の特徴	遺物出土状況	遺物	遺物図	切合関係(古)	切合関係(新)
2	飛鳥？		土	1	Q17、18	35	－	N64°W	－	－	0.41	－	1	西壁	2	掘方凹凸あり	－	－	灰黄褐色、褐灰色、にぶい黄褐色	10YR 4/3～4/1	2層	埋土中より玉他	土器、石器、玉、骨、鉄製品		SB12、SK195、232	SK54、76、189
3	古代2期	7C最末～8C前半	土切	1	Q19	35・41	－	N23°E	－	－	0.54	－	1	北壁ほぼ中央	5	－	－	堅固な貼床	にぶい黄褐色、灰黄褐色、褐灰色	10YR 4/3～4/1	3層	埋土中より椀形鍛冶滓他、カマド周辺土器片多い	土器、石器、骨、鉄製品、種子、銅製品	48・64	SB5、9 SK212	SK 18、19、35、60、129
4	古代2期	7C最末～8C前半	土切	1	Q13	35・41	方形	N21°W	3.14	2.70	0.29	6.89	1	北壁やや右	2	－	粘土	－	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	カマド周辺土器片多い	土器、石器、土錘	48・60・61	SB1、8、14、SK147、182	SK88
5			土切	1	Q19	35	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	褐灰色	10YR4/1	1層	－	土器		－	SB3
9	飛鳥？		土切	1	Q19、20	35	－	N14°E	－	－	0.43	－	1	北壁ほぼ中央	5	－	－	－	にぶい黄褐色	10YR5/3	1層	埋土中より土錘、羽口他	土器、石器、骨、土錘、羽口		SB13、SK147	SB3、SK2、26、27、29、30、37、38、163、169、187、212、231
11	古代7期後半	9C第3四半期	土	2	P14、19	36・42	方形	N119°E	4.60	4.44	0.47	19.70	4	東壁ほぼ中央	1	掘方凹凸あり、西方半分深い	粘土、石	堅固な貼床2枚あり、床面に炭化物	黒褐色、灰褐色、暗褐色、にぶい黄褐色	10YR 3/2、4/2、10YR 3/3、4/3	11層	カマド周辺土器片多い、埋土、床面共に遺物多い	土器、石器、骨、鉄製品、鉄滓、種子、土錘	49・50・60・64	SB 22、24、SD 5、SK305、310、341、348	SK103、104、217
13	飛鳥？		土切	1	Q20	35	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	褐色、灰黄褐色	10YR4/4、4/2	2層	－	土器		－	SB9、SK187、210
15	古代3～4期	8C中葉～8C後半	土切	1	Q15、20	35	方形	N53°W	5.24	4.88	0.44	25.57	1	北西壁中央	－	掘方凹凸あり	粘土	床面に炭化物、焼土	褐色、灰黄褐色	10YR 4/4、4/2	1層	埋土中より鍛冶滓他	土器、石器、鉄滓		SB16、17、19、21、23、88	SB15、90、SK7、14、136、153、171、214、278、1134、1159、1236、1238
17	古代3期？	8C中頃	土切	1	Q14、15、19、20	35	－	－	－	－	0.31	－	1	北壁ほぼ中央	4	－	－	－	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	埋土中より鍛冶滓他	土器、石器、骨、鉄滓、鉄製品		SB16、23、SK261	SB15、SK7、14、137
18	古代8期前半	9C後半	土	2	P13	36・42	方形	N109°E	4.26	4.14	0.26	16.64	1	東壁右	7	掘方凹凸あり	粘土、石	堅固な貼床	にぶい黄褐色、暗褐色、黒褐色	10YR 4/3～2/3	8層	埋土中より鍛冶滓他	土器、石器、骨、鉄製品、鉄滓、貝殻	50	SD81、SK332、342	SK115、270、1170、1172、1223
21	古代2期	7C最末～8C前半	土切	1	Q15、20、R11、16	35・43	－	N109°E	－	－	0.14	－	1	東壁右	2	－	粘土	－	灰黄褐色	10YR4/2	3層	カマド周辺土器片多い	土器、石器、骨	50・51	－	SB19、SK47、151、152、233、248、249、278、1134、1147、1148、1231、1232、1233、1239、1240
22	平安？		土切	2	P18、19	36	－	－	－	－	0.38	－	－	－	－	掘方凹凸あり	－	－	にぶい黄褐色、暗褐色	10YR 4/3、3/3	2層	埋土中より鍛冶滓他	土器、石器、鉄製品、鉄滓		SD5、SK348、349、350、361、362、365、368	SB11、ST1、SK217、218、252、256、260
23	古代2期前後	7C末～8C中葉	土切	1	Q14、15、20	35	－	－	－	－	0.61	－	－	－	8	掘方凹凸あり	－	－	灰黄褐色、黒褐色、灰オリーブ色	10YR 4/2、3/2、5Y5/2	7層	埋土中より羽口他	土器、石器、羽口	60	SB7、SK262、990	SK15、17、19、29、88、90、SK7、14、136、153、214、1134、1137、1145、1152、1159、1238
25	古代6期	9C前半	土	3	S20	37・43	－	N4°E	－	－	0.80	－	1	北壁右	－	－	粘土、石	堅固な床	にぶい黄褐色、褐色、灰黄褐色	10 YR 4 / 3、4/4、4/2	6層	カマド周辺土器片多い	土器、石器	51	SK605	－
26	飛鳥？		土切	2	T18	37	－	N87°E	－	－	0.58	－	1	東壁	－	掘方凹凸あり	粘土	堅固な貼床床面に炭化物・焼土	にぶい黄褐色	10YR4/3	4層	カマド周辺土器片多い	土器、石器		SB33、SK579	SB31、SD18、SK551
27	古代7期	9C中葉～後半	土切	2	P11、12、16、17	36・43	方形	N85°E	3.46	2.98	0.31	8.93	2	東壁右	5	掘方凹凸あり	－	堅固な貼床、床面に炭化物	灰黄褐色、黄灰色	10YR 4/2、2.5Y5/1	4層	カマド周辺土器多い	土器、石器、鉄製品	51・52・64	SB35、37、SD23、33	SK391
28	平安？		土切	2	T 20、P16	36	－	－	－	－	0.34	－	1	北壁中央	－	－	－	一部貼床	灰黄褐色、褐灰色	10YR5/2～4/2、10YR4/1	3層	カマド周辺土器片多い	土器、石器		SD33、SK591	SB33、SK387
29			土切	1	Q14	35	－	－	－	－	0.38	－	－	－	－	－	－	－	にぶい黄褐色、褐色、黒褐色	10YR4/3、4/4、3/2、2/2	5層	－	土器、骨		SB7、23	－
30			土	2	T17	36	－	N34°W	－	－	0.40	－	1	北西の角	2	－	－	堅固な貼床	灰黄褐色	10YR 5/2、4/2	2層	床、埋土中共に少ない	土器、骨		SD33、42	－
31			土切	2	T18	37	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	煙道より甕他	土器		SB26	－
32			土	3	T16	37	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	土器		－	－
33	平安		土切	2	T20	36	－	N7°W	－	－	0.41	－	1	北壁	－	掘方凹凸あり	－	堅固な床	にぶい黄褐色	10YR4/3	2層	埋土中土器片少ない	土器		SB28、SK558、559	－

表13－2　飛鳥・平安時代竪穴住居跡（SB）一覧

SB番号	時期	実年代比定	根拠	仮地区	中地区	図番号	平面形	主軸方位	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	床面積(㎡)	カマド数	カマド位置	柱穴数	付属施設掘方	カマド構築材	特徴	色調	土色帳記号	埋土の特徴	遺物出土状況	遺物	遺物図	切合関係(古)	切合関係(新)
34			土切	2	T15、19、20	36・43	－	N1°E	－	－	0.59	－	1	北壁右	2	掘方凹凸あり	－	堅固な貼床	にぶい黄褐色、褐色	10YR 4/3、4/4	3層	床面より椀形鍛練鍛冶滓他	土器、石器、骨、鉄滓、炭化米	52	SD29、33	SK381
35			土切	2	P11、16	36	－	－	－	－	0.36	－	－	－	－	－	－	－	灰黄褐色	10YR4/2	2層	－	土器		SB36、37、SD23	SB27
37			土切	2	P11、12	36	－	N10°E	－	－	0.27	－		北壁	－	掘方凹凸あり	－	一部貼床あり、2軒？	灰黄褐色、にぶい黄褐色	10YR 5/2、5/3	2層	カマド付近土器集中	土器、石器、骨		SB 36、SD 25、SK1276	SB27、35、SD80、SK1200、1207、1218、1219、1220
41	古代8期前半	9C後半	土切	6	V19、24	40・43	－	N2°E	－	－	0.39	－	1	北壁	－	－	－	堅固な貼床	にぶい黄褐色、灰黄褐色	10YR 4/3、4/2	7層	床面より石包丁、埋土中より鍛冶滓他	土器、石器、鉄製品、鉄滓、土錘、石包丁	60・61	SB44	SK670
42	古代 6～7期	9C前半～9C後半	土切	〃	V19	40	－	－	－	－	0.35	－	－	－	－	－	－	一部貼床	にぶい黄褐色、灰黄褐色	10YR 4/3、4/2	3層	埋土中少ない	土器、石器、骨		SB45、47	SD43、SK673、695
43	飛鳥？		土	6	V23、24	40	－	N91°E	－	－	0.27	－	2	東壁やや左	－	掘方凹凸あり	－	－	にぶい黄褐色	10YR4/3	4層	煙道より土器片	土器		SK700、701	－
44	平安		土切	6	V19	40	－	－	－	－	0.43	－	－	－	－	－	－	一部堅固な貼床	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	埋土中より鍛冶滓他	土器、石器、鉄滓		－	SB41、SK670
45			土切	6	V19	40	－	－	－	－	0.36	－	－	－	－	－	－	－	褐色、にぶい黄褐色	10YR 4/4、4/3	2層	－	土器、石器		－	SB42
46	古代4期	8C後半	土切	6	V5	39・44	方形	－	2.60	3.12	0.36	11.22	－	－	－	－	－	－	灰黄褐色、黒褐色、褐灰色	10YR 3/2、5/1	5層	埋土中土器片多い	土器、石器、鉄滓	52・53	SK713	SK645、656、667、669、1311
47			土切	6	V19	40	－	－	－	－	0.42	－	－	－	－	掘方凹凸あり	－	堅固な貼床	にぶい黄褐色	10YR4/3	4層	－	土器、石器		－	SB 42、SD 43、SK695
48	古代7期	9C中葉～後半	土切	6	V4	39・44	－	N75°E	－	－	0.66	－	1	東壁ほぼ中央	－	掘方凹凸あり	粘土	－	にぶい黄褐色、灰黄褐色	10YR 4/3、4/2	3層	煙道より羽口、埋土中土器片多い	土器、石器、羽口	53	SK839、853、856	SB49
49			土切	6	V4	39	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	土器、石器		SB48、SK839	－
50	古代7期	9C中葉～後半	土切	6	V9、14	39・44	－	N5°E	－	－	0.43	－	1	北壁	－	掘方凹凸あり	－	堅固な貼床	茶褐色、にぶい黄褐色、灰黄褐色	10YR 4/3、4/2	8層	カマド周辺土器多い	土器、石器、鉄滓	53・54	SB51、54、SK1309	
51	平安		土切	6	V9	39	－	N65°W	－	－	0.36	－	1	西壁右	－	掘方凹凸あり	粘土	一部堅固な貼床	赤褐色、にぶい黄褐色、灰黄褐色、褐色	10 YR 4 / 4、4/3、4/2	5層	埋土中より椀形鍛冶滓他	土器、石器、鉄製品、鉄滓、骨、銅製品		SB54、SK894、1309	SB50
53			土	6	V9	39	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		－	－
54			土切	6	V9	39	－	－	－	－	0.41	－	－	－	1	－		堅固な貼床	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	埋土中少ない	土器		SK879、891	SB50、51、SK788、790、1309
56	古代6期	9C前半	土切	4	R18、19、23、24	38・39・44	－	－	－	－	0.40	－	2	北壁やや左	4		－	底面に炭化物、中央に堅固な貼床	にぶい黄褐色	10YR4/3	5層	埋土中土器片多い	土器、石器、骨、鉄滓	54	SB61、72、SK864	SK718
57			土切	4	R17、18、23	39	－	－	－	－	0.12	－	－	－	－	－	－	－	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－	土器、石器		SB61、72、SK844、845、846、847	SD51、SK801
58	飛鳥？		土切	4	R19、20	38	方形	N12°W	4.40	3.84	0.52	12.46	1	北壁やや右	ナシ	－	粘土	中央に貼床、床面に炭化物	にぶい黄褐色、灰黄褐色、明黄褐色	10 YR 5 / 4、4/2、6/6	5層	埋土中土器片多い	土器、石器、土焼、種子		SD67、SK919	SK719、763
59			土切	4	S16、21	38	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	土器		SB65、70	SD57
60	古代6期	9C前半	土切	4	R24、25	38・39・45	－	N10°W	－	－	0.34	－	1	北壁やや右	－	掘方凹凸あり	粘土	堅固な貼床	黒褐色、灰黄褐色、にぶい黄褐色	10 YR 3 / 2、4/3、4/2	4層	カマド付近土器片多い	土器、石器	54・55	SK963、ST2	SD57、SK808
61	古代3期	8C中葉	土切	4	R18、23、24	38・39・45	長方形	N17°E	7.00	5.84	0.35	33.21	1	北壁左	3	掘方凹凸あり	粘土	堅固な貼床	オリーブ褐色、褐色	2.5Y4/3、10YR4/4	5層	埋土中土器片多い、埋土中より椀形鍛冶滓他	土器、石器、鉄製品、鉄滓、種子	55	SB72	SB56、57、SD49、51、SK802、862、888
62	平安		土切	4	R20、25	38	－	－	－	－	0.41	－		－	－	掘方凹凸あり	－	－	褐色、赤褐色	10 YR 4 / 4、2.5YR4/8	4層	埋土中土器片多い	土器、石器、鉄製品	64	SB66、SK952、965、970	SB65、70、SD57
63			土切	4	R25	38	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		－	SD57
64			土切	4	S16、21	38	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		SB66、70	SD57

表13－3　飛鳥・平安時代竪穴住居跡（SB）一覧

SB番号	時期	実年代比定	根拠	仮地区	中地区	図番号	平面形	主軸方位	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	床面積(㎡)	カマド数	カマド位置	柱穴数	付属施設掘方	カマド構築材	特徴	色調	土色帳記号	埋土の特徴	遺物出土状況	遺物	遺物図	切合関係(古)	切合関係(新)
65			土切	4	R25、S21	38	－	－	－	－	0.51	－	1	北壁	－	－	－	－	－	－	－	－	土器、石器	61	SB62、70	SB59、SD57
67	古代7期	9C中葉～後半	土切	4	S17	38・46	－	N90°E	－	－	0.52	－	1	東壁	－	掘方凹凸あり	粘土	堅固な床	灰黄褐色、褐灰色	10YR 4/2、4/1	4層	埋土中土器片多い	土器、石器	55	SB69	SD57、SK720、721、731、865
68			土切	4	S12、13、17、18	38	－	－	－	－	0.15	－	－	－	－	－	－	－	褐灰色、明黄褐色	10YR 4/1、6/6	2層	－	土器、石器		SD59、67	SB71、74、SD58、SK733、867、884、1074、1079
69	平安		土切	4	S17	38	－	－	－	－	0.13	－	－	－	－	－	－	－	褐灰色	10YR4/1	1層	埋土中少い	土器、石器、鉄滓		SD59	SB67、SD57、SK720、721、722、727、730、731、865、866、883、889
70	古代6期	9C前半	土切	4	R20、25、S16、21	38・46	－	N5°W	－	－	0.32	－	2	北壁やや左	1	掘方凹凸あり	粘土	一部堅固な貼床、2枚あり	褐色、にぶい黄褐色	10YR 4/4、4/3	3層	カマド周辺・埋土中土器片多い	土器、石器、鉄製品	56	SB62、73、75、SK970、987、988、1065	SB59、64、65、SD57、SK824、827、972
71	古代2期前後	7C末～8C中葉	土切	4	S13、18	38	方形	N9°W	3.28	2.94	1.28	8.87	1	北壁ほぼ中央	－	－	粘土	堅固な貼床、床面焼土、炭化物あり	灰黄褐色、にぶい黄褐色	10 YR 4 / 2、4/3	5層	埋土中少い	土器、石器、鉄製品	56	SB68、74、83、SD58、59、68	SK733、1078、1079、1082
72	飛鳥？		土切	4	R18	39	－	－	－	－	0.39	－	－	－	5	－	－	－	灰黄褐色、褐灰色、明黄褐色	10YR 4/2、4/1	5層	埋土中土器片多い	土器、石器、種子		SK917	SB56、57、61、SK845
73			土切	4	S16	38	－	－	－	－	0.23	－	－	－	－	掘方あり	－	一部貼床あり	にぶい黄褐色、灰黄褐色、黄褐色	10 YR 4 / 3、4/2、5/6	3層	－	土器		SK987	SB66、70、75、SD57、SK824
76	古代7期前半	9C中葉	土切	4	R14、15、19、20	38・46	－	－	－	－	0.51	－	－	－	－	－	－	一部堅固な貼床	にぶい黄褐色、褐灰色	10YR 4/3、5/1	3層	埋土中土器片多い	土器、石器	56	SB79、SK1089	SK1030
77	古代4期	8C後半	土切	5	Q14	40・46	－	－	－	－	0.21	－	－	－	－	－	－	堅固な床、床面に炭化物、焼土	にぶい黄褐色	10YR4/3	4層	埋土中土器片多い、埋土中より椀形鍛冶滓他	土器、石器、鉄滓	56・61	SB80、81	SD51、SK1061
78			土切	4	R15、20、S11、16	38	－	－	－	－	0.24	－	－	－	3	－	－	一部堅固な貼床	にぶい黄褐色、暗褐色	10YR 4/3、3/4	2層	－	土器		SD67、SK1084	SD56、SK1028、1032
79			土切	4	R14、19	38	－	－	－	－	0.18	－	－	－	－	－	－	一部堅固な床	褐色	10YR4/4	1層	埋土中土器片少い	土器		－	SB76
80	飛鳥		土切	5	Q14	40	－	－	－	－	0.11	－	1	北壁	－	－	－	堅固な床	にぶい黄褐色、褐色	10 YR 4 / 3、4/4	3層	埋土中より鍛冶滓他	土器、石器、骨、鉄滓		SB81、SK1064	SB77、SD51、SK1061、1063
81	飛鳥		土切	5	Q14	40	－	N26°W	－	－	0.45	－	1	北西壁右	－	掘方中央付近深い	－	－	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－	土器、石器、鉄製品	64	SB84	SB77、80、SD51、SK1010、1061、1064
82			土切	4	S13、18	38	－	－	－	－	0.17	－	－	－	－	－	－	－	褐色、明黄褐色	10YR 4/4、6/6	2層	－	土器、石器		－	SD58、SK913、1046、1085
83	飛鳥		土切	4	S13	38	－	－	－	－	0.63	－	－	－	2	掘方凹凸あり	－	－	暗褐色、明黄褐色、灰黄褐色、灰色	10YR3/4、4/2、6/6、5Y5/1	6層	埋土中土器片多い	土器、石器		SK1100	SB71、SK1045、1085、1077
84			土切	5	Q14	40	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	土器		－	SB81、SK1019、1060
85			土切	5	L24、Q4	40	－	－	－	－	0.19	－	－	－	－	掘方凹凸あり	－	堅固な貼床	にぶい黄褐色、灰色、灰黄褐色、明黄褐色	10 YR 5 / 4、6/6、4/2、5Y4/1	5層	埋土中土器片少ない	土器		－	SB86
86			土切	5	L24、Q4	40	－	－	－	－	0.08	－	1	北壁	－	－	－	－	にぶい黄褐色	10YR4/3	2層	埋土中少ない	土器		SB85	SK1110
87	飛鳥？		土切	1	Q12、13	35	－	N128°E	－	－	0.43	－	1	南東壁	3	掘方凹凸あり	－	堅固な貼床、2枚あり	黒褐色、黒色、にぶい黄褐色、灰黄褐色、明黄褐色	10 YR 3 / 2、4／2、4/3、7/1、6/6	6層	埋土中土器片多い、床下より鍛冶滓他	土器、石器、骨、鉄滓	61	SB89、SK1139、1235、1296、1297	SK83、1140、1150、1158、1160、1161、1168、1169
88			土切	1	Q14、15	35	－	－	－	－	0.26	－	－	－	－	－	－	一部貼床	灰黄褐色、暗灰黄色	10 YR 4 / 2、2.5Y4/2	3層	埋土中土器片少ない	土器、石器、骨	56	SB23	SK15、90、SK1145
89			土切	1	Q13	35	－	－	－	－	0.40	－	－	－	－	掘方凹凸あり	－	軟弱な貼床	黒褐色	10YR3/2	3層	埋土中土器片少ない	土器、石器		SB8、SK1241	SB87、SK1155
90	飛鳥？		土切	1	Q15	35	－	－	－	－	0.37	－	1	西壁	－	掘方凹凸あり	－	－	褐色、暗褐色	10YR 4/4、3/4	4層	カマド付近土器片多い、埋土中より炉壁	土器、石器、骨、鉄製品、羽口		SB15、19、21、23、88	SK1134、1135、1136、1151、1152、1162・

表14－1　飛鳥・平安時代の溝（SD）一覧

仮地区	SD番号	時期	中地区	図番号	平面形	流路方向	全長(m)	最大幅(m)	深さ(m)	色調	土性	堆積状況	遺物出土状況	遺物図	切合関係（古）→（新）	備考
2	3		P13、18	36	直線的	北～南	(3.00)	0.30	0.19	にぶい黄褐色	シルト	1層	土器		→SK284	
1	6	平安	P15、20、Q11、16	35	直線的	－	(10.94)	2.90	1.29	灰色～黒褐色	シルト砂質	4層　鉄分粒・鉄分ブロックを多く混入、底部鉄分集積	土器，石器、鉄製品、鉄滓	57・61・64	SB91→SD1、SK65、1143、1167、1243	
3	8		T16、17、S20	37	直線的	－	18.4	0.24	0.21	灰黄褐色～暗褐色	シルト	2層	土器，石器		→SK459、487	
3	9		T16、S20	37	直線的	東～西	8.50	0.22	0.18	灰黄褐色	シルト	1層	土器		→SK382、383、468	
3	10		S20	37	直線的	北～南	(3.64)	0.28	0.16	灰黄褐色	シルト	1層	土器		SD13、14→SD9	
3	11		S20	37	直線的	北～南	(3.28)	0.24	0.11	灰黄褐色	シルト	1層	土器		SD13→	
3	12		T11、16	37	直線的	北～南	(2.74)	0.74	0.29	－		1層	土器、石器		－	
3	13		S20	37	直線的	西～東	(1.10)	0.20	0.06	灰黄褐色	シルト	1層	－		→SD10、11	
3	14		S20	37	直線的	東～西	(0.40)	0.24	0.07	灰黄褐色	シルト	1層	－		→SD10、SK467	
3	15		T16	37	直線的	西～東	1.60	0.34	0.36	にぶい黄褐色	シルト	1層	土器		SK604→SD16	
3	16		T16	37	直線的	北～南	(2.20)	0.22	0.25	にぶい黄褐色	シルト	1層	土器		SD15→	
3	17		T16	37	直線的	西～東	2.60	0.20	0.06	暗褐色	シルト	1層	土器		－	
2	18		T13、18	37	直線的	北東～南西	(4.80)	0.22	0.15	灰黄褐色	シルト	1層	土器		SB26→SK375	
2	19		P11	36	直線的	北～南	(1.84)	0.20	0.09	灰黄褐色	シルト	1層	－		－	
2	20		P11	36	直線的	－	1.42	0.24	0.13	灰黄褐色	シルト	1層	－		－	
2	21		T15	36	1ヶ所で屈曲、直線的	北西～南東、東北～南西	(3.96)	0.22	0.09	灰黄褐色	シルト	1層	土器		－	
2	22		T14、15	36・37	直線的	東～西	(9.00)	0.24	0.20	灰黄褐色	シルト	1層	土器		→SD31、SK381、529、576	
2	23		T15、P11、12、13	36	暖やかに湾曲	北西～東	(22.0)	0.86	0.43	褐灰色～灰黄褐色	シルト	1層	土器、石器		SB 36 → SB 27、35、SD24、SK394、1260	
2	24	古代3期	P12、17	36	直線的	－	(6.46)	3.30	1.48	褐灰色～黄褐色	シルト砂質	6層　焼土粒、炭化物粒を多く混入、鉄分を多量に混入	土器、石器、骨	57・58・61	SD 23、25、33 → SK 545、550、561、565、566	
2	26		T19	36・37	直線的	東～西	4.44	0.46	0.21	にぶい黄褐色	シルト	1層	土器		－	
2	27		T19	37	直線的	北～南	(1.32)	0.22	0.22	にぶい黄褐色	シルト	1層	－		－	
2	28		T19	36・37	直線的	北～南	(1.00)	0.22	0.15	にぶい黄褐色	シルト	1層	土器、石器		－	
2	29		T19	36・37	直線的	西～東北	(3.30)	0.20	0.06	にぶい黄褐色	シルト	1層	土器		→SB34	
2	30		T14	36・37	直線的	南～北東	(2.06)	0.24	0.16	にぶい黄褐色	シルト	1層	土器、石器		－	
2	31		T15	36	直線的	東南～北西	(0.80)	0.14	0.07	にぶい黄褐色	砂質	1層	－		SD22→SK529	
2	32		T14	37	直線的	北東～南西	(0.48)	0.20	0.13	にぶい黄褐色	シルト	1層	－		－	
6	44	平安？	W1 R21	39	直線的	北～南	(3.52)	1.52	0.55	褐灰色～黄褐色	シルト	4層　鉄分を多量に混入	土器、石器、鉄製品	58	→SK664	
6	45		W1 R21	39	緩やかに湾曲	－	(4.21)	1.24	0.28	褐灰色～にぶい黄褐色	シルト	4層　鉄分・マンガンを多く混入、黒褐色土ブロックを多量に混入	土器、石器		－	
6	46	平安	W1、2	39	直線的	－	(2.62)	3.04	0.51	明黄褐色～にぶい黄褐色	シルト	6層　焼土粒、炭化物粒、鉄分・マンガン粒を多く混入	土器、石器、鉄滓、羽口	58	SK 711 → SK 636、653、661	
6	47		V19	40	直線的	－	(1.26)	0.22	0.12	暗褐色	シルト	1層	土器		→SK675、686	
4	48		R19、24	38・39	直線的	北～南	(4.10)	0.74	0.28	褐灰色	シルト	1層　鉄分を多く混入	土器		SK 828 → SK 782、805、806、807	
4	49	平安	R24	38・39	直線的	南～北	(7.22)	0.70	0.44	褐灰色	シルト	1層　鉄分を多く混入	土器、石器		SB61、SK888→	

表14－2　飛鳥・平安時代の溝（SD）一覧

仮地区	SD番号	時期	中地区	図番号	平面形	流路方向	全長(m)	最大幅(m)	深さ(m)	色調	土性	堆積状況	遺物出土状況	遺物図	切合関係（古）→（新）	備考
6	50		V9、14	39	直線的	南～北	(5.70)	0.42	0.19	灰黄褐色	シルト	2層	土器、石器		－	
6	52		Q24、V4.9	39	直線的	－	(11.00)	8.34	0.25	にぶい黄褐色	シルト	1層	土器、石器		SK859→SK798、799、SK832、835、837	
6	54		V9	39	緩やかに湾曲	－	(3.10)	0.64	0.57	にぶい黄褐色～暗褐色	シルト	3層	土器、石器		→SK817、834、880	
5	55		Q4.9	40	直線的	－	(3.70)	0.60	0.47	にぶい黄褐色	シルト	1層	土器、石器		SK1012→	
4	56	平安	R20、24、25、S11、16	38	緩やかに湾曲	西～北東	(20.07)	1.40	0.61	灰色～褐灰色	細砂、シルト	2層　鉄分を多く混入	土器、石器		SK78、SD67、ST2、SK 963、969、1084、1094→SK849、1071、1208	
4	58		S11、12、13、18	38	直線的	－	(16.80)	1.24	0.68	暗灰黄色～オリーブ褐色	細砂、粒砂、シルト	2層　鉄分マンガン粒を多く混入	土器、石器	61	SB 82、68、SK 913、1103、1105、1106、→SB 71、74、SK 953、1026、1048、1058、1072、1074、1075	
4	59		S17、18	38	直線的	西～東	(4.74)	0.86	0.46	灰黄褐色、明黄褐色	シルト	1層	土器、石器		SK 949→SB 68、69、71、74、SK730、733、889、914、915、916	
5	61		Q9	40	直線的	－	(2.74)	1.24	0.68	オリーブ褐色	シルト	4層	土器、石器、骨、鉄滓		→SK1003	
5	62		Q9	40	直線的	－	(2.20)	1.06	0.37	暗灰黄色～オリーブ褐色・褐灰色	砂質、粘土	2層	土器、石器、骨		→SK1002	
5	63	飛鳥？	Q9	40	直線的	－	(2.72)	0.98	0.30	にぶい黄褐色	シルト	2層	土器、石器、骨		SD70→SK1000、1001、1002	
5	64		Q14	40	直線的	－	(1.18)	0.38	0.13	にぶい黄褐色	シルト	1層	土器		－	
5	65		L19	40	直線的	－	(2.72)	(6.00)	0.28	灰黄褐色	シルト	1層　底部鉄分集積	土器		－	
4	67	平安	R20、S16、17	38	直線的	－	(17.50)	1.36	0.72	灰黄褐色	シルト	1層	土器、石器、骨	58	SK 1096、1098、1099→SB58、68、78、SD 60、SK 1025、1027、1028、1029、1041、1071	
5	71		L24	40	直線的	－	(2.40)	1.10	0.19	にぶい黄橙～にぶい黄褐色	シルト、粗砂	11層　鉄分を多く混入	土器		SD72、73→SK1109	
5	72		L19、24	40	直線的	北～南	(8.10)	0.42	0.11	灰黄褐色～黄褐色	シルト	1層	土器		→SD71、73、SK1108、1110	
5	73		L19、24	40	直線的	北～南	(9.00)	0.42	0.14	灰黄褐色～黄褐色	シルト	1層	土器		SD 72、SK 1132→SD 71、SK1108、1114	
2	81		P13	36	直線的	北西～東南	(1.32)	0.36	0.08	にぶい黄褐色	シルト	1層	－		→SB18	
2	82		P13、14	36	直線的	東南～北西	4.12	0.80	0.22	灰黄褐色	シルト	2層	土器、石器、骨		→SK1230、1253	
2	83		P11	36	直線的	東～西	(2.64)	0.50	0.13	にぶい黄褐色	シルト	1層	土器		SK 1277→SK 1198、1204、1276	

表15－1　飛鳥・平安時代の土坑（SK）一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
1	4		35	Q20	円形	C	0.20	0.18	0.30	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層　炭化物多量に混入	－		
1	13		35	Q20	楕円形	C	0.38	0.33	0.11	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	67		35	Q19	円形	A	0.20	0.18	0.07	黒褐色～暗褐色	10YR3/2～3/3	1層	－		
1	91		35	Q16	楕円形	E	0.46	0.36	0.48	暗褐色	7.5YR3/4	1層	－		
1	92		35	Q16、17	楕円形	B	0.54	0.40	0.35	暗褐色	7.5YR3/4	1層	－		
1	93		35	Q17	円形	G	0.38	0.36	0.28	暗褐色	7.5YR3/4	1層	－		
1	94		35	Q17	円形	G	0.36	0.26	0.21	暗褐色	7.5YR3/4	1層	－		
1	136		35	Q15、20	不整形	C	1.32	1.00	1.35	暗黄褐色～黒褐色	10YR7/6～3/1	2層	土器、石器	58	
1	141		35	Q15、20	円形	B	0.12	0.12	0.17	暗褐色	7.5YR3/4	1層	－		
1	142		35	Q18	円形	E	0.54	0.48	0.46	暗褐色	7.5YR3/4	1層	－		
1	147		35	Q13	長方形	C	0.96	0.64	0.27	灰黄褐色～明黄褐色	10YR4/2～2.5Y 6/6	1層	土器		
1	149		35	Q20	円形	C	0.26	0.22	0.14	灰褐色	10YR4/1	1層	－		
1	150		35	Q20	楕円形	C	0.28	0.22	0.21	灰褐色	10YR4/1	1層	－		
1	161	奈良	35	Q18	－	－	－	－	0.73	黒褐色～暗褐色	10YR3/2～3/3	1層	土器		

表15－２　飛鳥・平安時代の土坑（SK）一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
1	168		35	Q18	－	－	－	－	0.65	黒褐色～暗褐色	10YR3/2～3/3	1層	土器		
1	176		35	Q16	円形	C	0.60	0.58	0.36	暗褐色	7.5YR3/4	1層	－		
1	177		35	Q16	楕円形	E	1.16	0.94	0.46	にぶい黄褐色～黄褐色	10YR5/3～5/6	3層　焼土、炭化物を多量に混入	土器		
1	188		35	Q16	不整形	－	－	－	0.31	にぶい黄褐色～暗褐色	2.5Y6/3～7.5YR3/4	16層　焼土、焼土粒、焼土ブロックを多量に混入	土器		
1	189		35	Q17	－	－	－	－	0.09	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	192		35	Q20	－	G	－	－	0.13	黒褐色～暗褐色	10YR3/2～2/3	1層	土器		
1	193		35	Q17	円形	A	0.40	0.38	0.12	暗褐色	7.5YR3/4	1層	土器		
1	194		35	Q18、19	－	B	－	－	0.95	にぶい黄褐色～褐灰色	10YR5/4～4/1	2層　焼土粒、焼土ブロックを多量に混入	土器		
1	195		35	Q17	－	－	－	－	－	にぶい黄褐色	10YR5/4	1層　焼土粒、焼土ブロックを多量に混入	－		
1	196		35	Q17	円形	B	0.18	0.18	0.08	暗褐色	7.5YR3/4	1層	－		
1	197		35	Q17	円形	B	0.18	0.18	0.14	暗褐色	7.5YR3/4	1層	－		
1	198		35	Q17	楕円形	C	0.44	(0.28)	0.14	暗褐色	7.5YR3/4	1層	－		
1	199		35	Q17	楕円形	E	0.58	0.46	0.49	暗褐色	7.5YR3/4	1層	土器		
1	203		35	Q13	円形	B	0.98	0.85	0.29	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
1	206		35	Q13	円形	A	0.53	0.52	0.10	暗褐色	7.5YR3/4	1層	－		
1	208		35	Q17	円形	C	0.34	0.30	0.29	暗褐色	7.5YR3/4	1層	土器		
1	209		35	Q17	円形	C	0.40	0.30	0.23	暗褐色	7.5YR3/4	1層	土器		
1	212	平安？	35	Q19	－	－	－	－	－	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器	58	
2	215		36	P19	長方形	C	－	－	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層（砂質）	土器		
2	216		36	P19	楕円形	C	1.14	0.72	0.10	暗褐色	10YR3/3	1層	－		
2	217		36	P19	円形	C	1.36	1.30	0.23	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層（砂質）	土器	58	
2	218		36	P19	円形	A	0.22	0.20	0.10	灰黄褐色	10YR4/2	1層（砂質）	－		
2	219		36	P19	円形	E	－	－	0.36	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
2	220		36	P15	円形	C	0.24	0.22	0.14	暗褐色	10YR3/4	1層（砂質）	－		
2	221		36	P14	楕円形	G	0.66	0.44	0.14	にぶい黄褐色	10YR4/3	3層　炭化物を多く混入	土器		
2	222		36	P14	楕円形	C	0.32	0.22	0.21	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
2	223		36	P19	円形	C	－	－	0.35	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
2	224		36	P20	不整形	C	0.62	0.50	0.09	褐色	10YR4/4	1層（砂質）	土器		
2	225		36	P14	方形	C	0.45	0.38	0.16	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
2	226		36	P19、20	不整形	G	－	－	0.27	にぶい黄褐色～暗黄褐色	10YR4/3～5YR3/2	3層　焼土粒を多く混入	土器		
2	227		36	P20	楕円形	C	0.30	0.20	0.11	褐色	10YR4/4	1層（砂質）	土器		
2	228		36	P18	楕円形	A	0.52	0.30	0.24	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	229		36	P18	楕円形	A	0.18	0.14	0.08	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層（砂質）	－		
2	230		36	P18	楕円形	A	0.24	0.20	0.17	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層（砂質）	土器		
1	232		35	Q18	－	C	－	－	0.36	暗褐色	7.5YR3/4	1層	－		
1	233		35	Q20	－	C	－	－	0.24	にぶい黄褐色	10YR5/3	1層　焼土粒・炭化物粒を多く混入	土器		
1	234		35	Q20	－	C	－	－	0.39	にぶい黄褐色	10YR5/3	1層　焼土粒・炭化物粒を多く混入	－		
1	235		35	Q20、R16	楕円形	A	0.85	0.68	0.46	黄灰色	2.5Y4/1	1層　焼土・炭化物ブロックを多く混入	土器		
1	240		35	R16	円形	C	0.63	(0.63)	0.28	黄灰色	2.5Y4/1	1層　焼土・炭化物ブロックを多く混入	土器		
1	241		35	Q20	円形	A	0.50	0.46	0.52	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器		
1	247		35	Q20	楕円形	G	1.32	(0.86)	0.71	黒褐色	10YR3/1	1層	－		
1	248		35	Q20	楕円形	G	0.60	0.37	0.27	褐灰色	10YR4/1	1層	－		
1	249		35	Q20	不整形	G	1.10	0.98	0.51	褐灰色	10YR4/1	1層	土器、石器		
2	250		36	P18	円形	C	0.36	0.32	0.19	暗灰色	10YR3/4	1層	－		
2	251		36	P18	方形	G	0.44	0.42	0.54	暗褐色	10YR3/4	1層	土器		
2	252	平安	36	P19	長方形	C	－	0.88	0.46	褐灰色～暗褐色	10YR4/1～3/3	5層（2層砂質）底部鉄分集積	土器	58	
2	253		36	P18	円形	C	0.32	0.30	0.22	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	254		36	P18	円形	C	0.56	0.50	0.50	にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3～3/4	4層	土器、石器		柱痕あり
2	255		36	P18	円形	C	0.50	(0.46)	0.60	灰黄褐色～にぶい黄褐色	10YR4/2～4/3	2層（1層砂質）	土器		
2	256		36	P18	－	A	－	－	0.11	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
2	257		36	P14	円形	C	0.42	0.41	0.29	暗褐色	10YR3/4	1層	土器		

表15－3　飛鳥・平安時代の土坑（SK）一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
2	258		36	P14	不整形	G	0.64	0.42	0.55	にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3～2/3	3層	土器		
2	259		36	P18	楕円形	C	(0.38)	0.26	0.21	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	260		36	P18	－	G	－	－	0.46	にぶい黄褐色	10YR4/3	2層　黒褐色土ブロックを多く混入	土器		
1	262		35	Q15、20	－	－	－	－	0.38	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
1	263		35	Q15	楕円形	G	0.44	(0.30)	0.26	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
1	264		35	Q15、20	円形	C	0.16	0.16	0.14	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
1	267		35	Q20	－	－	－	－	0.52	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
1	268		35	Q20	－	G	－	－	0.37	黒褐色	10YR3/2	1層	土器		
1	269		35	R16	不整形	G	0.84	0.56	0.36	黒褐色	10YR3/2	1層	土器		
2	271		36	P13	楕円形	C	0.36	0.32	0.33	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
2	272		36	P18	円形	A	0.18	0.16	0.16	にぶい黄褐色～灰黄褐色	10YR5/3～4/2	2層（砂質）底部鉄分集積	－		
2	273		36	P18	円形	C	0.24	0.22	0.18	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
2	274		36	P15	円形	C	0.28	0.26	0.21	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	276		35	Q20	－	G	－	－	0.66	褐色	7.5YR4/3	1層	土器		
1	277		35	Q20	－	E	－	－	0.37	黒褐色	10YR3/2	1層	土器		
1	278		35	Q20	－	－	－	－	0.48	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器		
2	280		36	P18	円形	A	0.22	0.20	0.10	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層（砂質）	－		
2	281		36	P13、18	円形	A	0.42	0.42	0.24	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	282		36	P18	円形	A	0.22	0.22	0.13	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
2	284		36	P13、18	楕円形	C	0.28	0.24	0.23	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
2	285		36	P18	楕円形	A	(0.38)	0.30	0.13	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	286		36	P14	円形	C	0.20	0.18	0.07	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	287		36	P18	円形	B	0.72	0.70	0.72	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層　暗褐色土ブロックを多く混入	土器、骨		
2	288		36	P15	円形	E	0.48	0.44	0.51	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	289		36	P14	円形	C	0.40	0.39	0.26	暗褐色	10YR3/4～3/3	3層	－		柱痕あり
2	304		36	P15、20	円形	C	0.60	(0.52)	0.39	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	305	古代7期	36	P19	円形	C	0.93	0.78	2.74	にぶい黄褐色	10YR4/3	－	土器、石器、木製品	59・63	井戸
2	306		36	P14	円形	A	0.32	0.26	0.21	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	307		36	P14	円形	A	(0.36)	0.34	0.15	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	308		36	P14	円形	E	0.40	0.38	0.54	にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3～3/4	3層	土器		
2	309		36	P14	円形	A	0.30	0.30	0.21	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	310		36	P19	円形	C	0.22	(0.22)	0.10	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	312		35	Q19	円形	A	0.10	0.08	0.15	黒褐色	10YR3/2	1層	－		
1	315		35	Q20	不整形	G	0.72	0.58	0.31	黒褐色	10YR3/2	1層	土器		
2	332		36	P13	円形	C	0.30	(0.30)	0.12	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器		
1	334		35	Q18	円形	C	0.58	0.47	0.13	黒褐色	10YR3/2	1層	－		
1	336		35	Q18	楕円形	C	0.24	0.16	0.06	黒褐色	10YR3/2	1層	－		
1	338		35	Q17	円形	A	0.30	0.26	0.05	黒褐色	10YR3/2	1層	－		
2	341		36	P14、19	－	G	－	－	0.36	にぶい黄褐色	10YR4/3	2層	土器		
2	342		36	P13	円形	C	0.24	0.24	0.11	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	343		36	P13	楕円形	A	0.46	0.40	0.18	暗褐色	10YR3/4	1層	－		
2	344		36	P13	楕円形	C	0.28	0.24	0.12	暗褐色	10YR3/4	1層	－		
2	345		36	P15、20	－	C	－	－	0.46	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	346		36	P19	楕円形	E	0.82	0.50	0.27	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	347		36	P20	円形	C	0.28	0.26	0.16	褐色	10YR4/4	1層	－		
2	348		36	P19	不整形	G	－	－	0.36	暗褐色	10YR3/3	1層	土器		
2	349		36	P19	楕円形	C	0.40	0.34	0.17	褐色～暗褐色	10YR3/4～4/6	2層	土器		
2	361		36	P18	円形	A	0.21	0.20	0.12	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
2	362		36	P18	円形	A	0.14	0.12	0.08	にぶい黄褐色	10YR5/3	1層　底部鉄分集積	－		
2	363		36	P18	方形	A	0.48	0.42	0.22	にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3～3/4	2層　炭化物・焼土粒を多く混入	－		
2	364		36	P14	円形	C	－	－	0.23	暗褐色	10YR3/4	1層	土器		
2	366		36	P14	不整形	G	0.78	0.44	0.26	暗褐色	10YR3/4	1層	－		
2	367		36	P13	長方形	C	0.52	0.34	0.16	暗褐色	10YR3/4	1層	土器		
2	368		36	P19	不整形	G	0.50	0.42	0.28	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		

表15－４　飛鳥・平安時代の土坑（SK）一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
3	459		37	S20	円形	A	0.42	0.38	0.17	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	石器		
3	460		37	S20	楕円形	C	0.70	0.48	0.45	灰黄褐色～暗褐色	10YR4/2～3/4	3層	土器、石器		柱穴状
3	461		37	S20	－	C	－	－	0.10	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
3	462		37	S15、20	円形	C	0.62	0.60	0.23	にぶい黄褐色	10YR4/3	2層	土器		
3	463		37	S15	楕円形	B	0.62	0.50	0.44	灰黄褐色～暗褐色	10YR4/2～3/4	2層	土器、石器		
3	464		37	S20	楕円形	A	0.68	0.36	0.15	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層　灰黄褐色土ブロックを多く混入	－		
3	465		37	T16	不整形	G	0.74	0.62	0.47	灰黄褐色～にぶい黄褐色	10YR4/2～4/3	3層	土器		
3	466		37	S20	円形	A	0.32	0.30	0.13	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
3	467		37	S20	円形	A	0.58	0.52	0.17	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層　炭化物・焼土粒を多く混入	土器		
3	468		37	T16	楕円形	A	0.44	0.32	0.15	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
3	469		37	T16	円形	C	0.38	0.30	0.17	にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3～3/4	2層	－		
3	470		37	T16	楕円形	C	0.36	0.30	0.19	にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3～3/4	2層	－		
3	471		37	T16	円形	A	0.38	0.30	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
3	472		37	T16	円形	B	0.34	0.30	0.48	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
3	473		37	T16	円形	B	0.36	0.32	0.27	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器	59	
3	474		37	T16	円形	B	0.26	0.24	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
3	475		37	S15	円形	A	0.62	0.54	0.27	灰黄褐色～暗褐色	10YR4/2～3/4	2層	土器		
3	476		37	S20	楕円形	E	0.68	0.48	0.58	灰黄褐色～暗褐色	10YR4/2～3/4	2層	土器		
3	477		37	T16	円形	A	0.28	0.24	0.14	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
3	478		37	T16	円形	A	0.32	0.28	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
3	479		37	T16	円形	A	0.30	0.24	0.18	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
3	480		37	T16	円形	A	0.24	0.22	0.17	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
3	482	古代2期	37・47	T11、16	不整形	A	3.14	2.12	0.22	にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3～3/4	2層	土器、石器	59	
3	483		37	S20	楕円形	E	0.76	0.58	0.68	にぶい黄褐色	10YR4/3	2層	土器、石器		柱痕あり
3	484		37	S20	楕円形	C	－	－	0.58	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器、銅製品		
3	485		37	T16	円形	A	0.54	0.50	0.16	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器、石器		
3	486		37	T16	円形	B	0.20	0.20	0.09	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
3	487		37	T16	円形	B	0.48	0.48	0.32	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
3	488		37	T16	不整形	A	0.48	0.40	0.22	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
3	489		37	T16	円形	A	0.18	0.18	0.04	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
3	490		37	T11	楕円形	A	0.50	0.40	0.29	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器、石器		
3	491		37	T16	円形	A	0.14	0.14	0.07	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
3	492		37	T16、17	円形	A	0.64	0.62	0.29	にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3～3/4	2層	土器		
3	493		37	T16、17	楕円形	A	0.82	0.68	0.34	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
3	494		37	T16	楕円形	A	0.28	0.24	0.16	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
3	495		37	T16、17	楕円形	A	0.64	0.46	0.31	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
3	496		37	T16、17	楕円形	A	0.98	0.80	0.39	にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3～3/4	2層　にぶい黄褐色の砂を多く混入	土器、石器		
3	497		37	T16	円形	A	0.28	0.26	0.28	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
3	498		37	T16	円形	A	0.18	0.18	0.09	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
3	499		37	T16	円形	B	0.26	0.26	0.51	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
3	500		37	T11	－	－	－	－	－	－	－	－	土器、石器		
3	501		37	T17	不整形	A	0.74	0.64	0.44	にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3～3/4	2層	土器		
3	502		37	T17	円形	A	0.26	0.22	0.27	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
3	503		37	T17	円形	A	0.20	0.20	0.16	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
3	504		37	T17	円形	A	0.48	0.44	0.16	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
3	505		37	T17	楕円形	A	0.36	0.28	0.13	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
3	506		37	T17	長楕円形	A	1.32	0.62	0.46	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器、石器		
3	507		37	T17	方形	A	0.66	0.64	0.35	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器、石器		
3	508		37	T17	楕円形	A	0.48	0.38	0.39	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
3	509		37	T17	円形	A	0.22	0.22	0.14	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
3	510		37	T17	円形	A	0.28	0.26	0.21	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
3	511		37	T17	円形	A	0.18	0.18	0.12	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		

表15－５　飛鳥・平安時代の土坑（SK）一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
3	512		37	T16	－	－	－	－	－	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	土器		
3	513		37	T11、16	不整形	G	1.30	0.66	0.31	灰黄褐色	10YR4/2	１層	土器、石器		
3	514		37	T11	方形	C	0.94	0.80	0.26	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	土器		
3	515		37	T11	長方形	C	1.02	0.60	0.42	灰黄褐色	10YR4/2	１層　暗褐色ブロックを多く混入	土器、石器		
3	516		37	S15、20	楕円形	E	0.60	0.46	0.21	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	土器		
3	517		37	T11、16	楕円形	B	0.30	0.20	0.17	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	－		
2	518		37	T18	楕円形	C	0.38	0.28	0.11	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	土器		
2	519		37	T13	円形	A	0.32	0.32	0.07	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	－		
2	520		37	T13	楕円形	A	(0.54)	0.32	0.14	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	－		
2	521		37	T18	円形	C	0.52	0.52	0.59	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	土器		
2	522		36	T18	楕円形	C	0.34	0.28	0.18	にぶい黄褐色	10YR3/3	１層	－		
2	523		37	T18	楕円形	B	0.26	0.22	0.29	にぶい黄褐色	10YR3/3	１層（砂質）底部鉄分集積	土器		
2	524		36	P11	円形	A	0.20	0.20	0.10	灰黄褐色	10YR4/2	１層	土器		
2	525		36	P11	円形	A	0.26	0.26	0.11	灰黄褐色	10YR4/2	１層	－		
2	526		36	P11	円形	C	0.28	0.26	0.13	灰黄褐色	10YR4/2	１層	－		
2	527		36	T15	円形	B	0.24	0.24	0.34	灰黄褐色	10YR4/2	１層	－		
2	528		36	T15	長方形	C	0.60	0.28	0.10	灰黄褐色	10YR4/2	１層	－		
2	529		36	T15	円形	C	－	－	0.37	灰黄褐色	10YR4/2	１層　焼土粒・炭化物粒を多量に混入	土器		
2	530		36	P11	円形	C	0.74	0.70	0.56	にぶい黄褐色	10YR4/3	２層	土器、石器		柱痕あり
3	531		37	S15、20	不整形	C	－	－	0.38	にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3～3/4	２層　にぶい黄褐色の砂を多く混入	土器、土錘	60	
2	532		37	T19	円形	C	－	－	－	にぶい黄褐色～黒褐色	10YR5/4～3/2	シルト～砂	鉄	64	井戸
2	533		37	T18	円形	C	0.21	0.20	0.08	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層（砂質）	－		
2	534		37	T18	円形	C	0.30	0.26	0.08	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	－		
2	535		37	T18	円形	A	0.28	0.24	0.13	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	－		
2	536		37	T18	円形	A	0.45	0.44	0.15	灰黄褐色	10YR4/2	１層	土器		
2	537		37	T19	円形	C	0.22	0.22	0.10	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層（砂質）	－		
3	538		37	T11	－	－	－	－	0.48	－	－	－	－		
3	539		37	T17	楕円形	E	1.28	0.92	0.39	にぶい黄褐色～褐色	10YR4/3～4/4	２層	土器		
3	540		37	T17	－	－	－	－	0.40	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	－		
2	541		36	P11	楕円形	C	(0.68)	0.50	0.49	灰黄褐色	10YR4/2	１層	土器		
2	542		36	P16	長方形	C	0.42	0.34	0.13	黒褐色	10YR3/2	１層	－		
2	543		36	P16	長方形	C	0.82	0.26	0.16	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	－		
2	545		36	P13、18	方形	C	1.04	0.96	0.29	灰黄褐色	10YR4/2	１層	土器		
2	546		36	P18	長方形	C	1.54	1.24	0.29	灰黄褐色	10YR4/2	１層	土器		
2	547		36	P12、13	不整形	A	1.42	0.96	0.14	黒褐色	10YR3/2	１層　焼土粒・炭化物粒を多く混入	土器		
2	548		36	P13	長方形	C	0.74	0.58	0.27	灰黄褐色	10YR4/2	１層　炭化物を多く混入、壁面に焼土ブロックや炭化物の薄い層がある	土器		
2	549		36	P13、18	－	－	－	－	0.11	灰黄褐色	10YR4/2	１層　炭化物粒・炭化物ブロックを多量に混入	土器		
2	551		37	T18	楕円形	A	0.70	0.46	0.13	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	土器		
2	552		37	T14	楕円形	E	－	－	0.57	にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3～3/4	２層	土器、石器、鉄	64	
2	553		36	T15	円形	E	0.76	0.66	0.54	にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3～3/4	２層	土器		
2	554		36	T15	楕円形	A	0.46	0.30	0.26	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	土器		
2	555		36	P11	円形	C	0.34	0.32	0.14	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	－		
2	556		36	P11	方形	B	0.72	0.72	0.41	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	土器		
2	557		36	P11	楕円形	C	0.42	0.34	0.23	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	土器		
2	558		36	T20	－	－	－	－	0.55	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	土器		
2	559		36	T20	円形	C	0.86	(0.82)	0.38	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	－		
2	560		36	P11、T15	円形	C	0.76	0.76	0.48	にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3～3/4	２層	土器		
2	563		36	P13	楕円形	C	0.70	0.48	0.22	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	土器、骨		
2	564		36	P18	楕円形	E	0.60	0.52	0.37	黒褐色	10YR3/2	１層	土器		
2	565		36	P12、13	不整形	C	0.32	0.32	0.10	黒褐色	10YR3/2	１層	－		
2	567		36	P13	－	C	－	－	0.20	黒褐色	10YR3/2	１層	土器		

表15－6　飛鳥・平安時代の土坑（SK）一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色　調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
2	568		36	P18	長楕円形	C	0.96	0.33	0.25	にぶい黄褐色	10YR5/4	1層	－		
2	571		36	T15	円形	C	0.82	(0.80)	0.38	灰黄褐色～暗褐色	10YR4/2～3/4	3層	土器、石器		
2	572		36	T15	円形	B	0.26	0.26	0.13	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
2	573		36	T15	円形	C	0.26	0.24	0.14	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
2	574		36	P11	円形	C	0.30	(0.30)	0.16	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
2	575		36	T15	円形	C	0.28	0.24	0.16	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
2	576		36･37	T14	楕円形	G	0.24	0.18	0.26	灰黄褐色	10YR4/2	1層　炭化物を多量に混入	－		
2	577		36	T15	円形	C	0.78	0.70	0.44	にぶい黄褐色	10YR4/3	2層	土器		
2	578		36	T15	－	－	－	－	0.46	にぶい黄褐色	10YR4/3	2層	土器		
2	579		37	T18	－	－	－	－	0.30	にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3～3/4	2層	土器		
3	586		37	S15	楕円形	B	0.64	0.48	0.23	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
2	591		36	P16	楕円形	C	－	－	0.36	にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3～3/4	2層	土器、骨		
2	592		36	T15	－	－	－	－	0.45	にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3～3/4	2層	土器		
2	613		36	T13	－	－	－	－	－	灰黄褐色	10YR4/2	1層（砂質）	－		
2	626		36	P13	方形	G	0.46	0.46	0.22	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	627		36	P13	円形	A	0.50	0.44	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	629		36	P18	円形	B	0.38	0.36	0.33	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
2	630		36	P18	－	C	－	－	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
2	633		36	P12	楕円形	C	0.34	(0.26)	0.14	暗褐色	10YR3/4	1層	－		
2	634		36	P16	円形	C	0.24	0.22	0.22	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	666		39	V5	楕円形	C	0.72	0.43	0.13	にぶい黄褐色	10YR5/3	1層	土器		
6	667		39	V5	楕円形	C	0.55	0.32	0.13	にぶい黄褐色	10YR5/3	1層	－		
6	668		39	W1	楕円形	C	(0.84)	0.56	0.16	にぶい黄褐色	10YR5/3	1層	土器		
6	669		39	V5	楕円形	C	1.00	0.46	0.11	にぶい黄褐色	10YR5/3	1層	土器		
6	670		40	V19	楕円形	C	0.32	0.22	0.22	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	671		40	V23	不整形	C	0.69	0.42	0.25	にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3～3/3	2層	土器		
6	672		40	V23	楕円形	C	0.69	0.57	0.21	にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3～3/3	2層	土器		
6	673		40	V19	方形	E	0.58	0.53	0.57	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	674		40	V19	円形	C	0.28	0.22	0.22	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	675		40	V19	円形	C	0.32	0.26	0.20	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	676		40	V24	円形	C	0.30	(0.28)	0.28	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	石器		
6	677		40	V24	円形	A	0.36	0.34	0.40	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	678		40	V24	方形	C	0.44	0.40	0.23	にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3～3/3	3層	土器、石器		柱痕あり
6	679		40	V24	円形	E	(0.44)	0.41	0.22	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	680		40	V24	楕円形	C	0.44	0.32	0.15	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	681		40	V24	円形	C	0.22	0.21	0.25	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	682		40	V24	円形	C	0.22	0.22	0.24	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	683		40	V24	円形	E	0.42	0.35	0.42	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	684		40	V24	楕円形	C	(0.60)	(0.45)	0.28	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	石器		
6	685		40	V24	楕円形	C	0.47	0.24	0.23	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	686		40	V19	円形	A	0.40	0.39	0.28	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	687		40	V19	円形	C	0.33	0.30	0.26	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	688		40	V18	楕円形	C	0.46	0.36	0.14	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	689		40	V18	楕円形	C	0.46	0.36	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	690		40	V18	円形	C	0.34	0.28	0.11	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
6	691		40	V18	円形	C	0.30	0.26	0.29	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	692		40	V19	円形	C	0.30	(0.30)	0.15	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	693		40	V24	円形	E	0.22	0.20	0.22	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	694		40	V24	円形	C	(0.24)	0.23	0.18	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	695		40	V19	円形	C	(0.50)	0.46	0.46	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	696		40	V23	円形	C	0.26	0.25	0.18	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	697		40	V23	円形	C	0.38	0.36	0.26	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器、石器		
6	698		40	V23	楕円形	A	0.56	0.44	0.36	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	699		40	V23	楕円形	A	0.17	0.12	0.10	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	700		40	V23	不整形	A	0.60	0.32	0.35	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		

表15－7　飛鳥・平安時代の土坑（SK）一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色　調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
6	701		40	V23	楕円形	C	0.36	0.26	－	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	702		40	V23	不整形	G	0.44	0.43	0.20	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	703		40	V23、24	－	C	－	－	0.43	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器、石器		
6	704		40	V23	円形	C	0.30	0.28	0.22	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	705		40	V23	円形	B	(0.28)	0.26	0.25	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	707		40	V23	楕円形	C	0.42	0.26	0.31	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	710		40	V18	－	B	－	－	0.14	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	711		39	W1、2	円形	C	1.30	(1.30)	－	－	－	－	土器、石器		井戸
6	713		39	V5	円形	C	0.62	0.58	－	褐灰色～黒褐色	10YR5/1～3/2	鉄分を多量に混入	土器		井戸
6	734		39	V23	円形	B	0.14	0.12	0.10	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
4	782		38･39	R19	楕円形	E	0.42	0.34	0.39	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層　褐色の砂を多く混入	－		
4	783		38	R19	円形	A	0.26	0.24	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
4	784		38	R16	円形	A	0.30	0.28	0.30	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	787		39	V13、14	長方形	C	0.78	0.32	0.17	－	－	－	土器		
6	788		39	V9	楕円形	C	0.39	0.32	0.39	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	789		39	V4	－	G	－	－	0.35	灰黄褐色	10YR4/2	4層（炭化物層あり）	土器		
6	791		39	V9	円形	B	0.24	0.20	0.25	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	792		39	V9	円形	B	0.24	0.24	0.25	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	793		39	V4	円形	B	0.36	0.36	0.14	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	795		39	Q24、V4	楕円形	G	0.48	0.34	0.45	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	796		39	V4	円形	C	0.30	0.26	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	797		39	Q24	円形	C	0.36	0.32	0.21	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	798		39	V4	円形	E	0.94	0.92	0.42	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	799		39	V4	円形	A	0.28	0.24	0.12	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	800		39	V4	円形	C	0.30	0.30	0.16	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
4	801		39	R18	円形	A	－	－	0.22	褐色	10YR4/4	1層　焼土粒・炭化物粒を多量に混入	骨		
4	802		39	R18、23	円形	C	0.44	0.42	0.42	灰黄褐色	10YR4/2	1層　焼土粒・炭化物粒を多量に混入	土器、石器		
4	805		38･39	R19	楕円形	A	0.30	0.22	0.10	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
4	806		38･39	R24	楕円形	A	1.00	0.56	0.27	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
4	807		38･39	R19	円形	A	0.54	0.53	0.14	褐灰色	10YR4/1	1層　焼土粒・炭化物粒を多く混入	－		
4	808		38･39	R24	楕円形	A	0.62	0.40	0.23	褐灰色～にぶい黄褐色	10YR4/1～4/3	1層　鉄分を多く混入	－		
4	809		38･39	R24	楕円形	A	－	0.90	0.35	にぶい黄褐色	10YR5/2	1層	土器		
6	810		39	V4	円形	B	0.20	0.20	0.36	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	811		39	Q24 V4	楕円形	A	0.68	0.56	0.12	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層　焼土粒・炭化物を多く混入	土器		
6	812		39	Q24	円形	B	0.18	0.18	0.21	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	813		39	Q24	楕円形	B	0.50	0.44	0.53	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	814		39	Q24	楕円形	C	0.56	0.38	0.20	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	815		39	Q24	円形	A	0.50	0.42	0.06	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	816		39	Q24	楕円形	C	0.52	0.42	0.34	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	817		39	V9	楕円形	E	0.74	0.62	0.54	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	818		39	Q24	円形	C	0.22	0.22	0.17	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	819		39	Q24	楕円形	B	0.38	0.28	0.24	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	820		39	V4	円形	A	0.20	0.18	0.18	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
4	821		38	R20	楕円形	A	0.28	0.24	0.09	褐灰色	10YR4/1	1層　鉄分を多く混入	－		
4	822		38	R20	円形	A	0.30	0.30	0.09	褐灰色	10YR4/1	1層　鉄分を多く混入	－		
4	823		38	R25	長方形	A	0.36	0.28	0.10	褐灰色	10YR4/1	1層　鉄分を多く混入	－		
4	825		38	S16	不整形	C	－	－	0.18	黒褐色	10YR3/2	1層	－		
4	827		38	S16	不整形	G	1.26	0.76	0.42	にぶい黄褐色～黄褐色	10YR5/4～5/6	1層　壁面焼けている	土器		
4	828		38･39	R19、24	－	－	－	－	0.28	褐色	10YR4/4	1層	土器		
4	829		38	R19、24	円形	A	0.64	0.60	0.26	にぶい黄褐色～黄褐色	10YR5/4～5/6	1層	土器		
6	830		39	Q24、25	円形	B	0.45	0.44	0.18	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	831		39	V4、5、Q24、25	楕円形	C	1.06	(0.82)	0.21	灰黄褐色～にぶい黄褐色	10YR4/2～4/3	2層	土器、石器		
6	832		39	V4、9	楕円形	C	0.42	0.32	0.12	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		

表15－8　飛鳥・平安時代の土坑（SK）一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色　調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
6	833		39	V4、9	円形	E	0.36	0.34	0.40	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	834		39	V9	円形	C	0.74	0.62	0.36	にぶい黄褐色～明赤褐色	10YR4/3～5/6	6層（焼土層・炭化物層あり）	土器		
6	835		39	V4	不整形	G	1.22	0.78	0.23	にぶい黄褐色～にぶい赤褐色	10YR4/3～5YR4/3	5層（焼土層あり）焼土粒を多く混入	土器、石器、鉄滓		
6	836		39	Q24	－	C	－	－	0.33	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	837		39	V4	楕円形	E	0.62	0.48	0.56	灰黄褐色～にぶい黄褐色	10YR4/2～4/3	2層	－		
6	838	古代5期	39・47	V4	長方形	A	2.72	2.24	0.23	にぶい黄褐色	10YR4/3	5層　炭化物・焼土粒を多量に混入	土器、石器	59	
6	840	古代7期後半	39	V4、5	－	－	－	－	－	－	－	－	土器、石器、種子	59	井戸
4	841		38	S16	長楕円形	D	1.54	0.60	0.31	褐灰色	10YR4/1	1層　鉄分を多く混入	－		
4	842		38	S16	方形	E	0.26	0.22	0.19	－	－	1層　炭化物を多く混入	土器		
4	844		39	R18	円形	E	0.30	0.30	0.25	褐灰色	10YR4/1	1層　鉄分を多く混入	－		
4	845		38	R18	円形	A	0.34	0.32	0.17	黒褐色	10YR3/2	1層　炭化物粒・焼土粒を多く混入	－		
4	846		39	R18	円形	E	0.30	0.26	0.20	黒褐色	10YR3/2	1層　炭化物粒・焼土粒を多く混入	－		
4	847		39	R18	－	－	－	－	0.07	黒褐色	10YR3/2	1層　炭化物粒・焼土粒を多く混入	－		
4	848		38	R20、S16	楕円形	A	1.62	1.24	0.42	黒褐色～褐色	2.5Y3/2～10YR4/6	1層（砂質）	土器		
4	849		38	R20	楕円形	C	(1.68)	1.22	0.31	暗灰黄色	2.5Y4/2	1層　炭化物粒・焼土粒を多く混入	土器		
6	850		39	V4	円形	G	0.62	0.58	0.46	にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3～3/3	2層	土器		
6	851		39	V4	円形	C	0.34	0.31	0.17	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器		
6	852		39	V4	楕円形	B	0.30	0.24	0.20	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
6	853		39	V4	不整形	－	－	－	0.28	にぶい黄褐色	10YR4/3	2層	土器、石器		
6	854		39	V4	楕円形	E	0.63	0.26	0.34	にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3～3/3	3層	土器		
6	855		39	V4	円形	E	0.56	0.54	0.35	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	856		39	V4	－	－	－	－	－	灰黄褐色～暗褐色	10YR4/2～3/3	4層	土器		柱穴状
6	857		39	V4	円形	E	0.46	0.46	0.10	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	858		39	V4	楕円形	G	0.52	0.38	0.30	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器		
6	859		39	V4	円形	B	0.45	0.40	0.44	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
6	860		39	V9、14	－	－	－	－	0.33	にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3～3/3	2層	－		
4	861		38	R20、S16	－	－	－	－	0.14	褐灰色	10YR4/1	1層　鉄分を多く混入	－		
4	863			S16	不整形	A	0.78	0.50	0.15	黄灰色	10YR6/6	1層	－		
4	864		38	R19	円形	C	1.30	1.20	－	－	－	礫を混入	土器、石器、木製品	62・63	井戸
4	868	飛鳥？	38	S16	楕円形	C	1.36	1.08	0.83	明赤褐色	10YR6/6	1層　黒褐色土ブロックを多く混入	土器		
4	869		38	S16	不整形	C	(1.28)	1.08	0.78	褐灰色	10YR4/1	1層　鉄分・黄褐色土ブロックを多く混入	土器、石器		
6	870		39	V9	－	－	－	－	0.27	暗褐色	10YR3/3	1層	－		
6	871		39	V9	－	－	－	－	0.38	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	872		39	V4	楕円形	E	0.60	0.54	0.53	灰黄褐色	10YR4/2	1層　炭化物を多く混入	－		
6	873		39	V9	楕円形	E	0.46	0.38	0.24	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	874		39	V9	円形	E	0.48	0.42	0.25	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	875		39	V9	円形	C	0.30	0.28	0.11	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	876		39	V9	円形	C	0.46	0.38	0.15	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	877		39	V9	円形	C	0.28	0.26	0.15	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	878		39	V9	楕円形	C	(0.92)	0.76	0.18	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	879		39	V14	－	B	－	－	0.43	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	880		39	V9	円形	A	0.75	0.54	0.20	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
4	881		38	S16	円形	E	0.22	0.22	0.18	にぶい黄褐色～黄褐色	10YR5/4～5/6	1層	－		
4	882		38	S16	円形	A	0.12	0.12	0.08	灰黄褐色	10YR4/2	1層　炭化物粒・焼土粒を多く混入	－		
4	884		38	S17	楕円形	C	0.56	0.54	0.17	褐灰色～褐色	10YR4/1～4/4	1層	土器		
4	886		38	S16	－	－	－	－	0.49	オリーブ褐色	2.5Y4/3	1層	－		

表15－９　飛鳥・平安時代の土坑（SK）一覧

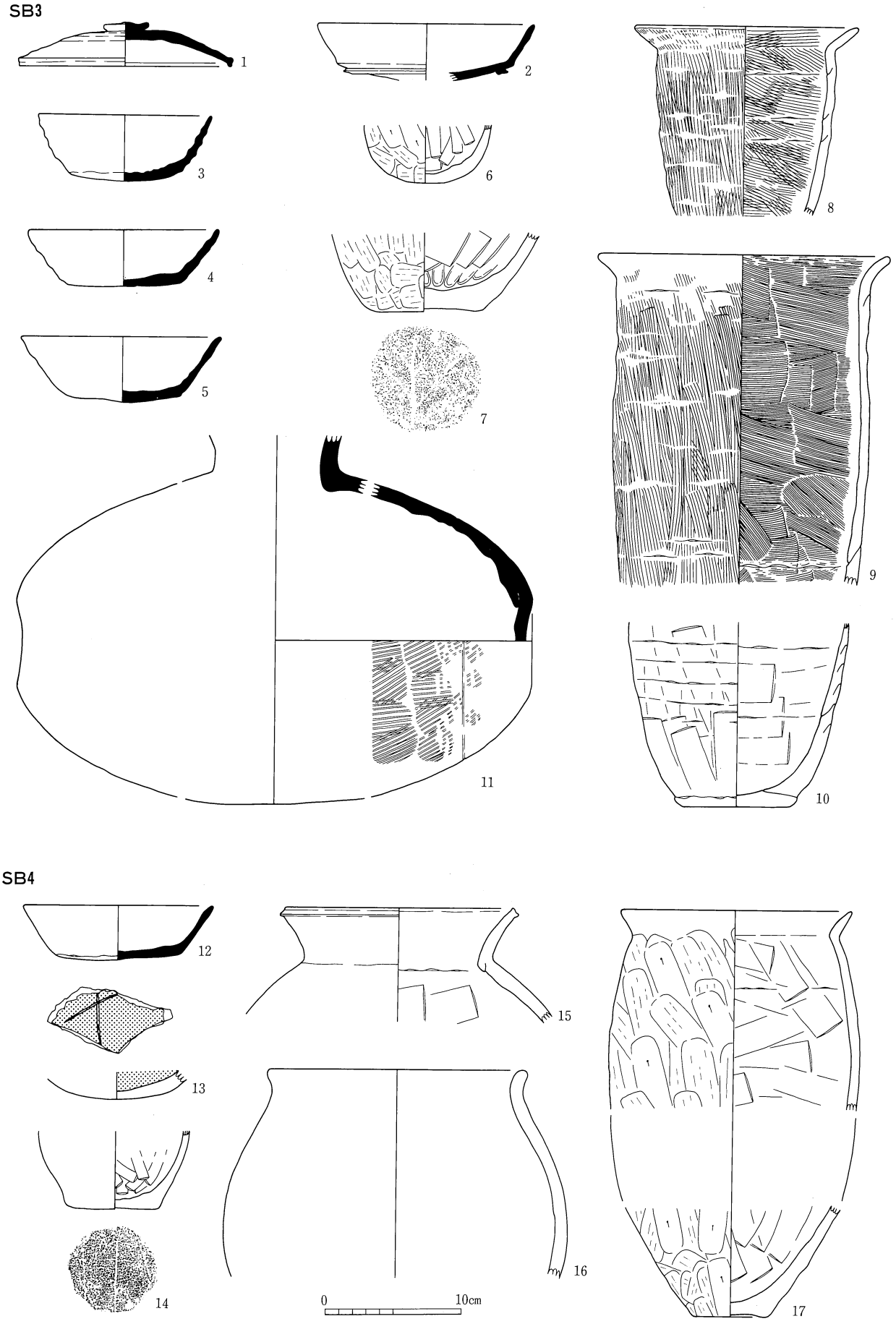
仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色　調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
4	887		38･39	R23	－	E	－	－	0.31	褐色	10YR4/4	１層　焼土粒・炭化物粒を多く混入	土器		
4	888		38･39	R23、24	楕円形	C	1.44	(1.10)	0.61	褐色	10YR4/4	１層	土器、石器		
4	889		38	S17	楕円形	C	－	－	－	－	－	－	土器、石器		
6	891		39	V9、14	－	－	－	－	－	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	土器		
6	892		39	V14	円形	G	0.28	0.24	0.17	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	－		
6	893		39	V9	円形	C	0.30	(0.30)	0.10	灰黄褐色	10YR4/2	１層	－		
6	896		39	V4	楕円形	C	0.42	0.36	0.20	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	－		
6	897		39	V4	－	－	－	－	0.29	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	土器		
6	898		39	V9	円形	A	0.25	(0.25)	0.39	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	土器		
6	899		39	Q25	円形	A	0.34	0.32	0.13	にぶい黄褐色	10YR4/3	３層	－		
6	900	飛鳥？	39	V5	楕円形	C	2.00	1.64	－	－	－	－	土器、石器、鉄製品、種子		井戸
6	904		39	V4	楕円形	A	0.25	0.24	0.08	にぶい黄褐色	10YR4/3		－		
6	905		39	V9	円形	G	0.56	0.52	0.20	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層　褐色の砂を多く混入	－		
6	906		39	V9	円形	E	0.38	0.36	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層　褐色の砂を多く混入	－		
6	907		39	V4	楕円形	C	0.44	(0.32)	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	－		
6	908		39	V9	楕円形	C	0.35	0.20	0.12	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	－		
4	911		38	S18	長方形	C	0.66	0.36	0.47	黄灰色～褐色	2.5Y5/1～10YR4/4	２層　鉄分を多く混入	土器		
4	912		38･39	R23	円形	A	0.59	0.54	0.13	黒褐色	10YR3/1	１層	土器		
4	913		38	S18	－	－	－	－	0.47	灰黄褐色～にぶい黄褐色	10YR4/2～4/3	２層	石器		
4	914		38	S17	円形	B	0.32	0.32	0.22	褐灰色～灰黄褐色	10YR5/1～4/2	２層　鉄分粒を多く混入	－		
4	915		38	S17	円形	B	0.20	0.18	0.19	灰色	5Y4/1	１層　鉄分粒を多く混入	－		
4	916		38	S17	－	－	－	－	0.18	黒褐色	10YR2/3	１層	－		
4	917		39	R18	－	－	－	－	0.38	灰黄褐色	10YR4/2	１層	土器、石器		
4	918		38	R25	不整形	C	1.22	0.90	0.18	褐灰色	10YR4/1	１層　鉄分を多く混入	土器		
4	960		38	R20	楕円形	C	0.31	0.24	0.14	灰黄褐色	10YR4/2	１層	－		
1	990		35	Q15、20	－	G	－	－	0.33	灰黄褐色	10YR4/2	１層	土器		
5	1009		40	Q14	円形	E	0.32	0.24	0.18	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層（砂質）	－		
5	1010		40	Q14	円形	C	0.44	0.42	0.32	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層（砂質）	－		
5	1011		40	Q14	－	－	－	－	－	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層（砂質）	土器		
5	1012		40	Q14	－	A	－	－	0.35	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	土器、石器		
5	1014		40	Q14	楕円形	A	0.78	0.65	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	土器		
5	1015		40	Q14	－	－	－	－	0.16	灰黄褐色～黒褐色	10YR3/2～4/4	６層（５層砂質）	土器、石器		
5	1016		40	Q14	－	－	－	－	－	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	土器、石器		
5	1019		40	Q14	円形	B	0.24	0.22	0.17	灰黄褐色	10YR4/2	１層	－		
4	1057		38	S12	長方形	E	1.02	0.58	1.03	褐灰色～にぶい黄褐色	10YR5/1～5/4	３層	－		柱痕あり
4	1058		38	S12	長方形	E	0.88	－	0.41	褐灰色～にぶい黄褐色	10YR5/1～5/4	１層	－		
5	1060		40	Q14	楕円形	B	0.80	0.64	0.40	にぶい黄褐色	10YR4/3	２層	土器		
5	1061		40	Q14	－	－	－	－	－	－	－	－	土器、石器、鉄製品		井戸
5	1062		40	Q4	－	－	－	－	－	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	土器		
5	1063		40	Q14	円形	B	0.26	0.22	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	－		
5	1064		40	Q14	円形	B	0.22	0.20	0.18	灰黄褐色	10YR4/2	１層	－		
5	1067		40	L19	－	C	－	－	0.20	にぶい黄褐色	10YR4/3	２層　炭化物・焼土粒を多く混入	土器		
5	1068		40	L19	－	C	－	－	0.14	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
5	1069		40	L19	円形	A	0.28	0.22	0.16	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	－		
5	1070		40	L19、20	－	B	－	－	0.29	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層	土器、石器		
4	1072		38	S12	円形	G	0.58	0.54	0.19	灰色	10Y5/1	２層　鉄分粒・鉄分ブロックを多く混入	石器		
4	1074		38	S12、13	円形	B	0.64	0.64	0.50	灰色	10Y5/1	２層　鉄分粒・鉄分ブロックを多く混入	－		
4	1075		38	S12	楕円形	G	0.60	0.42	0.19	灰色	10Y5/1	１層　鉄分粒・鉄分ブロックを多く混入	土器		
4	1076		38	S12	楕円形	C	－	－	0.17	灰色	10Y5/1	１層　鉄分粒・鉄分ブロックを多く混入	－		
4	1077		38	S13	円形	E	0.60	0.59	0.36	灰色	10Y5/1	１層　鉄分粒・鉄分ブロックを多く混入	土器、石器		

表15－10　飛鳥・平安時代の土坑（SK）一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色　調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
4	1078		38	S13	楕円形	B	0.56	0.48	0.32	暗褐色	10YR3/3	1層	－		
4	1080		38	S11、16	楕円形	C	0.86	0.56	0.23	明黄褐色	10YR6/6	1層　灰色土ブロックを多く混入	－		
4	1082		38	S13	円形	C	0.58	0.52	2.62	にぶい黄褐色	10YR5/4	1層	土器、石器		
4	1083		38	S18	楕円形	C	0.48	0.36	0.22	黒色	10YR1.7/1	1層	土器、骨		
4	1084		38	S11、16	－	－	－	－	0.34	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器、石器		
4	1085		38	S13	楕円形	E	0.86	0.62	0.46	褐色	10YR4/4	1層	土器、石器		
4	1095		38	S11	－	C	－	－	0.24	暗褐色	10YR3/4	1層　鉄分粒を多く混入	－		
4	1101		38	S17、18	楕円形	C	0.50	0.34	0.16	暗褐色	10YR3/4	1層　鉄分粒を多く混入	土器		
5	1109		40	L24	不整形	－	－	－	0.39	明黄褐色～灰黄褐色	10YR6/6～4/2	4層　焼土粒・炭化物粒・鉄分粒・明黄褐色土ブロック・灰色土ブロックを多く混入	土器、鉄滓、鍛造剝片		
5	1111		40	L19	不整形	G	2.20	1.58	0.39	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器、石器		
5	1112		40	L19	円形	A	0.58	0.52	0.24	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器		
5	1113		40	L19	円形	A	0.18	0.16	0.10	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
5	1114		40	L19、24	楕円形	A	0.70	0.56	0.22	灰黄褐色	10YR4/2	1層　鉄分粒・明黄褐色土ブロック・灰色土ブロックを多く混入	－		
5	1115		40	L24	－	C	－	－	0.12	明黄褐色	10YR6/6	1層	－		
5	1116		40	L19	円形	A	0.54	0.44	0.33	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器		
5	1117		40	L19	円形	A	0.42	0.34	0.24	褐灰色	10YR4/1	1層	－		
5	1118		40	L19	円形	B	0.28	(0.26)	0.43	褐灰色	10YR4/1	1層	－		
5	1119		40	L19	－	A	－	－	0.11	褐灰色	10YR4/1	1層　鉄分・マンガンを多く混入	－		
5	1120		40	L19	方形	C	0.40	0.35	0.14	褐灰色	10YR4/1	1層　鉄分・マンガンを多く混入	土器		
5	1121		40	L19	不整形	C	1.00	0.54	0.23	褐灰色	10YR4/1	1層　鉄分・マンガンを多く混入	土器、石器		
5	1122		40	L19	円形	A	0.44	0.38	0.08	褐灰色	10YR4/1	1層　鉄分・マンガンを多く混入	－		
5	1123		40	L19	円形	A	0.30	0.20	0.10	褐灰色	10YR4/1	1層　鉄分・マンガンを多く混入	－		
5	1124		40	L19	不整形	A	－	－	0.11	褐灰色	10YR4/1	1層　鉄分・マンガンを多く混入	－		
5	1125		40	L19	円形	A	0.30	(0.26)	0.07	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
5	1126		40	L19	円形	B	0.34	0.32	0.39	灰黄褐色～褐色	10YR4/2～4/4	2層　底部鉄分集積	土器		
5	1128		40	L19	－	－	－	－	－	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	1141		35	Q14	円形	C	0.55	0.54	0.21	灰黄褐色	10YR4/2	1層　明黄褐色土ブロック・炭化物を多量に混入	土器		
1	1152	平安？	35	Q15	楕円形	G	1.54	1.24	0.76	灰黄褐色	10YR4/2	1層　明黄褐色土ブロック・炭化物を多量に混入	土器		
1	1154		35	Q12	円形	A	0.52	0.48	0.19	黒褐色	10YR3/2	1層	－		
1	1159		35	Q15	楕円形	C	0.95	0.70	0.65	褐灰色	10YR4/1	1層　径15～30cmの礫が多く入る	土器、石器、骨		
1	1162		35	Q15	－	C	－	－	0.49	黄褐色	2.5Y5/3	1層　鉄分粒を多く混入	土器		
1	1167	平安？	35	Q11	円形	C	0.64	0.60	2.25	－	－	－	土器		井戸
1	1169		35	Q13	－	C	－	－	0.21	黄灰色	2.5Y4/1	1層　炭化物粒・焼土粒・鉄分粒を多く混入	土器、骨		
2	1227		36	P13	円形	－	－	－	－	－	－	－	土器		井戸？
2	1228		36	P13	楕円形	B	0.54	0.46	0.34	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	1229		36	P13	円形	E	0.38	0.36	0.29	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
2	1230		36	P13	円形	C	0.48	0.48	0.33	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	1231		35	R11	－	－	－	－	0.68	黄灰色	2.5Y4/1	1層　炭化物粒・焼土粒・鉄分粒を多く混入	土器		
1	1238		35	Q15	－	－	－	－	0.74	褐灰色	10YR4/1	1層	土器、石器	62	
1	1239	飛鳥	35	Q15、R11	楕円形	C	－	1.00	0.56	黒褐色	10YR3/2	1層　焼土粒・炭化物粒・明黄褐色土ブロックを多く混入	土器、骨		
1	1240		35	Q15	楕円形	G	0.46	0.38	0.59	黒褐色	10YR3/2	1層　焼土粒・炭化物粒・明黄褐色土ブロックを多く混入	－		
1	1241		35	Q13	－	－	－	－	0.27	黒褐色	10YR3/1	1層	－		
1	1242		35	Q14	－	C	－	－	0.59	明黄褐色～灰黄褐色	10YR6/6～4/2	6層　炭化物を多量に混入	土器		
1	1246		35	Q13	円形	A	0.21	0.20	0.13	黒褐色	10YR2/2	1層	－		
1	1247		35	Q13	円形	C	0.35	0.32	0.21	黒褐色	10YR2/2	1層	－		

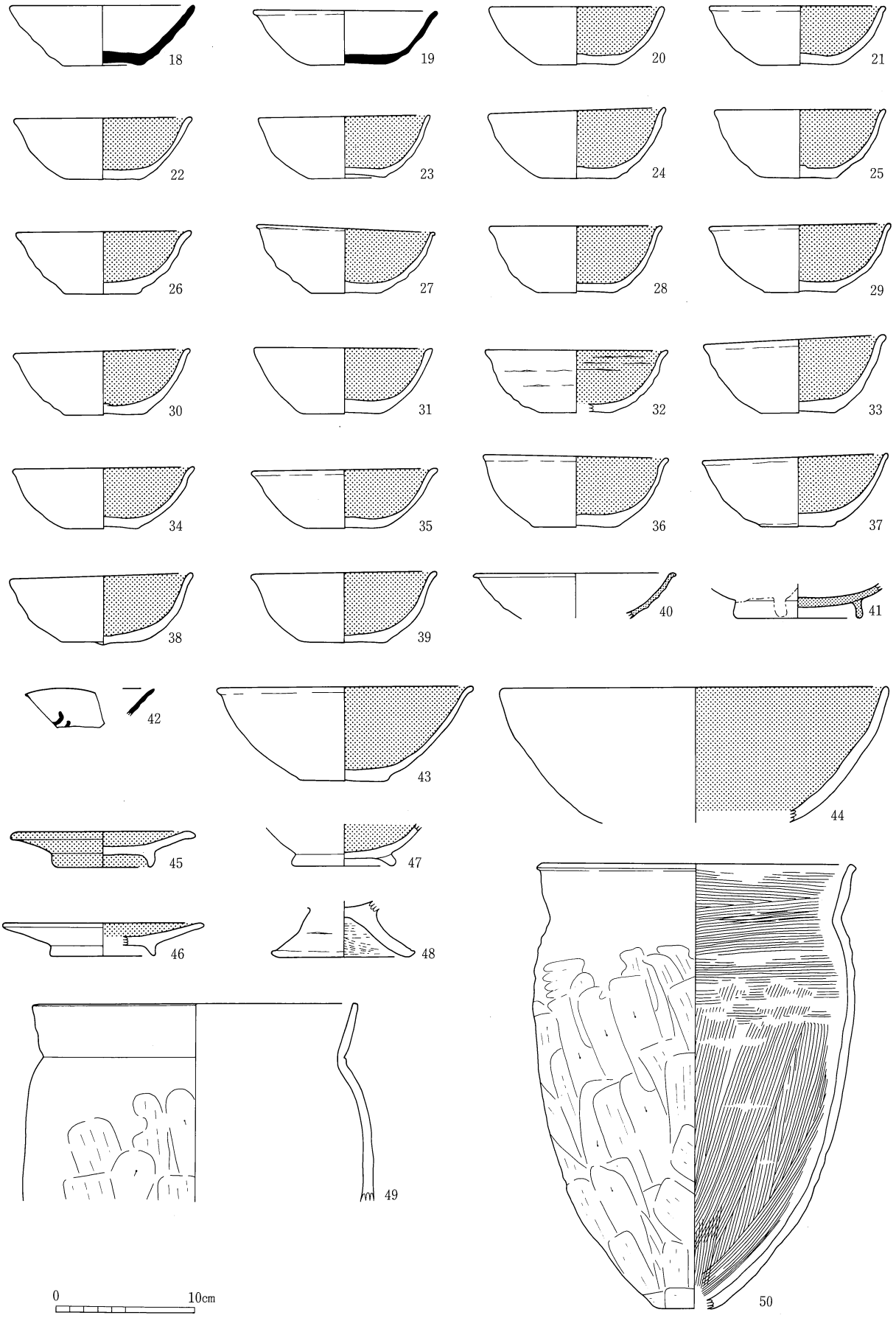
表15－11　飛鳥・平安時代の土坑（SK）一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色　調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
1	1248		35	Q13	円形	A	0.56	0.50	0.17	黒褐色	10YR2/2	1層	－		
1	1249		35	Q13	円形	A	0.42	0.40	0.26	黒褐色	10YR2/2	1層	－		
2	1250		36	P13	円形	B	0.58	0.52	0.46	暗褐色	10YR3/3	1層	土器		
2	1251		36	P13	円形	C	0.24	0.22	0.32	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
2	1252		36	P13、14	楕円形	G	0.64	0.38	0.43	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	1254		36	P14	円形	C	0.42	0.40	0.37	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	1255		36	P14	楕円形	C	0.62	0.45	0.24	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
2	1256		36	P14	円形	C	0.34	0.30	0.37	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	1260		36	T15	円形	C	0.64	0.58	0.56	にぶい黄褐色	10YR4/3	2層	土器、石器		
2	1261		36	P13	円形	G	0.56	0.50	0.31	にぶい黄褐色	10YR4/3	2層	－		
2	1262		36	P13	円形	B	0.52	0.50	0.39	にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3～3/3	2層	土器		
2	1263		36	P14	円形	A	(0.52)	0.48	0.35	にぶい黄褐色	10YR4/3	2層	土器		
2	1264		36	P14	円形	B	0.34	0.30	0.51	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	1267		36	P11	円形	C	0.48	0.44	0.26	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	1268		36	P11	円形	C	0.38	0.38	0.36	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
2	1269		36	P11	円形	C	0.38	0.38	0.22	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
2	1270		36	P11	－	－	－	－	0.16	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
2	1271		36	P11	－	C	－	－	0.30	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	石器		
2	1272		36	P11	円形	C	－	－	0.06	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
2	1273		36	P11	－	C	－	－	0.20	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
2	1274		36	P11	不整形	C	1.30	0.44	0.20	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	1275		36	P11	円形	C	－	－	0.21	にぶい黄褐色	10YR4/3	3層（焼土層あり）	土器		
2	1276		36	P11	－	－	－	－	0.24	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	1277		36	P11	－	A	－	－	0.24	にぶい黄褐色	10YR3/3	1層	－		
1	1282		35	Q13	円形	A	0.48	0.43	0.24	黒褐色	10YR2/2	1層	土器		
1	1283		35	Q13	円形	C	0.46	0.46	0.16	黒褐色	10YR3/2	1層	－		
2	1290		36	P14	－	B	－	－	0.33	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	1292		35	Q14	円形	A	0.40	0.30	0.21	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
1	1293		35	Q14	－	－	－	－	0.34	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
1	1294		35	Q14	円形	C	0.42	0.35	0.22	灰黄褐色	10YR4/2	1層	－		
1	1295		35	Q12	－	C	－	－	0.18	黒褐色	10YR2/2	1層	－		
1	1297		35	Q13	－	－	－	－	0.28	黒褐色	10YR2/2	1層	－		
2	1299		36	T15	楕円形	C	0.74	(0.48)	0.41	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層　炭化物を多く混入	－		
6	1309		39	V9	－	－	－	－	－	にぶい黄褐色～褐色	10YR3/2～3/3	3層	土器	59	
6	1311		39	Q25、V5	楕円形	G	2.64	－	0.71	灰黄褐色	10YR4/2	1層　炭化物粒・焼土粒を多く混入	土器、石器		

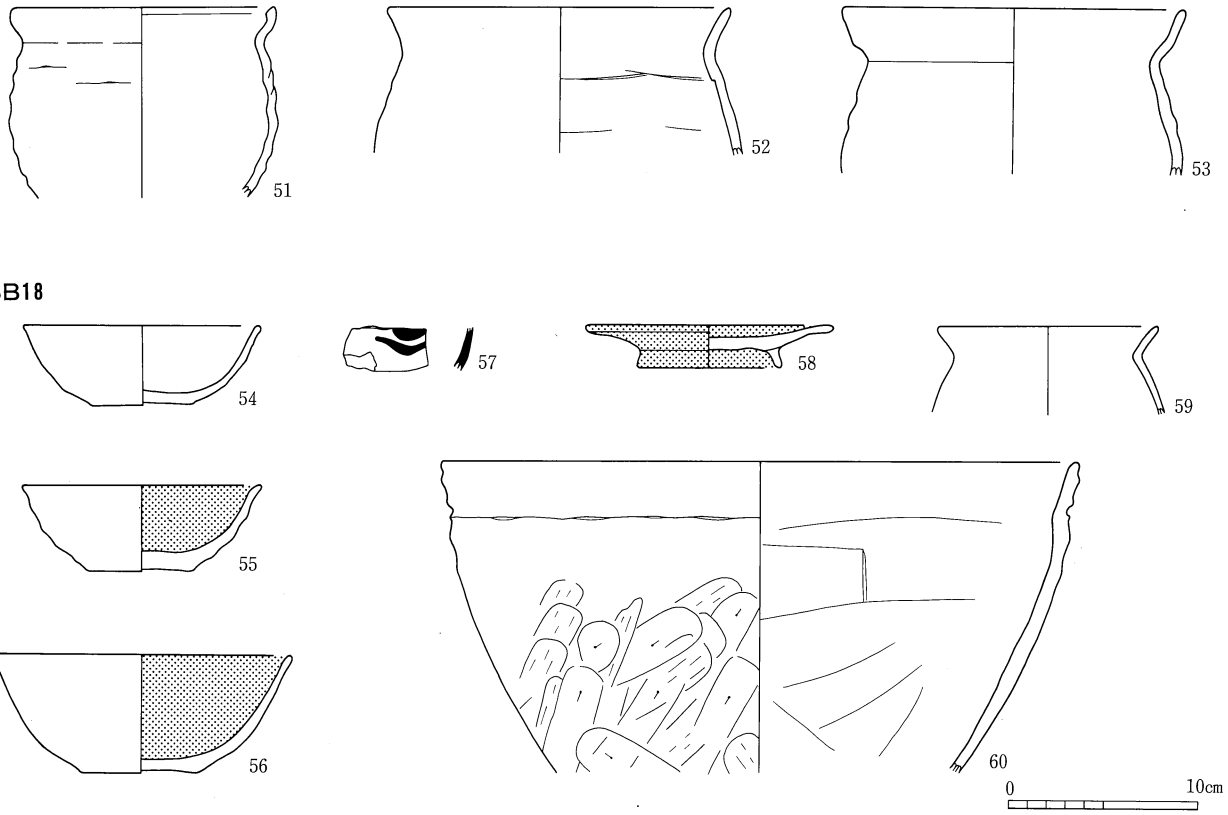


第48図　飛鳥・平安時代の土器　1

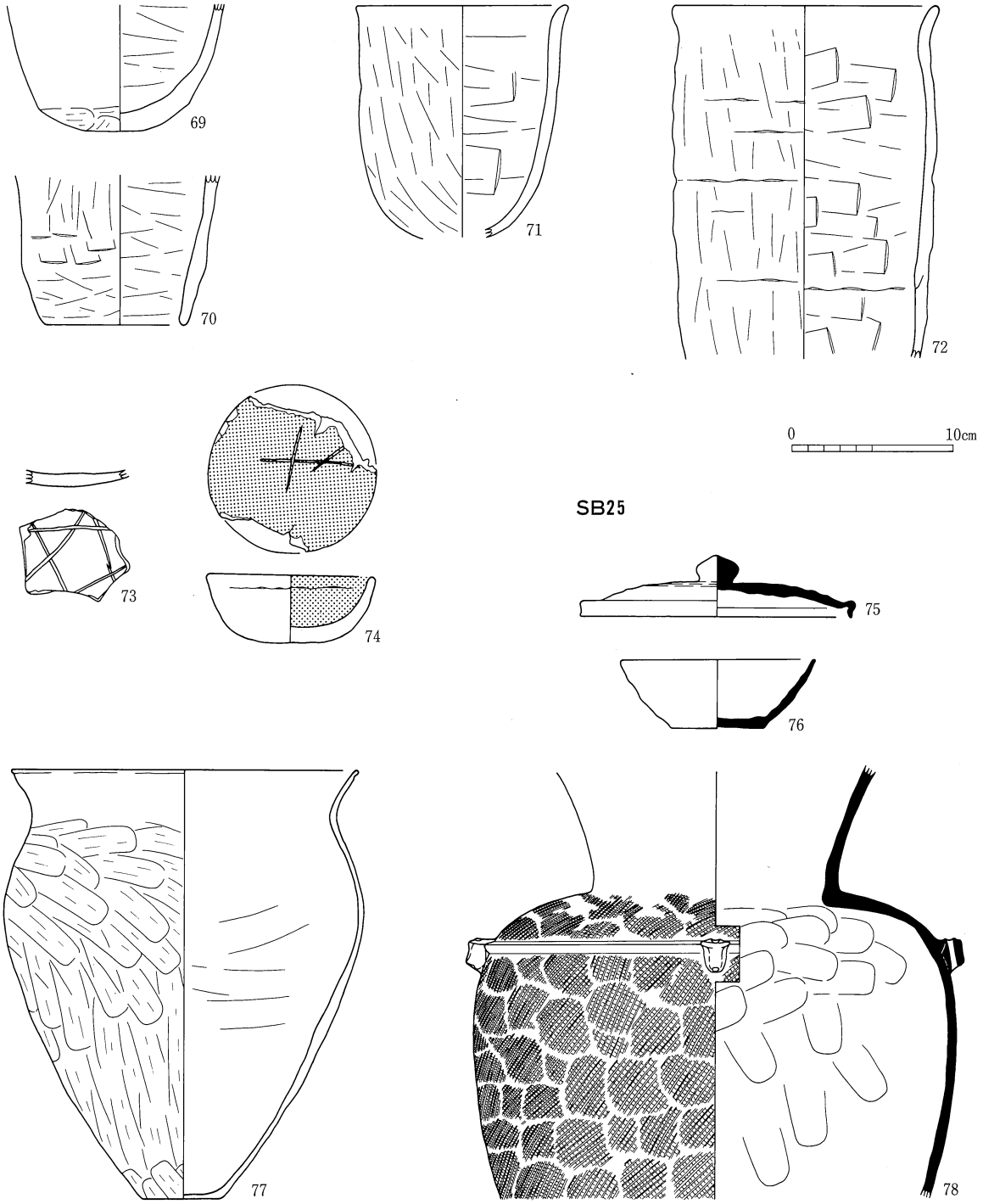
SB11



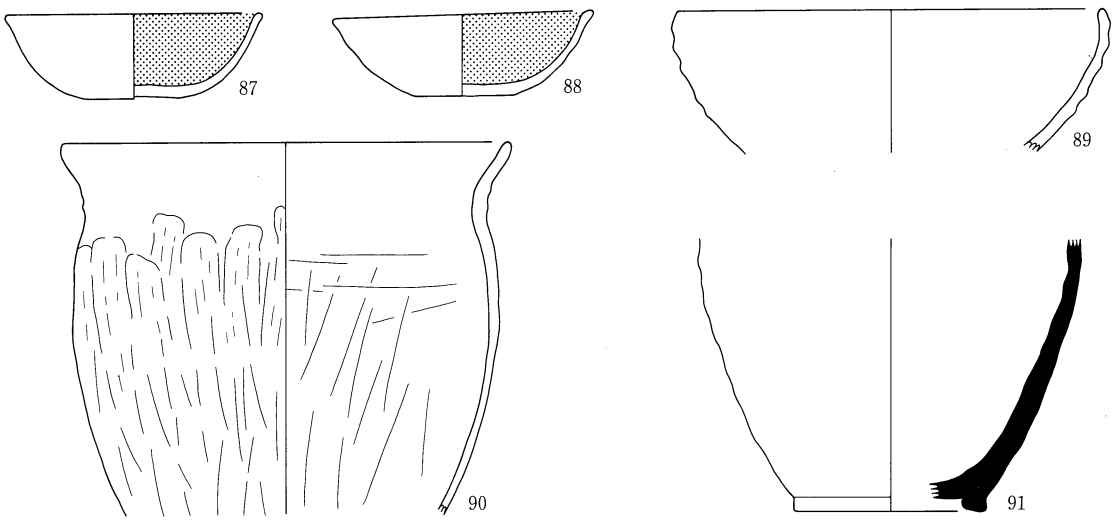
第49図　飛鳥・平安時代の土器　2



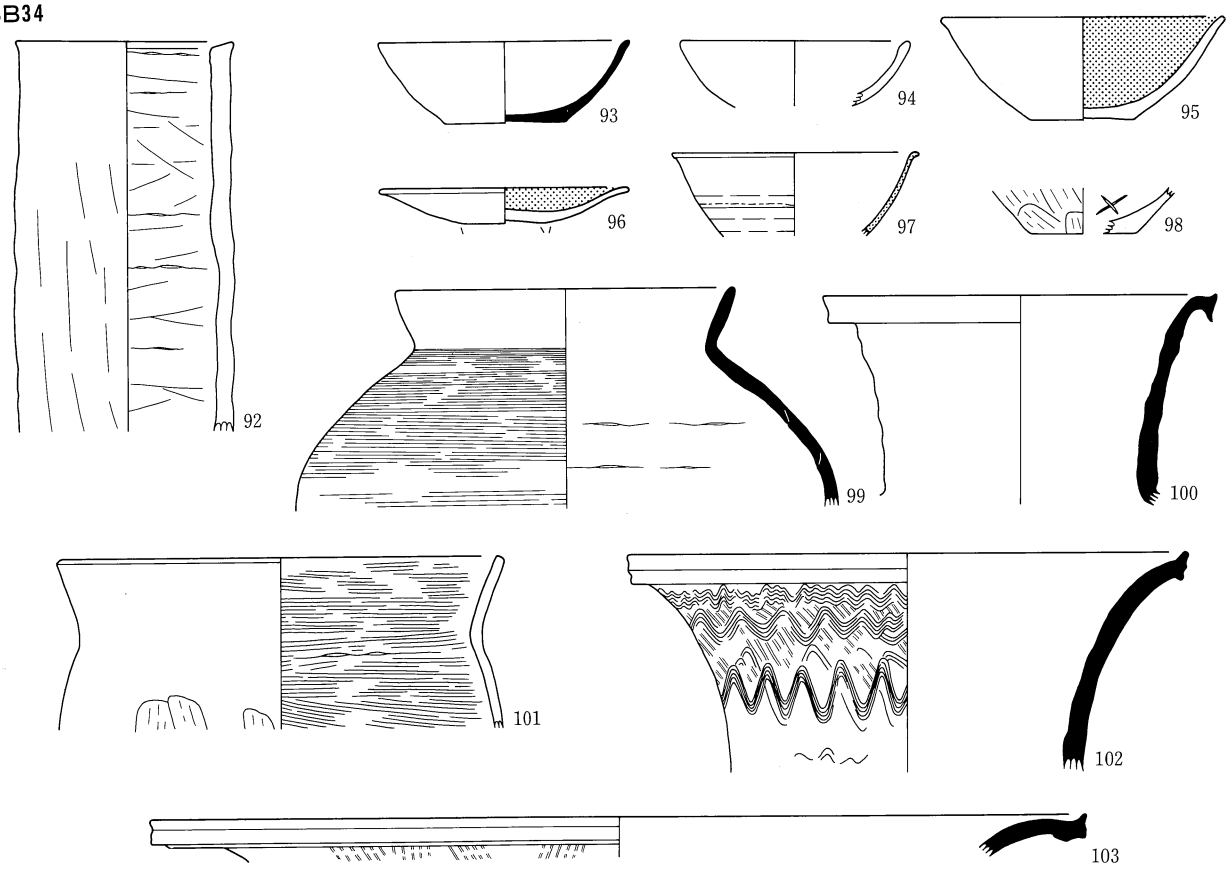
第50図　飛鳥・平安時代の土器　3



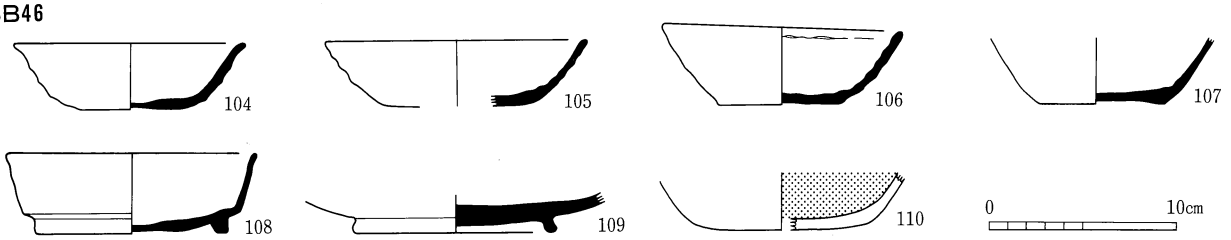
第51図　飛鳥・平安時代の土器　4



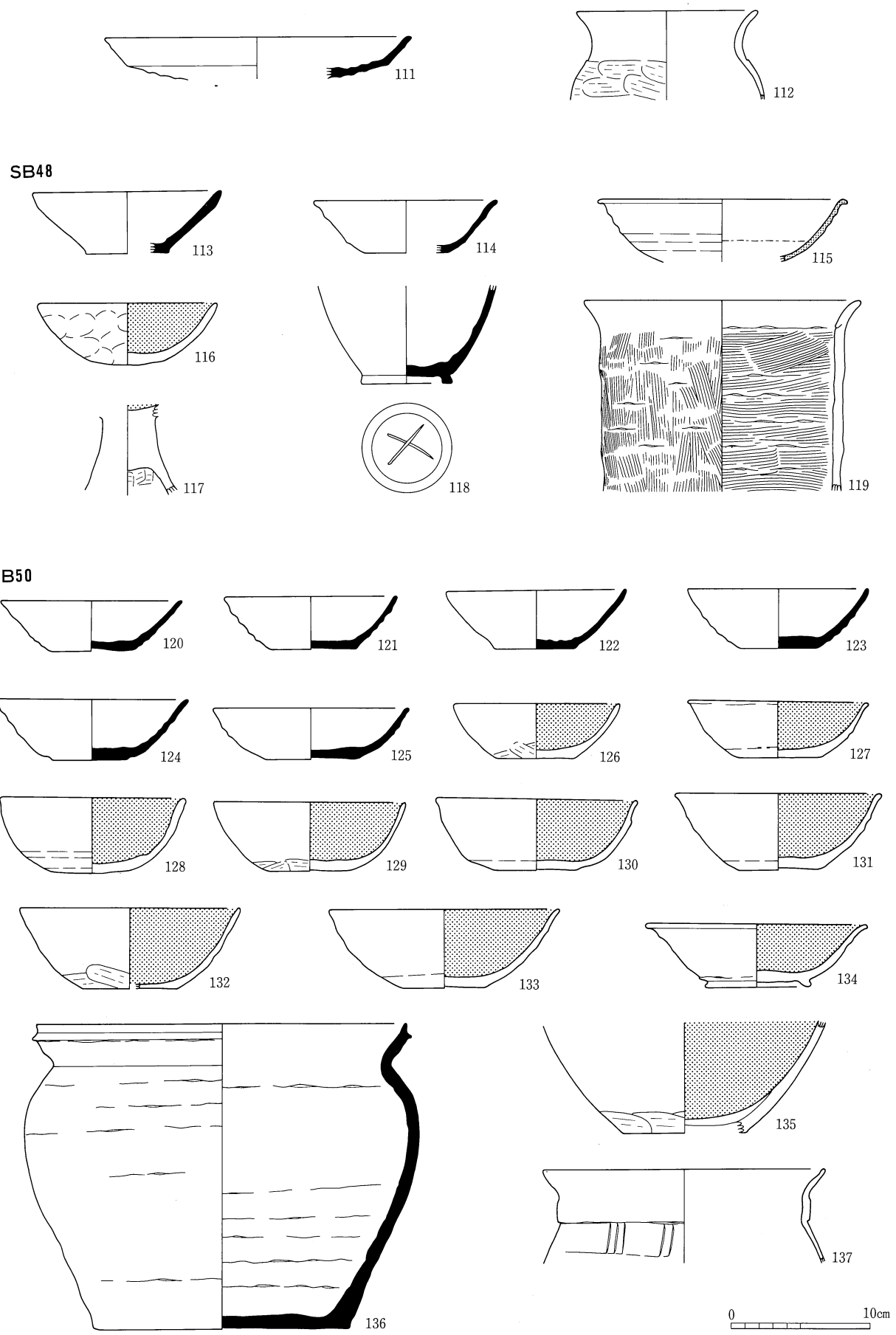
SB34



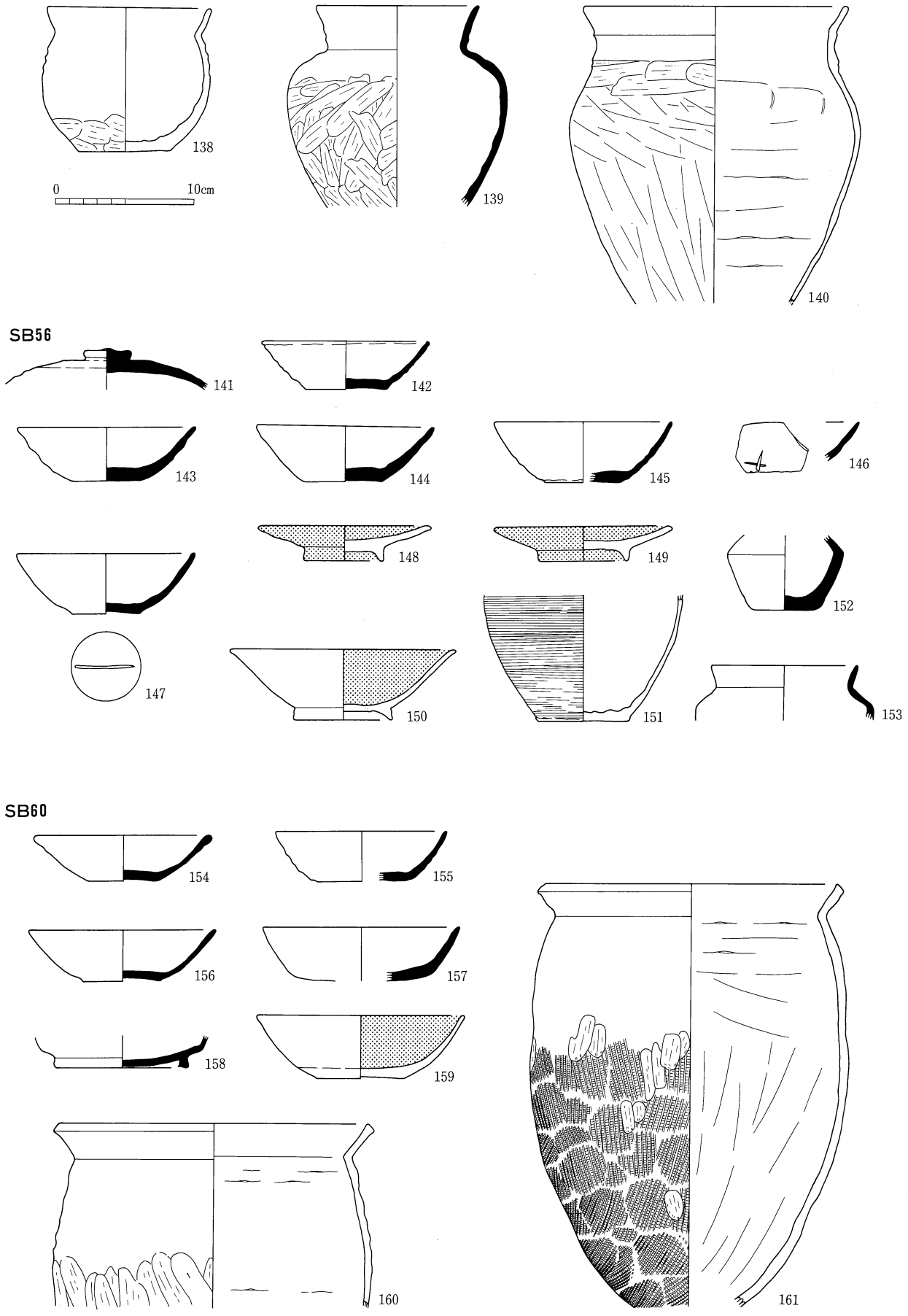
SB46



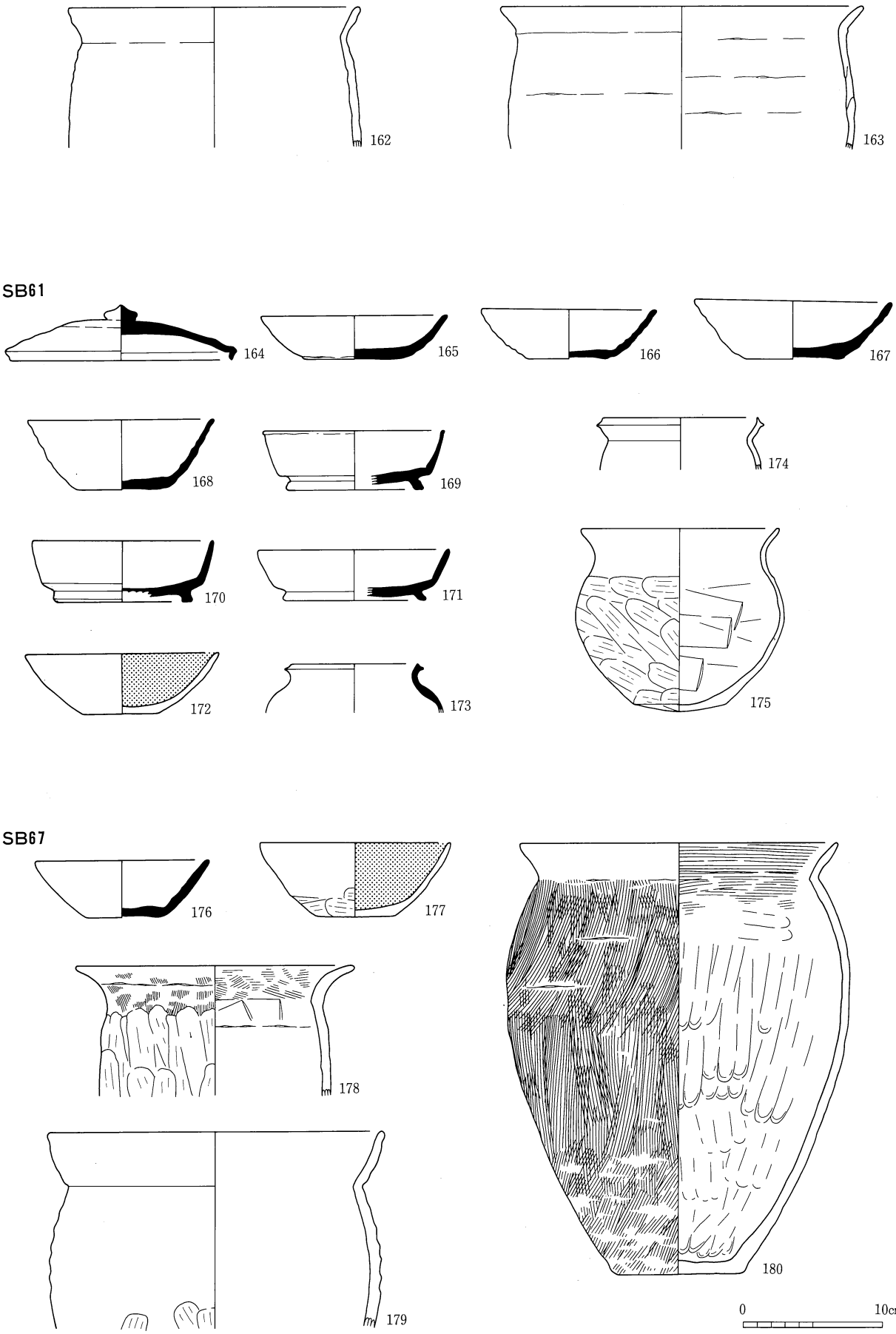
第52図　飛鳥・平安時代の土器　5



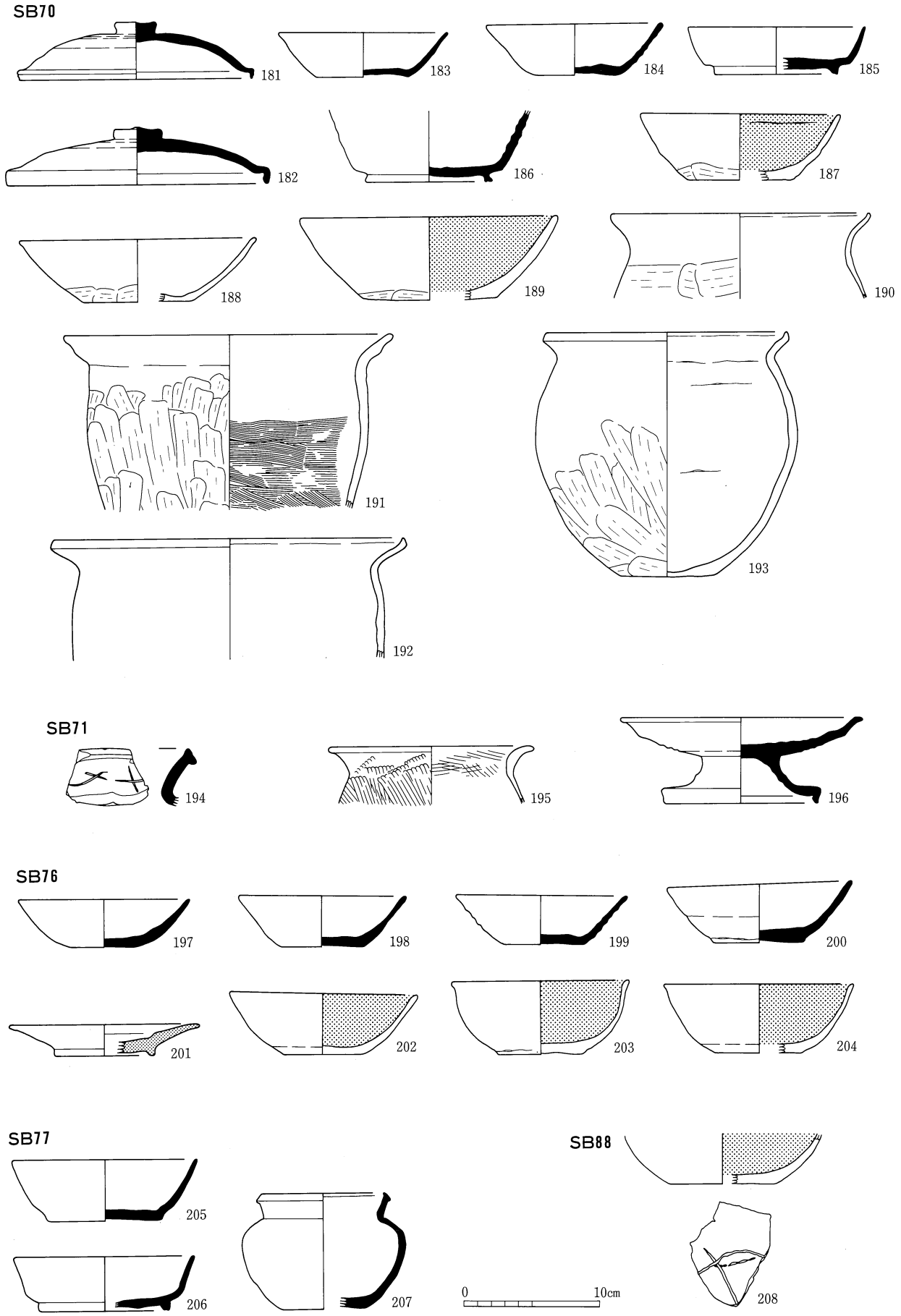
第53図　飛鳥・平安時代の土器　6



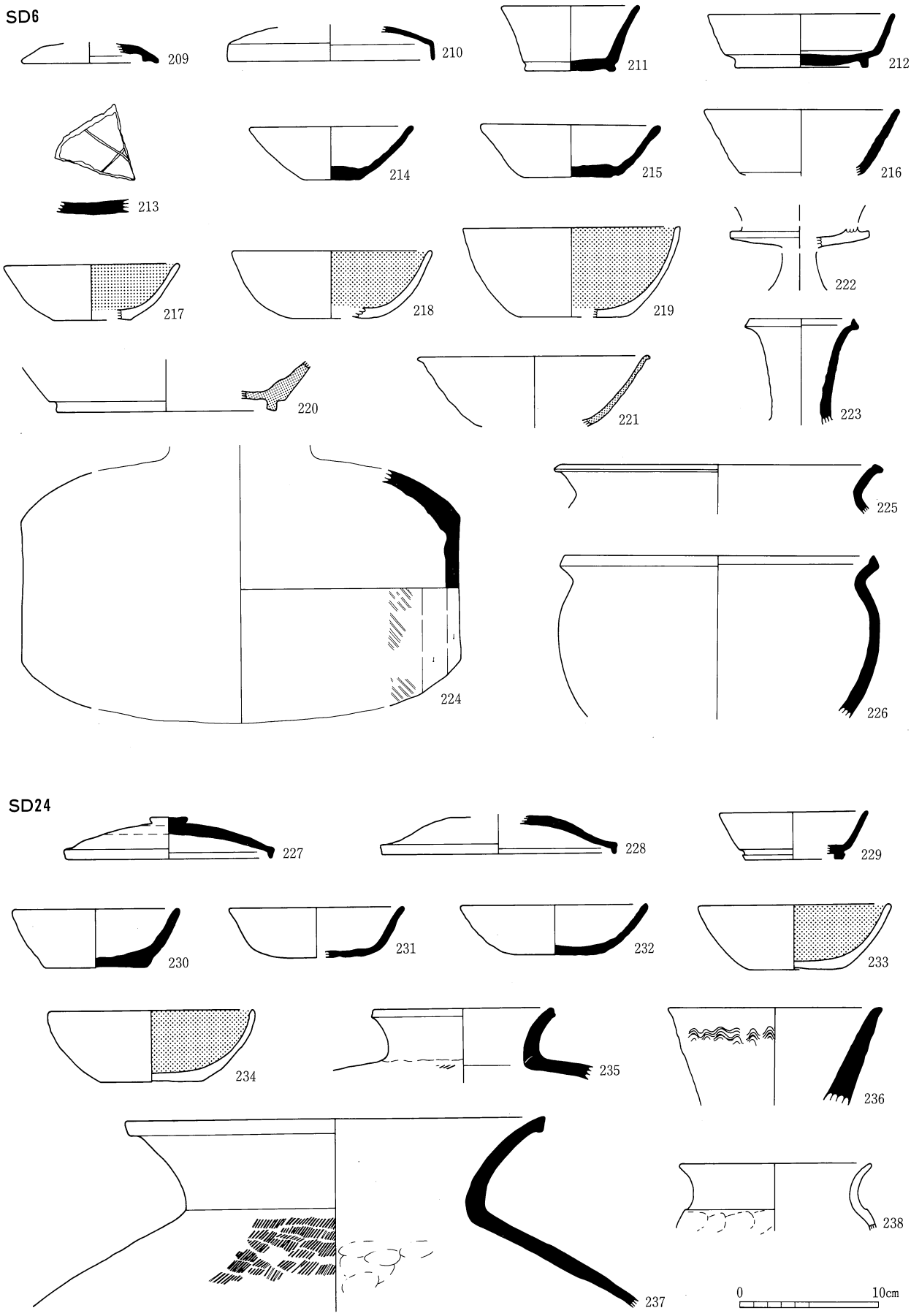
第54図　飛鳥・平安時代の土器　7



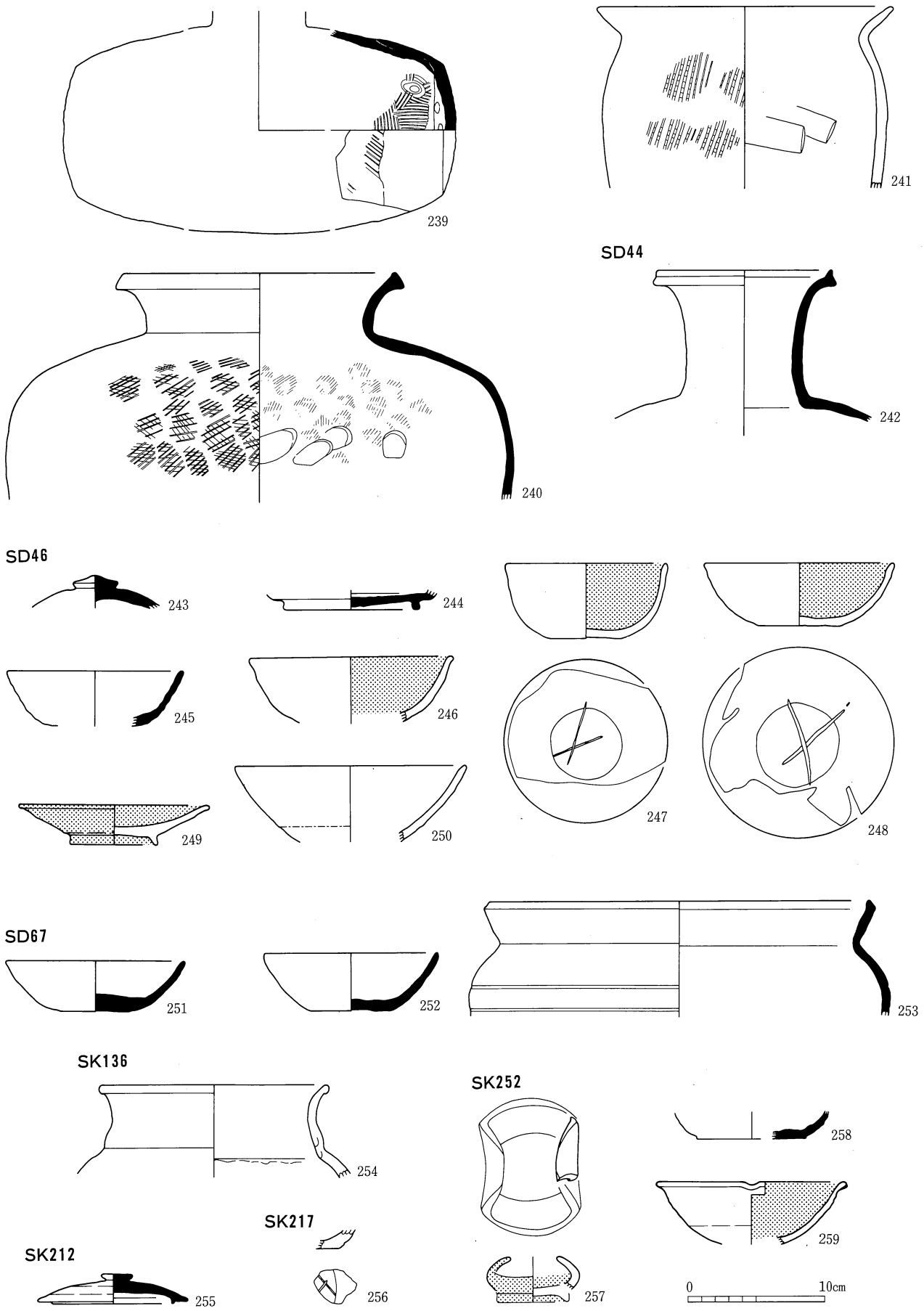
第55図　飛鳥・平安時代の土器　8



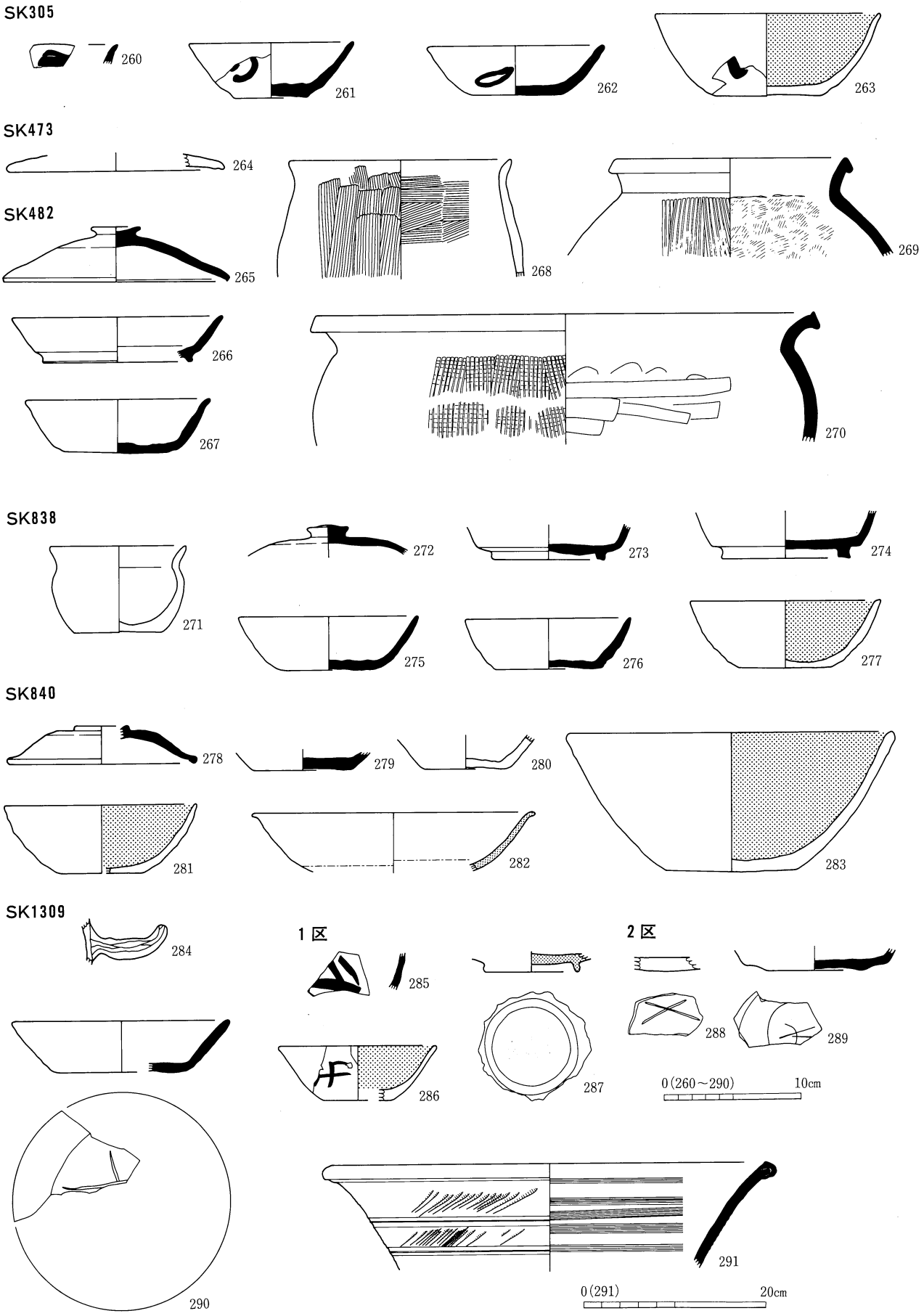
第56図　飛鳥・平安時代の土器　9



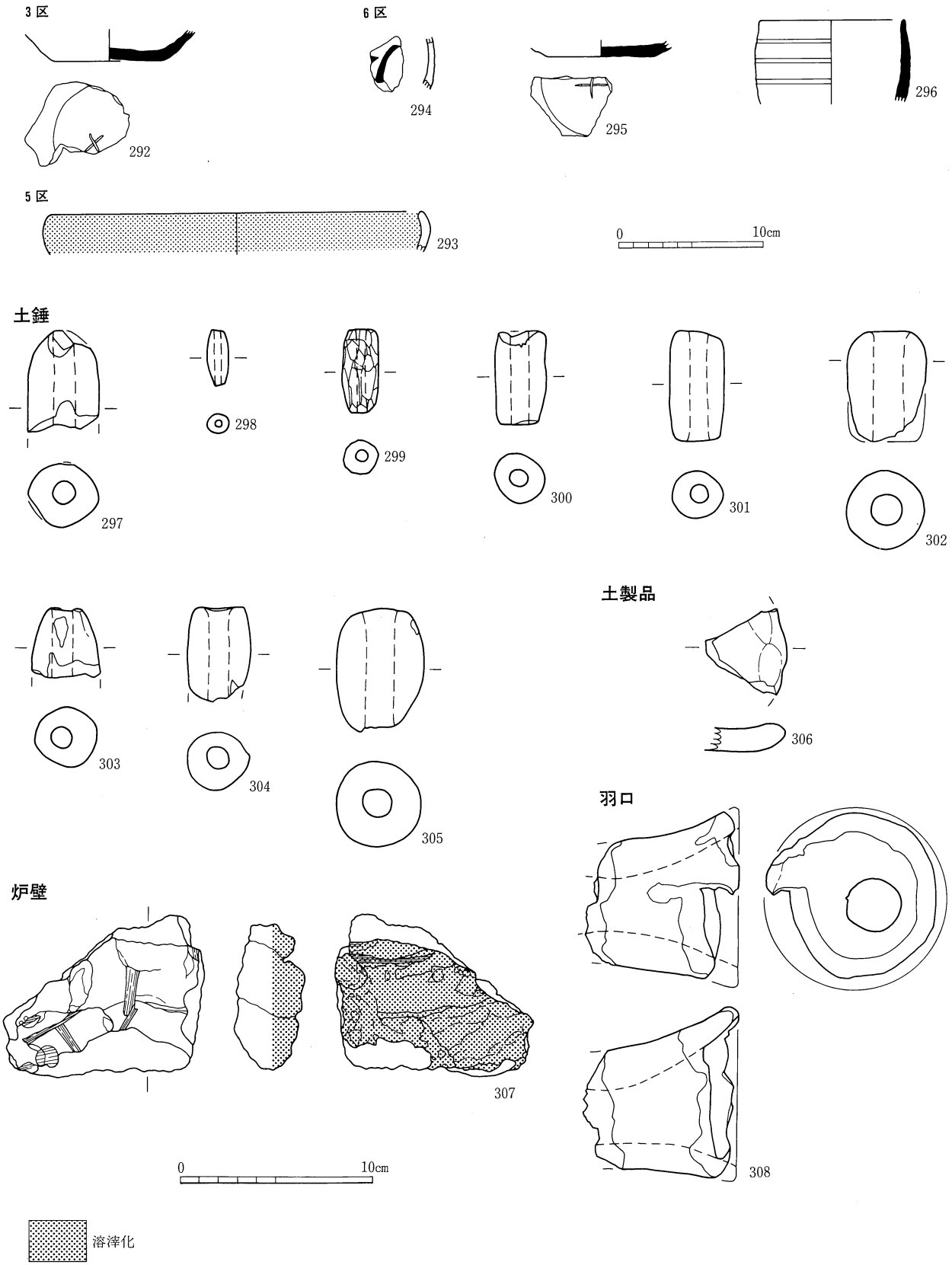
第57図　飛鳥・平安時代の土器　10



第58図　飛鳥・平安時代の土器　11



第59図　飛鳥・平安時代の土器　12



第60図　飛鳥・平安時代の土器　13　土錘・土製品・炉壁・羽口

表16－1　飛鳥・平安時代の土器・土製品一覧

遺構番号	図番号	報告書番号	出土位置	器種	焼き物種別	口径	底径	器高	残存率	色調	外面整形	内面整形	底部整形	備考
SB3	48	1	床	蓋B	須恵	15.6	－	3.3	完	外オリーブ黄、内赤褐	回転ヘラケズリ、ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SB3	48	2	カマド、床下、埋土	杯B	須恵	15.8	11.9	－	2/5	外明赤褐、内橙	上半ロクロナデ、下半回転ヘラケズリ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内ヘラ切り	
SB3	48	3	床	杯A	須恵	12.8	8.2	4.9	4/5	黒褐	ロクロナデ	ロクロナデ	静止ヘラ切り	
SB3	48	4	埋土	杯A	須恵	14.0	8.2	4.2	1/4	オリーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り→ナデ	
SB3	48	5	床、埋土	杯A	須恵	14.6	8.4	4.8	ほぼ完	浅黄	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り→ナデ	底部圧痕
SB3	48	6	カマド	小甕H	土師	－	－	－	1/3	外暗褐、内にぶい褐	胴部タテケズリ	工具ナデ	ケズリ	外面スス
SB3	48	7	埋土	甕A	土師	－	8.6	－	1/5	にぶい橙	ケズリ	工具ナデ、ナデ	木葉痕	外面煮こげ
SB3	48	8	床、埋土	甕B	土師	16.4	－	－	1/5	橙	口縁ハケ→ナデ、胴部ハケ	ハケ	－	
SB3	48	9	床、カマド、埋土	甕B	土師	21.4	－	－	1/4	橙	口縁ハケ→ナデ、胴部ハケ	ハケ	－	
SB3	48	10	カマド	甕A	土師	－	9.0	－	1/3	外にぶい黄褐、内黒褐	工具ナデ	工具ナデ、ナデ	木葉痕	
SB3	48	11	床、カマド、床下、埋土、P3	横瓶	須恵	－	－	－	1/3	外黒褐、内暗赤褐	平行タタキ→ロクロナデ	ナデ、ロクロナデ	－	
SB4	48	12	カマド	杯A	須恵	14.0	9.2	4.0	2/3	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り？	底部摩滅
SB4	48	13	埋土	杯D	黒色A	－	－	－	底1/2	外橙、内黒	ミガキ	ミガキ→黒色処理	ミガキ	内面、線刻
SB4	48	14	埋土	小甕A	土師	－	7.0	－	2/5	橙	ナデ	ナデ、工具、ナデ	木葉痕	内面煮こげ
SB4	48	15	埋土、SK298	壺	土師	17.6	－	－	1/6	浅黄橙	口縁ナデ→ミガキ、胴部ミガキ	口縁ヨコミガキ、胴部工具ナデ	－	
SB4	48	16	床	甕L	土師	19.0	－	－	1/6	にぶい黄褐	口縁ナデ、他タテミガキ	口縁ナデ、他ヨコミガキ	－	
SB4	48	17	カマド、P1、埋土	甕L	土師	16.8	5.6	－	1/2	外橙、内明赤褐	口縁ナデ、胴部タテケズリ	口縁ナデ、他工具ナデ	木葉痕	外面スス、内面煮こげ
SB11	49	18	床下	杯A	須恵	13.3	5.4	4.3	2/3	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB11	49	19	埋土	杯A	須恵	13.2	5.4	3.9	4/5	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	軟質須恵A
SB11	49	20	床フキン	杯A	黒色A	12.6	5.6	4.2	3/4	外浅黄褐、内黒	ロクロナデ	口縁ヨコミガキ、他タテミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SB11	49	21	カマドa、c、床、埋土、床下	杯A	黒色A	12.6	5.5	4.3	1/2	外暗褐、内黒	ロクロナデ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SB11	49	22	床	杯A	黒色A	12.9	5.3	4.5	ほぼ完	外にぶい橙、内黒	ロクロナデ	ミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SB11	49	23	床	杯A	黒色A	12.3	5.6	4.5	1/6	外橙、内黒	ロクロナデ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SB11	49	24	床	杯A	黒色A	12.5	5.4	4.8	ほぼ完	外橙、内黒	ロクロナデ	口縁ヨコミガキ、他放射状ミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SB11	49	25	埋土	杯A	黒色A	12.2	5.2	5.0	4/5	外浅黄橙、内黒	ロクロナデ	口縁ヨコミガキ、他ミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SB11	49	26	埋土	杯A	黒色A	12.6	5.2	4.5	ほぼ完	外淡橙、内黒	ロクロナデ	ミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SB11	49	27	埋土	杯A	黒色A	12.6	5.0	4.8	4/5	外淡橙、内黒	ロクロナデ	口縁ヨコミガキ、他工具ナデ→ミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SB11	49	28	埋土	杯A	黒色A	12.4	5.6	4.8	2/3	外灰白、内黒	ロクロナデ	上半ヨコミガキ、下半放射状ミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SB11	49	29	カマドc	杯A	黒色A	13.0	5.1	4.9	4/5	外にぶい褐、内黒	ロクロナデ	口縁ヨコミガキ、他放射状ミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SB11	49	30	埋土	杯A	黒色A	12.6	5.6	4.6	4/5	外淡黄、内黒	ロクロナデ	口縁ヨコミガキ、他放射状ミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SB11	49	31	カマドa、c、埋土	杯A	黒色A	12.6	5.6	4.7	2/3	外にぶい黄褐、内黒	ロクロナデ	口縁ヨコミガキ、他放射状ミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SB11	49	32	埋土	杯A	黒色A	13.0	5.2	4.5	1/3	外橙、内黒	ロクロナデ	口縁ヨコミガキ、他ミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SB11	49	33	埋土	杯A	黒色A	13.1	5.4	5.2	完	外浅黄橙、内黒	ロクロナデ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SB11	49	34	埋土	杯A	黒色A	13.0	5.0	4.4	3/4	外橙、内黒	ロクロナデ	ミガキ→黒色処理	回転糸切りのちヘラケズリ	
SB11	49	35	床下	杯A	黒色A	13.4	5.7	4.1	3/4	外橙、内黒	ロクロナデ	口縁ヨコミガキ、他タテミガキ→黒色処理	回転糸切り	

表16－2　飛鳥・平安時代の土器・土製品一覧

遺構番号	図番号	報告書番号	出土位置	器種	焼き物種別	口径	底径	器高	残存率	色調	外面整形	内面整形	底部整形	備考
SB11	49	36	埋土	杯A	黒色A	13.2	5.8	5.1	3/4	外浅黄橙、内黒	ロクロナデ	ミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SB11	49	37	埋土	杯A	黒色A	13.2	5.1	5.0	完	外灰褐、内黒	ロクロナデ	口縁ヨコミガキ、他タテミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SB11	49	38	埋土	杯A	黒色A	13.2	5.8	5.0	4/5	外灰褐、内黒	ロクロナデ	上半ヨコミガキ、下半放射状ミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SB11	49	39	床	杯A	黒色A	13.4	5.8	5.0	1/2	外浅黄橙、内黒	ロクロナデ	上半ヨコミガキ、下半放射状ミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SB11	49	40	埋土	椀	灰釉	14.6	－	－	1/5	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SB11	49	41	床下	椀	灰釉	－	9.3	－	1/3	黄灰	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内回転ヘラ切り	
SB11	49	42	埋土	杯A	須恵	－	－	－	小片	明オリーブ	ロクロナデ	ロクロナデ		墨書
SB11	49	43	床	杯A	黒色A	18.4	5.4	6.7	ほぼ完	外橙、内黒	ロクロナデ	ミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SB11	49	44	カマドa、c	鉢A	黒色A	27.9	－	－	2/3	外にぶい橙、内黒	ロクロナデ、ナデ	ミガキ→黒色処理	－	
SB11	49	45	床下	皿B	黒色B	13.4	6.8	2.6	1/2	黒	ミガキ→黒色処理	ミガキ→黒色処理	高台ナデ、高台内回転ヘラ切り→ミガキ→黒色処理	
SB11	49	46	埋土	皿B	黒色A	14.5	7.4	2.4	1/4	外黄橙、内黒	ロクロナデ	ミガキ→黒色処理	高台ナデ	
SB11	49	47	カマドa	椀	黒色A	－	7.4	－	1/3	外黄橙、内黒	ロクロナデ	杯部放射状ミガキ→黒色処理	高台ナデ、高台内回転糸切り→ナデ	
SB11	49	48	埋土	?	土師	－	10.2	－	3/4	外明赤褐、内にぶい橙	脚部タテミガキ	脚部ハケ→ナデ、他ミガキ	－	
SB11	49	49	カマドc、埋土	甕I	土師	23.4	－	－	1/3	外橙、内にぶい橙	口縁ロクロナデ、他ケズリ	ロクロナデ	－	外ススス、内面煮こげ?、口縁面取り
SB11	49	50	カマドc、埋土	甕I	土師	23.1	4.0	32.0	1/2	外橙、内明黄褐	口縁ロクロナデ、他タテケズリ	上半ヨコハケ、下半タテハケ	ケズリ	口縁面取り、内面煮こげ
SB11	50	51	埋土	小甕D	土師	14.0	－	－	1/5	外赤褐、内灰褐	ロクロナデ	ロクロナデ		内面煮こげ?
SB11	50	52	床、カマドa、c	甕	土師	18.0	－	－	1/4	外赤褐、内にぶい褐	ロクロナデ	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	－	外面ススス
SB11	50	53	カマドc	小甕D	土師	18.0	－	－	1/5	外明赤褐、内にぶい黄褐	ロクロナデ	ロクロナデ	－	外面ススス、内面煮こげ
SB18	50	54	埋土	杯A	土師	12.6	5.4	4.2	3/4	黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB18	50	55	埋土SB11、床下	杯A	黒色A	12.8	5.6	4.6	3/4	外橙、内黒	ロクロナデ	ミガキ→黒色処理	回転糸切り	内面摩滅
SB18	50	56	床	杯A	黒色A	16.0	6.2	6.2	1/2	外にぶい黄橙、内黒	ロクロナデ	ミガキ→黒色処理	回転ヘラ切り	外面ススス、内面摩滅
SB18	50	57	埋土	杯A	須恵	－	－	－	小片	明オリーブ灰	－	－	－	墨書
SB18	50	58	P7	皿B	黒色B	13.2	7.8	2.3	1/2	黒	ロクロナデ→ミガキ→黒色処理	ミガキ→黒色処理	高台ナデ、高台内回転ヘラ切り	
SB18	50	59	埋土	小甕D	土師	11.8	－	－	1/5	外明褐、内にぶい褐	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SB18	50	60	カマド、P5	鍋	土師	34.0	－	－	1/5	外橙、内明赤褐	上半ロクロナデ、下半ケズリ	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	－	内面煮こげ?
SB21	50	61	埋土	杯A	須恵	13.4	10.4	5.6	2/3	外灰白、内明オリーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り→ナデ	
SB21	50	62	床	杯A	須恵	14.0	5.3	5.6	2/3	外にぶい赤褐、内灰黄褐	ロクロナデ	ロクロナデ	静止ヘラ切り	
SB21	50	63	床	杯B	須恵	－	10.4	－	底のみ	灰	－	ロクロナデ	高台ナデ、高台内面回転ヘラ切り	ヘラ書き
SB21	50	64	床	短頸壺B	須恵	5.3	4.8	7.9	完	外暗赤灰白、内緑灰白	ロクロナデ、底付近回転ヘラ切り	ロクロナデ	回転ヘラケズリ	
SB21	50	65	床	高盤	須恵	19.0	－	－	坏1/6	褐灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SB21	50	66	カマド、床	甕A	土師	19.0	－	－	1/3	外にぶい赤褐、内褐	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	－	
SB21	50	67	カマド、埋土	甕A	土師	19.0	9.0	31.2	1/2	外にぶい橙、内橙	口縁ロクロナデ、他荒いケズリ	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	木葉痕	外面ススス、内面煮こげ
SB21	50	68	床、埋土	甕A	土師	12.6	5.8	35.8	2/3	外明褐、内にぶい黄褐	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	ナデ	外面ススス、内面煮こげ

表16－3　飛鳥・平安時代の土器・土製品一覧

遺構番号	図番号	報告書番号	出土位置	器種	焼き物種別	口径	底径	器高	残存率	色調	外面整形	内面整形	底部整形	備考
SB21	51	69	P1、床下	甕A	土師	－	－	－	1/4	外灰白、内黒褐	ナデ	工具ナデ	ケズリ	内面煮こげ
SB21	51	70	カマド、埋土	甑	土師	－	8.9	－	1/3	外明赤褐、内橙	工具ナデ	工具ナデ	－	
SB21	51	71	床	小甕A	土師	13.2	－	－	2/3	外橙、内褐	口縁ロクロナデ、他ナデ	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	－	2次焼成？
SB21	51	72	カマド、床、埋土	甕A	土師	16.6	－	－	4/5	外明赤褐、内明褐	口縁ロクロナデ、他ナデ	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	－	外面スス
SB23	51	73	埋土	杯D	黒色A	－	－	－	小片	にぶい橙	－	ミガキ	ナデ	ヘラ書き
SB23	51	74	埋土	杯D	黒色A	10.5	5.0	4.3	3/4	外橙、内黒	ヨコミガキ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ→黒色処理	－	ヘラ書き
SB25	51	75	埋土	蓋B	須恵	17.1	－	3.8	完	明オリーブ灰	ロクロナデ、回転ヘラケズリ	ロクロナデ	－	
SB25	51	76	埋土	杯A	須恵	12.4	5.8	4.3	1/2	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB25	51	77	床、埋土	甕C	土師	21.6	5.0	27.0	2/5	外褐灰、内黒褐	口縁ロクロナデ、他ケズリ	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	ケズリ	外面スス、内面煮こげ
SB25	51	78	カマド、埋土	甕D	須恵	－	－	－	1/3	暗灰	頸部ロクロナデ、他格子状タタキ	頸部ロクロナデ、他工具ナデ		耳は4ヶ？
SB27	51	79	床	杯A	須恵	14.0	5.6	4.6	ほぼ完	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	軟質須恵A
SB27	51	80	床	杯A	須恵	14.4	6.2	4.4	ほぼ完	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	軟質須恵A
SB27	51	81	床フキン	杯A	須恵	14.0	6.8	4.4	ほぼ完	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り→ナデ	軟質須恵A
SB27	51	82	床	杯A	黒色A	12.8	5.2	4.2	完	外浅黄橙、内黒	ロクロナデ	口縁ヨコミガキ、他ミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SB27	51	83	床	杯A	黒色A	13.0	5.4	4.3	3/4	外浅黄橙、内黒	ロクロナデ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SB27	51	84	カマド、埋土	杯A	黒色A	13.0	－	－	1/2	外橙、内黒	ロクロナデ	ヨコミガキ→タテミガキ→黒色処理	－	口縁部付着物
SB27	51	85	埋土	杯A	黒色A	13.2	5.5	4.2	3/4	外橙、内黒	ロクロナデ	ミガキ→黒色処理	回転糸切り	墨書
SB27	51	86	埋土	杯A	黒色A	13.5	6.0	4.3	ほぼ完	外にぶい褐、内黒	ロクロナデ	口縁ヨコミガキ、他放射状ミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SB27	52	87	床	杯A	黒色A	13.6	5.0	4.5	2/3	外褐灰、内黒	ロクロナデ	上半ヨコミガキ、下半放射状ミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SB27	52	88	埋土	杯A	黒色A	13.8	5.2	4.3	3/4	外浅黄橙、内黒	ロクロナデ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SB27	52	89	床	鉢	土師	22.6	－	－	1/4	外橙、内にぶい褐	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SB27	52	90	カマド、床	甕I	土師	24.0	－	－	1/3	橙	口縁ロクロナデ、他タテケズリ	口縁ロクロナデ、他工具ナデ		内面煮こげ
SB27	52	91	埋土	長頸壺A	須恵	－	10.2	－	1/8	浅黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ	
SB34	52	92	カマド、床、床下、埋土	円筒形土器	土師	11.6	－	－	1/2	外橙、内灰褐	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	工具ナデ	－	口縁面取り
SB41	52	93	埋土	杯A	須恵	13.4	6.3	4.4	1/4	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	軟質須恵A
SB41	52	94	埋土	杯A	土師	12.2	－	－	1/4	橙	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SB41	52	95	煙道	杯A	黒色A	15.1	5.5	5.4	1/4	外にぶい橙、内黒	ロクロナデ	ミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SB41	52	96	床、埋土	皿A	黒色A	13.3	4.3	1.9	1/2	外浅黄橙、内	ロクロナデ	口縁ヨコミガキ、他ミガキ→黒色処理	高台内回転糸切り	
SB41	52	97	埋土	椀	灰釉	13.1	－	－	1/5	外浅黄、内灰白	口縁ロクロナデ、他回転ヘラケズリ	ロクロナデ	－	
SB41	52	98	埋土	甕	土師	－	5.6	－	底1/5	褐灰	ケズリ	ナデ	ケズリ	ヘラ書き
SB41	52	99	煙道、埋土	甕D	須恵	18.2	－	－	1/5	黒褐	口縁ロクロナデ、他カキメ	口縁ロクロナデ、他ナデ	－	
SB41	52	100	煙道	甕A	須恵	21.0	－	－	口1/5	外暗赤灰、内灰黄	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SB41	52	101	煙道	甕I	土師	24.0	－	－	1/4	外黄橙、内にぶい橙	口縁ロクロナデ、他ケズリ	ハケ	－	外面スス、内面煮コゲ、口縁面取り
SB41	52	102	埋土、IV層	甕A	須恵	30.0	－	－	口1/4	外黒褐、内灰オリーブ	口縁ロクロナデ、頸部タタキ→ロクロナデ→波状文	ロクロナデ	－	

表16－4　飛鳥・平安時代の土器・土製品一覧

遺構番号	図番号	報告書番号	出土位置	器種	焼き物種別	口径	底径	器高	残存率	色調	外面整形	内面整形	底部整形	備考
SB41	52	103	埋土	甕A	須恵	50.0	－	－	口1/5	外オリーブ黒、内灰	口縁ロクロナデ、他タタキ→ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SB46	52	104	埋土、SK1311	杯A	須恵	12.2	6.8	3.5	1/3	外暗緑灰、内暗オリーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	静止ヘラ切り	
SB46	52	105	埋土	杯A	須恵	14.0	8.0	3.5	1/5	オリーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	
SB46	52	106	埋土	杯A	須恵	12.8	5.6	4.1	4/5	オリーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB46	52	107	埋土	杯A	須恵	－	6.7	－	2/3	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB46	52	108	埋土	杯B	須恵	13.4	10.3	4.3	2/3	外明オリーブ灰、内オリーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内回転ヘラケズリ	
SB46	52	109	埋土	杯B	須恵	－	11.0	－	底4/5	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内回転ヘラケズリ	
SB46	52	110	埋土	杯A	黒色A	－	9.2	－	1/3	外橙、内黒	ロクロナデ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ→黒色処理	静止ヘラ切り	
SB46	53	111	埋土	高盤	須恵	22.0	－	－	盤1/5	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SB46	53	112	埋土	甕C	土師	13.0	－	－	1/5	外灰黄褐、内にぶい赤褐	口縁ロクロナデ、他ケズリ	ロクロナデ	－	
SB48	53	113	カマド袖	杯A	須恵	13.5	6.0	4.5	1/4	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	軟質須恵A
SB48	53	114	埋土	杯A	須恵	13.1	6.0	3.8	1/4	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	軟質須恵A
SB48	53	115	埋土	椀	灰釉	18.0	－	－	1/4	灰白	上半ロクロナデ、下半回転ヘラケズリ	ロクロナデ	－	釉、ハケ
SB48	53	116	埋土	杯A	黒色A	13.0	5.4	4.5	1/4	外にぶい赤褐、内黒	口縁ロクロナデ、他ケズリ→ミガキ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ→黒色処理	ケズリ→ミガキ	
SB48	53	117	埋土	高杯	黒色A	－	－	－	脚2/3	脚外赤褐、脚内灰	脚タテミガキ	坏内ミガキ→黒色処理、脚内ケズリ、ナデ	－	
SB48	53	118	カマド袖、SK727	長頸壺A	須恵	－	6.6	－	1/3	外赤灰、内灰赤	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内回転ヘラケズリ→ロクロナデ	ヘラ書き
SB48	53	119	床、埋土、SB49	甕B	土師	20.0	－	－	1/5	外黄橙、内橙	口縁ロクロナデ、他タテのハケ	口縁ロクロナデ、他ヨコのハケ	－	外面スス、内面煮こげ
SB50	53	120	埋土	杯A	須恵	13.0	6.1	3.7	4/5	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	軟質須恵B
SB50	53	121	埋土	杯A	須恵	12.4	6.2	3.8	3/4	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	軟質須恵B
SB50	53	122	埋土	杯A	須恵	13.0	5.8	4.2	3/4	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	内面付着物
SB50	53	123	埋土	杯A	須恵	13.0	5.4	4.3	4/5	外明褐灰、内灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	外面付着物 軟質須恵B
SB50	53	124	煙道	杯A	須恵	14.0	5.5	4.4	2/3	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	軟質須恵C
SB50	53	125	埋土	杯A	須恵	14.1	6.7	3.7	1/2	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	軟質須恵A
SB50	53	125	床	杯A	黒色A	12.0	5.6	4.0	完	外にぶい褐、内黒	ロクロナデ、底付近ケズリ	上半タテミガキ、下半ミガキ→黒色処理	回転糸切り→ケズリ	
SB50	53	127	床	杯A	黒色A	12.9	5.8	4.7	ほぼ完	外にぶい赤褐、内黒	ロクロナデ、底付近回転ヘラケズリ	ミガキ→黒色処理	回転ヘラ切り	
SB50	53	128	床	杯A	黒色A	13.5	5.6	5.5	3/4	外浅黄橙、内黒	上半ロクロナデ、下半回転ヘラケズリ	口縁ヨコミガキ、他ミガキ→黒色処理	回転ヘラ切り	
SB50	53	129	埋土	杯A	黒色A	13.8	5.7	5.0	3/4	外褐灰、内黒	ロクロナデ、底付近ケズリ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ→黒色処理	静止ヘラ切り	外面付着物
SB50	53	130	埋土	杯A	黒色A	14.6	6.0	5.1	3/4	外明赤褐、内黒	ロクロナデ、底付近回転ヘラケズリ	上半ヨコミガキ、下半放射状ミガキ→黒色処理	回転糸切り→回転ヘラケズリ	
SB50	53	131	埋土、SB54	杯A	黒色A	14.8	5.6	5.5	2/3	外橙、内黒	ロクロナデ、底付近回転ヘラケズリ	口縁ヨコミガキ、他放射状ミガキ→黒色処理	回転ヘラ切り	
SB50	53	132	埋土	杯A	黒色A	16.0	6.9	5.8	1/5	外灰褐、内橙	ロクロナデ、底付近ケズリ	ミガキ→黒色処理	静止ヘラ切り	
SB50	53	133	埋土	杯A	黒色A	16.6	5.9	5.7	ほぼ完	外灰褐、内黒	ロクロナデ、底付近回転ヘラケズリ	口縁ヨコミガキ、他放射状ミガキ→黒色処理	回転ヘラ切り	外面スス
SB50	53	134	埋土	椀	黒色A	16.0	7.6	4.6	ほぼ完	外橙、内黒	ロクロナデ	口縁ヨコミガキ、他放射状ミガキ→黒色処理	高台ナデ、高台内回転ヘラ切り	
SB50	53	135	カマド、煙道	鉢D	黒色A	9.0	－	－	1/5	外灰黄、内黒	ロクロナデ、底付近ケズリ	放射状ミガキ→黒色処理	－	
SB50	53	136	埋土・床下	甕D	須恵	27.1	18.5	21.9	2/3	外暗青灰、内灰	ロクロナデ	ロクロナデ	静止ヘラ切り	
SB50	53	137	埋土	甕C	土師	20.5	－	－	1/5	にぶい褐	口縁ナデ、他工具ナデ	ロクロナデ	－	

表16－5　飛鳥・平安時代の土器・土製品一覧

遺構番号	図番号	報告書番号	出土位置	器種	焼き物種別	口径	底径	器高	残存率	色調	外面整形	内面整形	底部整形	備考
SB50	54	138	埋土・床下	小甕D	土師	11.9	6.7	10.5	3/4	にぶい橙	ロクロナデ、底付近ケズリ	ロクロナデ	回転糸切り	外面スス、内面煮コゲ
SB50	54	139	埋土	短頸壷B	須恵	11.8	－	－	1/4	外褐灰、内灰褐	口縁、胴上半ロクロナデ他ケズリ	ロクロナデ	－	
SB50	54	140	埋土	甕C	土師	19.2	－	－	1/3	外橙、内にぶい褐	口縁ロクロナデ、他ケズリ	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	－	外面スス、内面煮コゲ
SB56	54	141	埋土	蓋B	須恵	－	－	－	1/2	灰白	ロクロナデ、回転ヘラ切り	ロクロナデ	－	
SB56	54	142	埋土	杯A	須恵	12.2	－	3.5	2/3	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB56	54	143	埋土	杯A	須恵	13.0	5.0	3.9	3/4	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB56	54	144	埋土	杯A	須恵	13.1	5.7	4.1	ほぼ完	外灰、内オリーブ	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB56	54	145	埋土・床下	杯A	須恵	13.0	5.5	4.4	1/3	外浅黄橙、内灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	軟質須恵C
SB56	54	146	埋土	杯A	須恵	－	－	－	小片	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	－	ヘラ書き
SB56	54	147	埋土	杯A	須恵	13.0	5.2	4.4	2/3	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	ヘラ書き 軟質須恵B
SB56	54	148	床・床下	皿B	黒色B	12.6	5.9	2.6	4/5	黒	ヨコミガキ	ミガキ→黒色処理	高台ナデ、高台内回転糸切り	
SB56	54	149	埋土	皿B	黒色B	13.0	6.6	2.5	2/3	黒	ヨコミガキ	ミガキ→黒色処理	高台ナデ、高台内回転糸切り	
SB56	54	150	床・埋土・床下	椀	黒色A	16.5	7.3	5.2	2/3	外橙、内黒	ロクロナデ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ→黒色処理	高台ナデ、高台内回転糸切り	
SB56	54	151	埋土・床	小甕D	土師	－	6.7	－	1/3	外橙、内にぶい橙	カキメ	ロクロナデ	回転糸切り→ナデ	
SB56	54	152	床下P3	長頸壷B	須恵	－	4.4	－	1/3	にぶい赤褐	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB56	54	153	埋土	短頸壷B	須恵	10.7	－	－	1/5	暗青灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SB60	54	154	埋土	杯A	須恵	12.9	5.0	3.3	3/4	にぶい赤褐	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB60	54	155	床	杯A	須恵	12.6	6.4	3.7	1/3	橙	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB60	54	156	床下	杯A	須恵	14.6	5.7	3.7	4/5	外黄灰、内暗灰黄	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB60	54	157	床下	杯A	須恵	14.4	10.4	－	1/6	外赤褐、内暗赤褐	ロクロナデ	ロクロナデ	ナデ	
SB60	54	158	カマド	杯B	須恵	－	9.8	－	1/3	青灰	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内回転ヘラ切り	
SB60	54	159	カマド袖	杯A	黒色A	15.2	6.4	4.6	2/3	外浅黄橙、内黒	ロクロナデ、底付近回転ヘラケズリ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ→黒色処理	回転糸切り→回転ヘラケズリ	
SB60	54	160	カマド	甕I	土師	22.4	－	－	1/5	にぶい橙	上半ロクロナデ、下半ケズリ	ロクロナデ	－	口縁面取り
SB60	54	161	床、カマド、埋土、カマド袖	甕I	土師	22.0	－	－	1/3	外橙、内黒褐	上半ロクロナデ、下半格子状タタキ→ケズリ	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	－	
SB60	55	162	床下	甕I	土師	21.0	－	－	1/5	外にぶい褐、内橙	ロクロナデ	ロクロナデ	－	内面煮コゲ？
SB60	55	163	カマド袖	甕I	土師	26.0	－	－	1/5	灰黄褐	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SB61	55	164	床	蓋B	須恵	－	15.9	4.0	4/5	外暗オリーブ灰内オリーブ灰	回転ヘラケズリ、ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SB61	55	165	埋土	杯A	須恵	13.4	7.6	3.2	1/3	褐灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	底部圧痕
SB61	55	166	埋土	杯A	須恵	12.5	5.7	3.6	ほぼ完	オリーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB61	55	167	床下、カマド	杯A	須恵	14.1	6.8	4.2	3/4	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	静止ヘラ切り	軟質須恵C
SB61	55	168	埋土	杯A	須恵	13.4	6.0	5.0	1/4	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB61	55	169	埋土	杯B	須恵	13.0	9.7	4.3	1/5	灰オリーブ	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内回転糸切り？	
SB61	55	170	埋土	杯B	須恵	13.0	9.9	4.4	1/2	外オリーブ灰、内黄灰	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内回転糸切り	
SB61	55	171	埋土	杯B	須恵	13.8	10.2	3.6	1/4	外オリーブ灰、内にぶい黄褐	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内回転糸切り→回転ヘラケズリ	
SB61	55	172	床	杯A	黒色A	13.9	5.4	4.3	4/5	外橙、内黒	ロクロナデ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ→黒色処理	回転ヘラ切り	

表16－６　飛鳥・平安時代の土器・土製品一覧

遺構番号	図番号	報告書番号	出土位置	器種	焼き物種別	口径	底径	器高	残存率	色調	外面整形	内面整形	底部整形	備考
SB61	55	173	埋土	短頸壺D	須恵	10.0	－	－	1/6	外赤黒、内暗赤灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SB61	55	174	埋土	小甕D	土師	11.1	－	－	1/6	外にぶい赤褐、内にぶい褐	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SB61	55	175	カマド、埋土	甕C	土師	14.2	6.7	13.2	2/3	外にぶい褐、内にぶい橙	口縁ロクロナデ、他ケズリ	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	ケズリ	
SB67	55	176	床	杯A	須恵	12.5	5.3	4.1	ほぼ完	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	軟質須恵A
SB67	55	177	床下	杯A	黒色A	13.7	－	－	2/3	外灰白、内黒	ロクロナデ、底付近ケズリ	ミガキ→黒色処理	ヘラケズリ	
SB67	55	178	カマド	甕I	土師	20.0	－	－	1/6	にぶい橙	口縁ハケ→ナデ、他タテのケズリ	口縁ハケ→ナデ、他工具ナデ	－	
SB67	55	179	カマド・埋土	甕I	土師	24.2	－	－	1/6	外浅黄、内明褐灰	上半ロクロナデ、他ケズリ	ロクロナデ	－	内面煮こげ
SB67	55	180	カマド・埋土	甕	土師	22.8	9.7	30.9	2/5	外明黄褐、内褐灰	口縁ロクロナデ、他タテのハケ	口縁ハケ、他ナデ	ナデ	外面スス、内面煮こげ
SB70	56	181	カマド・埋土	蓋B	須恵	17.0	－	4.2	1/4	灰白	ロクロナデ、回転ヘラケズリ	ロクロナデ	－	
SB70	56	182	カマド	蓋B	須恵	19.0	－	4.2	2/3	灰	ロクロナデ、回転ヘラケズリ	ロクロナデ	－	
SB70	56	183	埋土・床下	杯A	須恵	12.4	6.6	3.3	1/3	灰オリーブ	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB70	56	184	埋土	杯A	須恵	13.0	6.0	3.8	ほぼ完	外オリーブ灰、内明オリーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB70	56	185	埋土	杯B	須恵	12.9	9.0	3.5	1/4	褐灰	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内回転糸切り→回転ヘラケズリ	
SB70	56	186	カマド・埋土・カマド下	杯B	須恵	－	9.2	－	1/2	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内回転糸切り→回転ヘラケズリ	
SB70	56	187	埋土・床下	杯A	黒色A	14.5	7.6	(4.9)	1/5	外浅黄橙、内黒	ロクロナデ、底付近ケズリ	口縁ヨコミガキ、他タテミガキ→黒色処理	ケズリ	
SB70	56	188	埋土	杯	土師	17.3	7.9	4.6	1/5	黒褐	ロクロナデ、底付近ケズリ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ	ケズリ	内面付着物
SB70	56	189	カマド下・埋土	杯A	黒色A	18.6	－	(6.1)	1/8	外にぶい褐、内黒	ロクロナデ、底付近ケズリ	口縁ヨコミガキ、他タテミガキ→黒色処理	ヘラケズリ	
SB70	56	190	カマド下	甕C	土師	18.8	－	－	1/5	外褐、内黒褐	口縁ロクロナデ、他ヨコケズリ	ロクロナデ	－	
SB70	56	191	床・埋土	甕I	土師	24.0	－	－	1/5	外黒褐、内橙	口縁ロクロナデ、他タテケズリ	口縁ロクロナデ、胴部ハケ	－	外面スス
SB70	56	192	カマド	甕I	土師	26.0	－	－	1/6	橙	ロクロナデ、ナデ	ロクロナデ	－	外面スス
SB70	56	193	カマド、カマド下、埋土、床下	小甕D	土師	18.0	6.9	17.9	1/4	外にぶい黄橙、内にぶい赤褐	上半ロクロナデ、下半ケズリ	ロクロナデ、ナデ	ケズリ	
SB71	56	194	埋土	甕	須恵	－	－	－	小片	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	ヘラ書き
SB71	56	195	埋土	小甕B	土師	15.0	－	－	1/6	褐灰	口縁ナデ、他ハケ	口縁ハケ→ナデ、他ナデ	－	
SB71	56	196	埋土、SB83	高盤	須恵	17.6	11.3	6.3	1/2	外極暗赤褐、内灰オリーブ	ロクロナデ、杯底付近回転ヘラケズリ	ロクロナデ	－	
SB76	56	197	埋土	杯A	須恵	12.6	4.6	3.5	1/2	明黄褐	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB76	56	198	埋土	杯A	須恵	12.3	6.1	3.8	1/3	外灰、内灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB76	56	199	床	杯A	須恵	12.6	5.7	3.7	1/2	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	軟質須恵A
SB76	56	200	埋土	杯A	須恵	13.6	6.7	4.3	ほぼ完	外灰白、内褐灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	軟質須恵B
SB76	56	201	埋土	段皿	灰釉	13.9	7.4	2.3	1/3	外灰白、内明オリーブ灰	口縁ロクロナデ、他回転ヘラケズリ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内回転糸切り	混入
SB76	56	202	埋土	杯A	黒色A	13.7	5.7	4.5	1/3	外にぶい橙、内黒	ロクロナデ、底付近回転ヘラケズリ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ→黒色処理	回転ヘラ切り	
SB76	56	203	埋土	杯A	黒色A	13.1	6.2	5.4	1/3	外淡黄、内黒色	ロクロナデ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ→黒色処理	回転ヘラ切り	
SB76	56	204	埋土	杯A	黒色A	14.0	6.2	5.0	1/3	外淡黄、内黒色	ロクロナデ、底付近回転ヘラケズリ	ミガキ→黒色処理	回転ヘラ切り	
SB77	56	205	埋土	杯A	須恵	13.6	8.3	4.5	1/6	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB77	56	206	埋土	杯B	須恵	13.2	9.6	4.0	1/2	外黒褐、内褐灰	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内回転糸切り→回転ヘラケズリ	

表16－7　飛鳥・平安時代の土器・土製品一覧

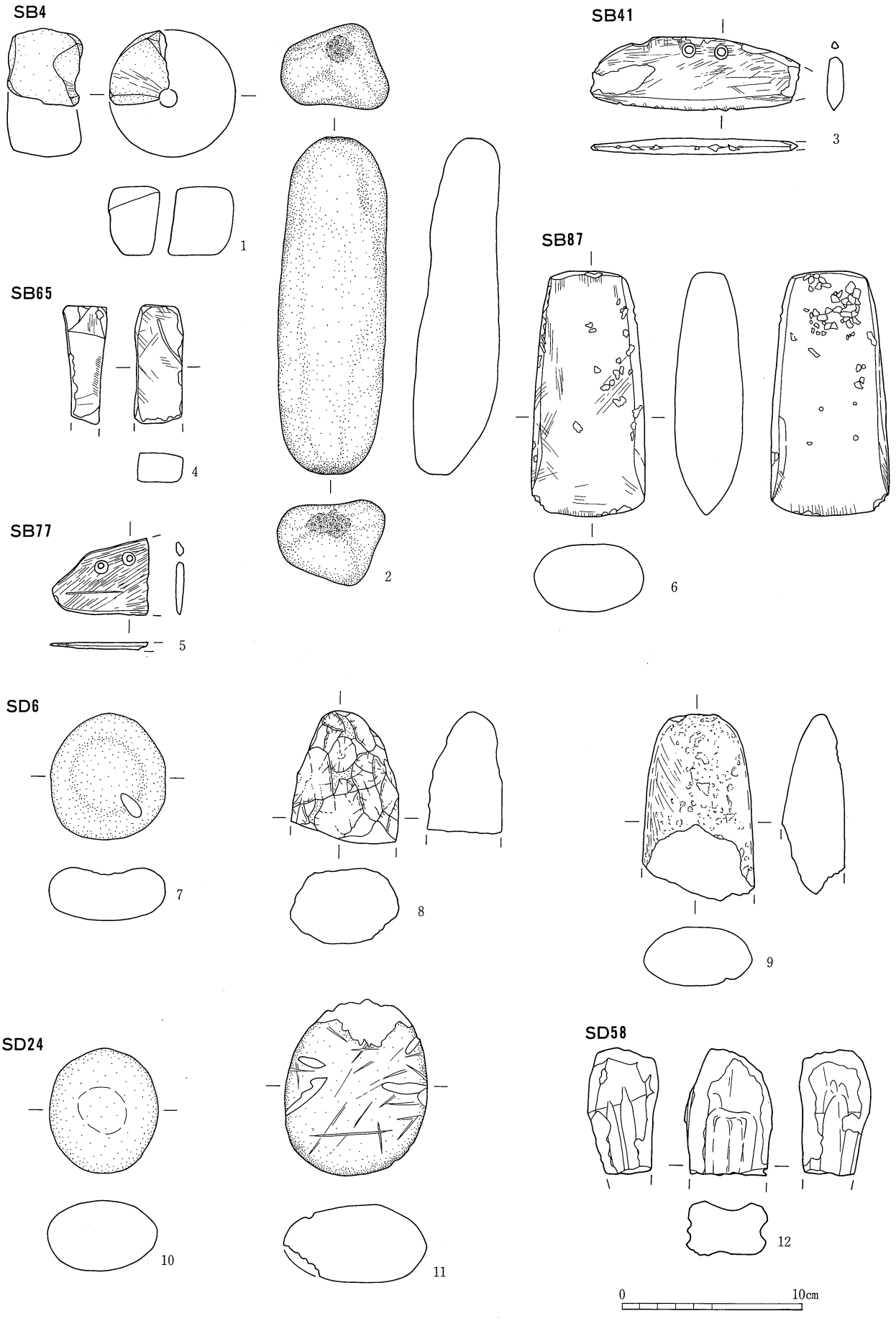
遺構番号	図番号	報告書番号	出土位置	器種	焼き物種別	口径	底径	器高	残存率	色調	外面整形	内面整形	底部整形	備考
SB77	56	207	床	短頸壷	須恵	10.0	6.0	8.5	1/2	外暗青灰、内青黒	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SB88	56	208	埋土	杯A	黒色A	－	8.0	－	1/6	外にぶい橙、内黒	ヨコミガキ、底付近ケズリ→ミガキ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ→黒色処理	ケズリ→ミガキ	ヘラ書き
SD6	57	209	埋土	蓋A	須恵	10.0	－	－	1/8	灰	回転ヘラケズリ、ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SD6	57	210	埋土	蓋	灰釉	15.0	－	－	1/8	外灰オリーブ、内灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SD6	57	211	埋土	杯B	須恵	－	5.8	－	1/8	外褐灰、内灰	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内回転ヘラ切り	
SD6	57	212	埋土	杯B	須恵	13.4	8.8	3.9	1/2	暗緑灰	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内回転糸切り→回転ヘラケズリ	
SD6	57	213	埋土	杯	須恵	－	－	－	小片	－	－	ロクロナデ、ナデ	回転ヘラ切り	ヘラ書き
SD6	57	214	埋土	杯A	須恵	12.0	4.3	4.9	1/8	外橙、内明褐	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SD6	57	215	埋土	杯A	須恵	13.0	6.8	4.0	2/3	オリーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SD6	57	216	埋土	杯E	須恵	14.0	－	－	1/8	緑灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SD6	57	217	埋土	杯A	黒色A	12.8	5.6	4.1	1/8	外橙、内黒	ロクロナデ	タテミガキ→黒色処理	回転糸切り	
SD6	57	218	埋土	杯A	黒色A	14.6	5.4	4.9	1/8	外黄橙、内黒	ロクロナデ	ミガキ→黒色処理	ヘラケズリ	
SD6	57	219	埋土	杯A	黒色A	15.8	7.8	6.5	1/6	外浅黄橙、内黒	ロクロナデ	口縁ヨコミガキ、他タテミガキ→黒色処理	回転ヘラ切り	
SD6	57	220	埋土	杯B	灰釉	－	16.0	－	底1/8	外にぶい褐、内にぶい黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内ロクロナデ	
SD6	57	221	埋土	椀	灰釉	17.0	－	－	1/8	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SD6	57	222	埋土	結合器台	土師	－	－	－	小片	橙	ナデ、ヘラミガキ	ヘラミガキ	－	混入
SD6	57	223	埋土	長頸壷A	須恵	7.4	－	－	1/3	外暗青灰、内青灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SD6	57	224	埋土	横瓶	須恵	－	10.5	－	1/6	外にぶい褐、内灰	ロクロナデ→タタキ、回転ヘラケズリ	ロクロナデ、ナデ	－	
SD6	57	225	埋土	壺	須恵	24.0	－	－	口1/8	青灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SD6	57	226	埋土	壺	須恵	22.5	－	－	1/8	青灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SD24	57	227	埋土	蓋B	須恵	15.0	－	3.1	1/3	外浅黄、内灰オリーブ	ロクロナデ、回転ヘラケズリ	ロクロナデ	－	
SD24	57	228	埋土	蓋B	須恵	17.0	－	－	1/3	外灰白、内灰	ロクロナデ、回転ヘラケズリ	ロクロナデ、ナデ	－	
SD24	57	229	埋土	杯B	須恵	10.8	6.0	3.4	1/6	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ	
SD24	57	230	埋土	杯A	須恵	12.2	7.3	4.8	1/2	にぶい赤褐	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SD24	57	231	埋土	杯A	須恵	12.8	7.0	3.7	1/4	外灰、内オリーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	
SD24	57	232	埋土	杯A	須恵	13.7	7.3	3.6	1/3	オリーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	
SD24	57	233	埋土	杯A	黒色A	14.0	7.2	4.7	1/4	外橙、内黒	ロクロナデ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ→黒色処理	回転糸切り→ヘラケズリ	
SD24	57	234	埋土	杯A	黒色A	15.0	7.4	5.2	1/2	外橙、内黒	ロクロナデ	上半ヨコミガキ、下半ミガキ→黒色処理	回転糸切り→ヘラケズリ	
SD24	57	235	埋土	横瓶	須恵	13.0	－	－	口1/4	灰	口縁ロクロナデ、他タタキ	口縁ロクロナデ、他ナデ	－	
SD24	57	236	埋土		須恵	15.6	－	－	口1/4	外暗赤灰、内黒褐	ロクロナデ→波状文	ロクロナデ	－	
SD24	57	237	埋土	甕A	須恵	46.0	－	－	1/6	赤灰	口縁ロクロナデ、他タタキ	口縁ロクロナデ、他ナデ	－	
SD24	57	238	埋土	甕C	土師	14.0	－	－	1/6	橙	口縁ロクロナデ、他ケズリ	口縁ロクロナデ、他ナデ	－	
SD24	58	239	埋土	横瓶	須恵	－	－	－	1/6	灰	ロクロナデ、タタキナデ	同心円文当て具痕、指ナデ	－	美濃須恵
SD24	58	240	埋土	甕A	須恵	19.6	－	－	1/6	外灰、内褐灰	口縁ロクロナデ、他タタキ	口縁ロクロナデ、当て具痕、指おさえ、ナデ	－	
SD24	58	241	埋土	甕I	土師	21.5	－	－	1/8	外黄橙、内橙	口縁ロクロナデ、他タタキ→ロクロナデ	口縁ロクロナデ、他工具ナデ	－	

表16－８　飛鳥・平安時代の土器・土製品一覧

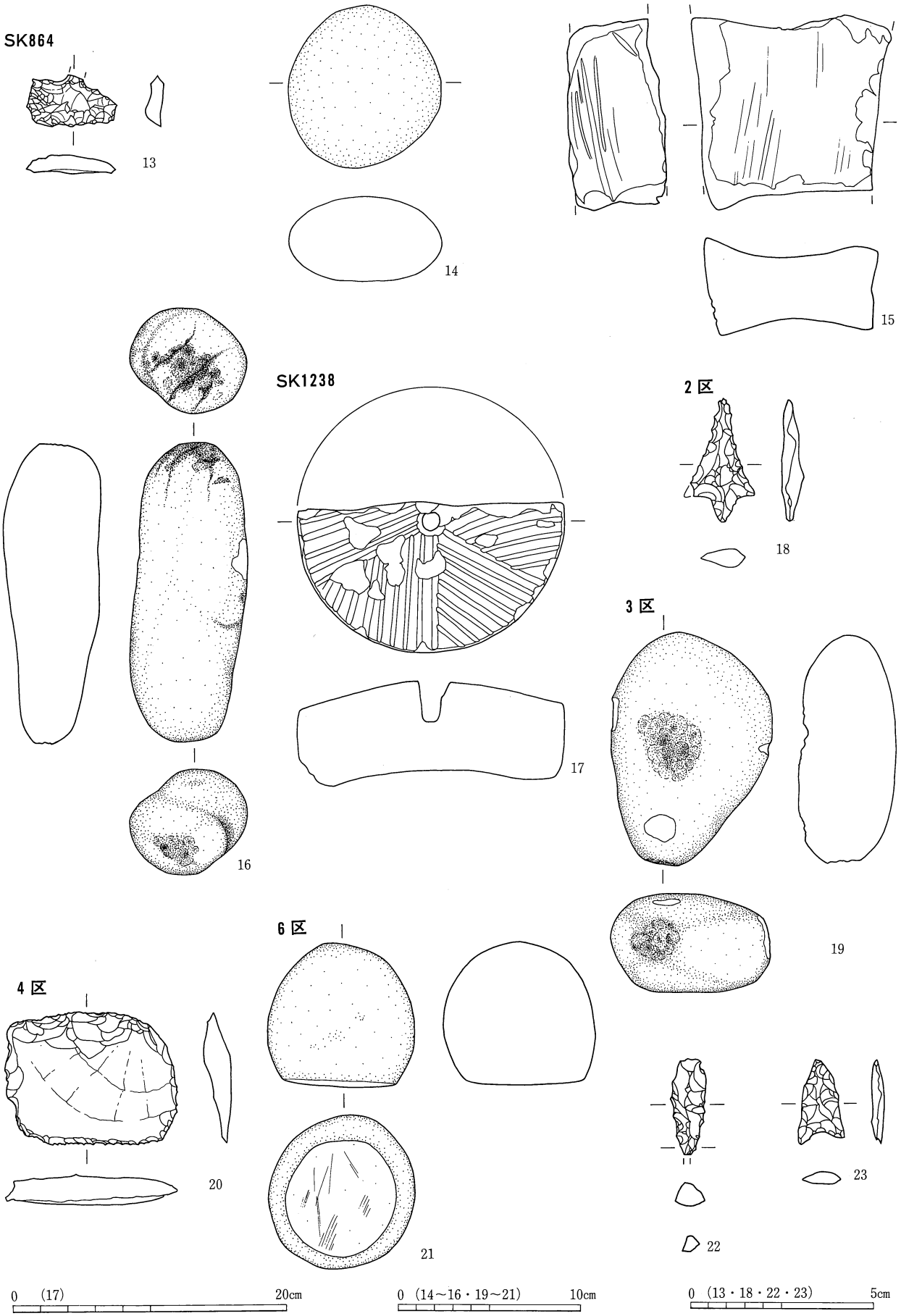
遺構番号	図番号	報告書番号	出土位置	器種	焼き物種別	口径	底径	器高	残存率	色　調	外面整形	内面整形	底部整形	備　考
SD44	58	242	埋土	長頸壺A	須恵	12.8	－	－	1/8	外にぶい黄褐、内褐灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SD46	58	243	埋土	蓋B	須恵	－	－	－	1/3	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SD46	58	244	埋土	杯B	須恵	－	10.0	－	底1/2	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内回転ヘラケズリ	
SD46	58	245	埋土	杯A	須恵	13.0	－	－	1/6	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り？	
SD46	58	246	埋土	杯A	黒色A	15.0	－	－	1/8	外橙、内黒	ロクロナデ、底付近回転ヘラケズリ	ヨコミガキ→黒色処理	ヘラケズリ	
SD46	58	247	埋土	杯A	黒色A	12.0	5.2	5.5	1/3	外橙、内黒	ロクロナデ、底付近回転ヘラケズリ	口縁ヨコミガキ、他ミガキ→黒色処理	回転ヘラ切り	ヘラ書き
SD46	58	248	埋土	杯A	黒色A	14.0	6.0	4.6	1/2	外橙、内黒	ロクロナデ、底付近回転ヘラケズリ	口縁ヨコミガキ、他放射状ミガキ→黒色処理	回転ヘラ切り	ヘラ書き
SD46	58	249	埋土	皿B	黒色B	14.0	－	2.1	1/3	黒	ヨコミガキ→黒色処理	上半ヨコミガキ、下半ミガキ→黒色処理	高台ナデ、高台内回転ヘラ切り→黒色処理	
SD46	58	250	埋土	平椀	陶器	17.0	－	－	1/8	オリーブ黄	釉	釉		古瀬戸、混入
SD67	58	251	埋土	杯A	須恵	13.2	5.0	3.7	ほぼ完	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SD67	58	252	埋土	杯A	須恵	13.6	6.0	4.2	1/3	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SD67	58	253	埋土	甕	須恵	28.0	－	－	1/8	外褐緑灰、内褐灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SK136	58	254	埋土	壺	土師	16.6	－	－	1/8	外明赤褐、内橙	ヨコミガキ	ヨコミガキ	－	
SK212	58	255	埋土	蓋A	須恵	11.0	－	2.3	1/2	外灰、内オリーブ灰	ロクロナデ、回転ヘラケズリ	ロクロナデ	－	
SK217	58	256	埋土		土師	－	－	－	小片	外にぶい褐、内にぶい橙	ナデ	ナデ	木葉痕	ヘラ書き
SK252	58	257	埋土	耳皿	黒色B	－	－	－	1/5	黒	ミガキ→黒色処理	ナデ→黒色処理	－	
SK252	58	258	埋土	杯A	須恵	－	8.0	－	1/3	明オリーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SK252	58	259	埋土	杯	黒色A	14.8	－	－	1/5	外浅黄橙、内黒	上半ロクロナデ、下半回転ヘラケズリ	ミガキ→黒色処理	－	片口？
SK305	59	260	埋土	杯A	須恵	－	－	－	小片	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	－	墨書
SK305	59	261	埋土	杯A	須恵	12.0	5.4	4.0	1/4	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	墨書
SK305	59	262	埋土	杯A	須恵	12.8	6.6	3.6	1/2	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	墨書
SK305	59	263	埋土	杯A	黒色A	16.4	7.8	6.0	1/3	外浅黄橙、内黒	ロクロナデ	口縁ヨコミガキ、他放射状ミガキ→黒色処理	回転ヘラケズリ	墨書
SK473	59	264	埋土、SK472	蓋	土師	16.0	－	－	1/8	黄橙	ロクロナデ	ナデ	－	摩滅
SK472	59	265	埋土	蓋B	須恵	16.6	－	4.0	1/2	外にぶい赤褐、内明赤褐	ロクロナデ、回転ヘラケズリ	ロクロナデ	－	
SK482	59	266	埋土	杯B	須恵	14.4	10.6	3.4	1/6	赤褐	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ	
SK482	59	267	埋土	杯A	須恵	13.6	7.6	3.8	ほぼ完	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	圧痕
SK482	59	268	埋土	甕B	土師	16.0	－	－	1/8	外赤黒、内赤褐	口縁、ロクロナデ、他、ハケ	口縁ロクロナデ、胴上部ハケ、他ナデ	－	
SK482	59	269	床	甕	須恵	16.8	－	－	4/5	外黒、内暗灰	口縁ロクロナデ、他タタキ	口縁ロクロナデ、他当て具痕	－	
SK482	59	270	埋土	甕	須恵	36.6	－	－	1/8	灰	口縁ロクロナデ、他タタキ	口縁ロクロナデ、他当て具痕→ナデ	－	
SK838	59	271	埋土	小甕D	土師	9.8	6.4	6.3	1/2	にぶい赤褐	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SK838	59	272	埋土	蓋B	須恵	－	－	－	1/3	灰	ロクロナデ、回転ヘラケズリ	ロクロナデ	－	
SK838	59	273	埋土	杯B	須恵	－	8.1	－	1/4	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内回転糸切り、回転ヘラケズリ	
SK838	59	274	埋土	杯B	須恵	－	9.3	－	1/4	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内回転糸切り、回転ヘラケズリ	
SK838	59	275	埋土	杯A	須恵	13.0	6.0	4.0	1/3	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	

表16－9　飛鳥・平安時代の土器・土製品一覧

遺構番号	図番号	報告書番号	出土位置	器種	焼き物種別	口径	底径	器高	残存率	色調	外面整形	内面整形	底部整形	備考
SK838	59	276	埋土	杯A	須恵	12.0	7.9	3.7	1/2	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SK838	59	277	埋土	杯A	黒色A	13.8	6.7	4.9	1/3	外明赤褐、内黒	ロクロナデ、底付近ケズリ	口縁ヨコミガキ、他放射状ミガキ→黒色処理	ケズリ	
SK840	59	278	埋土	蓋B	須恵	－	14.0	2.8	1/8	灰	ロクロナデ、回転ヘラケズリ	ロクロナデ	－	
SK840	59	279	埋土	杯A	須恵	－	7.0	－	底2/3	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SK840	59	280	埋土	小甕D	土師	－	6.4	－	1/5	外にぶい黄褐、内にぶい黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SK840	59	281	埋土	杯A	黒色A	15.8	6.2	5.0	1/4	外橙、内黒	ロクロナデ、底付近ヘラケズリ	口縁ヨコミガキ、他ミガキ→黒色処理	ヘラ切り？	底部摩滅
SK840	59	282	埋土	椀	灰釉	20.0	－	－	1/8	灰白	上半ロクロナデ、下半回転ヘラケズリ	ロクロナデ	－	釉ハケ
SK840	59	283	埋土	鉢A	黒色A	23.6	10.0	10.2	1/6	外橙、内黒	上半ロクロナデ、下半ヘラケズリ	口縁ヨコミガキ、他放射状ミガキ→黒色処理	静止ヘラ切り	
SK1309	59	284	埋土	把手	土師	－	－	－	把手	外橙、内黒	ケズリ→ナデ	工具ナデ	－	外面摩滅
	59	285	1区IV層	杯	須恵	－	－	－	小片	外明赤褐、内橙	ロクロナデ	ロクロナデ		墨書
	59	286	1区IV層	杯A	黒色A	11.6	5.0	4.0	1/4	外橙、内黒	ロクロナデ	ヨコミガキ→黒色処理	ヘラミガキ	墨書
	59	287	IIQ20IV層	椀	灰釉	－	7.0	－	底	外灰黄、内にぶい黄	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ、高台内ヘラケズリ→ナデ	底部朱
	59	288	2区IV層	杯D	黒色A	－	－	－	小片	外橙、内黒	ナデ	黒色処理	－	ヘラ書き、内面摩滅
	59	289	2区II層	杯A	須恵	－	6.8	－	小片	外オリーブ灰、内オリーブ黄	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	ヘラ書き
	59	290	2区IV層	杯A	須恵	16.0	10.0	3.8	1/6	外灰、内灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り、圧痕	ヘラ書き
	59	291	2区カクラン	甕A	須恵	50.0	－	－	口1/8	灰	ロクロナデ、沈線4本、斜行櫛描文	ロクロナデ、カキメ	－	
	60	292	3区IV層	杯A	須恵	－	7.4	－	底1/3	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り、圧痕	ヘラ書き
	60	293	5区	鉢	黒色B	25.8	－	－	口1/8	黒色	ヨコミガキ→黒色処理	ヨコミガキ→黒色処理	－	
	60	294	6区	甕	土師	－	－	－	小片	外橙、内赤褐	ロクロナデ	ロクロナデ	－	墨書
	60	295	6区IV層	杯A	須恵	－	－	－	底1/4	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	ヘラ書き
	60	296	6区IV層	鉢	須恵	10.0	－	－	口1/8	灰	ロクロナデ、沈線3本	ロクロナデ	－	
SB4	60	297	埋土	土錘	土師	径3.6	長(5.3)		2/3	にぶい黄褐	ナデ			
SB11	60	298	床下	土錘	土師	径1.1	長2.9		ほぼ完	褐灰	ナデ			
SB11	60	299	埋土	土錘	土師	径1.8	長4.3		ほぼ完	褐灰	ケズリ→ミガキ			
SB11	60	300	埋土	土錘	土師	径2.7	長4.9		ほぼ完	灰白	ナデ			
SB41	60	301	埋土	土錘	土師	径2.7	長5.8		ほぼ完	にぶい橙	ナデ			
SK531	60	302	埋土	土錘	土師	径4.0	長5.7		2/3	にぶい褐	ナデ			
	60	303	IIQ13IV層	土錘	土師	径3.5	長3.6		1/2	黒褐	ナデ			
	60	304	IIQ20IV層	土錘	土師	径3.2	長5.0		2/3	にぶい橙	ナデ			
	60	305	6区IV層	土錘	土師	径4.5	長6.4		ほぼ完	にぶい橙	ナデ			
	60	306	1区IV層	土製品	土師	厚1.3	長3.9		1/6	外にぶい黄橙、内灰黄褐	ナデ	ケズリ→ナデ		
SB23	60	307	IIQ20 IV層	炉壁	土師	長(7.0)	巾(5.7)	厚(2.6)	小片	外褐灰 内暗赤灰	スサ痕	溶滓化		
	60	308	埋土	羽口	土師	径(9.4)	長7.7		一部欠損	外にぶい橙 内にぶい赤褐	ナデ	ナデ		
	PL14	309	4区		土師	長(2.3)	巾1.9		小片	橙	ナデ			
	PL14	310	4区		土師	長(2.9)	巾2.0		小片	橙	ナデ			



第61図　飛鳥・平安時代の石器・石製品　1



第62図　飛鳥・平安時代の石器・石製品　2

表17　飛鳥・平安時代出土石器組成表

名称	総数	原石	石核	剥　片	砕　片	石鏃	刃器	敲石	磨石	くぼみ石	石臼	石錐	石包丁
数量	791	85	24	232（4061.23）	235（204.65）	21	33	21	23	7	1	7	2

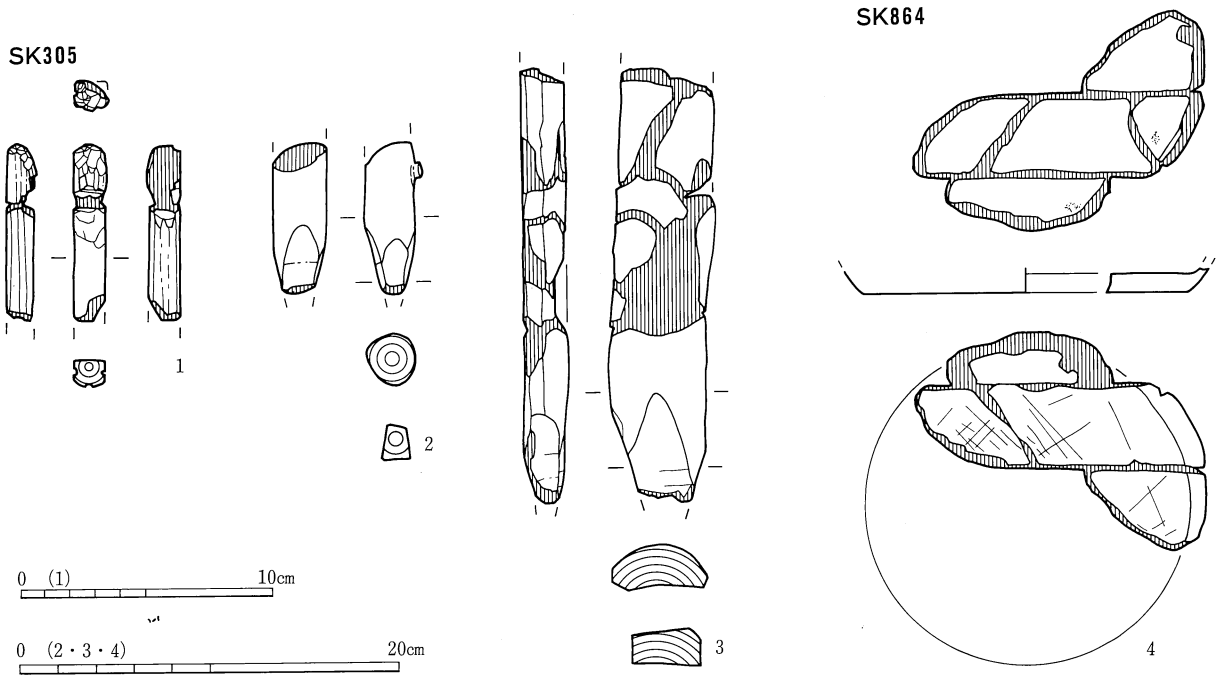
砥石	磨製石斧	石匙	こもあみ石	玉石	みがき石
52	4	1	7	16	20

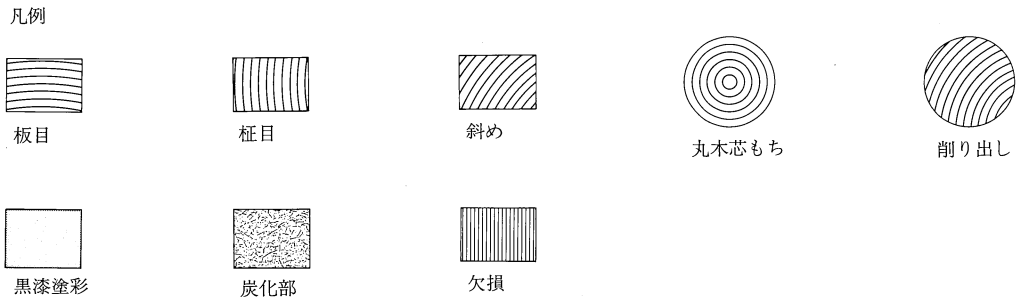
（　）内は数量〈g〉を示す

表18　飛鳥・平安時代の石器・石製品属性表

図番号	番号	遺構番号	出土位置	器　種	状　態	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材　質	備　考
61	1	ＳＢ４	Ｐ１	石製品	1/4残存	(4.2)	(3.3)	(4.2)	(25.0)	軽石	
61	2	ＳＢ11	埋土	敲石	完形	18.9	6.2	5.0	835.0	安山岩	
61	3	ＳＢ41	床	石包丁	一部欠損	(11.7)	4.1	0.9	(61.35)	珪質頁岩	
61	4	ＳＢ65	埋土	砥石	1/2残存	(6.7)	(2.7)	(2.4)	(55.0)	凝灰岩	
61	5	ＳＢ77	埋土	石包丁	1/3残存	(5.4)	(4.2)	(0.4)	(13.5)	珪質頁岩	
61	6	ＳＢ87	埋土	磨製石斧	ほぼ完形	13.6	6.5	3.85	(570.0)	変質輝緑岩	太型蛤刃
61	7	ＳＤ６	埋土	くぼみ石	ほぼ完形	6.5	7.3	2.9	175.0	安山岩	
61	8	ＳＤ６	埋土	磨製石斧	1/2残存	(7.5)	(6.1)	(4.1)	(240.0)	変質安山岩	未製品
61	9	ＳＤ６	埋土	磨製石斧	2/3残存	(10.4)	(6.4)	(3.4)	(350.0)	変質輝緑岩	太型蛤刃
61	10	ＳＤ24	埋土	磨石	完形	6.1	7.0	3.8	205.0	安山岩	
61	11	ＳＤ24	埋土	磨石	一部欠損	(8.0)	9.6	4.4	(280.0)	安山岩溶岩	
61	12	ＳＤ58	埋土	砥石	1/4残存	(7.2)	(4.7)	(3.1)	(190.0)	砂岩	
62	13	ＳＫ864	埋土	石匙	つまみ部欠損	(1.4)	2.5	0.5	(1.5)	黒曜石	
62	14	ＳＫ864	埋土	磨石	完形	8.4	9.0	4.6	510.0	安山岩	
62	15	ＳＫ864	埋土	砥石	1/4残存	(10.8)	(10.4)	(5.3)	(850.0)	砂岩	
62	16	ＳＫ864	埋土	敲石	ほぼ完形	16.7	6.1	5.3	860.0	閃緑岩	
62	17	ＳＫ1238	埋土	石臼	1/2残存		径29.4	9.9	(6600.0)	安山岩	
62	18		ＩＴ-14	石鏃	ほぼ完形	3.3	(1.8)	0.6	(1.85)	凝灰岩	
62	19		ＩＴ-11	敲石	ほぼ完形	13.0	8.8	5.5	(815.0)	安山岩	
62	20		４区	刃器	完形	9.5	7.25	1.7	120.0	頁岩	
62	21		６区	磨石	一部欠損	8.5	8.1	8.0	(840.0)	安山岩	
62	22		６区Ⅳ層	石錐	錐部欠損	(2.6)	1.0	0.65	(1.4)	黒曜石	
62	23		ＩＱ-24	石鏃	完形	2.3	1.2	0.4	0.8	石英質安山岩	下呂石

（　）内の数字は残存している所の最大値





第63図　飛鳥・平安時代の木製品

表19　飛鳥・平安時代の木製品一覧

図版No	図No	出土地点	手法	木目	名称	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	樹　種	備　考
63	1	SK305	丸木材	芯持ち	不明	7.0	1.3	1.1	クリ	
63	2	SK305	丸木材	芯持ち	杭	7.9	径 2.7		フジキ	
63	3	SK305	割り材	1／2	杭	22.8	5.2	2.3	ケンポナシ属	
63	4	SK864	挽物	横木取り	皿		底径 (17.2)	1.0	ケヤキ	内面一部炭化 刃痕有

(3)　木製品

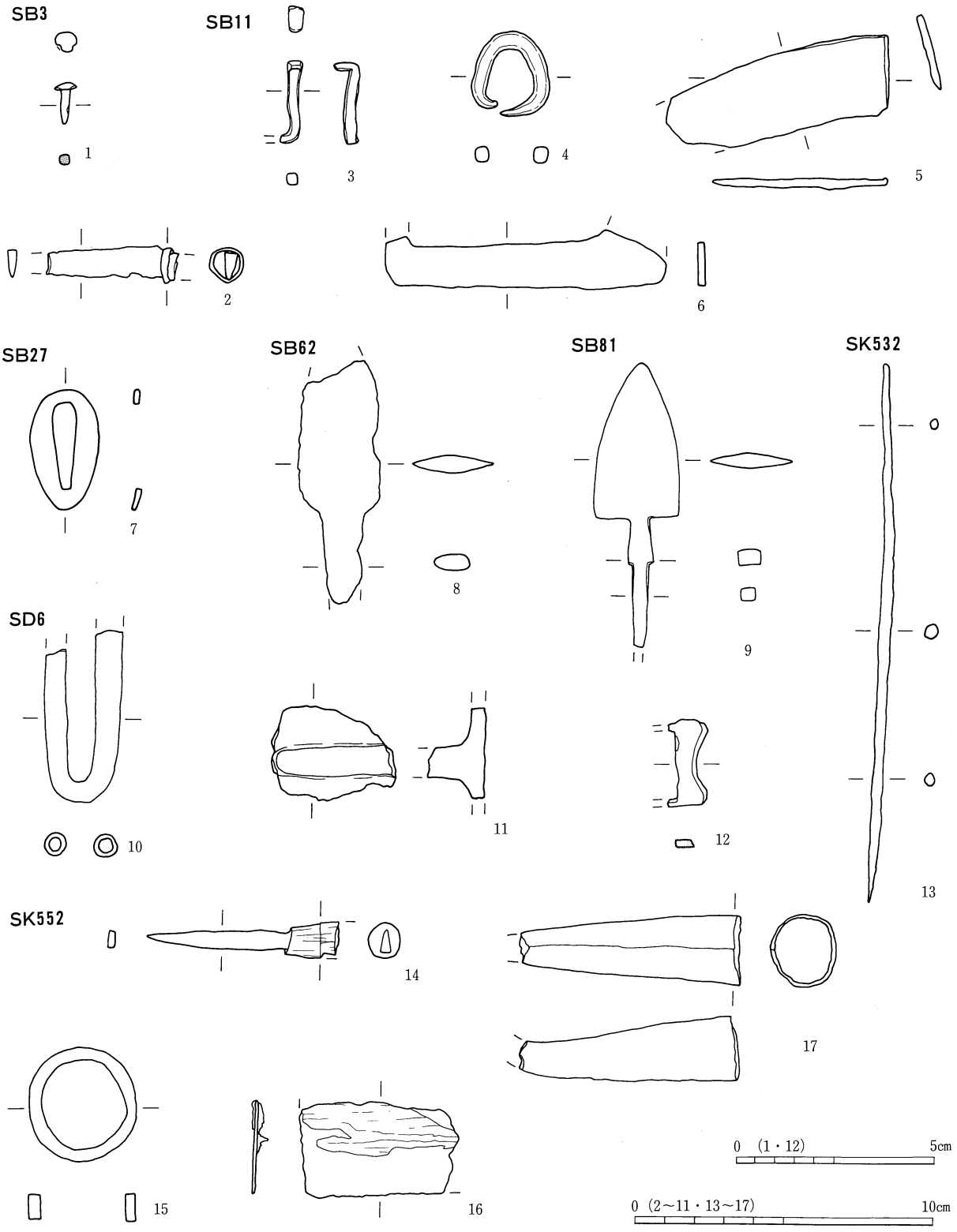
飛鳥・平安時代の遺構から出土した木製品は、12点で、器種の判明したものを中心に４点を図示し（図63)、掲載した遺物の属性を一覧表（表19）に示した。木製品は全て、井戸跡から出土している。

(4)　金属製品・鉄生産関連遺物

Ⅳ層及び飛鳥・平安時代に該当する遺構から出土した金属製品は、鉄製品47点、銅製品４点で、器種の判明したものを中心に17点を図示し（図64)、掲載した遺物の属性を一覧表（表20）に示した。鉄生産関連遺物は鍛冶滓64点363.6ｇ、椀形鍛冶滓15点772.45ｇ、椀形鍛錬鍛冶滓１点15.6ｇ、鍛造剝片0.71ｇ、粒状滓５点0.85ｇ及び、羽口や炉壁の破片が出土している。鉄生産関連遺物は、ＳＫ1109からのものをのぞいて、ほとんどが竪穴住居の埋土中からの出土である。

表20　飛鳥・平安時代の金属製品一覧

図番号	番号	遺物名	遺存状況	出土遺構	出土地点	遺構時期	長軸cm	短軸cm	厚さcm	重量ｇ	備　考
64	1	不明	ほぼ完	ＳＢ３	埋　土	２期	1.0	0.5	0.2	0.11	
64	2	刀子	１／３残存	ＳＢ３	埋　土	２期	4.2	1.1	0.4	2.7	
64	3	釘	先端欠	ＳＢ11	床　下	７期後半	2.7	0.4	0.3	0.65	
64	4	不明	完	ＳＢ11	埋　土	７期後半	2.5	0.5	0.5	3.0	
64	5	鎌	２／３残存	ＳＢ11	埋　土	７期後半	7.5	2.7	0.15	7.0	
64	6	不明	不明	ＳＢ11	カマド	７期後半	9.4	2.0	0.2	6.6	
64	7	刀装具	完	ＳＢ27	埋　土	７期	4.0	2.2	0.2	2.7	
64	8	鏃	先端・茎部一部欠	ＳＢ62	埋　土	平安	8.3	2.7	0.5	13.05	
64	9	鏃	茎部一部欠	ＳＢ81	埋　土	飛鳥	9.5	2.8	0.3	7.9	
64	10	不明	不明	ＳＤ６	埋　土	平安	5.6	2.5	0.8	7.5	
64	11	不明	不明	ＳＤ６	埋　土	平安	4.3	2.8	0.5	35.15	
64	12	不明	不明	ＳＫ484	埋　土		2.2	0.8	0.2	0.95	
64	13	紡錘車(紡軸)	ほぼ完	ＳＫ532	埋　土		18.1	0.35	0.35	8.05	
64	14	刀子	茎部一部欠	ＳＫ552	埋　土		6.5	1.2	0.3	3.65	一部木質残存
64	15	不明	完		IIQ-20 Ⅳ層		3.8	3.7	0.9	14.62	
64	16	不明	不明		２区　Ⅳ層		5.3	3.1	0.08	4.4	一部木質残存
64	17	キセル(雁首)	火皿欠		４区　Ⅳ層		7.2	2.4	2.2	15.62	



第64図　飛鳥・平安時代の金属製品

第5節　平安時代（9世紀末）

9世紀末の洪水砂に覆われた遺構を本項で扱う。洪水砂の堆積は第1章第4節で述べたように、1区東側・5区北側をのぞいてほぼ全域で認められ、溝2条・土坑16基・畠跡3ヵ所・畦畔状の遺構が1ヵ所確認されている。

1　遺構各説

(1)　溝

当該期の溝は、2条で、1区と2区で、それぞれ2条ずつ確認されている。ＳＤ1は、前時代のＳＤ6とほぼ同じプランを呈する。溝の詳細な説明は表22に示した。

(2)　土坑

当該期の土坑は、6区で1基確認された他は、全て2区と4区に分布している。ＳＫ867は掘り抜きの井戸で、埋土中より木製品が出土している。その他の土坑の性格は不明である。土坑の詳細な説明は表23に示した。

(3)　畠跡

当該期の畠跡は3区と6区で確認された。ＳＬ1は東西方向の、ＳＬ2・4は南北方向の畝跡が良好に確認された。ＳＬ1より4歳前後の幼児のものと思われる人骨(註1)が出土している。5区中央付近に、畦畔状に盛り上がる東西方向の地形が確認された。狭い調査区を横切る形で検出されており、畦畔とは断定できないが、その形態からＳＣ1とした。

2　遺物

(1)　土器・土製品

Ⅲ層と平安時代（9世紀末）の遺構から出土した、土器・土製品は2箱である。このうち9点を図示し（図67）、掲載した遺物の属性を一覧表（表24）に示した。土器の器種分類は屋代遺跡群高速道地点の分類に準じた。

(2)　石器・石製品

洪水砂層と平安時代（9世紀末）の遺構から出土した資料は石器101点、石製品1点である。出土層位を重視して報告する為、形式的に所属時期が異なる石器であっても出土遺構の時代により、本項で扱うこととした。遺物中56点が石器製作に伴い石屑として弾き出された資料で、21点が道具として認定できた石器である。その内訳については表21に示した。出土した遺物のうち5点を図示し（図68）、掲載した遺物の属性を一覧表（表25）に示した。

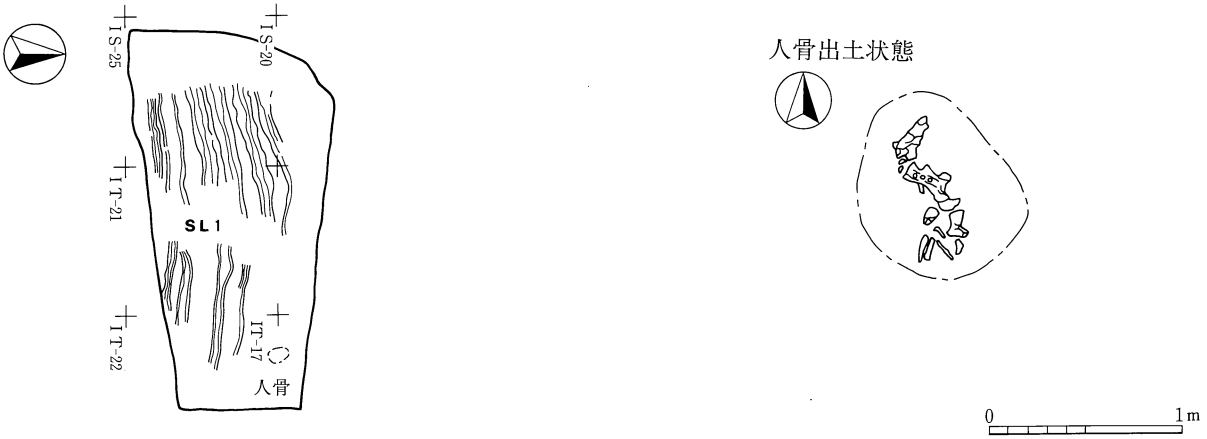
表21　平安時代（9世紀末）出土石器組成表

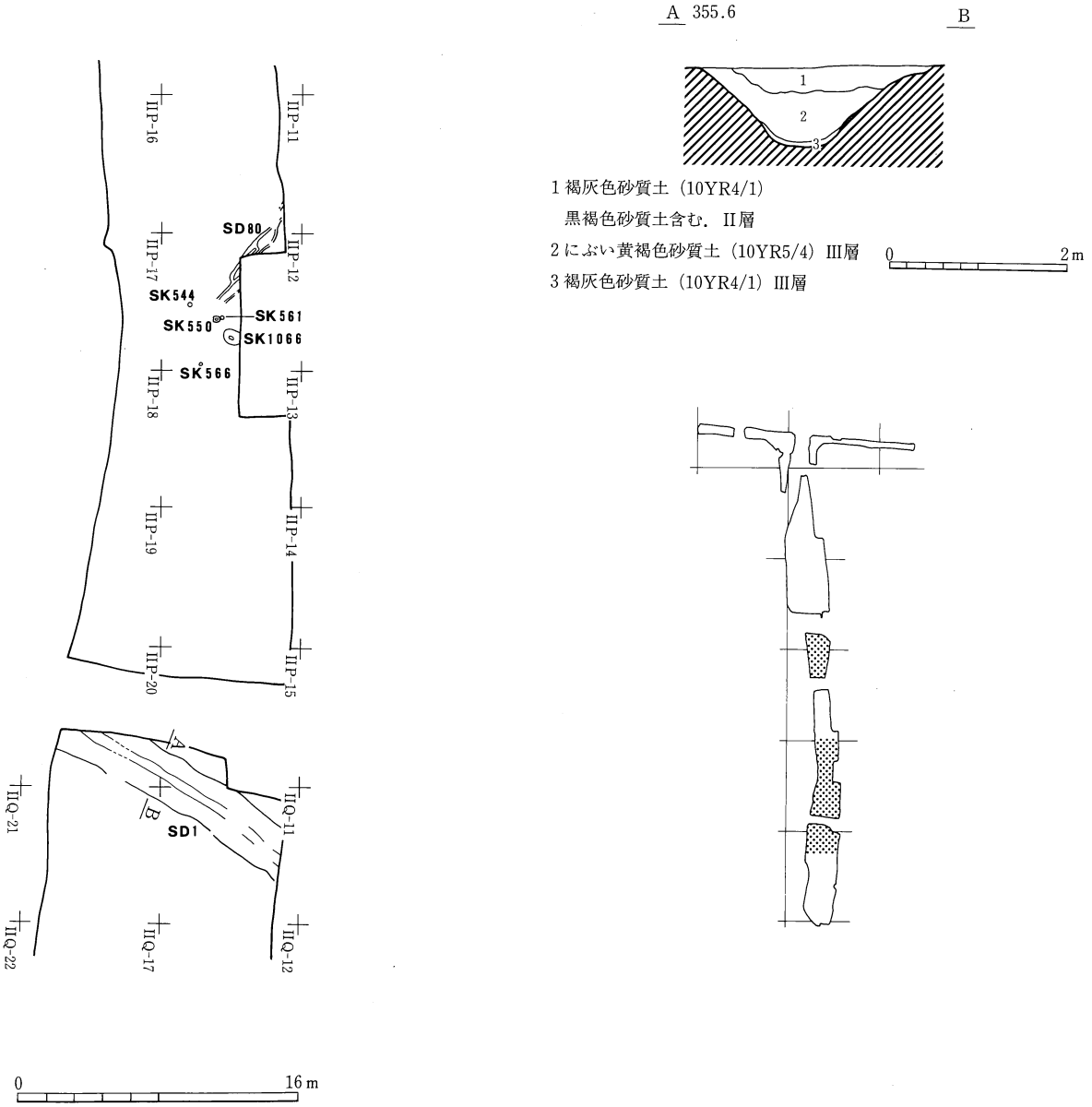
名称	総数	原石	石核	剥　片	砕　片	石鏃	刃器	磨石	くぼみ石	石錐	砥石	磨製石斧	玉石	みがき石
数量	101	17	7	33(1046.2)	23(24.41)	2	4	3	1	1	2	1	1	6

（　）内は数量〈g〉を示す

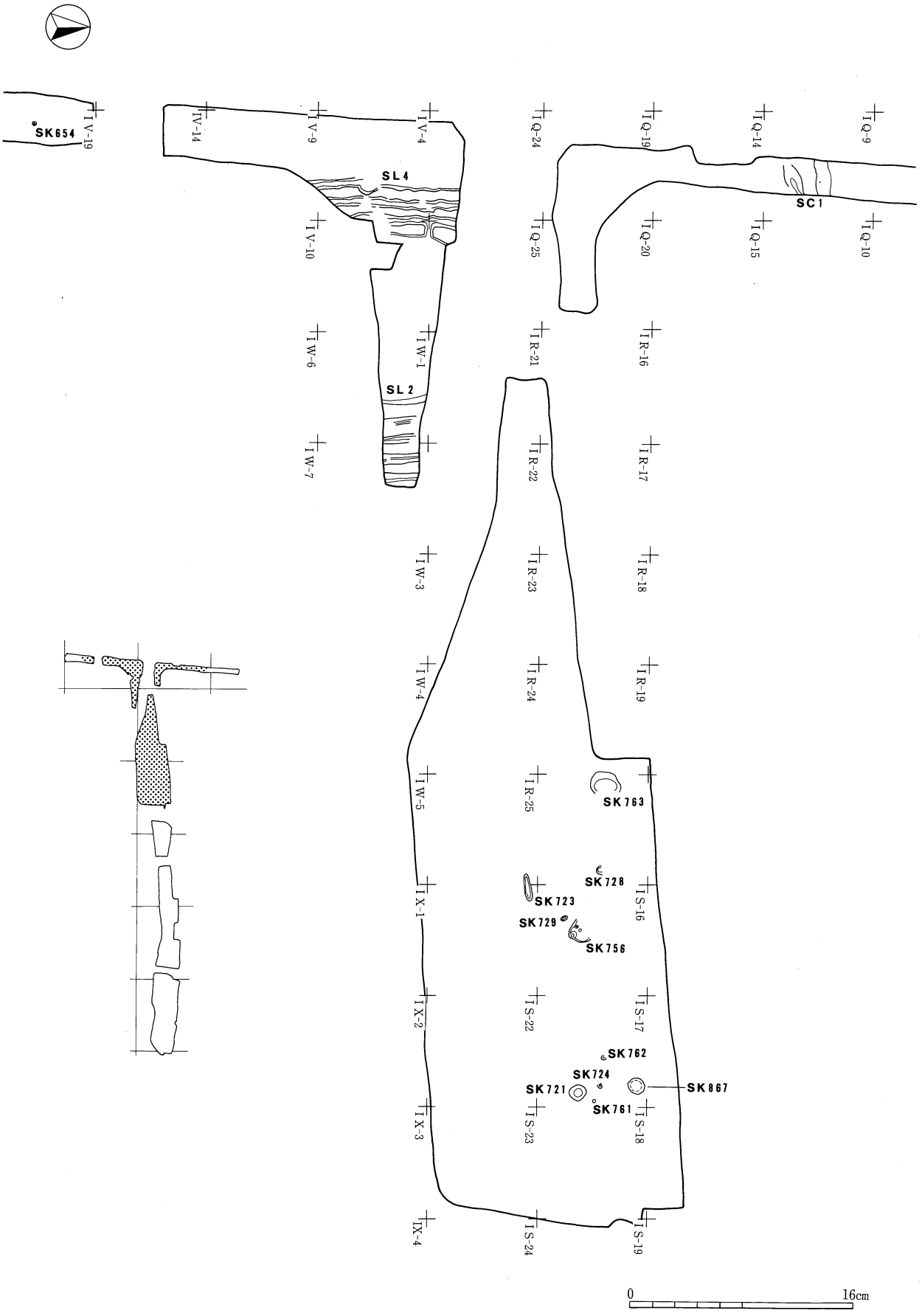
(3)　木製品

当該期の遺構から出土した木製品は、3点で、いずれもＳＫ867井戸跡からの出土である。出土した資料のうち1点を図示（図69）した。1は形態的には題箋軸と思われるが、他の遺跡から出土している題箋





第65図　平安時代（９世紀末）の遺構分布図　1



第66図　平安時代（９世紀末）の遺構分布図　２

表22　平安時代（９世紀末）溝（SD）一覧

仮地区	SD番号	時期	中地区	図番号	平面形	流路方向	全長(m)	最大幅(m)	深さ(m)	色調	土性	堆積状況	遺物出土状況	遺物図	切合関係（古）→（新）	備考
1	1	平安	P15、20 Q11、16	65	直線的	－	(10.94)	2.88	1.09	褐灰色～黒褐色	砂	３層Ⅲ層主体	土器、石器、鉄製品、鉄滓、骨	67	SD6、SK1167→SK65、1143、1156、1243	
2	80		P11、12	65	緩やかに湾曲	南東～北西	(7.10)	0.86	0.25	にぶい黄褐色	砂	１層Ⅲ層主体	土器、石器	68	SB37→SD79 SK396、433、1207、1218、1219、1220	

表23　平安時代（９世紀末）土坑（SK）一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
2	544		65	P12	円形	C	0.20	0.20	0.14	暗灰黄色～オリーブ褐色	2.5Y4/2～2.5Y4/3	１層Ⅲ層主体	－		
2	550		65	P12	不整形	G	0.50	0.32	0.16	暗灰黄色～オリーブ褐色	2.5Y4/2～2.5Y4/3	１層Ⅲ層主体	土器		
2	561		65	P12	円形	B	0.18	0.16	0.09	暗灰黄色～オリーブ褐色	2.5Y4/2～2.5Y4/3	１層Ⅲ層主体	－		
2	566		65	P12	円形	C	0.16	0.16	0.11	暗灰黄色～オリーブ褐色	2.5Y4/2～2.5Y4/3	１層Ⅲ層主体	－		
6	654		66	V19	楕円形	C	0.31	0.26	0.50	暗灰黄色～オリーブ褐色	2.5Y4/2～2.5Y4/3	１層Ⅲ層主体	－		
4	721		66	S17	円形	C	1.14	1.13	1.22	黄灰色～オリーブ褐色	2.5Y5/1～2.5Y4/3	３層Ⅲ層主体	－		
4	723		66	R25 S21	長楕円形	G	1.82	0.34	0.46	暗灰黄色～オリーブ褐色	2.5Y4/2～2.5Y4/3	１層Ⅲ層主体	－		
4	724		66	S17	円形	A	0.30	0.30	0.18	暗灰黄色～オリーブ褐色	2.5Y4/2～2.5Y4/3	１層Ⅲ層主体	－		
4	728		66	R20	－	C	－	－	0.20	暗灰黄色～オリーブ褐色	2.5Y4/2～2.5Y4/3	１層Ⅲ層主体	土器、石器		
4	729		66	S16	楕円形	A	0.52	0.24	0.10	暗灰黄色～オリーブ褐色	2.5Y4/2～2.5Y4/3	１層Ⅲ層主体	－		
4	756		66	S16	不整形	－	－	－	0.29	暗灰黄色～オリーブ褐色	2.5Y4/2～2.5Y4/3	１層Ⅲ層主体	－		
4	761		66	S17	円形	C	0.24	0.24	0.35	暗灰黄色～オリーブ褐色	2.5Y4/2～2.5Y4/3	１層Ⅲ層主体	土器		
4	762		66	S17	－	C	－	－	0.15	暗灰黄色～オリーブ褐色	2.5Y4/2～2.5Y4/3	１層Ⅲ層主体	－		
4	763		66	R19、20	楕円形	G	2.12	1.80	1.06	暗灰黄色～オリーブ褐色	2.5Y4/2～2.5Y4/3	１層Ⅲ層主体	土器		
4	867		66	S17	円形	C	1.22	1.16	－	－	－	礫を混入	土器、石器、木製品	68 69	井戸
2	1066	平安	65	P12	－	－	1.00	0.80	－	－	－	10～20cmの石が多く入る	土器、石器		

軸に比べると、軸部の幅がやや細く墨書も認められないことから題箋軸状木製品(註2)とした。題箋部の長さは69㎜、幅24㎜、厚さ５㎜、軸部は大部分が欠損しているが現存する長さは８㎜、幅５㎜、厚さ２㎜を計る。木取りは板目取りで、樹種はヒノキである。

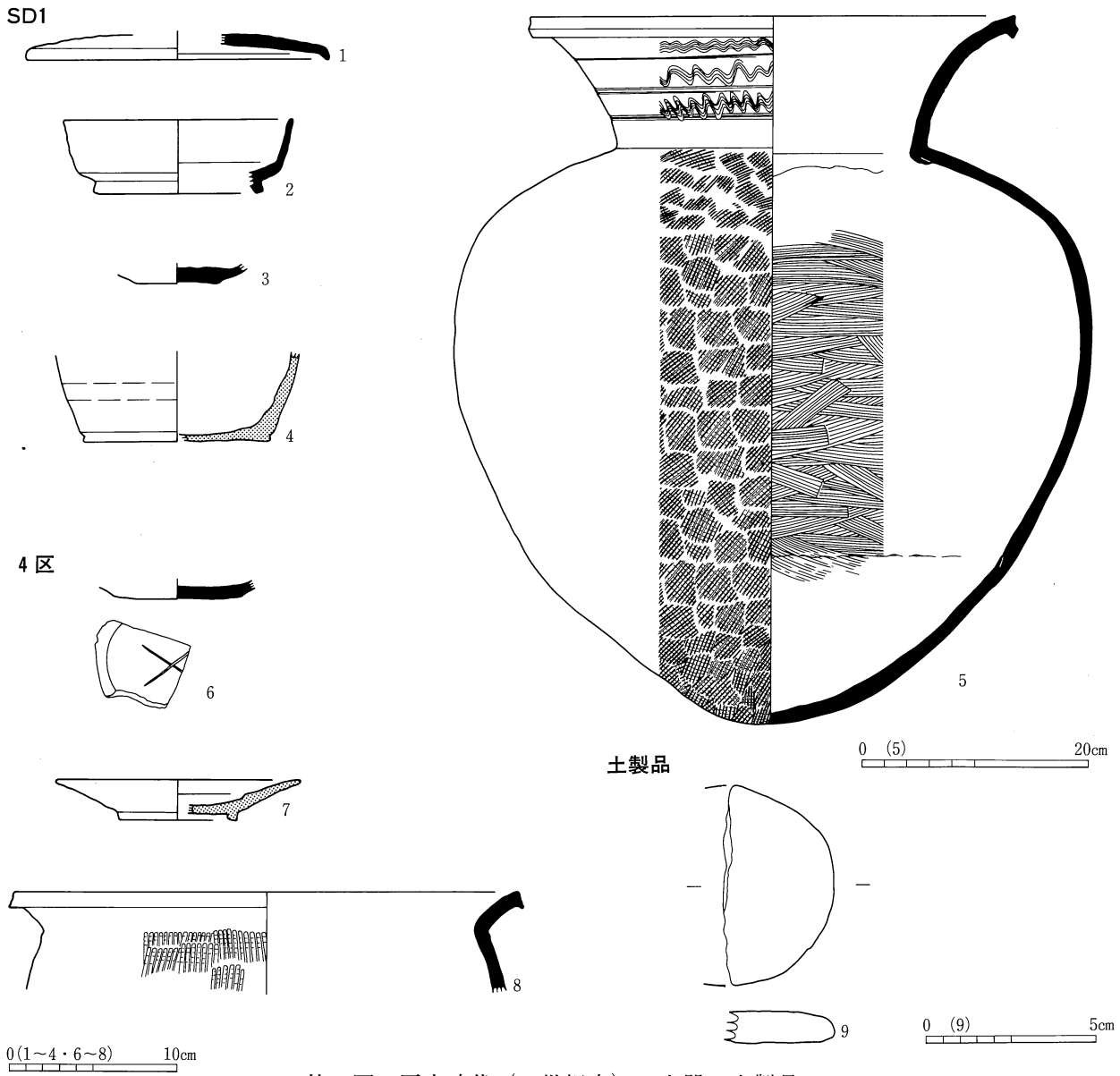
(4)　金属製品・鉄生産関連遺物

Ⅲ層及び当該期の遺構から出土した金属製品は、鉄製品13点、銅製品１点で、うち８点を図示（図69）し、掲載した遺物の属性を一覧表（表26）に示した。鉄生産関連遺物は、鍛冶滓８点39.65ｇ、椀形鍛冶滓５点286.45ｇ及び、羽口や炉壁の破片が出土している。鉄生産関連遺物の出土はほとんどが包含層からである。

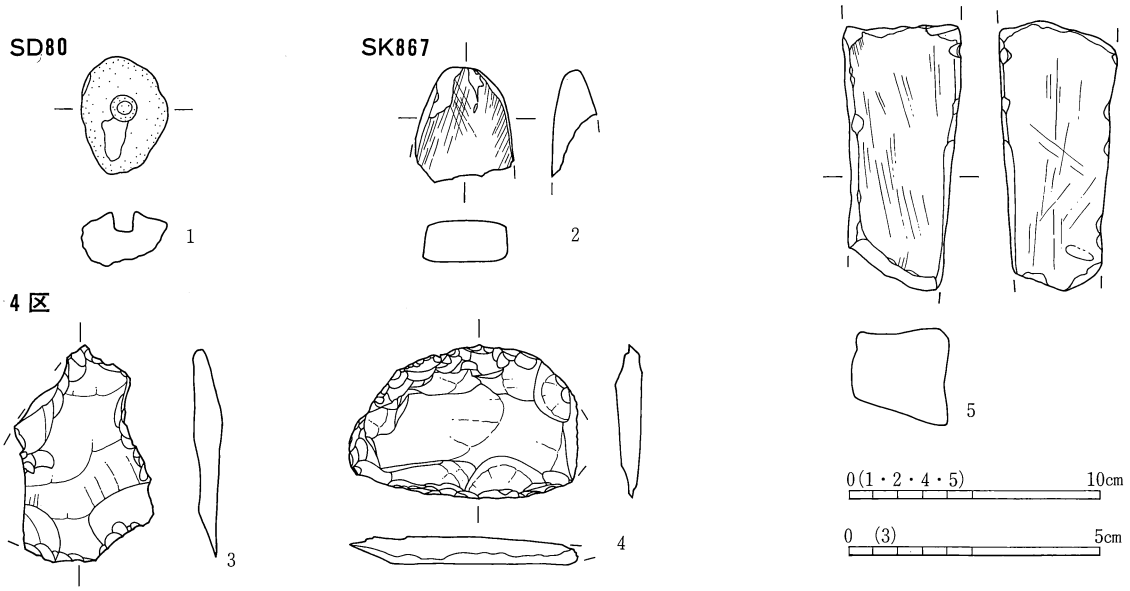
註

1　茂原信生氏の御教示による。肋骨・椎骨の一部及び乳犬歯が出土している。

2　平川　南氏の御教示による。



第67図　平安時代（９世紀末）の土器・土製品



第68図　平安時代（９世紀末）の石器・石製品

表24　平安時代（9世紀末）の土器・土製品

遺構番号	図番号	報告書番号	出土位置	器種	焼き物種別	口径	底径	器高	残存率	色調	外面整形	内面整形	底部整形	備考
SD1	67	1	埋土	蓋B	須恵	18.0	－	－	1/6	外灰、内暗灰	回転ヘラケズリ、ロクロナデ	回転ヘラケズリ→ロクロナデ	－	
SD1	67	2	埋土	杯B	須恵	13.5	10.0	4.4	1/8	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	高台ナデ	
SD1	67	3	埋土	杯A	須恵	－	5.0	－	1/4	にぶい赤褐	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SD1	67	4	埋土	長頸瓶	灰釉	－	11.0	－	底2/3	灰	ロクロナデ、回転ヘラケズリ	ロクロナデ	回転糸切りのちナデ	
SD1	67	5	埋土	甕A	須恵	43.0	－	63.5	3/4	灰	ロクロナデのち波状文、格子状タタキ	ナデ、ヨコハケ	－	甕片の痕跡
	67	6	4区	杯A	須恵	－	7.6	－	底1/4	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	ヘラ書き
	67	7	4区III、IV層	段皿	灰釉	14.4	7.2	2.5	2/3	外灰白、内灰オリーブ	ロクロナデ、釉	釉	高台ナデ、高台内回転ヘラケズリ	
	67	8	4区III層	甕	須恵	30.0	－	－	口1/8	灰白	口縁ロクロナデ、胴部タタキ	口縁ロクロナデ、他ナデ	－	
	67	9	4区III層	土製品	－	径6.0	厚1.0	－	1/2	にぶい赤褐	ナデ	ナデ		

表25　平安時代（9世紀末）の石器・石製品属性表

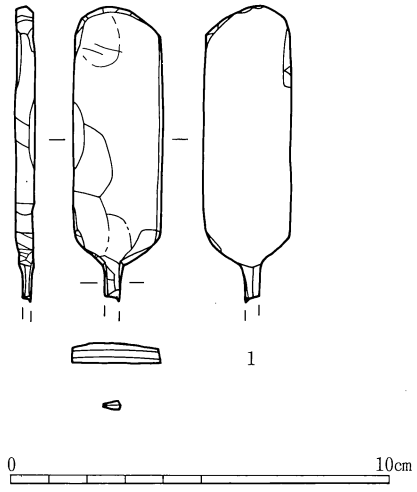
図番号	番号	遺構番号	出土位置	器種	状態	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質	備考
68	1	SD80	埋土	石製品	ほぼ完形	4.65	3.50	2.20	10.0	軽石	
68	2	SK867	埋土	磨製石斧	頭部のみ残損	(4.6)	4.0	1.75	(35.0)	蛇紋岩	定角式磨製石斧
68	3		4区III層	刃器	一部欠損	4.3	(2.8)	0.5	(7.24)	珪質岩	
68	4		4区III層	刃器	一部欠損	7.1	(9.3)	1.1	(80.0)	頁岩	
68	5		4区III層	砥石	1/3残存	10.7	4.8	3.9	305.0	砂岩	

（　）内の数字は残存している所の最大値

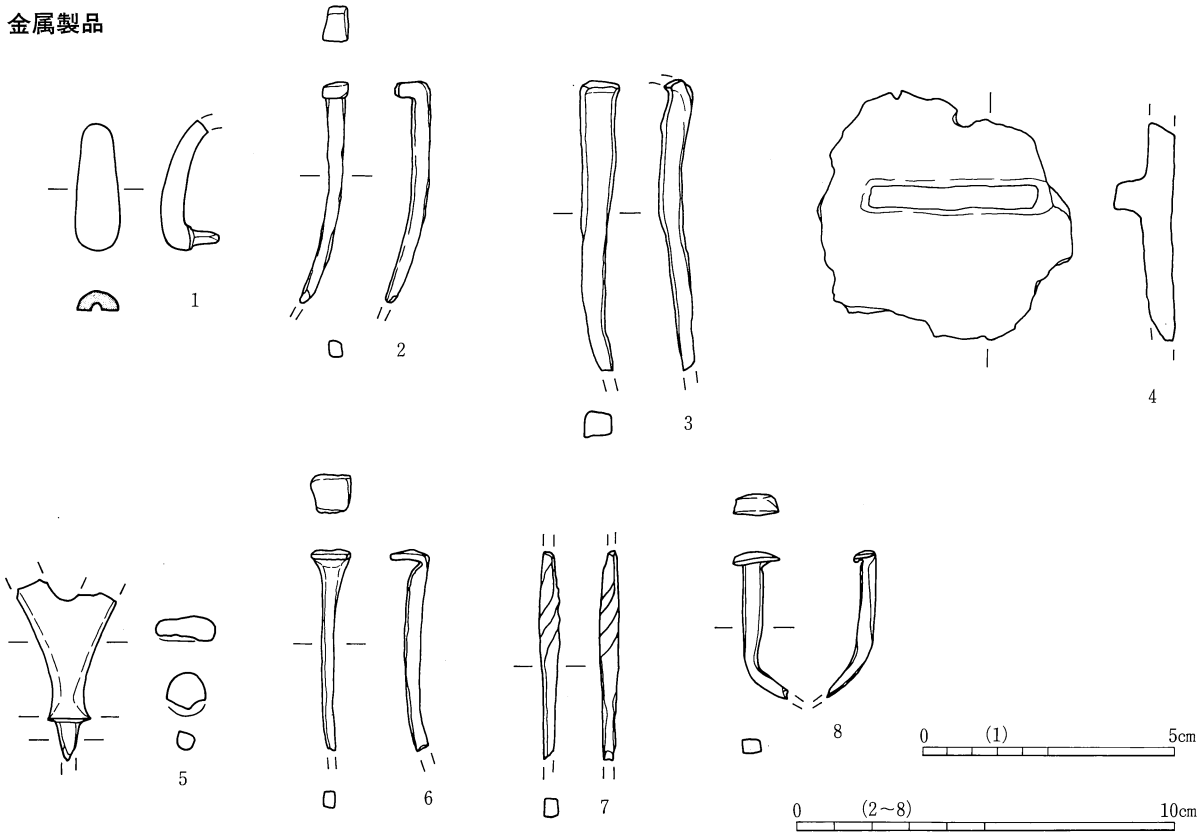
表26　平安時代（9世紀末）の金属製品一覧

図番号	番号	遺物名	遺存状況	出土遺構	出土地点	遺構時期	長軸(cm)	短軸(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	備考
69	1	不明	1/2残存		3区III層		2.7	0.9	0.4	4.92	
69	2	釘	先端欠		3区III層		6.0	0.6	0.4	3.0	
69	3	釘	頭部･先端欠		3区III層		7.6	0.8	0.5	8.6	
69	4	不明	不明		3区III層		7.1	6.5	0.7	85.0	
69	5	鏃	1/3残存		4区III層		4.1	2.5	0.7	9.54	
69	6	釘	先端欠		4区III層		5.3	1.0	0.4	2.25	
69	7	不明	両端欠		4区III層		5.5	0.5	0.4	1.45	
69	8	釘	先端欠		6区III層		4.1	1.3	0.4	1.7	

木製品



金属製品



第69図　平安時代（９世紀末）の木製品・金属製品

第6節　平安後期～中世

本項に掲載した遺構は表土及びII層を剥いで検出された遺構で、平安後期～中世に所属する遺構である。粗密の差はあるが、1～6区のほぼ全域に分布している。当該期に所属する遺構は、遺物の出土も少なく、検出面で判断したものが多く若干前後する時代の遺構も含まれると思われる。検出された遺構は、溝10状、土坑524基である。

1　遺構各説

(1)　溝

当該期の溝跡は、10条で、2区及び4～6区で検出されている。4区～5区で確認されたSD51・57は、中世の館を囲む堀跡と思われ、深さ3.5mを計る。両溝跡は、たいへん深く湧水が激しいうえ、調査区が狭いということもあり、遺構の範囲の確認と、トレンチによる埋土の様子・底部の確認のみの調査となった。2区のSD75～79は、並行する浅い溝で、畝跡の可能性も考えられる。溝の詳細な説明は表28に示した。

(2)　土坑

当該期の土坑は524基で、1～6区の全ての調査区に分布している。このうち71基は井戸跡で、SK376の1基を除いて、ほかは全て掘り抜きの井戸である。井戸跡のうち多くの井戸の埋土より拳大～人頭大の礫が多量に出土しており、井戸廃棄時に何らかの埋設行為が行われた可能性も考えられる。SK448からは人骨（推定年齢16～18歳）の一部[註1]が出土している。SK1146からは、幅0.6cmの紐状の植物を編んだ、籠状の容器の一部が出土している。4区からは方形や長方形の土坑がいくつか確認されており、それらは中世の館に関連する室のような遺構かと思われるが、遺物の出土もなくその詳細は不明である。その他に柱穴と思われる土坑がいくつかあるが、多くの土坑の性格は不明である。土坑の詳細な説明は、表29に示した。

2　遺物

(1)　土器・土製品

II層及び平安後期～中世の遺構から出土した土器・土製品は11箱である。ここでは、全てを紹介することができない為、中世の資料を中心に図示（図76～77）し、掲載した遺物の属性を一覧表（表30）に示した。

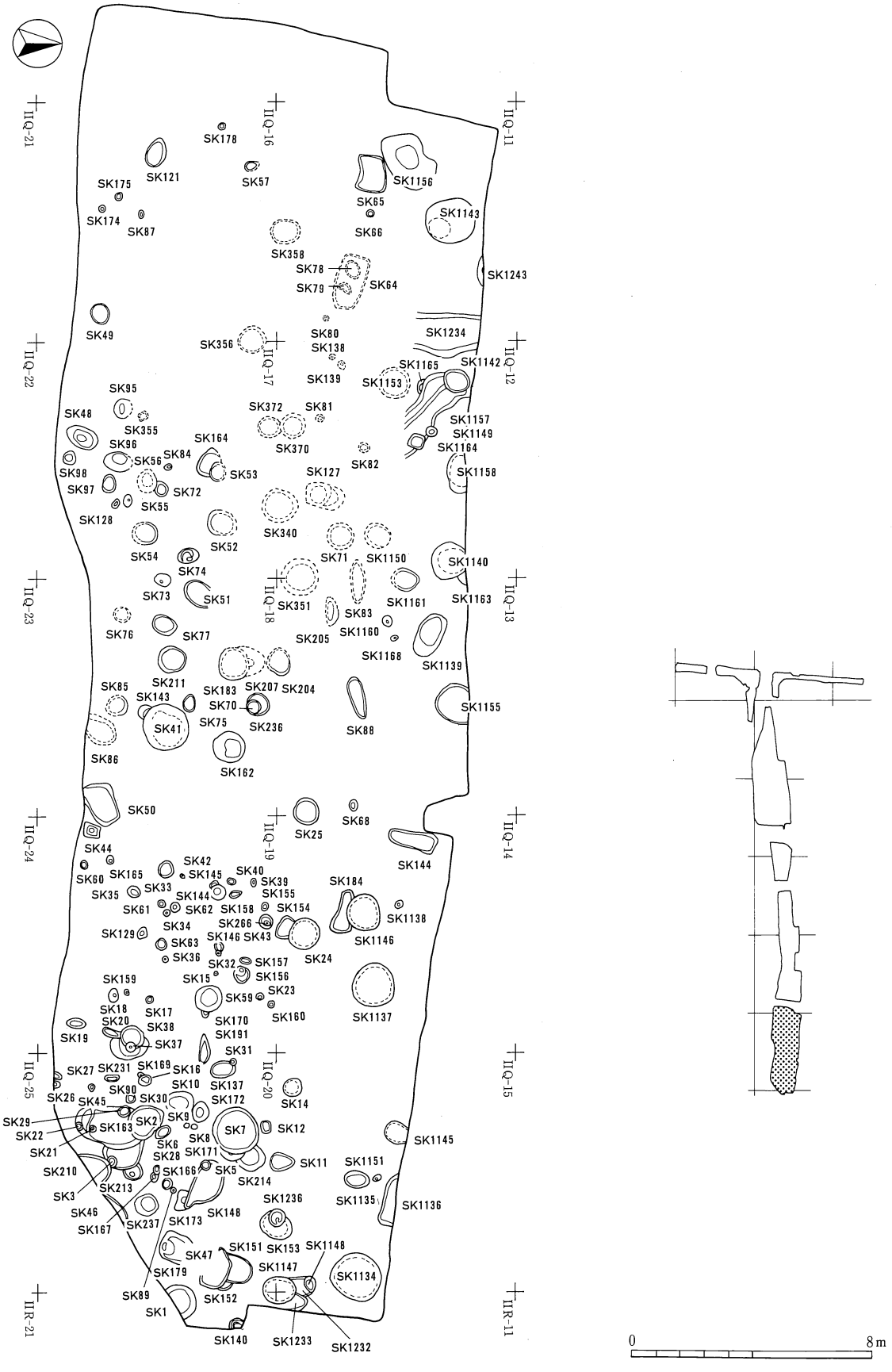
(2)　石器・石製品

II層及び平安後期～中世の遺構から出土した資料は石器254点、石製品2点である。出土層位を重視して報告する為、形式的に所属時期が異なる石器であっても、出土遺構の時代により本項で扱うこととした。また、SK1046より出土したヒスイ製の勾玉も、本項で扱うこととする。遺物中92点が石器製作に伴い石屑として弾き出された資料で、112点が道具として認定できた石器である。その内訳については表27に示した。ここでは全てを紹介することができない為主なもの34点を図示し（図78～82）、掲載した遺物の属性を一覧表（表31）に示した。

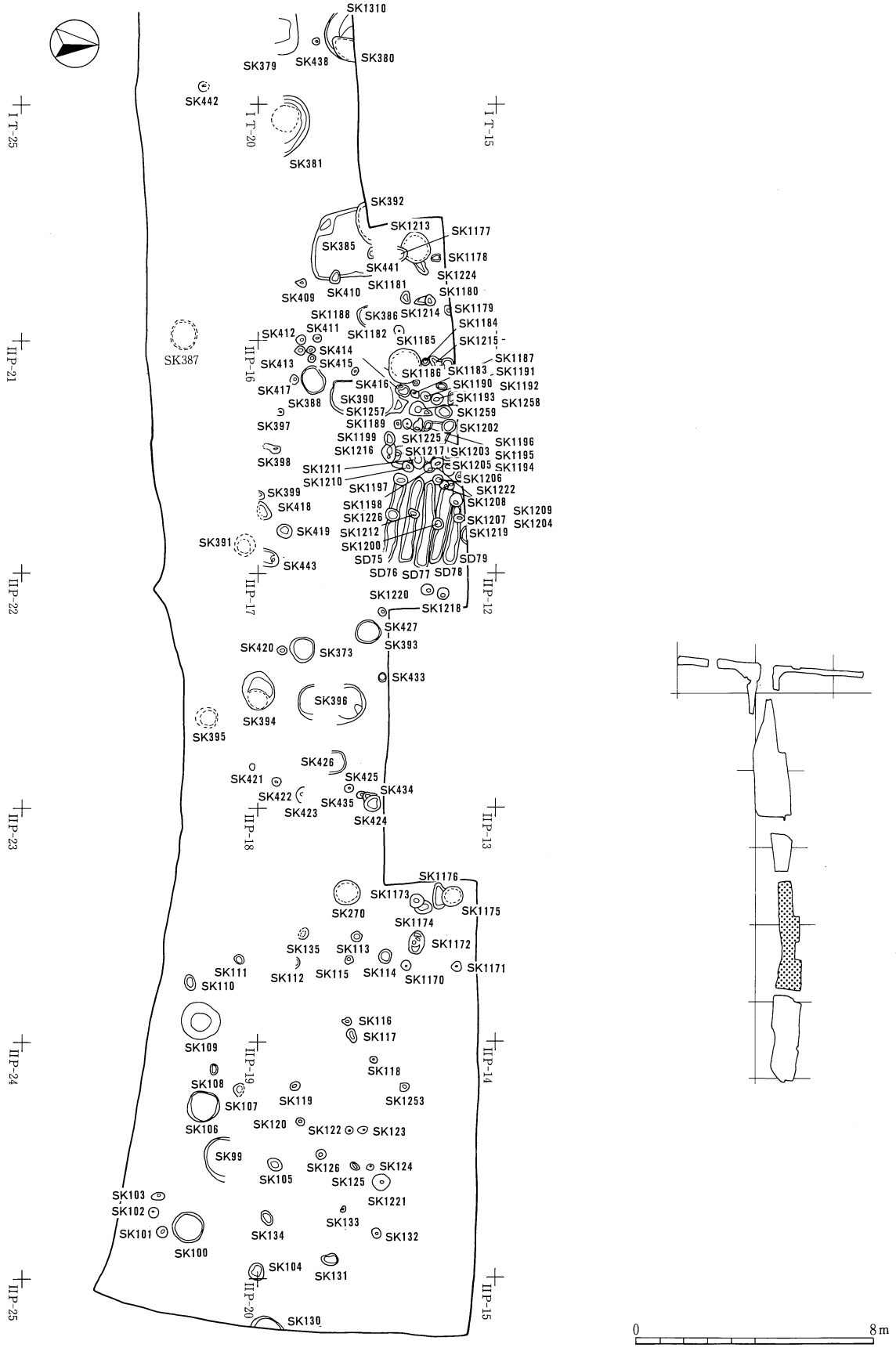
表27　平安時代後期～中世出土石器組成表

名称	総数	原石	石核	剥　片	砕　片	石鏃	刃器	敲石	磨石	石鉢	くぼみ石	石臼	石錐	砥石	玉石	みがき石
数量	254	46	4	72(4717.55)	20(14.25)	1	7	16	8	4	39	3	2	19	1	12

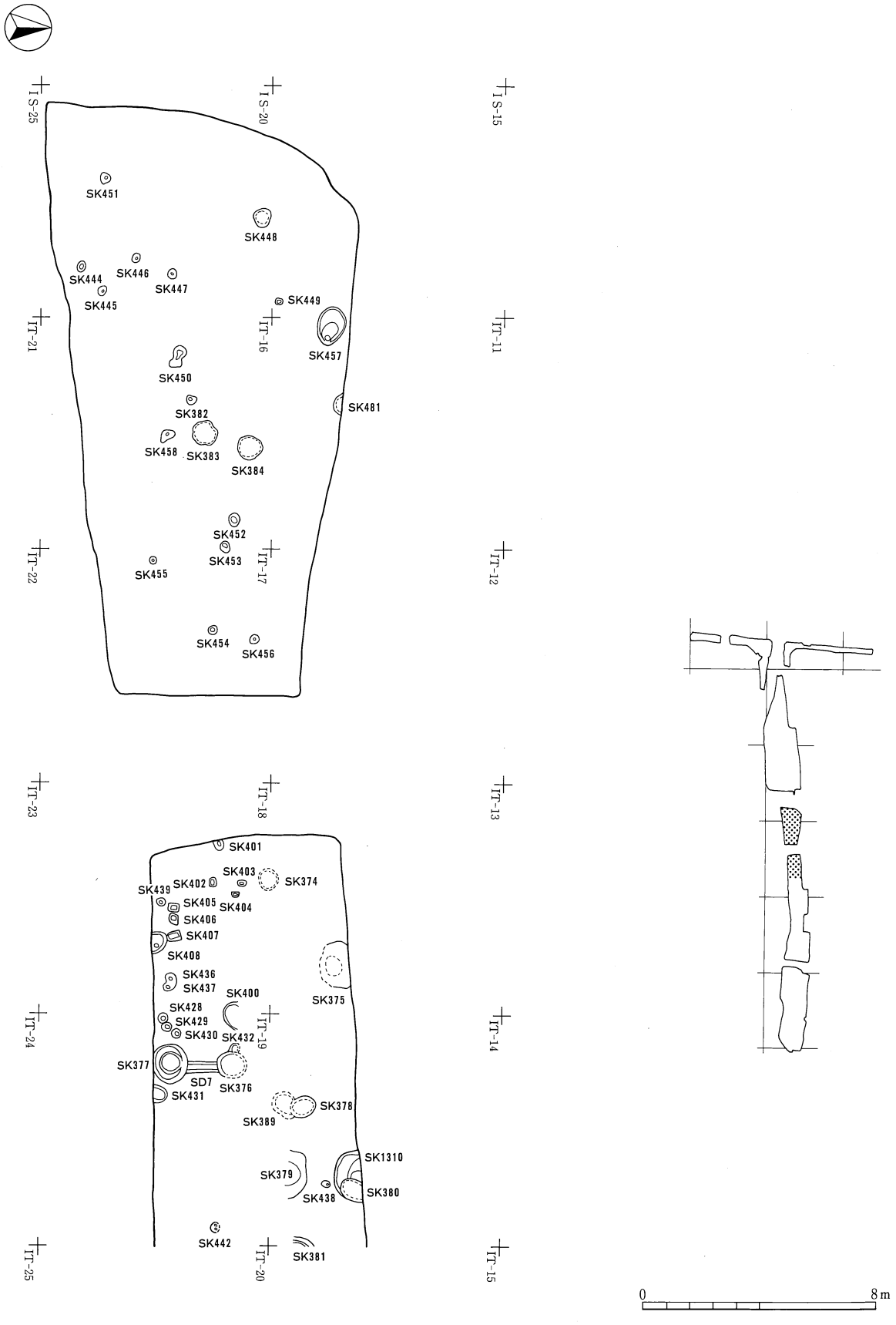
（　）内は数量〈g〉を示す



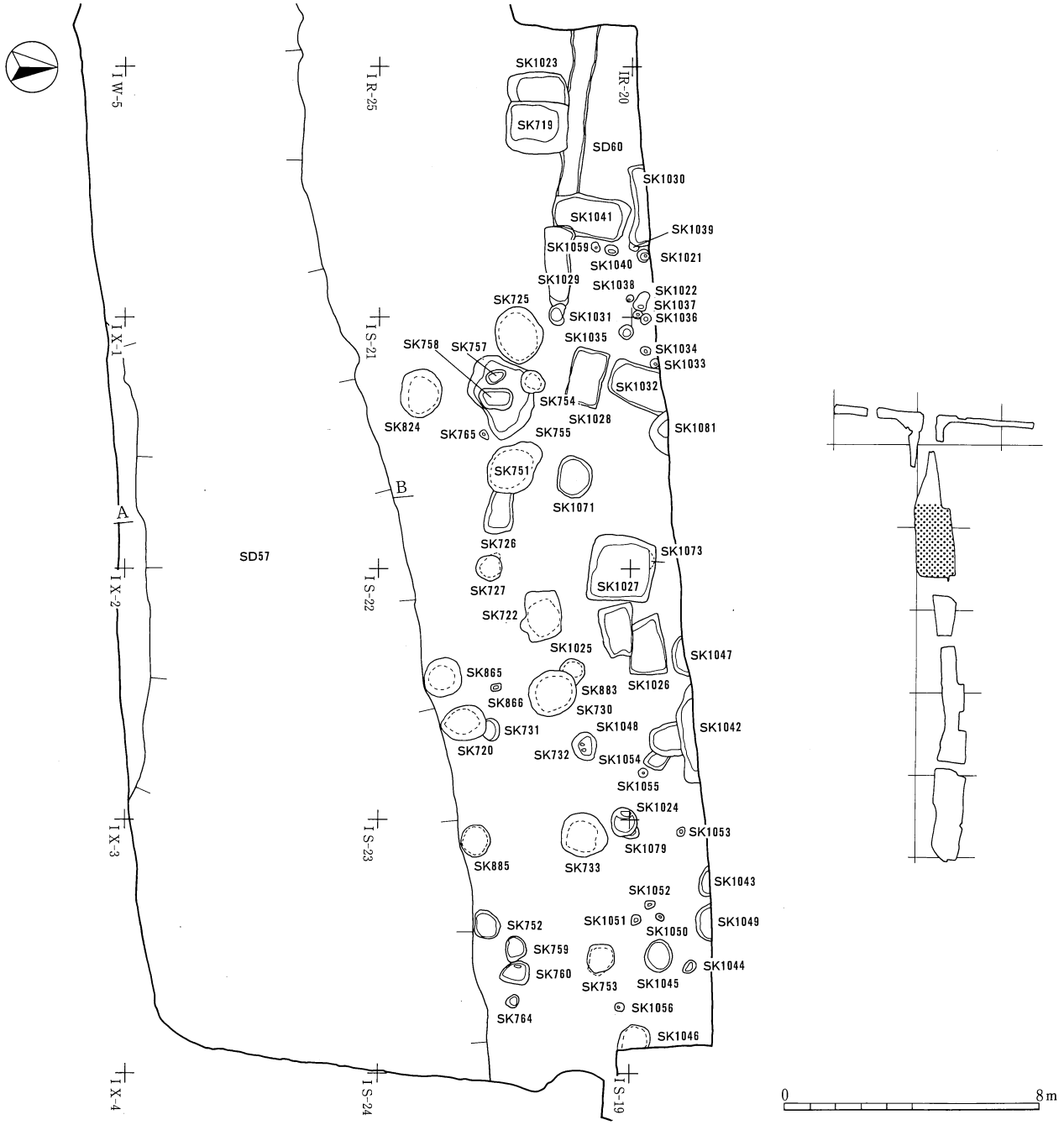
第70図　平安後期～中世の遺構分布図　1

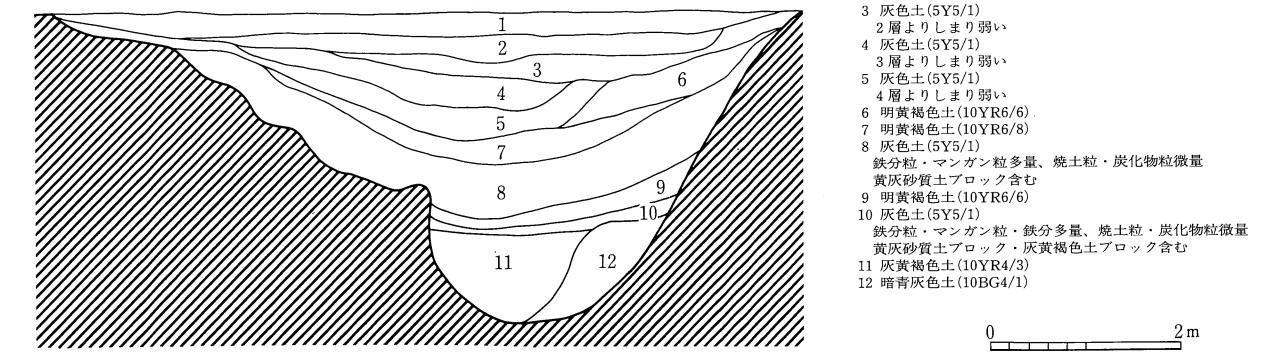


第71図　平安後期～中世の遺構分布図　2



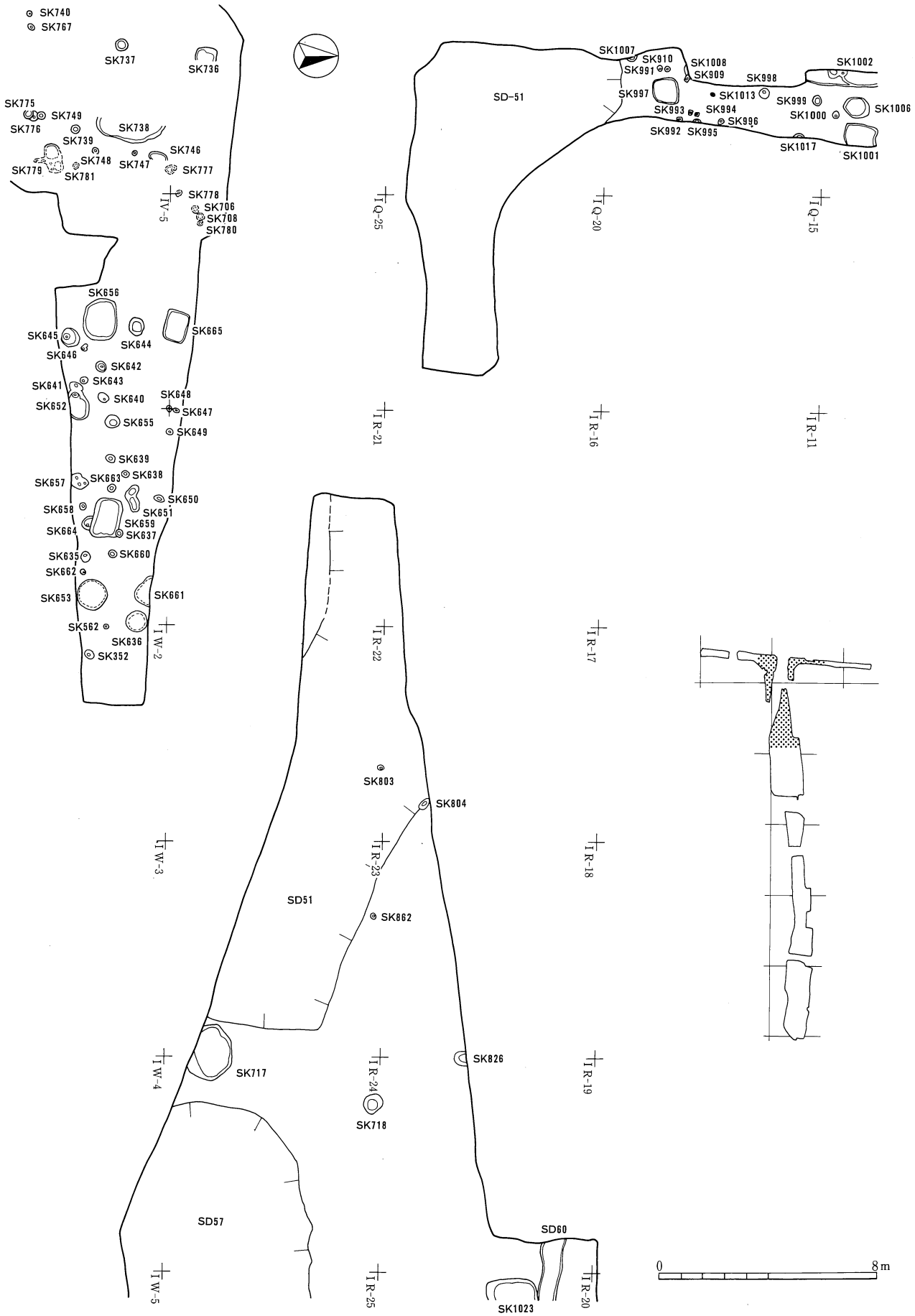
第72図　平安後期～中世の遺構分布図　3



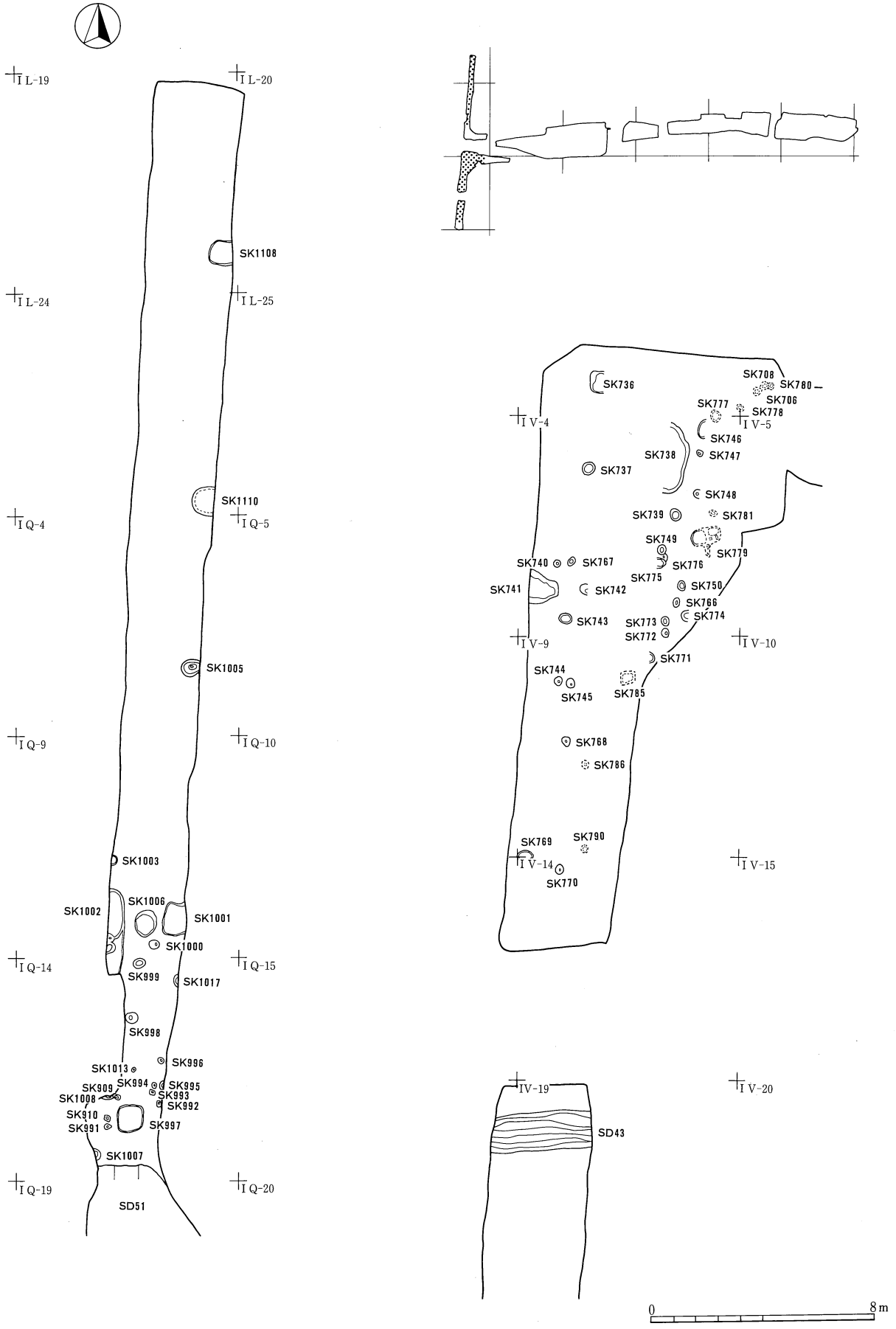


1 灰色土(5Y5/1)
鉄分粒・マンガン粒多量、焼土粒・炭化物粒微量
2 灰色土(5Y5/1)
1層より鉄分粒・マンガン粒多量
3 灰色土(5Y5/1)
2層よりしまり弱い
4 灰色土(5Y5/1)
3層よりしまり弱い
5 灰色土(5Y5/1)
4層よりしまり弱い
6 明黄褐色土(10YR6/6)
7 明黄褐色土(10YR6/8)
8 灰色土(5Y5/1)
鉄分粒・マンガン粒多量、焼土粒・炭化物粒微量
黄灰砂質土ブロック含む
9 明黄褐色土(10YR6/6)
10 灰色土(5Y5/1)
鉄分粒・マンガン粒・鉄分多量、焼土粒・炭化物粒微量
黄灰砂質土ブロック・灰黄褐色土ブロック含む
11 灰黄褐色土(10YR4/3)
12 暗青灰色土(10BG4/1)

第73図　平安後期～中世の遺構分布図　4



第74図　平安後期～中世の遺構分布図　5



第75図　平安後期～中世の遺構分布図　6

表28　平安後期～中世の溝（SD）一覧

仮地区	SD番号	時期	中地区	図番号	平面形	流路方向	全長(m)	最大幅(m)	深さ(m)	色調	土性	堆積状況	遺物出土状況	遺物図	切合関係（古）→（新）	備考
2	7		T19	72	直線的	南～北	(1.02)	0.40	0.21	灰黄褐色	砂	1層II層主体	－		→SK376、377	
6	43	平安	V18、19	75	直線的	東～西	(3.56)	1.36	0.91	黒褐色～暗褐色	砂・シルト	4層II層主体 炭化物を多く混入	土器、石器		SB42、47→	
4 5	51	中世	P16、17、18、21、22、23、Q14、19	74・75	－	－	(37.00)	7.00	3.48	－	－	－	土器、石器、鉄、鉄滓	76・87	SB 57、61、77、80、81 SK887→SK803、804、1061	堀
4	57	中世	R24、25、X1、S16、17、18、21、22、23、W4、5	73・74	－	－	(38.66)	9.10	3.30	明黄褐色～暗青灰色	シルト	12層 鉄分・鉄分粒・鉄分ブロック・マンガン粒を多く混入	土器・石器・鉄・鉄滓	78・87	SB 59、60、62、63、64、65、66、67、69、70、73、75→	堀
4	60		R19、20	73・74	直線的	西～東	(5.30)	0.84	0.38	暗灰黄色	砂	1層II層主体	土器		SK763→SK719、1023、1041	
2	75		P11	71	直線的	東～西	(2.64)	0.48	0.06	暗褐色	砂	1層	土器		→SK1197、1226	
2	76		P11	71	直線的	東～西	2.84	0.42	0.07	暗褐色	砂	1層	土器		→SK1212	
2	77		P11	71	直線的	西～東	2.88	0.46	0.06	暗褐色	砂	1層	土器		→SK1200	
2	78		P11	71	直線的	西～東	2.52	0.42	0.09	暗褐色	砂	1層	土器		→ SK 1200、1208、1209、1222	
2	79		P11	71	直線的	西～東	(1.98)	0.44	0.10	暗褐色	砂	1層	土器		→SK1207、1208	

表29－1　平安後期～中世の土坑（SK）一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
1	1		70	Q20、R16	－	C	－	－	2.80	－	－	－	土器、鉄滓		井戸
1	2		70	Q20	円形	C	1.23	1.07	3.74	－	－	－	土器		井戸
1	3		70	Q20	円形	C	0.36	0.36	0.41	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	5		70	Q20	円形	C	0.34	0.34	0.07	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	7		70	Q20	円形	C	1.56	1.44	3.09	－	－	－	土器、石器		井戸
1	10		70	Q20	楕円形	A	0.96	0.68	0.55	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層　焼土粒・焼土ブロックを多く混入	土器		
1	11		70	Q15、20	不整形	C	0.80	0.63	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器、鉄滓		
1	12		70	Q20	楕円形	E	0.42	0.30	0.23	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器、石器		
1	14		70	Q15	円形	C	0.75	0.72	－	－	－	－	土器		井戸
1	15		70	Q19	円形	A	0.16	0.16	0.07	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	16		70	Q20	円形	C	0.30	0.28	0.14	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	17		70	Q19	円形	A	0.18	0.16	0.08	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	18		70	Q19	円形	B	0.42	0.32	0.58	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	19		70	Q19	楕円形	C	0.64	0.32	0.12	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層　焼土粒・焼土ブロックを多く混入	土器		
1	20		70	Q19	楕円形	C	0.64	0.28	0.09	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層　焼土粒・焼土ブロックを多く混入	土器		
1	21		70	Q20	円形	C	0.21	0.20	0.08	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	22		70	Q20	円形	C	0.23	0.20	0.15	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	23		70	Q19	円形	A	0.23	0.22	0.13	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	24		70	Q14	円形	C	1.08	1.04	3.35	－	－	－	土器、鉄製品	87	井戸
1	25		70	Q13、14	円形	C	0.90	0.84	3.09	－	－	－	土器、石器、木製品	76	井戸
1	26		70	Q20	－	－	－	－	0.18	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	27		70	Q20	－	－	－	－	0.09	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	28		70	Q20	円形	C	0.40	0.36	0.23	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	29		70	Q20	楕円形	C	0.40	0.31	0.34	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	30		70	Q20	円形	C	0.30	0.28	0.20	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		

表29－2　平安後期～中世の土坑（SK）一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色　調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
1	31		70	Q20	円形	C	0.18	0.18	0.21	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	32		70	Q19	円形	A	0.18	0.16	0.21	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	33		70	Q19	円形	C	0.60	0.60	0.33	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	34		70	Q19	円形	A	0.28	0.26	0.14	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	35		70	Q19	円形	A	0.34	0.32	0.16	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	36		70	Q19	円形	A	0.18	0.18	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	37		70	Q19	円形	A	0.32	0.32	0.22	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器、石器	78	
1	38		70	Q19	円形	C	0.86	0.80	3.30	－	－	－	土器、骨		井戸
1	39		70	Q19	楕円形	A	0.30	0.20	0.10	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	40		70	Q19	円形	B	0.24	0.18	0.29	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	41		70	Q18	円形	C	1.60	1.54	－	－	－	礫を多く混入	土器、石器、骨		井戸
1	42		70	Q19	円形	A	0.18	0.18	0.11	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	43		70	Q19	円形	C	0.46	0.46	0.17	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	44		70	Q19	長方形	E	0.60	0.46	0.32	にぶい黄褐色	10YR4/3	2層	－		
1	45		70	Q20	楕円形	C	0.26	0.20	0.06	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	46		70	Q20	－	－	－	－	0.49	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	47		70	Q20	不整形	C	1.35	(0.82)	0.16	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	48		70	Q17	楕円形	E	1.12	0.70	0.41	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	49		70	Q16	円形	C	0.72	0.64	0.44	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	50		70	Q18、19	長方形	C	1.52	0.96	0.23	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	51		70	Q18	円形	A	0.88	0.78	0.07	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	52		70	Q17	円形	C	1.00	0.90	2.68	－	－	－	土器	76	井戸
1	53		70	Q17	円形	C	0.64	0.60	0.81	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器、石器		
1	54		70	Q17	円形	A	0.74	0.70	0.26	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器、種子		
1	55		70	Q17	円形	E	0.46	0.30	0.36	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	56		70	Q17	円形	C	0.78	0.76	0.31	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層　焼土粒・焼土ブロックを多量に混入	土器		
1	57		70	Q16	－	C	－	－	0.15	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	59		70	Q19	円形	A	0.90	0.90	0.20	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層　焼土粒・焼土ブロックを多く混入	土器、骨		
1	60		70	Q19	円形	A	0.26	0.26	0.15	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	61		70	Q19	円形	A	0.28	0.26	0.18	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	62		70	Q19	円形	C	0.50	0.46	0.18	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	63		70	Q19	円形	A	0.41	0.36	0.20	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	64		70	Q11	長方形	C	1.94	0.90	0.10	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	65		70	Q11	長方形	C	1.20	0.78	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	66		70	Q11	円形	A	0.14	0.14	0.07	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	68		70	Q13	円形	A	0.34	(0.28)	0.12	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	70		70	Q18	円形	C	0.52	0.48	0.15	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	71		70	Q12	円形	C	0.86	0.84	1.01	にぶい黄褐色	10YR4/3	2層	土器		
1	72		70	Q17	円形	C	(0.52)	0.42	0.12	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	73		70	Q17、18	円形	E	0.46	0.40	0.31	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	74		70	Q17	楕円形	G	0.74	0.56	0.27	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	75		70	Q18	楕円形	C	0.62	0.44	0.10	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	76		70	Q18	円形	C	0.56	0.50	0.17	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層　明黄褐色土ブロックを多く混入	－		
1	77		70	Q18	円形	C	0.84	0.64	0.28	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層　焼土粒・焼土ブロック・炭化物粒・炭化物ブロックを多量に混入	土器、石器		
1	78		70	Q11	円形	C	0.58	0.44	0.05	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	鉄製品	87	
1	79		70	Q11	円形	C	0.46	0.30	0.12	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	80		70	Q11	円形	A	0.14	0.14	0.06	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	81		70	Q12	円形	A	0.10	0.10	0.14	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	82		70	Q12	円形	B	0.34	0.32	0.27	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	83		70	Q12、13	楕円形	D	1.46	0.50	0.29	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	84		70	Q17	円形	B	0.22	0.20	0.22	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	85		70	Q18	円形	C	0.72	0.72	0.37	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	86		70	Q18	(円形)	C	(1.06)	0.88	0.50	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	87		70	Q16	円形	B	0.30	0.24	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		

表29－3　平安後期～中世の土坑（SK）一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色　調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
1	88		70	Q13	楕円形	E	1.40	0.44	0.17	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	89		70	Q20	円形	C	0.20	0.20	0.09	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	90		70	Q20	楕円形	C	0.56	0.24	0.11	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	95		70	Q17	円形	B	0.64	0.64	0.43	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器、石器、羽口		
1	96		70	Q17	楕円形	C	0.92	0.68	0.35	にぶい黄褐色	10YR4/3	2層	土器		
1	97		70	Q17	円形	C	0.58	0.46	0.28	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	98		70	Q17	円形	B	0.46	0.41	0.22	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
2	99		71	P19	－	－	－	－	0.18	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	土器、鉄		
2	100		71	P19	円形	A	1.10	1.04	0.20	褐灰色	10YR4/1	1層(砂質)	土器		
2	101		71	P19	円形	B	0.32	0.32	0.29	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	－		
2	102		71	P19	円形	B	0.30	0.26	0.17	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	－		
2	103		71	P19	楕円形	B	0.42	0.30	0.35	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	土器		
2	104		71	P14、19	円形	C	0.50	0.47	0.30	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	－		
2	105		71	P14	楕円形	B	0.50	0.42	0.22	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	－		
2	106		71	P19	円形	C	1.10	1.06	0.34	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	土器		
2	107		71	P19	円形	B	(0.38)	0.36	0.50	褐灰色	10YR4/1	1層(砂質)	土器、鉄		
2	108		71	P19	円形	A	0.28	0.24	0.09	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	土器		
2	109		71	P18	円形	A	1.24	1.22	0.13	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	土器		
2	110		71	P18	楕円形	C	0.38	0.30	0.13	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	－		
2	111		71	P18	円形	C	0.32	0.26	0.13	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	－		
2	112		71	P13	－	B	－	－	0.47	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	－		
2	113		71	P13	円形	C	0.30	0.28	0.10	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	－		
2	114		71	P13	円形	C	0.44	0.38	0.24	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	－		
2	115		71	P13	円形	B	0.34	0.30	0.57	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	土器		
2	116		71	P13	円形	A	0.24	0.20	0.07	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	－		
2	117		71	P13	楕円形	A	0.44	0.26	0.07	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	－		
2	118		71	P14	円形	A	0.42	0.20	0.24	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	－		
2	119		71	P14	円形	E	0.34	0.32	0.50	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	－		
2	120		71	P14	円形	A	0.22	0.18	0.08	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	－		
1	121		70	Q16	楕円形	C	1.00	0.64	0.16	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層（炭化物層）	土器、石器		
2	122		71	P14	円形	B	0.21	0.20	0.16	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	－		
2	123		71	P14	円形	B	0.22	0.22	0.18	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	－		
2	124		71	P14	円形	C	0.24	0.22	0.15	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	土器		
2	125		71	P14	楕円形	C	0.34	0.26	0.11	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	－		
2	126		71	P14	円形	C	0.24	0.24	0.15	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	－		
1	127		70	Q12	長方形	G	1.24	0.85	2.63	－	－	－	土器、木製品		井戸
1	128		70	Q17	楕円形	A	0.34	0.26	0.14	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
2	130		71	P15、20	－	－	－	－	－	暗褐色	10YR3/4	1層II層主体	土器		
2	131		71	P14	不整形	A	0.46	0.28	0.06	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	土器		
2	132		71	P14	円形	A	0.26	0.24	0.09	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	－		
2	133		71	P14	円形	C	0.16	0.15	0.10	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	土器		
2	134		71	P14	楕円形	C	0.48	0.39	0.24	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	土器		
2	135		71	P13	楕円形	E	0.46	0.32	0.22	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体	－		
1	137		70	Q20	楕円形	C	0.80	0.60	2.57	－	－	－	土器		井戸
1	138		70	Q12	円形	A	0.16	0.16	0.10	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	139		70	Q12	円形	E	0.36	0.26	0.25	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層　焼土粒・炭化物粒を多く混入	土器		
1	140		70	R16	－	－	－	－	0.46	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	143		70	Q18	円形	－	－	－	0.45	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	144		70	Q19	円形	C	0.34	0.34	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	145		70	Q19	円形	A	0.28	0.28	0.20	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	146		70	Q19	円形	C	(0.26)	0.24	0.26	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	148	平安？	70	Q20	不整形	C	1.88	0.94	0.31	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器、骨		
1	151		70	Q20	－	－	－	－	0.25	褐色	7.5YR4/4	1層　焼土粒を多く混入	土器		
1	152		70	Q20	－	－	－	－	0.11	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	153	中世？	70	Q15、20	円形	C	0.98	0.90	2.82	－	－	礫を混入	土器、石器	76・78・79	井戸

表29－4　平安後期～中世の土坑（SK）一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色　調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
1	154		70	Q14、19	楕円形	C	0.70	(0.46)	0.27	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	155		70	Q19	円形	B	0.30	0.30	0.20	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	156		70	Q19	円形	E	0.58	0.54	0.29	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	157		70	Q19	楕円形	A	0.34	0.26	0.10	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	158		70	Q19	楕円形	A	0.36	0.22	0.14	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	159		70	Q19	円形	A	0.18	0.16	0.07	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	160		70	Q19	円形	A	0.18	0.16	0.10	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	162		70	Q18	円形	B	1.08	0.96	0.91	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層　明黄褐色土ブロックを多く混入	土器		
1	163	平安？	70	Q20	不整形	G	(2.08)	1.54	0.40	灰黄褐色	10YR4/2	1層（砂質）焼土粒・炭化物粒を多く混入	土器		
1	164		70	Q17	不整形	C	0.90	(0.72)	0.23	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	165		70	Q19	円形	A	0.30	0.28	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	166		70	Q20	円形	C	0.40	0.40	0.10	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	167		70	Q20	楕円形	C	0.34	0.27	0.08	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	169		70	Q20	円形	C	0.18	0.18	0.08	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	170		70	Q19	円形	A	0.22	0.20	0.12	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	171		70	Q20	－	－	－	－	0.97	明黄褐色～にぶい黄褐色	2.5Y6/6～10YR4/3	2層	土器、石器、骨		
1	172		70	Q20	楕円形	A	0.77	0.56	0.45	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	173		70	Q20	－	－	－	－	0.27	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	174		70	Q16	円形	A	0.24	0.23	0.14	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	175		70	Q16	円形	A	0.34	0.30	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	178		70	Q16	円形	C	0.30	0.28	0.39	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	179		70	Q20	不整形	G	(1.14)	0.94	0.86	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器、石器、骨		
1	183	平安？	70	Q18	円形	C	1.16	1.04	－	－	－	－	土器、石器	79	井戸
1	184		70	Q14	不整形	C	1.46	0.36	0.61	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	187		70	Q20	不整形	C	1.56	1.16	0.44	褐灰色～灰黄褐色	10YR4/1～4/2	1層　明黄褐色土ブロック焼土ブロック、焼土粒、炭化物粒、炭化物ブロックを多量に混入	土器		
1	191		70	Q19、20	不整形	C	1.02	0.32	0.15	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	204		70	Q13、18	円形	C	0.80	0.80	0.34	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	205		70	Q13	楕円形	A	0.90	0.40	0.11	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	207		70	Q18	－	－	－	－	0.72	にぶい黄褐色	10YR5/4	1層　焼土粒・焼土ブロックを多量に混入	土器		
1	210		70	Q20	円形	C	－	－	2.90	－	－	礫を混入	土器、石器、鉄滓	79	井戸
1	211		70	Q18	円形	C	1.00	0.86	0.54	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	213		70	Q20	円形	E	0.62	(0.56)	0.53	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	214		70	Q20	楕円形	C	1.01	0.90	0.70	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器、石器		
1	231		70	Q19、20	円形	C	1.24	(1.10)	0.59	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器、石器		
1	236		70	Q18	円形	G	0.74	0.56	0.35	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
1	237		70	Q20	円形	E	0.80	0.72	0.62	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層　明黄褐色土ブロックを多く混入	－		
1	265		70	Q19	円形	A	0.16	0.16	0.10	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	266		70	Q19	円形	A	0.18	0.12	0.10	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
2	270		71	P13	円形	C	0.88	0.80	－	－	－	－	土器、木製品、土錘	77・83	井戸
1	340		70	Q12、17	円形	C	1.10	1.07	1.94	－	－	－	土器、石器	80	井戸
1	351		70	Q12、13	円形	C	1.20	1.14	－	－	－	－	土器、石器、木製品	83	井戸
6	352		74	W2	円形	G	0.36	0.33	0.41	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物を多く混入	－		
1	355		70	Q17	方形	C	0.36	0.28	0.35	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
1	356		70	Q16、17	円形	C	0.98	0.92	2.33	－	－	－	土器		井戸
1	358		70	Q11、16	円形	C	0.94	0.84	3.00	－	－	－	土器、石器、木製品、骨、鉄製品	83・87	井戸
1	370		70	Q12	円形	C	0.88	0.88	2.37	－	－	－	－		井戸
1	372		70	Q12、17	円形	C	0.70	0.70	2.56	－	－	－	土器		井戸
2	373		71	P12	円形	C	0.88	0.84	0.27	灰黄褐色～にぶい黄褐色	10YR4/2～4/3	2層II層主体	土器		

表29－５　平安後期～中世の土坑（SK）一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色　調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
2	374		72	T13、18	円形	C	0.72	0.72	3.03	－	－	－	土器、種子、木製品		井戸
2	375	中世	72	T13	－	－	－	－	2.83	－	－	礫を混入	土器、石器	76・80	井戸
2	376		72	T19	楕円形	C	1.00	0.80	1.20	灰黄褐色～暗褐色	10YR4/2～3/4	６層Ⅱ層主体　褐色土ブロックを多量に混入	土器、石器		井戸
2	377		72	T19	楕円形	G	1.38	1.16	3.64	にぶい黄褐色～灰黄褐色	10YR5/3～4/2	－	土器、石器		井戸
2	378		72	T14	円形	C	(0.76)	0.70	－	灰黄褐色～にぶい黄褐色	10YR4/2～4/3	礫を混入	土器、石器	80	井戸
2	379		71・72	T14	－	G	－	－	0.38	黒色	10YR2/1	１層Ⅱ層主体　炭化物を多く混入	土器		
2	380		71・72	T14	－	C	0.75	0.60	－	－	－	－	土器、石器	80	井戸
2	381		71・72	T14、15	－	－	－	－	－	－	－	－	土器、石器、木製品		井戸
3	382		72	T16	円形	G	0.26	0.26	0.56	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層Ⅱ層主体	－		
3	383		72	T16	円形	C	0.78	0.70	－	－	－	－	土器、石器	80	井戸
3	384		72	T16	円形	C	0.88	0.84	－	－	－	－	－		井戸
2	385		71	T15	－	－	－	－	0.12	灰黄褐色	10YR4/2	１層Ⅱ層主体	土器、石器		
2	386		71	T15	－	A	－	－	0.13	灰黄褐色	10YR4/2	１層Ⅱ層主体	土器		
2	387		71	P16、T20	円形	C	1.04	0.96	－	－	－	－	土器	76	井戸
2	388		71	P11	円形	A	0.94	0.80	0.30	灰黄褐色～にぶい黄褐色	10YR4/2～4/3	２層Ⅱ層主体　炭化物を多く混入	土器、骨		
2	389		72	T14	－	－	－	－	－	灰黄褐色	10YR4/2	２層Ⅱ層主体　褐色土ブロックを多く混入	土器、石器	76・80	
2	390		71	P11	－	C	－	－	0.31	灰黄褐色～にぶい黄褐色	10YR4/2～4/3	２層Ⅱ層主体	土器、鉄製品	87	
2	391		71	P16	円形	C	0.76	0.74	0.33	にぶい黄褐色～黒褐色	10YR4/3～3/2	３層Ⅱ層主体	土器		
2	392		71	T15	－	C	－	－	－	－	－	－	土器、石器		井戸
2	393		71	P12	円形	C	0.86	0.82	0.27	灰黄褐色～にぶい黄褐色	10YR4/2～4/3	２層Ⅱ層主体	土器		
2	394		71	P12、17	円形	G	1.36	1.10	－	－	－	－	土器、種子、木製品	83	井戸
2	395		71	P17	円形	C	0.72	0.68	－	－	－	－	木製品		井戸
2	396		71	P12	長方形	－	2.18	(1.20)	0.31	灰黄褐色	10YR4/2	１層Ⅱ層主体	土器		
2	397		71	P11	楕円形	A	0.26	0.18	0.10	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層Ⅱ層主体	－		
2	398		71	P11	不整形	G	0.56	0.24	0.17	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層Ⅱ層主体	－		
2	399		71	P11	円形	A	0.20	0.18	0.11	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層Ⅱ層主体	－		
2	400		72	T18、19	－	C	－	－	0.25	灰黄褐色	10YR4/2	１層Ⅱ層主体	土器		
2	401		72	T18	－	A	－	－	0.06	灰黄褐色	10YR4/2	１層Ⅱ層主体	－		
2	402		72	T18	方形	C	0.26	0.26	0.15	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層Ⅱ層主体	－		
2	403		72	T18	長方形	C	0.28	0.18	0.07	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層Ⅱ層主体	－		
2	404		72	T18	方形	C	0.18	0.16	0.14	灰黄褐色	10YR4/2	１層Ⅱ層主体	－		
2	405		72	T18	円形	C	0.32	0.30	0.09	灰黄褐色	10YR4/2	１層Ⅱ層主体	－		
2	406		72	T18	長方形	C	0.34	0.28	0.11	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層Ⅱ層主体	－		
2	407		72	T18	楕円形	A	0.50	0.34	0.10	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層Ⅱ層主体	－		
2	408		72	T18	－	－	－	－	0.29	にぶい黄褐色	10YR4/3	２層Ⅱ層主体	－		
2	409		71	T15	長方形	C	0.22	0.20	0.12	灰黄褐色	10YR4/2	１層Ⅱ層主体	－		
2	410		71	T15	楕円形	A	0.44	0.28	0.13	灰黄褐色	10YR4/2	１層Ⅱ層主体	－		
2	411		71	T15	円形	B	0.16	0.16	0.15	灰黄褐色	10YR4/2	１層Ⅱ層主体	－		
2	412		71	P11、T15	円形	A	0.30	0.24	0.14	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層Ⅱ層主体	－		
2	413		71	P11	円形	C	0.24	0.22	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層Ⅱ層主体	－		
2	414		71	P11	楕円形	C	0.22	0.16	0.13	灰黄褐色	10YR4/2	１層Ⅱ層主体	－		
2	415		71	P11	円形	C	0.24	0.22	0.11	灰黄褐色	10YR4/2	１層Ⅱ層主体	－		
2	416		71	P11	円形	C	0.16	0.16	0.11	灰黄褐色	10YR4/2	１層Ⅱ層主体	－		
2	417		71	P11	円形	C	0.24	0.20	0.10	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層Ⅱ層主体	－		
2	418		71	P11、16	楕円形	G	0.60	0.46	0.14	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層Ⅱ層主体	－		
2	419		71	P11	円形	A	0.48	0.44	0.07	灰黄褐色	10YR4/2	１層Ⅱ層主体	－		
2	420		71	P12	円形	A	0.20	0.18	0.05	灰黄褐色	10YR4/2	１層Ⅱ層主体	－		
2	421		71	P17	楕円形	A	0.18	0.14	0.09	灰黄褐色	10YR4/2	１層Ⅱ層主体	－		
2	422		71	P12	円形	A	0.28	0.28	0.07	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層Ⅱ層主体	－		
2	423		71	P12	－	－	－	－	0.20	灰黄褐色	10YR4/2	１層Ⅱ層主体	－		

表29－6　平安後期～中世の土坑（SK）一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色　調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
2	424		71	P12	楕円形	A	0.46	0.40	0.16	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	－		
2	425		71	P12	円形	A	0.18	0.17	0.07	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	－		
2	426		71	P12	－	C	－	－	0.23	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	土器		
2	427		71	P12	楕円形	A	0.22	0.18	0.07	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	－		
2	428		72	T19	円形	A	0.28	0.28	0.11	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	－		
2	429		72	T19	楕円形	C	0.28	0.18	0.10	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	－		
2	430		72	T19	円形	A	0.30	0.30	0.15	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	－		
2	431		72	T19	円形	C	－	－	0.18	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	－		
2	432		72	T19	－	－	－	－	0.25	灰黄褐色～にぶい黄褐色	10YR4/2～4/3	2層(砂質)	－		
2	433		71	P12	円形	B	0.34	0.30	0.42	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	－		
2	434		71	P12	円形	A	0.32	0.28	0.06	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	－		
2	435		71	P12	楕円形	－	(0.88)	(0.18)	－	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	－		
2	436		72	T18	円形	A	0.34	(0.34)	0.20	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	土器		
2	437		72	T18	楕円形	B	(0.42)	0.30	0.28	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	土器		
2	438		71･72	T14	円形	E	0.22	0.22	0.22	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	－		
2	439		72	T18	円形	A	0.22	0.18	0.18	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	－		
2	441		71	T15	円形	E	0.28	(0.26)	0.23	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	－		
2	442		71･72	T19	楕円形	D	0.32	0.24	0.30	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	－		
2	443		71	P11	－	－	－	－	0.30	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	－		
3	444		72	S20	楕円形	－	0.28	0.19	－	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	石器		
3	445		72	S20	円形	－	0.31	0.28	－	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	－		
3	446		72	S20	楕円形	－	0.26	0.22	－	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	土器		
3	447		72	S20	円形	－	0.26	0.24	－	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	－		
3	448		72	S20	円形	－	0.57	0.54	－	－	－	－	土器、骨		井戸
3	449		72	S15	楕円形	－	0.22	0.19	－	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	－		
3	450		72	T16	楕円形	－	0.56	0.38	－	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	土器		
3	451		72	S20	不整形	－	0.47	0.36	－	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	－		
3	452		72	T16	円形	－	0.16	0.16	－	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	－		
3	453		72	T16	円形	－	0.30	0.29	－	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	－		
3	454		72	T17	円形	－	0.24	0.22	－	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	－		
3	455		72	T17	円形	－	0.20	0.20	－	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	－		
3	456		72	T17	楕円形	－	0.26	0.22	－	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	－		
3	457		72	T11、S15	楕円形	E	1.12	1.00	0.67	灰黄褐色～にぶい黄褐色	10YR4/2～4/3	6層II層主体	土器		
3	458		72	T16	不整形	C	0.52	0.34	0.50	灰黄褐色	10YR4/2	4層II層主体	土器		柱穴状
3	481		72	T11	円形	C	－	－	－	－	－	－	－		井戸
6	562		74	W2	円形	C	0.22	0.17	0.26	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	1層II層主体	－		
6	635		74	W1	楕円形	A	0.48	0.40	0.22	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物を多く混入	－		
6	636		74	W1、2	円形	C	0.76	0.72	－	－	－	－	土器		井戸
6	637		74	W1	円形	C	0.26	0.25	0.20	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物粒を多く混入	－		
6	638		74	W1	円形	C	0.28	0.26	0.09	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物粒を多く混入	－		
6	639		74	W1	円形	C	0.36	0.34	0.12	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物粒を多く混入	－		
6	640		74	V5	円形	E	0.45	0.36	0.17	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物粒を多く混入	土器		
6	641		74	V5	楕円形	E	0.53	0.35	0.22	－	－	－	土器		
6	642		74	V5	円形	C	0.41	0.40	0.16	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物粒を多く混入	－		
6	643		74	V5	円形	E	0.28	0.28	0.18	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物粒を多く混入	－		
6	644		74	V5	円形	C	0.65	0.59	0.23	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物粒を多く混入	土器		
6	645		74	V5	円形	E	0.66	0.66	0.53	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物粒を多く混入	土器		
6	646		74	V5	円形	E	0.27	0.24	0.18	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物粒を多く混入	－		
6	647		74	R21	円形	B	0.18	0.16	0.27	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物粒を多く混入	－		

表29－7　平安後期～中世の土坑（SK）一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色　調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
6	648		74	Q25、R21	円形	A	0.26	0.26	0.12	黄灰色	2.5YR4/1	1層II層主体	－		
6	649		74	R21	円形	C	0.28	0.28	0.28	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物粒を多く混入	－		
6	650		74	W1	楕円形	C	0.38	0.24	0.10	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物粒を多く混入	－		
6	651		74	W1	不整形	G	1.05	0.32	0.20	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物粒を多く混入	土器		
6	652		74	V5、W1	不整形	E	－	－	0.21	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物粒を多く混入	土器、石器		
6	653		74	W1	円形	C	1.10	1.08	－	－	－	－	土器、石器、骨、鉄製品	87	井戸
6	655		74	W1	円形	A	0.58	0.51	0.28	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物粒を多く混入	土器		
6	656		74	V5	方形	C	1.54	1.24	0.43	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物粒を多く混入	土器		
6	657		74	W1	不整形	G	0.60	0.57	0.15	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物粒を多く混入	土器		
6	658		74	W1	円形	C	0.30	0.29	0.25	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物粒を多く混入	－		
6	659		74	W1	長方形	C	1.48	0.95	0.28	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物粒を多く混入	土器		
6	660		74	W1	円形	E	0.37	0.36	0.21	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物粒を多く混入	－		
6	661		74	W1	円形	C	－	－	－	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物粒を多く混入	土器		
6	662		74	W1	円形	A	0.25	0.20	0.07	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物粒を多く混入	土器		
6	663		74	W1	円形	C	0.36	0.34	0.15	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物粒を多く混入	－		
6	664		74	W1	楕円形	E	－	－	0.34	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物粒を多く混入	－		
6	665		74	Q25、V5	長方形	C	1.24	0.84	0.17	黒褐色	10YR3/1	1層II層主体　炭化物粒を多く混入	土器、石器		
6	706		74･75	Q25	円形	C	0.34	0.30	0.14	にぶい黄褐色	10YR4/1	1層	－		
6	708		74･75	Q25	楕円形	C	0.38	0.20	0.11	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
4	717		74	R23、24	－	－	－	－	0.60	褐灰色	10YR4/1	1層II層主体　褐色土ブロックを多く混入	土器		
4	718		74	R19､24	円形	B	0.74	0.62	0.84	にぶい黄褐色	10YR5/4	1層	土器、石器		
4	719		73	R20	方形	C	1.80	0.74	0.79	黄灰色	2.5Y4/1	3層II層主体　黄褐色土ブロックを多く混入	土器、石器、鉄滓		
4	720	中世？	73	S17	円形	C	1.30	1.24	－	－	－	－	土器		井戸
4	722		73	S17	不整形	－	1.74	1.44	－	－	－	－	土器、石器	81	井戸
4	725		73	R20、S16	円形	C	1.82	(1.58)	－	－	－	－	土器、石器、鉄滓、種子		井戸
4	726		73	S16	楕円形	C	－	－	0.26	黄灰色	2.5Y4/1	1層II層主体	－		
4	727		73	S16、17	円形	C	0.84	0.84	－	－	－	－	土器、石器、木製品	84	井戸
4	730		73	S17	円形	－	1.64	1.41	－	－	－	礫を混入	土器、石器		井戸
4	731		73	S17	－	A	－	－	0.39	黄灰色	2.5Y4/1	1層II層主体	土器、石器、鉄		
4	732		73	S17	－	C	－	－	0.18	黒褐色	7.5YR3/2	1層	土器		
4	733	中世？	73	S18	円形	C	1.48	1.26	－	－	－	礫を多く混入	土器、石器	76･81	井戸
6	736		74･75	Q24	－	－	－	－	0.16	暗褐色	10YR3/4	1層II層主体	土器		
6	737		74･75	V4	円形	C	0.46	0.36	0.08	暗褐色	10YR3/4	1層II層主体	－		
6	738		74･75	V4	不整形	C	－	－	0.18	暗褐色	10YR3/4	2層II層主体	土器		
6	739		74･75	V4	円形	C	0.38	0.30	0.28	暗褐色	10YR3/4	1層II層主体	－		
6	740		74･75	V4	円形	C	0.24	0.24	0.07	暗褐色	10YR3/4	1層II層主体	－		
6	741		75	V4	－	－	－	－	0.30	褐灰色～黒褐色	10YR4/～3/1	5層II層主体	銭	86	
6	742		75	V4	－	E	－	－	0.33	暗褐色	10YR3/4	4層II層主体　炭化物粒を多く混入	土器、石器		
6	743		75	V4	円形	C	0.50	0.42	0.33	暗褐色	10YR3/4	1層II層主体	土器		
6	744		75	V9	円形	B	0.36	0.24	0.13	暗褐色	10YR3/4	1層II層主体	－		
6	745		75	V9	円形	B	0.32	0.28	0.18	暗褐色	10YR3/4	1層II層主体	－		
6	746		74･75	V4	－	C	－	－	0.22	暗褐色	10YR3/4	1層II層主体	土器		
6	747		74･75	V4	円形	C	0.20	0.18	0.22	暗褐色	10YR3/4	1層II層主体	－		
6	748		74･75	V4	円形	B	0.26	(0.26)	0.41	暗褐色	10YR3/4	1層II層主体	－		

表29－8　平安後期～中世の土坑（SK）一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
6	749		74･75	V 4	円形	B	0.26	0.24	0.31	暗褐色	10YR3/4	1層II層主体	石器		
6	750		75	V 4	円形	C	0.28	0.26	0.18	暗褐色	10YR3/4	1層II層主体	－		
4	751		73	S16	楕円形	C	2.02	1.50	－	－	－	－	土器、木製品、骨、鉄製品、種子	84	井戸
4	752		73	S18	円形	C	0.94	0.76	－	－	－	－	－		井戸
4	753		73	S16	円形	C	0.88	(0.80)	－	－	－	－	土器		井戸
4	754		73	S16	円形	C	(0.80)	(0.76)	－	－	－	－	土器		井戸
4	755		73	S16	不整形	C	2.34	2.04	0.40	黄灰色	2.5Y4/1	1層II層主体	－		
4	757		73	S16	不整形	A	0.60	0.40	0.16	黄灰色	2.5Y4/1	1層II層主体	－		
4	758		73	S16	長方形	C	0.90	0.62	0.30	黄灰色	2.5Y4/1	1層II層主体	土器		
4	759		73	S18	楕円形	C	0.96	0.66	0.26	黒褐色	7.5YR3/2	1層	土器、石器		
4	760		73	S18	不整形	G	1.02	0.70	0.22	黒褐色	7.5YR3/2	1層	－		
4	764		73	S18	円形	C	0.36	0.34	0.33	黄灰色	2.5Y4/1	1層II層主体	土器		
4	765		73	S16	円形	C	0.24	0.20	0.17	黄灰色	2.5Y4/1	1層II層主体	－		
6	766		75	V 4	楕円形	C	0.28	0.18	0.06	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	767		74･75	V 4	円形	B	0.24	0.20	0.18	暗褐色	10YR3/4	1層II層主体	－		
6	768		75	V 9	円形	B	0.28	0.28	0.26	暗褐色	10YR3/4	1層II層主体	－		
6	769		75	V 8、9	楕円形	C	0.60	0.38	0.11	暗褐色	10YR3/4	1層II層主体	土器		
6	770		75	V14	円形	E	0.36	0.30	0.17	暗褐色	10YR3/4	1層II層主体	土器		
6	771		75	V 9	円形	C	－	－	0.18	暗褐色	10YR3/4	1層II層主体	土器		
6	772		75	V 4	円形	C	0.28	0.26	0.18	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	773		75	V 4	円形	C	0.28	0.24	0.18	暗褐色	10YR3/4	1層II層主体	－		
6	774		75	V 4	円形	C	0.34	(0.34)	0.21	暗褐色	10YR3/4	1層II層主体	－		
6	775		74･75	V 4	－	－	－	－	0.17	暗褐色	10YR3/4	1層II層主体	土器、鉄製品	87	
6	776		74･75	V 4	－	B	－	－	0.25	暗褐色	10YR3/4	1層II層主体	土器		
6	777		74･75	Q24、V 4	楕円形	E	0.46	0.38	0.22	暗褐色	10YR3/4	1層II層主体	土器		
6	778		74･75	Q24、25	楕円形	C	0.40	0.24	0.16	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	土器		
6	779		74･75	V 4	不整形	G	1.06	0.60	0.40	暗褐色	10YR3/4	2層II層主体	土器、鉄滓		
6	780		74･75	Q25	円形	C	0.20	0.14	0.11	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
6	781		74･75	V 4	楕円形	C	0.24	0.16	0.11	にぶい黄褐色	10YR4/3	2層II層主体	－		
6	785		75	V 9	長方形	A	0.54	0.48	0.10	暗褐色	10YR3/4	1層II層主体	土器		
6	786		75	V 9	円形	B	0.28	0.22	0.15	暗褐色	10YR3/4	1層II層主体	土器		
6	790		75	V 9	円形	B	0.32	0.28	0.25	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
4	803		74	R22	円形	C	0.38	0.32	0.10	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層	－		
4	804		74	R17	楕円形	A	1.54	0.24	0.38	灰黄褐色	10YR4/2	1層II層主体	－		
4	824		73	S16	円形	C	1.44	1.24	－	－	－	－	土器、石器、銅製品		井戸
4	826		74	R18、19	－	－	－	－	0.13				土器		
4	862		74	R23	円形	B	0.22	0.22	0.52	灰色	5Y5/1	1層	－		
4	865		73	S17	円形	C	1.28	1.24	－	－	－	－	土器、木製品	84	井戸
4	866		73	S17	円形	E	0.24	0.22	0.29	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	1層II層主体	土器		
4	883		73	S17	円形	C	－	－	－	－	－	－	土器、石器		井戸
4	885		73	S18	円形	C	0.98	0.90	－	－	－	－	土器、鉄製品、種子、木製品	76･84	井戸
5	909		74･75	Q14	－	C	－	－	0.12	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	土器		
5	910		74･75	Q14	円形	A	0.16	0.14	0.09	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	－		
5	991		74･75	Q14	円形	B	0.16	0.16	0.15	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	－		
5	992		74･75	Q14	円形	B	0.16	0.12	0.19	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	－		
5	993		74･75	Q14	方形	E	0.18	0.14	0.17	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	－		
5	994		74･75	Q14	円形	B	0.16	0.15	0.20	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	－		
5	995		74･75	Q14	－	E	－	－	0.21	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	－		
5	996		74･75	Q14	円形	B	0.24	0.18	0.16	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	－		
5	997		74･75	Q14	方形	C	0.96	0.94	0.14	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	土器		
5	998		74･75	Q14	円形	E	0.34	0.32	0.21	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	－		
5	999		74･75	Q14	楕円形	C	0.38	0.30	0.45	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	－		
5	1000		74･75	Q 9	楕円形	B	0.30	0.22	0.41	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	－		
5	1001		74･75	Q 9	－	A	－	－	0.15	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	－		

表29－９　平安後期～中世の土坑（SK）一覧

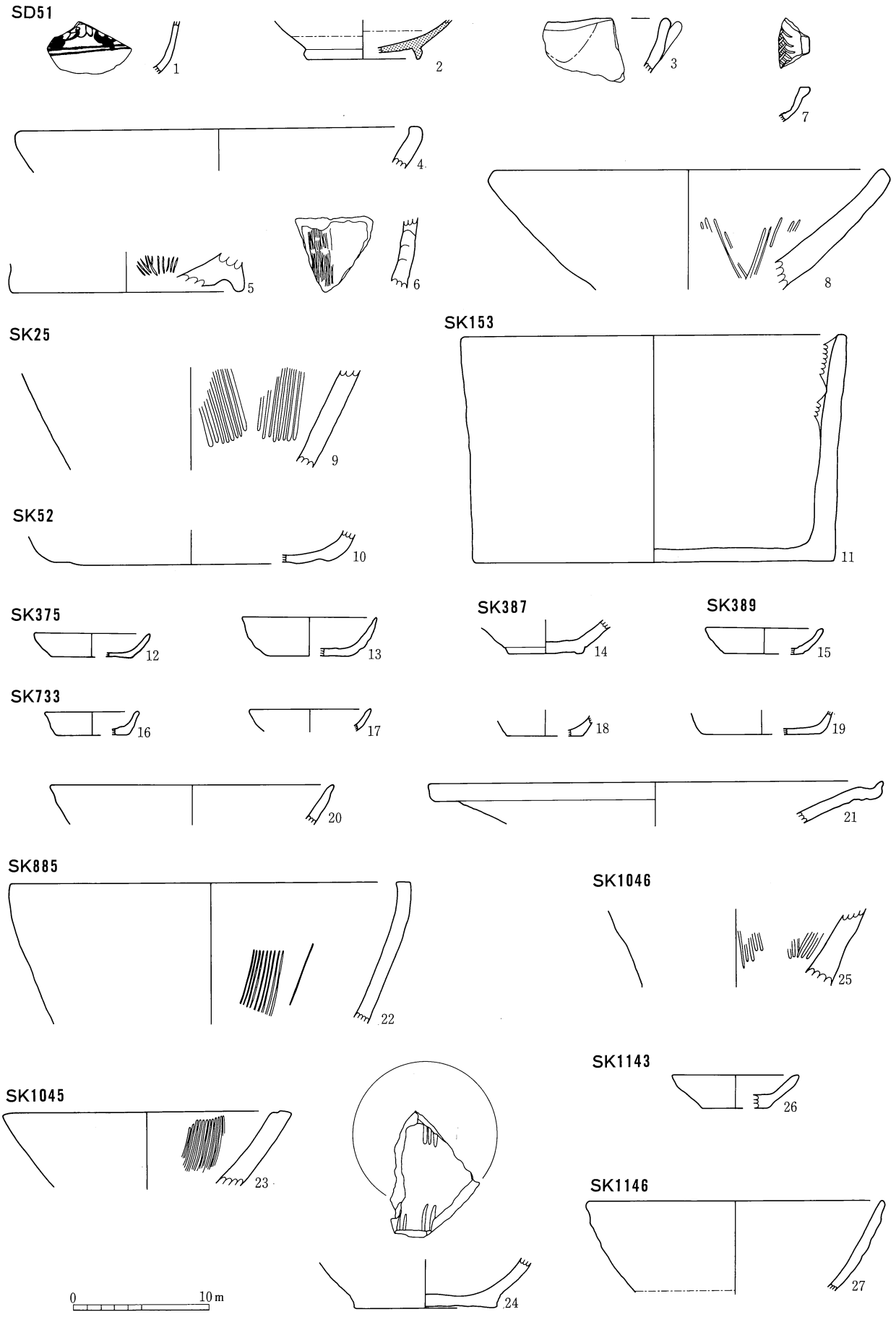
仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
5	1002		74･75	Q９、14	－	A	－	－	0.30	にぶい黄褐色～暗褐色	10YR4/3～3/3	３層II層主体　にぶい黄褐色土ブロックを多く混入	土器、骨		
5	1003		75	Q９	円形	B	0.26	(0.26)	0.27	暗褐色	10YR3/3	１層II層主体	土器、骨		
5	1005		75	Q４	楕円形	E	－	0.58	0.21	にぶい黄褐色	10YR4/3	１層焼土粒を多く混入	石器		
5	1006		74･75	Q９	楕円形	A	0.90	0.80	0.08	暗褐色	10YR3/3	１層II層主体	土器		
5	1007		74･75	Q14	－	C	－	－	0.28	灰黄褐色	10YR4/2	１層灰黄褐色の砂を多く混入	－		
5	1008		74･75	Q14	－	－	－	－	－	暗褐色	10YR3/3	１層II層主体	土器		
5	1013		74･75	Q14	円形	A	0.22	0.22	0.09	暗褐色	10YR3/3	１層II層主体	－		
5	1017		74･75	Q14	－	－	－	－	0.30	暗褐色	10YR3/3	１層II層主体	－		
4	1021		73	R15	円形	A	0.38	0.34	0.10	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	－		
4	1022		73	R15	不整形	B	0.56	0.32	0.56	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	土器		
4	1023		73･74	R20	楕円形	A	1.98	－	0.23	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	－		
4	1024		73	S12、13、17、18	楕円形	G	0.90	0.81	0.25	黄褐色～黒褐色	10YR5/6～3/1	２層II層主体	土器、石器		
4	1025		73	S12、17	長方形	G	1.62	1.06	0.51	灰黄褐色～黒褐色	10YR4/2～3/1	２層II層主体　焼土・炭化物粒を多く混入	土器		
4	1026	平安	73	S12	長方形	C	1.74	(1.04)	0.44	灰黄褐色～黒褐色	10YR4/2～3/1	２層II層主体　焼土・炭化物粒を多く混入	土器、石器		
4	1027		73	S11、12、16、17	方形	C	2.08	2.02	0.54	明黄褐色～黒褐色	10YR6/6～3/1	３層II層主体　焼土・炭化物粒を多く混入	土器、石器		
4	1028	平安	73	S16	長方形	G	1.76	1.08	0.73	灰黄褐色～黒褐色	10YR4/2～3/1	２層II層主体　焼土・炭化物粒・明黄褐色土ブロックを多く混入	土器		
4	1029		73	R20	長方形	C	－	－	0.25	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	土器、骨、鉄滓		
4	1030		73	R15	－	－	－	－	0.47	灰黄褐色～黒褐色	10YR4/2～3/1	２層II層主体　焼土・炭化物粒を多く混入	－		
4	1031		73	R20、S16	不整形	A	0.54	0.46	0.22	灰黄褐色～黒褐色	10YR4/2～3/1	２層II層主体　焼土・炭化物粒を多く混入	－		
4	1032		73	S11、16	長方形	C	－	－	0.56	灰黄褐色～黒褐色	10YR4/2～3/1	２層II層主体　焼土・炭化物粒を多く混入	－		
4	1033		73	S11	楕円形	A	0.32	0.26	0.14	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	－		
4	1034		73	S11	円形	A	0.22	0.22	0.11	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	－		
4	1035		73	S11、16	円形	A	0.44	0.36	0.22	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	－		
4	1036		73	R15、S11	楕円形	E	0.36	0.30	0.13	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	－		
4	1037		73	R15	円形	B	0.20	0.18	0.18	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	－		
4	1038		73	R20	円形	A	0.28	0.28	0.20	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	－		
4	1039		73	R15	円形	A	0.26	(0.26)	0.23	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	－		
4	1040		73	R20	楕円形	B	0.42	0.32	0.43	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	－		
4	1041		73	R20	長方形	C	2.36	1.30	0.43	灰黄褐色～黒褐色	10YR4/2～3/1	２層II層主体　焼土・炭化物粒を多く混入	－		
4	1042		73	S12	－	－	－	－	0.84	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	－		
4	1043		73	S13	－	－	－	－	0.29	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	－		
4	1044		73	S13	－	E	0.40	0.28	0.61	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	－		
4	1045		73	S13	円形	C	0.92	0.84	3.62	－	－	－	土器、石器、木製品	76･84	井戸
4	1046	中世	73	S13、18	円形	C	－	－	－	－	－	礫を混入	土器、石器、木製品	76･81	井戸
4	1047		73	S12	－	－	－	－	0.20	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	－		
4	1048		73	S12	円形	C	－	－	－	－	－	礫を混入	土器、石器		井戸
4	1049		73	S13	－	－	－	－	0.32	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	－		
4	1050		73	S13	円形	A	0.22	0.18	0.14	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	－		
4	1051		73	S13	楕円形	C	0.28	0.20	0.40	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	－		
4	1052		73	S13	楕円形	C	0.23	0.20	0.21	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	－		
4	1053		73	S13	楕円形	A	0.23	0.18	0.25	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	－		
4	1054		73	S12	－	C	－	－	0.20	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	土器		
4	1055		73	S12	円形	A	0.26	0.23	0.24	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	土器		
4	1056		73	S18	円形	B	0.20	0.20	0.22	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	－		
4	1059		73	R20	円形	E	0.26	0.23	0.20	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	－		
4	1071		73	S16	円形	C	1.26	1.12	3.53	黄灰色～黄褐色	2.5Y5/1～5/3	１層II層主体	土器、石器、木製品	84	
4	1073		73	S11	－	－	－	－	0.12	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	１層II層主体	－		

表29－10　平安後期～中世の土坑（SK）一覧

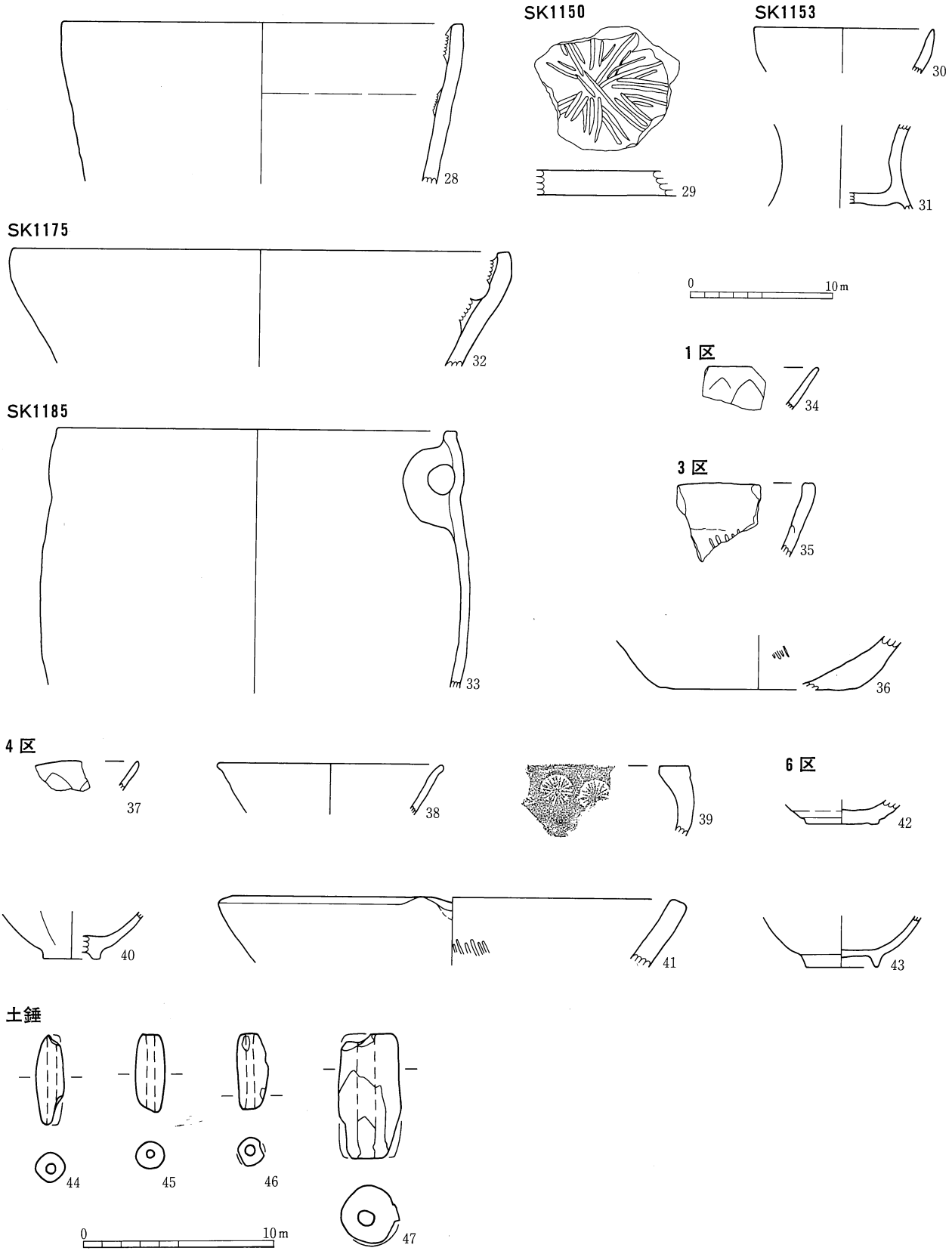
仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
4	1079		73	S13、18	不整形	C	0.56	0.56	0.39	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	1層II層主体	土器		
4	1081		73	S11	－	－	－	－	0.94	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	1層II層主体	土器		
5	1108		75	L19	－	C	－	－	0.61	にぶい黄褐色～黒褐色	10YR4/3～3/1	2層　明黄褐色土ブロックを多く混入	土器、石器、鉄		
5	1110		75	L24	－	－	－	－	－	にぶい黄褐色～黒褐色	10YR4/3～3/1	2層　明黄褐色土ブロックを多く混入	土器、石器		
1	1134		70	Q15、R11	円形	C	1.64	1.55	－	－	－	礫を多く混入	土器、石器、骨、木製品		井戸
1	1135		70	Q15	楕円形	C	0.84	0.56	0.10	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	1層II層主体	土器		
1	1136		70	Q15	－	C	－	－	0.16	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	1層II層主体	土器		
1	1137		70	Q14	円形	C	1.37	1.35	－	－	－	－	土器、石器、鉄滓、木製品	85	井戸
1	1138		70	Q14	円形	C	0.20	0.18	0.07	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	1層II層主体	－		
1	1139		70	Q13	長楕円形	C	1.46	0.84	0.34	褐灰色	10YR4/1	1層（砂質）　鉄分・焼土粒・炭化物粒を多く混入	土器、石器		
1	1140		70	Q12	円形	C	(1.20)	1.12	－	－	－	－	土器、貝殻、木製品、種子	85	井戸
1	1142		70	Q12	円形	C	0.85	0.74	－	－	－	－	土器、石器、木製品	85	井戸
1	1143		70	Q11	円形	C	1.66	1.42	－	－	－	－	土器、石器、昆虫遺体、鉄製品、鉄滓、木製品	76・85 87	井戸
1	1144		70	Q14	長方形	C	1.57	0.57	0.35	褐灰色	10YR4/1	1層（砂質）	土器		
1	1145		70	Q15	円形	C	0.84	0.77	－	－	－	－	土器		井戸
1	1146	中世	70	Q14	円形	C	1.15	1.05	－	－	－	－	土器、石器、木製品	76・77 82	井戸
1	1147		70	Q15、20 R11、16	円形	C	1.10	1.06	－	－	－	－	土器、鉄滓、木製品	85	井戸
1	1148		70	Q15	楕円形	C	0.51	0.36	0.32	褐灰色	10YR4/1	1層（砂質）	土器		
1	1149		70	Q12	円形	C	0.31	0.30	0.33	灰黄褐色	10YR4/2	1層	土器、石器		
1	1150		70	Q12	円形	C	0.84	0.80	2.62	－	－	－	土器、石器	77・82	井戸
1	1151		70	Q15	円形	A	0.26	0.25	0.30	褐灰色	10YR4/1	1層（砂質）　鉄分・焼土粒・炭化物粒を多く混入	－		
1	1153	中世？	70	Q12	円形	C	0.97	0.90	－	－	－	－	土器、石器、鉄滓、木製品、銅製品	77・87	井戸
1	1155		70	Q13	－	C	－	－	0.19	褐灰色	10YR4/1	1層（砂質）	土器		
1	1156		70	Q11	不整形	A	1.95	1.28	0.59	灰黄褐色	10YR4/2	1層　明黄褐色土ブロックを多く混入	土器、石器		
1	1157		70	Q12	不整形	G	－	－	0.42	褐灰色	10YR4/1	1層（砂質）	土器、石器		
1	1158		70	Q12	円形	C	－	－	－	－	－	－	土器、種子		井戸
1	1160		70	Q13	円形	A	0.39	0.30	0.58	灰黄褐色	10YR4/2	1層　明黄褐色土ブロックを多く混入	土器		
1	1161		70	Q12、13	円形	C	1.02	0.80	2.71	－	－	－	土器、石器、骨、木製品		井戸
1	1163		70	Q12、13	－	－	－	－	－	－	－	－	土器		井戸
1	1164		70	Q12	方形	C	0.51	0.44	0.32	褐灰色	10YR4/1	1層	土器		
1	1165		70	Q12	円形	G	－	－	0.50	褐灰色	10YR4/1	1層	土器		
1	1168		70	Q13	円形	A	0.18	0.17	0.22	褐灰色	10YR4/1	1層	土器		
2	1170		71	P13	円形	B	0.28	0.28	0.33	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	－		
2	1171		71	P13	円形	E	0.28	0.28	0.24	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	－		
2	1172		71	P13	楕円形	E	0.76	0.42	0.63	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	土器、鉄滓		
2	1173		71	P13	円形	B	0.46	0.42	0.22	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	土器		
2	1174		71	P13	円形	C	0.60	(0.44)	0.27	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	土器		
2	1175		71	P13	円形	C	0.74	0.70	－	－	－	－	土器、石器、鉄製品	77・87	井戸
2	1176		71	P13	楕円形	A	－	－	0.19	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	－		
2	1177		71	T15	円形	C	0.28	0.28	0.12	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	土器		
2	1178		71	T15	長方形	C	0.30	0.20	0.11	暗褐色	10YR3/3	1層（砂質）	土器		
2	1179		71	T15	円形	A	0.22	0.20	0.06	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	－		
2	1180		71	T15	円形	A	0.42	0.38	0.09	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	－		
2	1181		71	T15	楕円形	C	0.34	0.28	0.12	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	－		

表29－11　平安後期～中世の土坑（SK）一覧

仮地区	SK番号	時期	遺構図	中地区	平面形	断面類型	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	色　調	土色帳記号	堆積状況	遺物	遺物図	備考
2	1182		71	T15	円形	A	0.36	0.32	0.17	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	－		
2	1183		71	P11	円形	A	0.30	0.28	0.13	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	－		
2	1184		71	P11	円形	C	0.24	0.24	0.10	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	土器		
2	1185	中世？	71	P11	円形	C	1.24	1.14	－	－	－	－	土器、石器、鉄滓、木製品	77	井戸
2	1186		71	P11	円形	C	0.18	0.16	0.12	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	土器		
2	1187		71	P11	方形	G	0.26	0.26	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	土器		
2	1188		71	P11	不整形	G	0.44	0.38	0.30	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	土器		
2	1189		71	P11	方形	B	0.28	0.28	0.37	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	－		
2	1190		71	P11	楕円形	C	0.38	0.30	0.24	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	土器		
2	1191		71	P11	円形	B	0.26	0.26	0.22	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	－		
2	1192		71	P11	楕円形	B	0.38	0.32	0.30	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	土器		
2	1193		71	P11	不整形	C	0.52	0.38	0.31	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	土器		
2	1194		71	P11	円形	A	0.28	0.24	0.21	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	－		
2	1195		71	P11	不整形	B	0.38	0.30	0.26	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	土器、石器		
2	1196		71	P11	楕円形	A	0.34	0.26	0.14	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	土器		
2	1197		71	P11	楕円形	A	0.40	0.28	0.12	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	土器		
2	1198		71	P11	楕円形	B	0.36	0.30	0.29	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	土器		
2	1199		71	P11	楕円形	C	0.48	0.26	0.09	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	－		
2	1200		71	P11	円形	B	0.36	0.36	0.24	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	土器		
2	1201		71	P11	円形	E	0.26	0.26	0.12	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	土器		
2	1202		71	P11	楕円形	D	0.46	0.36	0.18	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	土器		
2	1203		71	P11	不整形	G	0.46	0.34	0.18	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	土器		
2	1204		71	P11	楕円形	B	0.42	0.32	0.29	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	土器		
2	1205		71	P11	方形	B	0.34	0.30	0.19	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	－		
2	1206		71	P11	楕円形	B	0.34	0.20	0.17	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	－		
2	1207		71	P11	楕円形	B	0.42	0.30	0.25	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	土器		
2	1208		71	P11	円形	G	0.46	0.44	0.16	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	－		
2	1209		71	P11	円形	A	0.28	0.24	0.11	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	土器		
2	1210		71	P11	円形	A	0.24	0.24	0.11	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	－		
2	1211		71	P11	不整形	A	0.62	0.38	0.15	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	－		
2	1212		71	P11	楕円形	B	0.36	0.26	0.20	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	－		
2	1213		71	T15	円形	C	1.06	0.90	－	－	－	－	土器、石器		井戸
2	1214		71	T15	－	A	－	－	0.11	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	土器		
2	1215		71	P11	不整円形	A	－	－	0.07	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	－		
2	1216		71	P11	楕円形	G	－	－	0.31	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	土器、骨		
2	1217		71	P11	長方形	C	1.32	0.84	0.17	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体　炭化物を多く混入	土器		
2	1218		71	P12	円形	E	0.34	0.34	0.32	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	土器		
2	1219		71	P11	－	C	－	－	0.24	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	1層II層主体	－		
2	1220		71	P12	円形	B	0.44	0.38	0.32	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	土器		
2	1221		71	P14	－	－	－	－	0.23	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	－		
2	1222		71	P11	円形	C	0.29	0.26	0.12	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	－		
2	1224		71	T15	－	A	－	－	0.10	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	土器		
2	1225		71	P11	楕円形	G	0.80	0.66	0.33	暗褐色	10YR4/3	1層II層主体	土器、骨		
2	1226		71	P11	楕円形	C	0.42	0.34	0.17	にぶい黄褐色	10YR4/3	1層II層主体	－		
1	1232		70	Q15、R11	－	C	－	－	0.19	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	1層II層主体	土器		
1	1233		70	R11	－	C	－	－	0.26	褐灰色～黒褐色	10YR4/1～3/1	1層II層主体	土器		
1	1234		70	Q11、12	－	C	－	－	0.12	褐灰色	10YR4/1	1層（砂質）	土器		
1	1236		70	Q15、20	円形	C	0.54	0.50	0.45	黒褐色	10YR3/2	1層　炭化物粒・焼土粒・明黄褐色土ブロックを多く混入	土器		
1	1243		70	Q11	－	－	－	－	0.44	暗褐色	10YR3/3	1層	－		
2	1253		71	P14	円形	A	0.32	0.32	0.19	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	－		
2	1257	平安	71	P11	不整形	G	－	－	0.31	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	土器		
2	1258		71	P11	不整形	G	0.80	0.52	0.17	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	－		
2	1259		71	P11	楕円形	A	0.58	0.44	0.12	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	－		
2	1266		71	P11	－	－	－	－	0.29	暗褐色	10YR3/3	1層II層主体	－		
2	1310		71·72	T14	－	－	－	－	1.02	灰黄褐色～褐色	10YR4/2～4/4	3層II層主体	土器		



第76図　平安後期～中世の土器　1



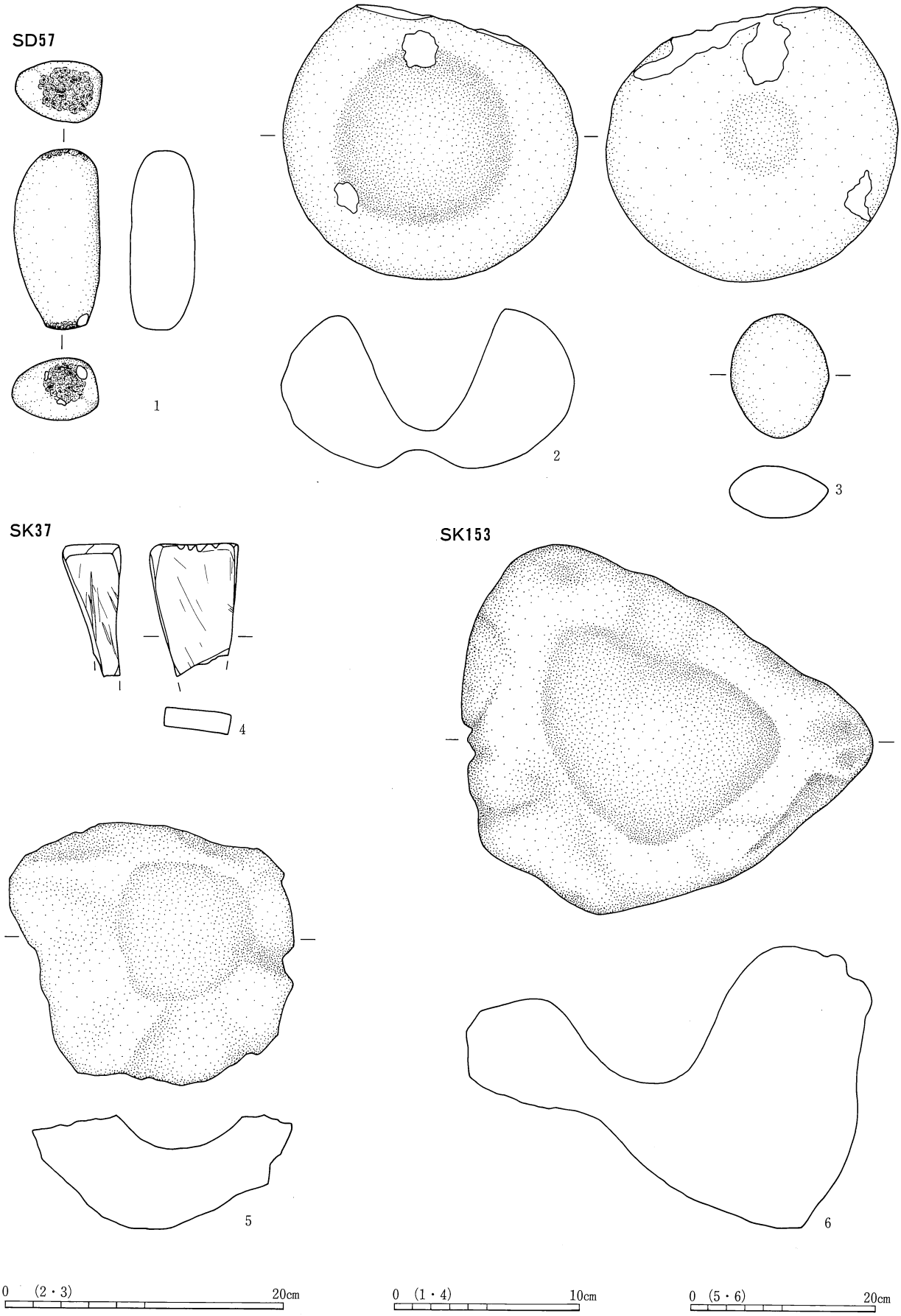
第77図　平安後期～中世の土器　2　土錘

表30－1　平安後期～中世の土器・土製品一覧

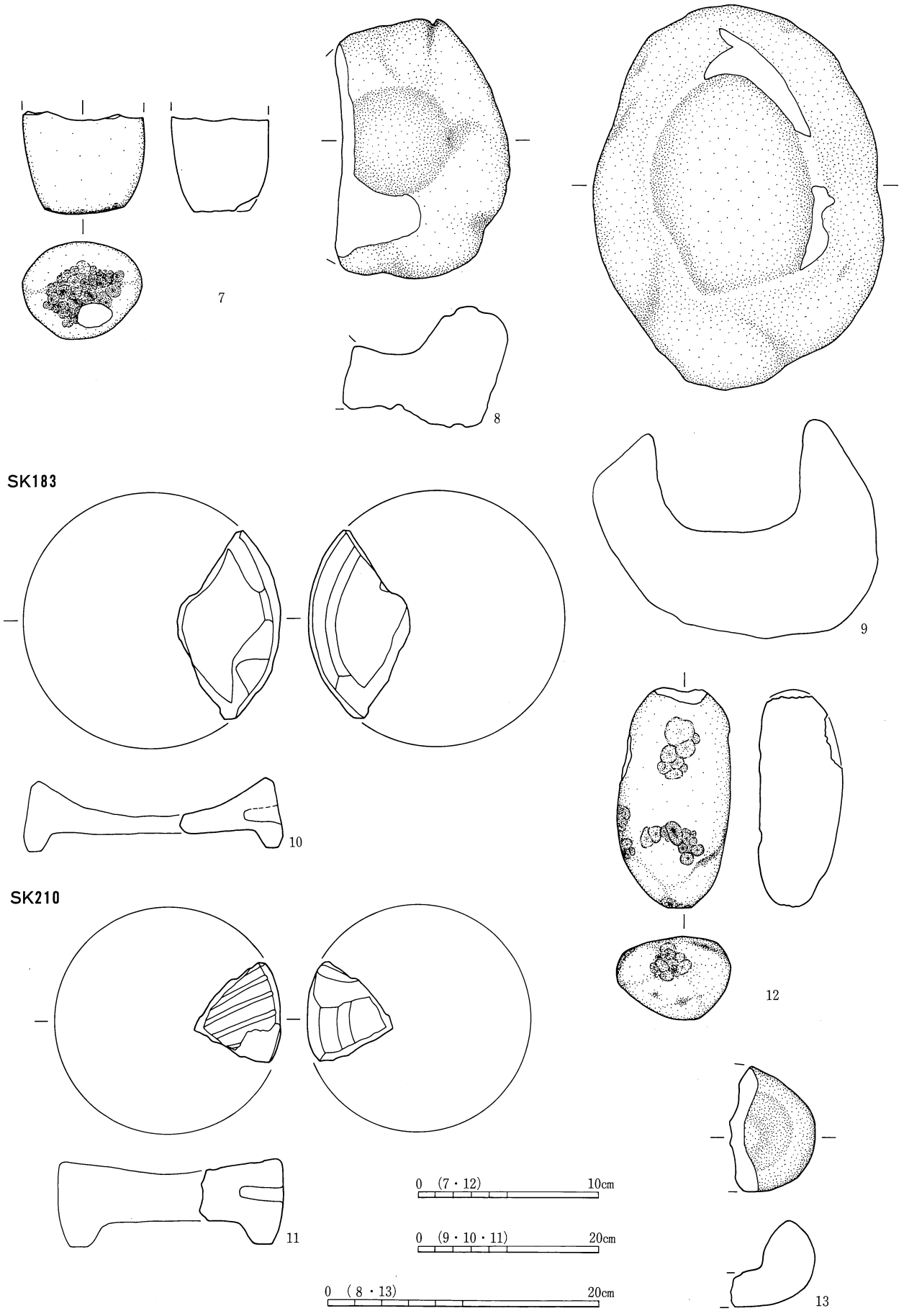
遺構番号	図番号	報告書番号	出土位置	器種	焼き物種別	口径	底径	器高	残存率	色調	外面整形	内面整形	底部整形	備考
SD51	76	1	埋土	碗	磁器				小片	明緑灰	釉	釉	－	
SD51	76	2	埋土	碗	灰釉	－	8.0	－	1/8	にぶい黄	ロクロナデ・釉	ロクロナデ・釉	回転ヘラ切り	釉・ハケ、光ケ丘
SD51	76	3	埋土		陶器	－	－	－	小片	にぶい黄褐	ロクロナデ	ロクロナデ	－	唐津
SD51	76	4	埋土		瓦質	30.0	－	－	小片	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SD51	76	5	埋土	すり鉢	陶器	－	17.2	－	小片	外暗赤褐、内褐灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SD51	76	6	埋土	すり鉢	土師	－	－	－	小片	浅黄	ナデ	ナデ・沈線	－	
SD57	76	7	埋土	卸皿	陶器	－	－	－	小片	灰白	ナデ・釉	ナデ・沈線・釉	－	古瀬戸
SD57	76	8	埋土	すり鉢	瓦質	28.6	－	－	1/8	灰	ナデ	ナデ	－	
SK25	76	9	埋土	すり鉢	瓦質	－	－	－	小片	外黒褐、内灰	ナデ	ナデ・沈線	－	在地産
SK52	76	10	埋土	内耳鍋	瓦質	－	10.0	－	小片	黒	ナデ	ヨコナデ	型打	外面煮こげ
SK153	76	11	埋土	内耳鍋	土師	28.2	26.0	16.5	1/4	外黒褐、内橙	ナデ	ナデ	型打	
SK375	76	12	埋土	かわらけ	土師	8.6	6.0	1.8	1/3	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SK375	76	13	埋土	かわらけ	土師	10.0	6.2	2.8	1/8	浅黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SK387	76	14	埋土	平碗	陶器	－	5.6	－	1/3	外灰、内灰白	回転ヘラケズリ	釉	回転糸切り→回転ヘラケズリ	古瀬戸
SK389	76	15	埋土	かわらけ	土師	8.6	6.0	1.9	1/8	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SK733	76	16	埋土	かわらけ	土師	7.0	5.5	1.8	1/6	黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SK733	76	17	埋土	かわらけ	土師	8.8	－	－	小片	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
SK733	76	18	埋土	かわらけ	土師	－	5.6	－	小片	外にぶい黄橙、内灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SK733	76	19	埋土	かわらけ	土師	－	8.8	－	1/8	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SK733	76	20	埋土	平碗	陶器	20.8	－	－	小片	灰白	釉	釉	－	古瀬戸
SK733	76	21	埋土		土師	33.6	－	－	小片	明赤褐	ナデ	ナデ	－	
SK885	76	22	埋土	すり鉢	陶器	28.6	－	－	小片	灰	ナデ	ナデ・沈線	－	
SK 1045	76	23	埋土	すり鉢	瓦質	19.8	－	－	小片	にぶい褐	ナデ	ナデ・沈線	－	在地産
SK 1045	76	24	埋土	すり鉢	瓦質	－	10.6	－	底1/6	にぶい褐	ナデ	ナデ・沈線	ナデ	
SK 1046	76	25	埋土	すり鉢	瓦質	－	－	－	小片	灰	ナデ	ナデ・沈線	－	在地産
SK 1143	76	26	埋土	かわらけ	土師	9.2	5.0	2.4	1/5	にぶい黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	
SK 1146	76	27	埋土	平碗	陶器	21.8	－	－	1/8	灰白	ロクロナデ・釉	ロクロナデ・釉	－	古瀬戸
SK 1146	77	28	埋土	内耳鍋	土師	28.2	－	－	1/3	外黒褐、内にぶい褐	ナデ	ナデ		
SK 1150	77	29	埋土	すり鉢	土師	－	－	－	小片	外明赤褐、内橙	ナデ	ナデ・沈線	－	内外面摩滅、在地産
SK 1153	77	30	埋土	天目茶碗	陶器	12.6	－	－	1/8	赤黒	釉	釉	－	古瀬戸
SK 1153	77	31	埋土	瓶子	陶器	－	－	－	小片	外オリーブ灰、内灰白	釉	ロクロナデ	ロクロナデ	古瀬戸
SK 1175	77	32	埋土	内耳鍋	瓦質	35.0	－	－	小片	外褐灰、内黒褐	ナデ	ナデ	－	口縁面取り
SK 1185	77	33	埋土	内耳鍋	土師	28.0	－	－	1/6	にぶい黄橙	ナデ	ナデ	－	口縁面取り、耳2
	77	34	Ⅰ区カクラン	碗	磁器	－	－	－	小片	外緑灰、内オリーブ灰	釉	釉	－	龍泉窯系鎬蓮弁文
	77	35	3区Ⅲ層	すり鉢	瓦質	－	－	－	小片	黒褐	ナデ	ナデ・沈線		
	77	36	3区Ⅲ層	すり鉢	須恵	－	13.8	－	小片	外灰黄、内灰	ナデ	ナデ・沈線	ナデ	在地産

表30－2　平安後期～中世の土器・土製品一覧

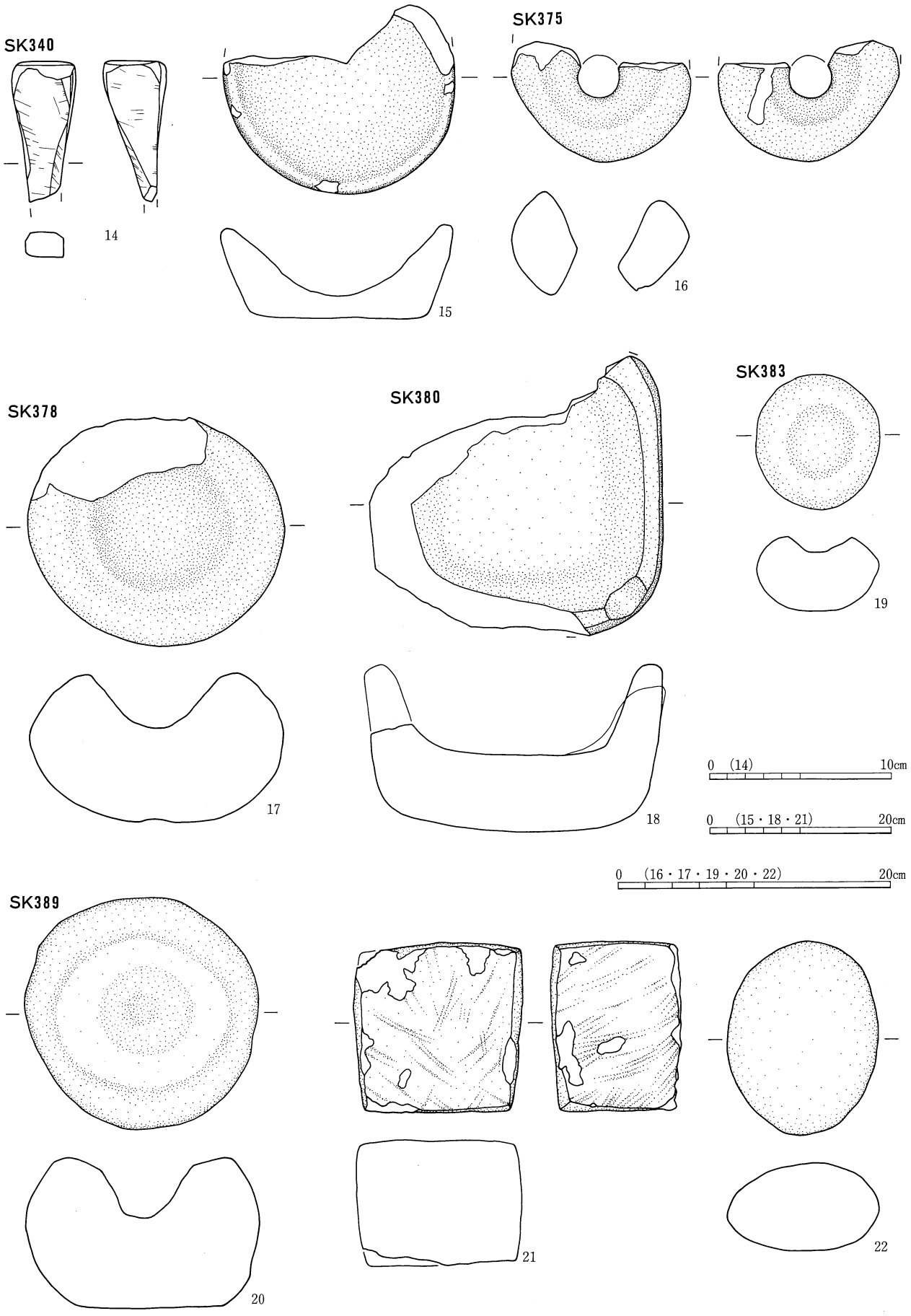
遺構番号	図番号	報告書番号	出土位置	器種	焼き物種別	口径	底径	器高	残存率	色調	外面整形	内面整形	底部整形	備考
	77	37	4区III層	碗	磁器	－	－	－	小片	緑灰	釉	釉	－	龍泉窯系鎬蓮弁文
	77	38	4区II層	碗	磁器	16.0	－	－	小片	明オリーブ灰	釉	釉		中国産
	77	39	4区II層	火鉢	瓦質	－	－	－	小片	外黒、内灰褐	ナデ・印刻	ナデ	－	口縁面取り
	77	40	4区II層	青磁碗	磁器	－	4.6	3.3	1/8	オリーブ灰	釉	釉	ナデ・ケズリ	龍泉窯系鎬蓮弁文
	77	41	4区II層	すり鉢	須恵	31.0	－	－	小片	暗灰	ナデ	ナデ・沈線	－	口縁面取り、在地産
	77	42	6区II層	碗	陶器	－	5.2	－	底1/2	外灰黄、内オリーブ灰	回転ヘラケズリ	釉	回転ヘラケズリ	古瀬戸
	77	43	6区III層	碗	磁器	－	5.0	－	1/4	緑灰	釉	釉	ナデ・ケズリ	龍泉窯系
SK270	77	44	埋土	土錘	土師	径1.6	長4.7		2/3	にぶい褐	ナデ	ナデ	－	
	77	45	1区II層	土錘	土師	径1.5	長4.1		ほぼ完	にぶい赤褐	ナデ	ナデ	－	
	77	46	4区II層	土錘	土師	径1.6	長4.1		1/2	にぶい赤褐	ナデ	ナデ	－	
	77	47	6区II層	土錘	土師	径3.1	長6.5		3/4	にぶい赤褐	ナデ	ナデ	－	
SD43	PL 18	48	埋土	瓶子	陶器	－	－	－	小片	外オリーブ灰、内灰白	釉	ナデ	－	
SD51	PL 18	49	埋土	碗	磁器	－	－	－	小片	オリーブ灰	釉	釉	－	龍泉窯系鎬蓮弁文
SK25	PL 18	50	埋土	水注	磁器	－	－	－	小片	外明緑灰、内灰白	型打、釉	ナデ	－	中国産青白磁
SK867	PL 18	51	埋土	皿	磁器	－	－	－	小片	灰白	釉	釉	－	中国産白磁
SK867	PL 18	52	埋土	直線鉢	陶器	27.0	－	－	小片	灰白	釉	釉	－	古瀬戸
SK730	PL 18	53	埋土	すり鉢	須恵？	－	－	－	小片	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	
	PL 18	54	3区III層	皿	磁器	－	－	－	小片	灰白	釉	釉	－	白磁
	PL 18	55	3区III層	碗	磁器	－	－	－	小片	灰白	回転ヘラケズリ、釉	釉	－	中国産白磁
	PL 18	56	3区III層	すり鉢	瓦質	－	－	－	小片	外黄橙、内にぶい黄	ナデ	ナデ・沈線	－	内面摩滅、在地産
	PL 18	57	4区II層	小皿	陶器	－	－	－	小片	灰オリーブ	ナデ、釉	釉	－	古瀬戸
	PL 18	58	4区III層	皿	磁器	－	－	－	小片	淡黄	回転ヘラケズリ、釉	釉	－	中国産白磁
	PL 18	59	4区II層	甕	陶器	－	－	－	小片	外にぶい赤褐、内明褐	釉	ナデ	－	常滑



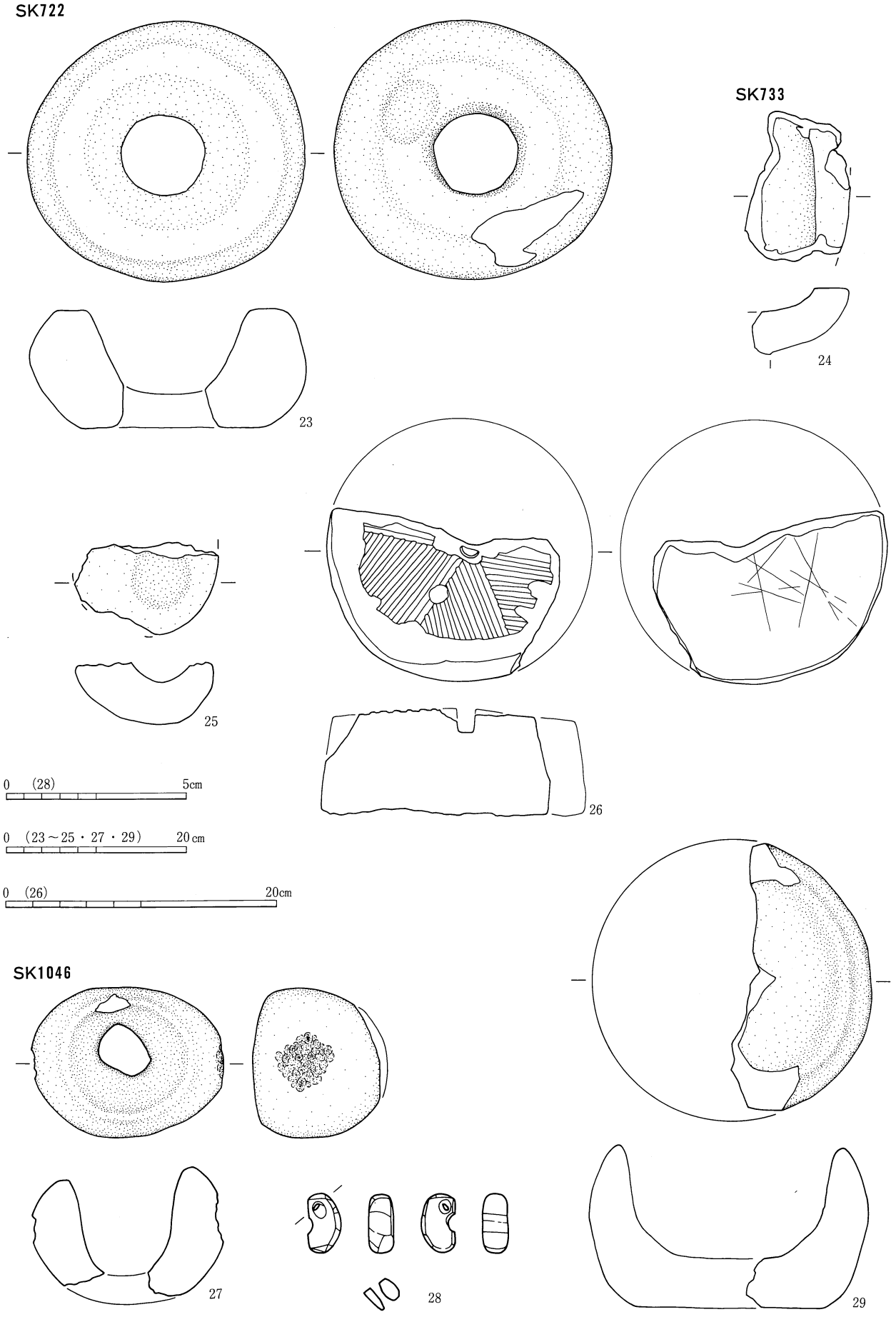
第78図　平安後期～中世の石器・石製品　1



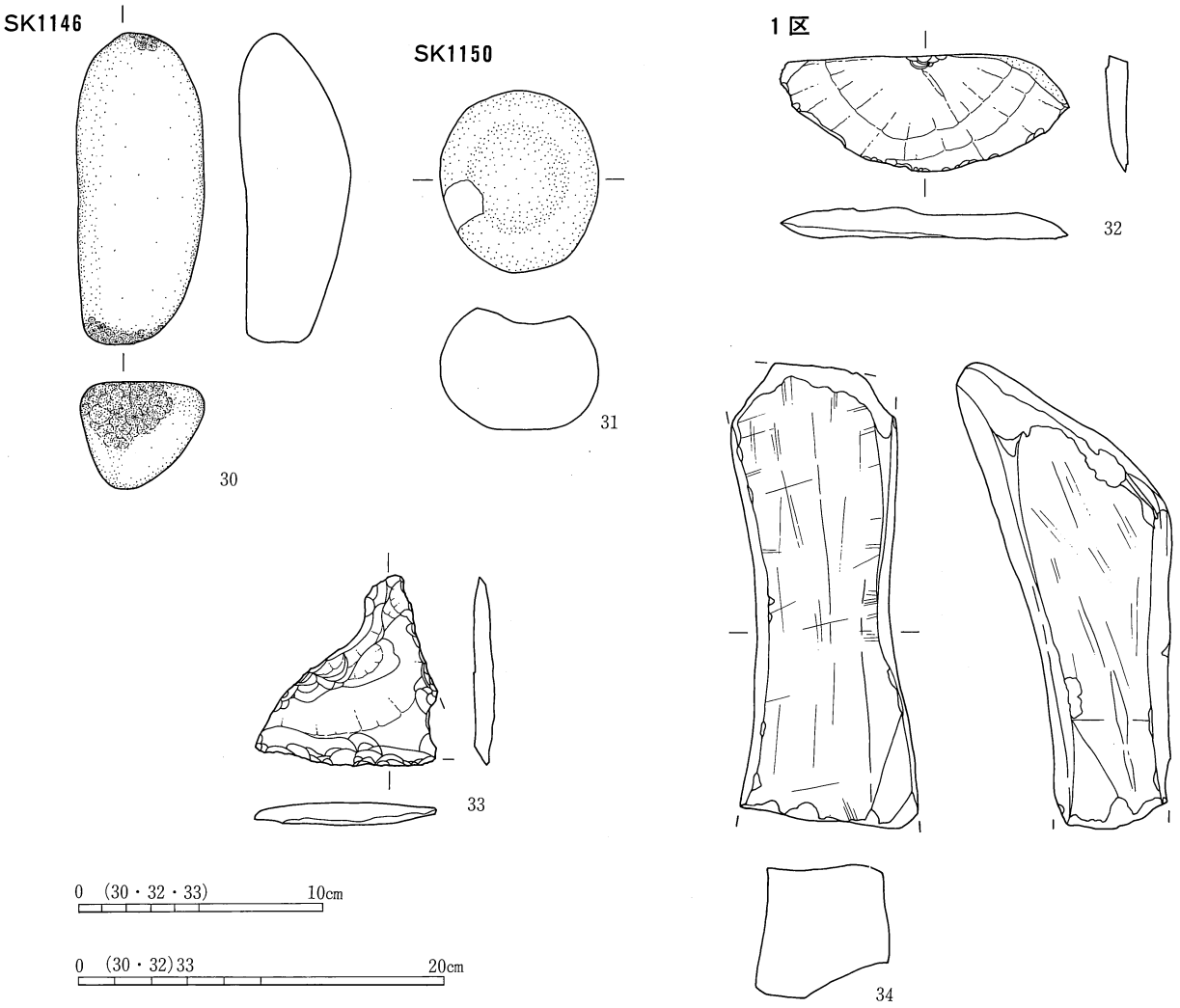
第79図　平安後期～中世の石器・石製品　2



第80図　平安後期～中世の石器・石製品　3



第81図　平安後期～中世の石器・石製品　4



第82図　平安後期～中世の石器・石製品　5

(3)　木製品

平安後期～中世の遺構から出土した木製品は、96点で全て井戸跡からの出土である。うち26点を図示し(図83～85)、掲載した遺物の属性を一覧表（表32）に示した。

(4)　貨幣

本遺跡から出土した貨幣は、II層及び平安後期～中世に属する遺構から出土した５点と、４区の攪乱から出土した１点の合計６点で、すべての資料の拓本を図86に示し、その属性を表33に示した。

(5)　金属製品・鉄生産関連遺物

II層及び平安後期～中世の遺構から出土した資料は銅製品２点、鉄製品25点で、器種の判明したものを中心に17点を図示し（図87)、掲載した遺物の属性を一覧表（表34）に示した。鉄生産関連遺物は、鍛冶滓13点158.57ｇ、椀形鍛冶滓９点379.15ｇ（含鉄鍛冶滓１点78.2ｇを含む)、羽口及び炉壁の破片が出土している。

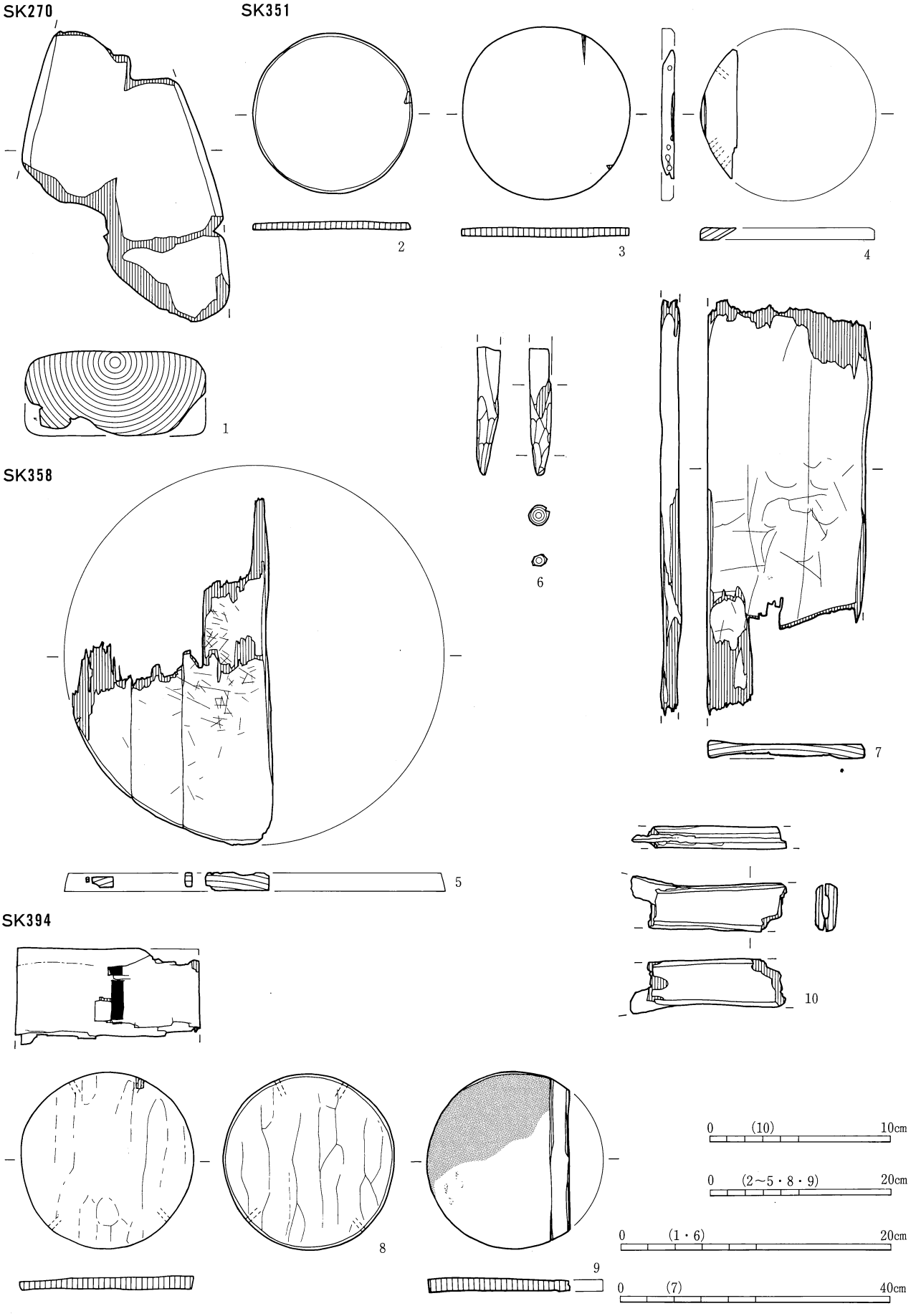
註

1　茂原信生氏の御教示による。下顎骨・歯及び椎弓の一部が出土している。

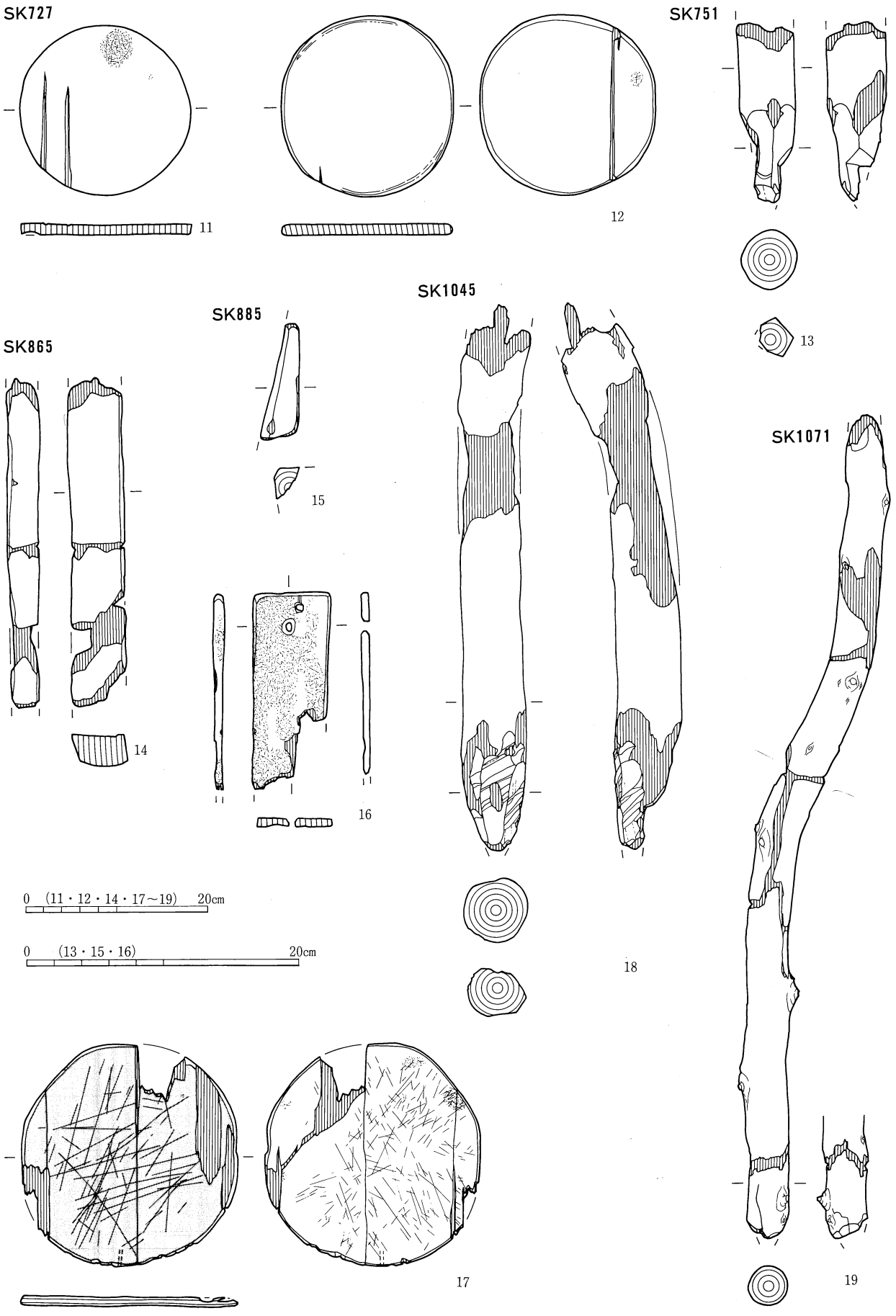
表31　平安後期～中世の石器・石製品属性表

図番号	番号	遺構番号	出土位置	器　種	状　態	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	材　質	備　考
78	1	ＳＤ57	埋土	敲石	ほぼ完形	9.9	4.6	3.5	255.0	安山岩	
78	2	ＳＤ57	埋土	くぼみ石	一部欠損	21.4	(19.2)	10.7	(4250.0)	安山岩	
78	3	ＳＤ57	埋土	磨石	完形	9.0	7.1	3.6	300.0	安山岩	
78	4	ＳＫ37	埋土	砥石	1/3残存	(7.3)	(4.8)	(3.2)	(110.0)	凝灰岩	
78	5	ＳＫ153	埋土	くぼみ石	完形	31.6	28.1	11.0	12000.0	安山岩	
78	6	ＳＫ153	埋土	くぼみ石	完形	45.0	36.3	31.2	47500.0	石英斑岩	
79	7	ＳＫ153	埋土	敲石	1/2残存	(6.8)	(5.7)	(5.6)	(305.0)	安山岩	
79	8	ＳＫ153	埋土	くぼみ石	2/3残存	19.1	(12.4)	8.9	(845.0)	軽石	
79	9	ＳＫ153	埋土	くぼみ石	ほぼ完形	43.1	31.6	21.9	(16850.0)	安山岩	
79	10	ＳＫ183	埋土	石臼	1/4残存		径 28.2	8.0	(1225.0)	安山岩	
79	11	ＳＫ210	埋土	石臼	1/5残存		径 24.9	9.3	(760.0)	安山岩	
79	12	ＳＫ210	埋土	敲石	一部欠損	(12.2)	6.3	4.8	(530.0)	安山岩	
79	13	ＳＫ210	埋土	くぼみ石	1/2残存	(9.3)	(6.2)	5.5	(160.0)	安山岩溶岩	
80	14	ＳＫ340	埋土	砥石	1/2残存	(7.7)	(3.5)	(3.2)	(100.0)	凝灰岩	
80	15	ＳＫ340	埋土	くぼみ石	2/3残存	25.4	(17.2)	7.7	(2960.0)	安山岩	
80	16	ＳＫ375	埋土	くぼみ石	1/2残存	13.0	(7.2)	7.8	(420.0)	安山岩溶岩	
80	17	ＳＫ378	埋土	くぼみ石	一部欠損	18.6	16.5	10.6	(4100.0)	安山岩	
80	18	ＳＫ380	埋土	石鉢	1/2残存	32.0	(28.5)	15.7	(11650.0)	凝灰岩	
80	19	ＳＫ383	埋土	くぼみ石	完形	10.0	9.0	5.9	420.0	安山岩	
80	20	ＳＫ389	埋土	くぼみ石	完形	17.3	17.2	11.2	2380.0	安山岩	スス付着
80	21	ＳＫ389	埋土	台石	ほぼ完形	18.9	18.7	14.0	(5150.0)	安山岩	五輪塔
80	22	ＳＫ389	埋土	磨石	完形	14.3	11.2	6.5	830.0	安山岩溶岩	
81	23	ＳＫ722	埋土	くぼみ石	ほぼ完形	20.6	19.3	9.0	(2820.0)	安山岩	スス付着
81	24	ＳＫ733	埋土	石鉢	ほとんど欠損	(11.1)	(7.3)	(3.7)	(285.0)	安山岩	
81	25	ＳＫ733	埋土	くぼみ石	2/3残存	10.2	(6.4)	4.4	(230.0)	安山岩溶岩	
81	26	ＳＫ733	埋土	石臼	1/2残存		径 29.4	11.6	(6200.0)	安山岩	
81	27	ＳＫ1046	埋土	くぼみ石	一部欠損	13.9	11.1	(9.3)	(1200.0)	安山岩溶岩	
81	28	ＳＫ1046	埋土	勾石	完形	1.6	0.9	0.7	1.93	ヒスイ	
81	29	ＳＫ1046	埋土	くぼみ石	1/2残存		径 31.0	7.1	(910.0)	安山岩溶岩	スス付着
82	30	ＳＫ1146	埋土	敲石	完形	12.7	5.3	4.4	450.0	閃緑岩	
82	31	ＳＫ1150	埋土	くぼみ石	ほぼ完形	10.0	8.7	6.7	(650.0)	凝灰岩	
82	32		ⅡＱ－20	刃器	完形	12.0	4.9	1.3	67.75	頁岩	
82	33		ＩＱ－９	刃器	ほぼ完形	8.0	(7.5)	0.9	(50.0)	頁岩	
82	34		１区	砥石	2/3残存	(25.0)	9.1	7.2	(2675.0)	砂岩	

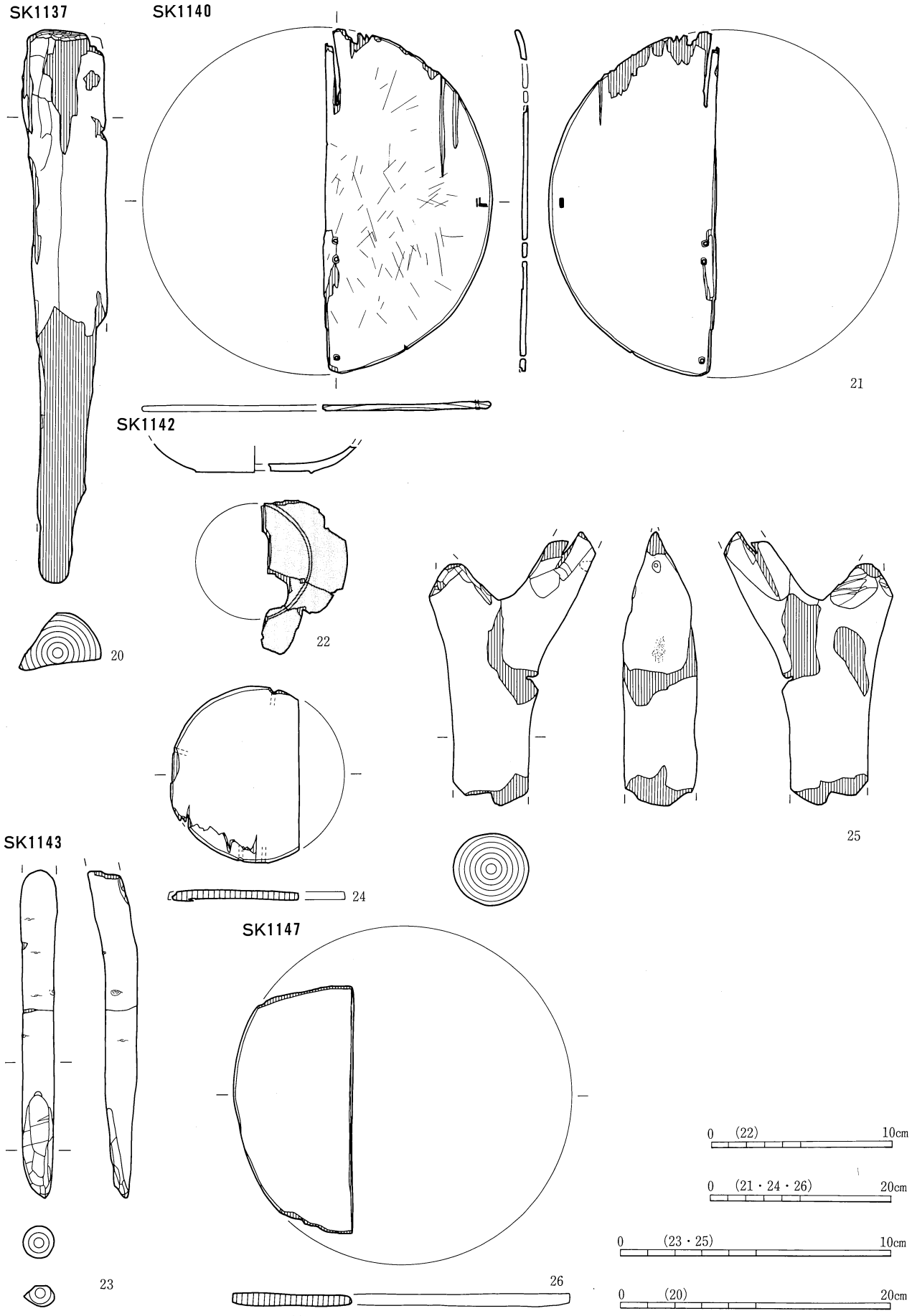
（　）内の数字は残存している所の最大値



第83図　平安後期～中世の木製品　1



第84図　平安後期～中世の木製品　2



第85図　平安後期～中世の木製品　3

表32　平安後期～中世の木製品一覧

図版No	図No	出土地点	手法	木目	名称	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	樹　種	備　考
83	1	ＳＫ270	削りだし	芯もち	部材	17.3	13.7	6.2	グミ属	
83	2	ＳＫ351	板材	柾目	曲物・底板		径 17.8	0.8	ヒノキ	
83	3	ＳＫ351	板材	柾目	曲物・底板		径 19.3	0.9	ヒノキ	
83	4	ＳＫ351	板材	板目	曲物・底板		径 (19.0)	1.3	ヒノキ	釘穴４
83	5	ＳＫ358	板材	板目	桶・底板		径 (42.2)	2.0	ヒノキ	刃痕有
83	6	ＳＫ358	丸木材	芯持ち	杭	9.4	径 1.6		ニシキギ属	
83	7	ＳＫ358	板材	板目	部材	61.5	24.2	2.8	ヒノキ	刃痕有
83	8	ＳＫ394	板材	柾目	曲物・底板		径 19.5	1.6	ヒノキ	釘穴４
83			板材	柾目	曲物・側板		12.0	0.3	ヒノキ	ケビキ線有、結合部樺皮残存
83	9	ＳＫ394	板材	柾目	曲物・底板		径 19.7	1.6	スギ	内面黒漆、一部炭化、側板破片有
83	10	ＳＫ394	板材	板目	刀子？	8.7	2.6	1.2	カラマツ属	金属一部残存
84	11	ＳＫ727	板材	柾目	曲物・底板		径 19.1	1.2	ヒノキ	一部炭化
84	12	ＳＫ727	板材	柾目	曲物・底板		径 20.1	1.2	ヒノキ	一部炭化
84	13	ＳＫ751	丸木材	芯持ち	杭	13.2	径 4.3		アカマツ	再利用？
84	14	ＳＫ865	板材	柾目	部材	35.6	6.1	3.3	ブナ属	
84	15	ＳＫ885	削りだし	芯持ち	不明	8.6	2.5	2.3	コナラ節	
84	16	ＳＫ885	板材	柾目	部材	14.2	5.5	0.7	ヒノキ	一部炭化、小穴２
84	17	ＳＫ885	板材	板目	曲物・底板		径 24.8	1.0	ヒノキ	内面黒漆、一部炭化、刃痕有
84	18	ＳＫ1045	丸木材	芯持ち	杭	59.8	径 7.0		クリ	樹皮残存 再利用？
84	19	ＳＫ1071	丸木材	芯持ち	杭	90.5	径 4.7		散孔材	樹皮残存
85	20	ＳＫ1137	丸木材	芯持ち	不明	82.0	径 12.0		コナラ節	
85	21	ＳＫ1140	板材	板目	曲物・蓋板?		径 (38.3)	0.6	ヒノキ属	刃痕有、結合部樺皮残存、小穴５
85	22	ＳＫ1142	逸物	横木取り	皿		底径 (6.4)	器高 (1.5)	ブナ属	内外面黒漆
85	23	ＳＫ1143	丸木材	芯持ち	杭	24.1	径 2.6		サクラ属	樹皮残存、破片有
85	24	ＳＫ1143	板材	柾目	曲物・底板		径 (19.4)	1.0	ヒノキ	釘穴４
85	25	ＳＫ1143	丸木材	芯持ち	不明	20.0	径 5.5		キハダ	一部炭化
85	26	ＳＫ1147	板材	柾目	曲物・底板		径 (37.0)	1.4	スギ	

表33　貨幣一覧

図番号	番　号	銭貨名	出土遺構	出土地点	初鋳造年　王朝名	外径（mm）
86	1	祥符通寶	ＳＫ741	埋　土	1008　宋	25
86	2	紹聖元寶		3区　II層	1094　宋	23
86	3	元豊通寶		3区　II層	1078　宋	24
86	4	宣和通寶		4区　II層	1119　宋	24
86	5	景祐元寶		4区　II層	1034　宋	25
86	6	一銭		4区　カクラン	1880　明治15年	27

表34　平安後期～中世の金属製品一覧

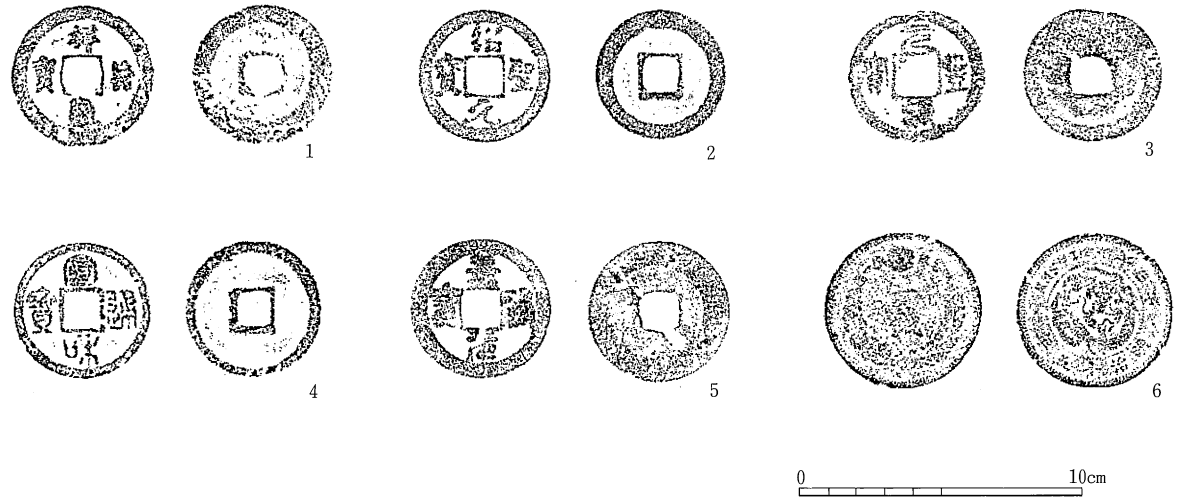
図番号	番号	遺物名	遺存状況	出土遺構	出土地点	遺構時期	長軸cm	短軸cm	厚さcm	重量g	備　考
87	1	釘	頭部・先端欠	ＳＤ51	埋　土	中世	3.3	1.3	0.3	2.6	
87	2	釘	先端欠	ＳＤ57	埋　土	中世	4.8	0.6	0.4	5.0	
87	3	不明	完	ＳＤ57	埋　土	中世	4.3	1.1	1.1	29.3	
87	4	不明	一端欠	ＳＫ24	埋　土		4.0	0.3	0.3	0.9	
87	5	鎌	1／2残存	ＳＫ78	埋　土		10.1	3.5	0.1	10.5	
87	6	釘	完	ＳＫ358	埋　土		3.4	0.4	0.4	1.6	
87	7	釘	ほぼ完	ＳＫ390	埋　土		4.5	0.4	0.3	0.8	
87	8	釘	先端欠	ＳＫ653	埋　土		5.2	0.4	0.3	1.43	
87	9	刀子	2／3残存	ＳＫ775	埋　土		7.0	0.8	0.3	2.3	
87	10	釘	頭部・先端欠	ＳＫ1143	埋　土		4.5	0.6	0.5	3.52	
87	11	不明	1／2残存	ＳＫ1153	埋　土		3.8	1.4	0.2	3.32	
87	12	釘	先端欠	ＳＫ1175	埋　土		3.5	0.7	0.4	2.1	
87	13	釘	頭部・先端欠		1区		7.1	0.7	0.6	3.3	
87	14	鏃	茎部欠		1区		10.5	1.0	1.0	13.45	
87	15	不明	一部欠		1区		1.6	1.5	0.1	0.75	
87	16	不明	不明		4区　II層		1.6	1.5	0.6	2.42	
87	17	鈴	1／4残存		6区　II層		2.2	1.4	0.1	2.84	

参考文献

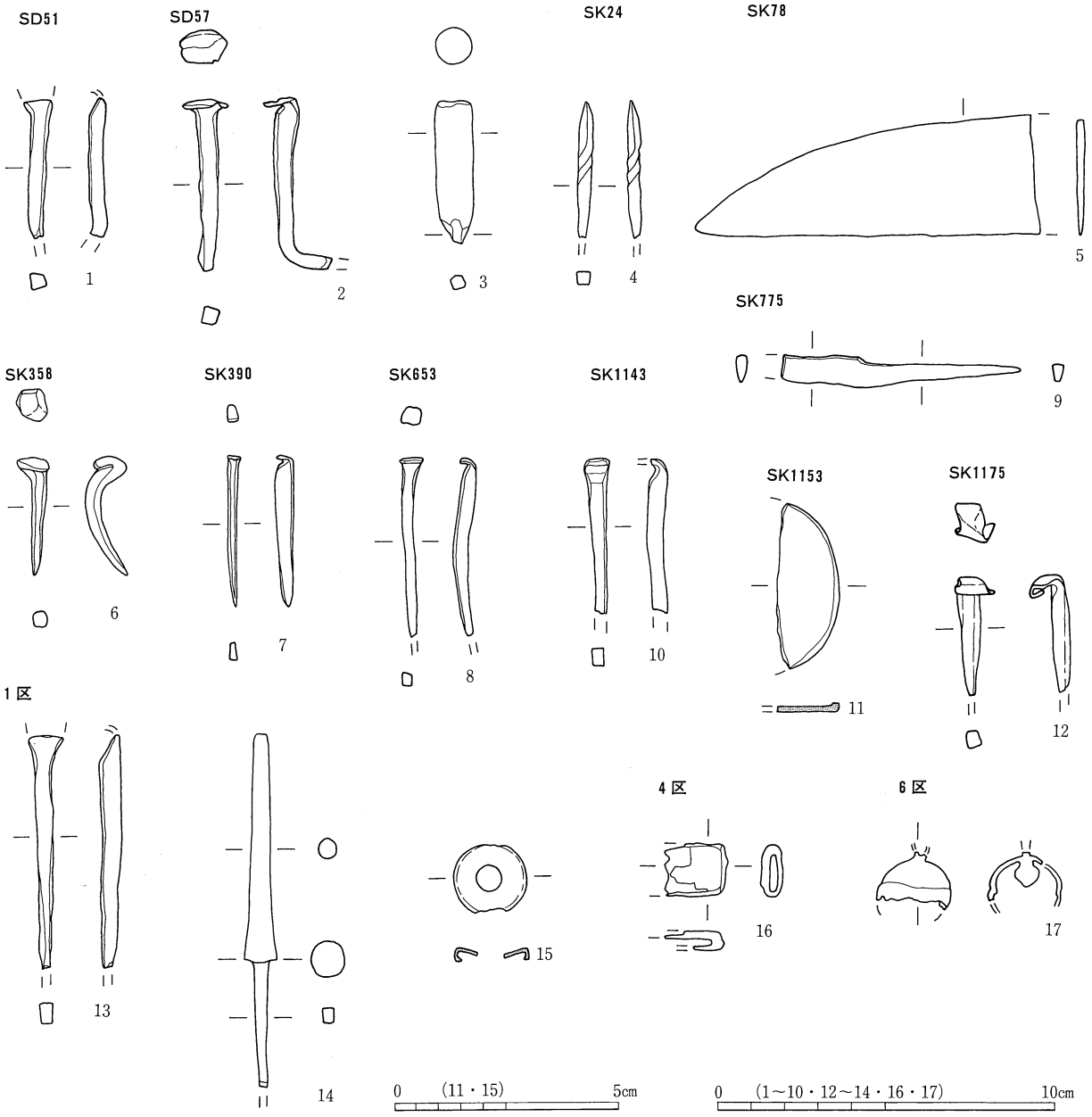
坂詰　秀一編　1986　考古学ライブラリー45　出土渡来銭―中世―

㈶長野県埋蔵文化財センター　1998　『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書 25―更埴市内その4―　更埴条里遺跡・屋代遺跡群　弥生・古墳時代編』

長野県埋蔵文化財センター　1999　『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書 26―更埴市内その5―　更埴条里・屋代遺跡群　古代編』



第86図　貨　幣



第87図　平安後期～中世の金属製品

第3章　まとめ

今回の発掘調査では、調査区の形状から、屋代遺跡群高速道地点でたくさんの貴重な資料が得られた地表面下4mにおよぶ縄文時代中期の面まで調査することはできなかった。しかしながら、広大な屋代遺跡群を南北方向に調査した高速道地点に対して、それに直交する形で西方への広がりを調査することができたことは、今後の屋代遺跡群を研究していく上で貴重な資料を提供することができた。以下に、調査の成果を述べて、まとめとしたい。

1　集落の変遷について

今回の調査では、縄文時代後期～中世にかけての遺構が確認されている。そして、この調査区が居住区として最初に利用されるのは、弥生時代中期後半の栗林期に入ってからである。この時期の住居跡は、2区と3区に点在するだけであるが、同じ屋代遺跡群の荒井遺跡からも、わずかではあるが同時期の住居跡が検出されていて、栗林式成立期の集落を考えるうえで、今後の研究に貴重な資料となろう。次に居住区が確認されたのは、古墳時代に入ってからで、屋代遺跡群高速道地点から広がる、古墳時代中期～後期の集落の西端が、2区で確認できた。7世紀後半～9世紀中頃は、細かい時期によって、若干住居跡の集中する地区の移動が認められるものの、ほぼ調査区全域に集落が広がっている。しかし、9世紀末の大洪水の前には、ほとんどの遺構は廃棄されてしまい集落は調査区から忽然と姿を消す。そして、9世紀末の大洪水のときには3区と6区の一部が、畠として使用されているだけである。しばらくの断絶の後中世になって、4区から5区にかけて館に関係すると思われる、堀などの遺構が確認された。

2　出土遺物について

1)　縄文時代の土器　資料は2点と少ないが、善光寺平では出土例の少ない後期後葉の安行Ⅰ・Ⅱ式の希少な資料を提示することができた。

2)　弥生時代の土器　屋代遺跡群国道403号土口バイパスの調査では、弥生中期後半の栗林土器様式成立に関する重要な土器資料を採集することができた。今日の長野盆地の調査・研究の成果では、松原、榎田遺跡等の調査成果に看取されるように、栗林様式後半段階の拡大した集落像が明らかになりつつあるが、栗林様式成立期の遺構、遺物の調査は限られている。今回の調査では、当該期における数軒の竪穴住居址と包含層を明らかにした。他時期の遺物混入をあまり考慮しなくてもよい検出状態で、今後長野盆地の基準資料となることは間違いなく、集落のあり方、石器生産と流通等、社会構造復元のためにも重要な調査となった。ここでは、基礎作業の土器研究を行うためにもごく簡単な整理を行う。

器種　破片資料が多いため、器種構成を復元することには困難を伴うが、器種は、細頸壺、太頸壺、甕、鉢、蓋、小型土器によって構成され、無頸壺の存在が予想される。その主体となるのは壺と甕である。壺は太頸壺（64）が例外的存在であり、主体となるのは細頸壺である。高杯、有孔鉢は当資料群では欠落している。蓋もつまみがつくタイプは存在しない。壺、甕、鉢で構成される様相は、栗林様式古相に位置付けられる資料も出土している長野市篠ノ井遺跡群高速道地点ＳＤ7110等でも同様な要素が指摘される。

看見にふれたところでは赤彩破片が提示されていないことになる。赤彩鉢は直立、あるいは内彎口縁の鉢が主体であるが、当資料群の鉢は大型で外反する口縁の鉢である。直立する口縁を持つ小型の赤彩壺は、

時に胴部に注口部を有すが、こういった器種は土口バイパス地点の資料には見当たらない。集落拡大期の松原、榎田遺跡等の栗林式土器の器種構成と大きな隔たりがあり、栗林式土器様式を理解する手がかりが同遺跡の破片資料の中に埋もれていよう。

甕の様相　プロポーションは、頸部と胴最大径の数値があまり変化のない倒鐘形を基本とする。第13図17に代表されるプロポーションであるが、52のように頸部がやや括れ、胴部が張り出す例もある。倒鐘形の特徴は、口径 ＞ 胴部最大径にある。ただし、55、76のようなプロポーションの存在を考慮しなくてはならない。篠ノ井遺跡ＳＤ7110では、口径 ＜ 胴部最大径となる器形が散見される。ここでは倒鐘形のプロポーションを注意しておくことにする。また、胴最大径下位の外面に有段部をもつ破片もないことを指摘しておきたい。

次に文様構成について触れる。口縁部の文様帯は、外反する口縁部に文様を施文するもの（11・12）と、施文しないもの（13・17）とがある。その比率は、２：１の割合で、施文を行うものが多い。提示した資料では、ＳＢ36ではその両者が共存し、松原遺跡の報告で様相１とした資料では口縁部に文様施文するものはない(註1)。当該期では両者の共存が指摘されるが、文様施文を行わない17の口縁部には強いヨコナデが施されている。一方、施文する12を観察すると文様の背後に、ヨコナデ痕跡を認めることができ、両者が混在する背景に口縁部ヨコナデ技法が見え隠れする。文様は横方向の羽状文と縦方向の羽状文、波状文という構成で、横方向の羽状文が圧倒的に多い。波状文の場合、波状文のみで構成されるものはなく、波状横帯文を縦区画する垂下文が認められる（53）。甕の文様構成には、羽状文、波状文、縦に区画する垂下文という文様構成を当データから読み取っておくことにする。羽状文に原体は、ヒゴを結束したもので、12のように３本結束、63のように４本結束のものがあり、その本数は少ない。一方、波状文、直線文の場合、その本数が多い傾向にある。施文原体については今後追求する必要がある。

壺の様相　壺は細頸壺と太頸壺があり、太頸壺は63の１点のみである。細頸壺には、細頸で口縁部が短く外反するもの（１・47・48・67・80・83・90）と、頸部がやや太く緩やかに外反するもの（49ａ・81・91）とがある。前者の場合、１を除いて、口縁部に至るまで施文することが基本となる。破片資料であり、一概には語れないが、同資料群の壺は、細頸で口縁部が短く外反する口縁形態がめだつ。胴上半の肩部から頸部の形態は、肩部から頸部にかけて変換点があり、頸部が筒状に立ち上がるもの（８）と、肩部から頸部にかけて変換点がなく、頸部が筒状にならずに立ち上がるものとがある。後者が多いように看取されるが、破片資料が多いため詳細は不明である。ただし、両者が共存していることを重視したい。プロポーションから理解できることは、栗林様式以前の様相と栗林様式の様相が混在することである。

次に、文様構成についてまとめてみたい。壺は形状の全容を知り得るものがなく、文様構成を復元する情報は限られている。しかしながら、断片の情報を組み合わせていくといくつかの類型に分類することができる。

Ａ　口唇端部から口縁部にかけて文様帯をもつもの（47・48・83・90）

Ｂ　口縁部に無文帯を有し、頸部以下の胴部に至るまで文様帯をもつもの（40・54・67・68・71・94）

Ｃ　頸部と胴部に文様帯を有し、その狭間の口縁部ならびに肩部に無文帯をもつもの（９・75）

Ｄ　頸部のみに文様帯をもつもの（49ａ・ｂ）

上記４類型の中でＤは２点のみで例外的存在である。Ｃも多くはない。主体となるものはＡとＢで、Ｂが文様構成の基本となっている。Ｂは頸部から胴部にかけて文様を連続させる文様充填型で、従来栗林様式でも古相の基準とされた構成である。これらの文様は沈線文、櫛描文、縄文によって多段横帯文を構成する点が特徴である。沈線による横帯区画内には、櫛描文と沈線文で充填される。櫛描文の場合、直線文、羽状文（54）、短斜線文（72）、波状文（45）があり、沈線文の場合、連弧文（54）、山形文（54）、重菱形文

(25)、鋸歯状文（38）等がある。沈線文施文原体による押し引き列点文もめだつところである。文様帯の分析は今後深めていかねばなるまい。

今後の課題　私どもは長野市松原遺跡の報告で、栗林様式最盛期の土器様相について、膨大な実測図を提示した(註2)。しかしながら、長野盆地における栗林様式成立期の資料は松原遺跡で確認できるのはごく僅かな資料である。一方、長野盆地南部の当該期の資料はごく限られた資料で、断片的な破片資料となる。私どもは、弥生時代中期前半期から栗林様式成立期の断片的資料をひとつひとつ積み重ね解析し、その基準を作成していかなくてはなるまい。長野盆地を見つめ、広く他地域を見つめることと、その中で長野盆地の地域編年の作成を行うことが急務となっている。その為には地道な作業が必要で、地域社会構造を他地域の研究成果を引用する形で究明することを急ぐべきではない。

3）　弥生時代の石器

土器などの遺物の出土量に対して、多くの石器が出土した。中でもＳＢ38からは、黒曜石の石鏃、石鏃や石錘の未製品、原石～砕片まで、また頁岩や閃緑岩・凝灰岩の大型剝片など、石器製作に係わるたくさんの遺物が出土しており、栗林期における、石器の製作・石材の流通などについて考えるひとつの資料となろう。また、包含層からではあるが、県内では希少な資料である、アメリカ式石鏃が出土している。

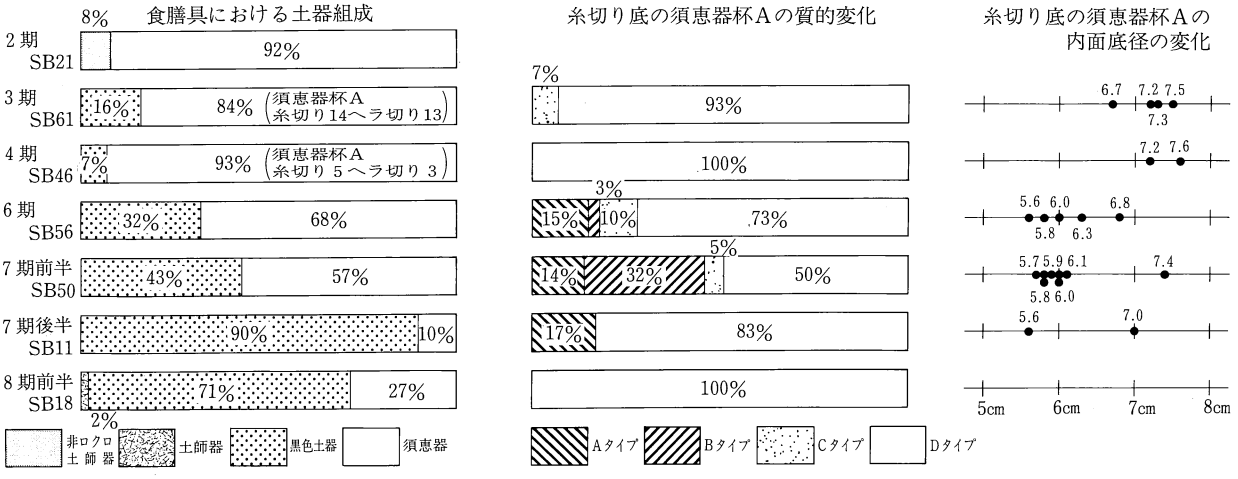
4）　飛鳥・平安時代の土器

飛鳥・平安時代の土器は、屋代遺跡群高速道地点と比較・検討できるように、その分類及び統計を基本的に、屋代遺跡群高速道地点と同様の方法で行った(註3)。各時期の特徴的な遺構をあげて、食膳具の組成比また、須恵器杯Ａの質的変化・内面底径の変化について、分析した結果を、表35(註4)に示す。

全体的に、遺構からの土器の出土量が少なく、さらに変化の指標となる須恵器杯Ａの出土量の少ない遺構が多く、その分析結果にはっきりと特徴のでるものが少なかった。しかし食膳具の組成表からは、古代６期になると、それまで主体だった須恵器の比率が低下し、黒色土器が増大し始め、７期には、その主体が黒色土器に変わり、８期になると土師器の食膳具が現れるといった、屋代遺跡群高速道地点と同じような結果が得られた。

また、須恵器の質的変化でも、６期から質の粗悪なものが認められるようになり、７期には、さらにその傾向が進むといった、同様な結果が認められた。

表35　飛鳥・平安時代の土器の消長



5）　木製品

当遺跡から出土している木製品はすべて井戸跡からの出土である。製品と認められるものは、曲げ物などの容器類がほとんどであるが、題箋軸状木製品としたものが、１点出土している。墨書が認められないためはっきりと題箋軸とはいえないものの、形状は題箋軸と同一である。題箋軸は官衙遺跡からの出土がほとんどで、屋代遺跡群高速道地点でも木簡の出土があり官衙の可能性が指摘されておりその可能性を裏付けるひとつの資料となろう。

最後になりましたが、発掘調査から報告書の刊行に至るまで、ご指導してくださった皆様、数多くの御教示をいただいた所内外の皆様、発掘調査・整理作業に参加していただいた皆様に深く感謝申し上げます。

本書が多くの方々にご活用頂くことを念願して、まとめとしたい。

註

1　青木一男　1996年「松原遺跡弥生編整理中間報告」『長野県埋蔵文化財センター紀要』５　㈶長野県埋蔵文化財センター

2　長野県埋蔵文化財センター　1998年『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書５　松原遺跡　弥生・総論４　弥生中期・土器図版』

3　統計処理する基礎データは、器種が明確に認定できるものの、口縁部または底部が、８分の１以上残存しているものを推定の１個体と考え、その推定の個体数を数え集計した。

4　各遺構の食膳具の組成比及び糸切り底の須恵器杯Ａの質的変化は、推定個体を基本資料として個体数比で表した。小数第１位を四捨五入するため、合計が100％にならない場合がある。

参考文献

更埴市教育委員会　1990　『更埴市埋蔵文化財調査報告書―平成元年度―』

㈶長野県埋蔵文化財センター　1996　『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書23―更埴市内その２―長野県屋代遺跡群出土木簡』

㈶長野県埋蔵文化財センター　1997　『中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書16　篠ノ井遺跡群』

鳥羽　英継　1999　「屋代遺跡群における古代の土器―善光寺平南縁の７世紀前半～９世紀後半の土器編年―」『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書26―更埴市内その５―　更埴条里遺跡・屋代遺跡群―古代１編―』

付章　自然科学的分析

第１節　出土黒曜石の原産地推定

網干　守・二宮修治（成城学園高等学校・東京学芸大学教育学部）

１　はじめに

今回は、屋代遺跡群国道403号土口バイパスから出土した黒曜石の原産地推定を試みた。本研究では、遺跡より出土した黒曜石について、エネルギー分散型蛍光Ｘ線分析により、主成分元素組成と原産地推定に有効な指標元素の測定を行い、原産地推定を試みた。エネルギー分散型蛍光X線分析は、分析資料を破壊することなく、簡便かつ短時間に定量分析が行えるという特徴を有することから、文化財資料の非破壊分析や考古遺物の原産地推定などで多くの成果が報告されている。

２　分析資料および分析方法

分析に供した資料を表１に示す。

原産地推定の基準となる原産地としては、関東地方周辺の主な原産地である高原山（栃木県塩谷郡）、星ケ塔（長野県諏訪郡下諏訪町）、小深沢（同県小県郡和田村）、男女倉（同）、麦草峠（同県南佐久郡八千穂村）、恩地島（東京都神津島村、ここでは、神津島として扱うこととする）、畑宿（神奈川県足柄下郡箱根町）、上多賀（静岡県熱海市上多賀町）、柏峠（同県四方群中伊豆町）の９原産地である。

エネルギー分散型蛍光Ｘ線分析により黒曜石資料中の主成分元素および指定元素の測定を行った。用いた装置は、セイコー電子工業製卓上型エネルギー分散型蛍光Ｘ線分析装置（エレメントモニター：SEA-2001）である。本研究では、測定する諸元素の適正条件を考慮して、同一視量に対し２種類の測定条件（測定１、測定２）で蛍光Ｘ線分析を行った。測定１は、岩石学的な特徴を見出すものであり、黒曜石のようなケイ酸塩岩石で一般的に行われている主成分の８元素［ケイ素（Si）、チタン（Ti）、アルミニウム（Al）、鉄（Fe）、マグネシウム（Mg）、カルシウム（Ca）、ナトリウム（Na）、カリウム（K）］の定量を目的とするものである。分析装置資料室を真空雰囲気下、照射Ｘ線の加速電圧15kVで、180秒間計測した。同一資料に対して測定箇所を変えて３回繰り返し測定した。定量は、標準資料として和田峠小深沢産黒曜石を用いてファンダメンタル・パラメータ法により行い、各元素の存在量は、岩石学の慣例に従って酸化物の形で計算した。

測定２は、原産地の識別･分類に有効な指標元素として、先の主成分８元素のうち特徴が認められる鉄、カルシウム、カリウムの３元素に、これらの元素と挙動が地球科学的にそれぞれ類似しているマンガン（Mn）、ストロンチウム（Sr）、ルビジウム（Rb）の３元素を加えた６元素の測定を目標とするものである。資料室大気雰囲気、加速電圧50kVで、計測時間、回数については、測定１と同じである。この測定では、標準資料を用いないファンダメンタル・パラメータ法により、６元素の酸化物を100とする濃度比として

求めた。

3　結果および考察

エネルギー分散型蛍光X線分析による、屋代遺跡群国道403号土口バイパス出土５点の黒曜石の測定１および測定２の結果をまとめて表２に示す。同様に、同一条件で測定した関東地方周辺の黒曜石の原産地９地点の結果を表３に示す。遺跡出土黒曜石の原産地推定は、原産地黒曜石の化学組成と対比することにより可能である。

本研究に供した屋代遺跡群国道403号土口バイパス出土５点の黒曜石の主成分化学組成（測定１）および指標６元素の値（測定２）は、比較的類似しており、同一の原産地から供給されたものと考えられる。遺跡より出土した黒曜石の原産地として、長野県の星ヶ塔産と推定される。

今回分析に供した屋代遺跡群国道403号土口バイパス出土の５点の黒曜石は、いずれも、県内の星ヶ塔（長野県諏訪郡）であった。この周辺の上信越自動車道屋代遺跡群・更埴条里遺跡、松原遺跡、春山Ｂ遺跡、榎田遺跡出土の黒曜石の原産地もすべて星ヶ塔であったことから、この付近の遺跡では、少なくとも縄文時代中期以降では、星ヶ塔（長野県諏訪郡）の黒曜石の使用が中心であったといえるであろう。さらに、周辺のほかの遺跡出土黒曜石について総合的な検討が待たれる。

〈参考文献〉

二宮修治・網千守（1994）「東京都練馬区栗山遺跡、東早淵遺跡出土黒曜石の原産地推定―非破壊蛍光Ｘ線分析による主成分元素組成にもとづく検討―」『練馬区栗山遺跡第２地点』栗山遺跡第２地点調査会・東京都住宅局：272－234

二宮修治（1995）「第３節　久保田遺跡出土黒曜石の原産地推定」『久保田遺跡』東京都板橋区久保田遺跡発掘調査報告書、久保田遺跡調査会：233－234

二宮修治・網千守（1996）「第２節　エネルギー分散型蛍光Ｘ千分析による千田第遺跡出土黒曜石の原産地」『多古町千田遺跡―BR／W南側NDB用地（無線施設埋蔵文化財報告書）―』千葉県埋蔵文化財センター調査報告　第283集：345－357

網千守・二宮修治（1998）「榎田遺跡（長野県長野市若穂綿内所在）出土黒曜石の原産地推定」㈶長野県埋蔵文化財センター

表１　分析試料－屋代遺跡群国道403号土ロバイパス出土黒曜石

分析No.	器種名	出土地区	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)
BYO 01	砕片	SB 67	1.8	1.8	0.3	1.0
BYO 02	砕片	SD 68	2.5	1.2	0.6	2.8
BYO 03	剥片B	SD 68	1.9	2.3	0.6	2.1
BYO 04	砕片	SL 3	1.7	2.0	0.7	2.2
BYO 05	砕片	4区	1.6	2.2	0.6	2.1

表２　エネルギー分散型蛍光Ｘ線分析による屋代遺跡群国道403号土ロバイパス出土黒曜石の測定結果

	測定１（%）								測定２（６成分を100とする比）					
	SiO_2	TiO_2	Al_2O_3	Fe_2O_3	MgO	CaO	Na_2O	K_2O	MnO	Fe_2O_3	SrO	CaO	Rb_2O	K_2O
BYO 01	77.7	0.1	13.1	0.8	0.0	0.5	3.4	4.3	3.1	32	0.3	7.7	1.2	56
BYO 02	77.3	0.1	12.9	0.8	0.0	0.5	3.9	4.4	3.7	31	0.3	6.7	1.1	58
BYO 03	76.8	0.1	13.1	0.8	0.0	0.5	4.3	4.3	3.1	31	0.3	8.6	1.2	56
BYO 04	76.0	0.1	13.0	0.8	0.0	0.5	5.3	4.2	3.0	38	0.3	9.0	1.2	49
BYO 05	77.5	0.1	13.0	0.8	0.1	0.5	3.8	4.2	2.8	31	0.4	8.6	1.0	56

表３　エネルギー分散型蛍光Ｘ線分析による東日本の主な原産地黒曜石の測定結果

	測定１（%）								測定２（６成分を100とする比）					
	SiO_2	TiO_2	Al_2O_3	Fe_2O_3	MgO	CaO	Na_2O	K_2O	MnO	Fe_2O_3	SrO	CaO	Rb_2O	K_2O
GO2 星ケ塔	76.2	0.2	13.2	1.1	0.1	0.7	3.7	4.9	3.4	32	0.3	9.9	1.1	54
GO1 高原山	75.3	0.5	12.9	2.5	0.1	2.0	3.7	3.1	1.3	56	0.8	16	0.8	24
GO2 星ケ塔	76.2	0.2	13.2	1.1	0.1	0.7	3.7	4.9	3.4	32	0.3	9.9	1.1	54
GO3 小深沢	76.6	0.1	13.1	1.0	0.1	0.6	4.1	4.5	4.2	32	0.04	10	2.4	50
GO4 男女倉	74.9	0.6	13.4	1.9	0.1	1.0	3.5	4.8	2.2	38	0.7	11	1.2	46
GO5 麦草峠	76.3	0.4	12.9	1.3	0.1	1.0	3.8	4.3	1.6	40	1.1	13	0.8	43
GO6 神津島	76.6	0.3	13.1	1.2	0.1	1.0	4.5	3.3	3.3	39	0.8	14	0.7	42
GO7 畑　宿	74.6	0.7	12.7	3.4	0.1	2.3	4.8	1.3	2.2	69	1.3	18	0.1	9
GO8 上多賀	76.1	0.4	12.8	2.4	0.1	2.0	4.3	1.9	1.7	61	1.2	20	0.3	16
GO9 柏　峠	73.6	0.6	12.6	2.7	0.1	2.3	3.7	2.4	1.1	58	0.9	25	0.2	15

第2節　出土木製品の樹種同定

松葉礼子（パレオ・ラボ）

1　はじめに

屋代遺跡群国道403号土口バイパスから出土した木製品の樹種、計32点を同定した。これらの木製品の時期は、飛鳥・平安時代5点、平安後期～中世27点で、杭、曲物、皿、刀子といった木製品が中心である。これらの木製品の樹種を明らかにする事で、遺物を理解する一助となす事を目的として樹種を同定した。

2　方法と記載

同定には木製品から直接、もしくは切り欠いたサンプルから片歯剃刀を用いて、木材組織切片を横断面（木口と同義・写真図版ａ）、接線断面（板目と同義・写真図版ｂ）、放射断面（柾目と同義・写真図版ｃ）の3方向作成した。これらの切片はガムクロラールにて封入し、永久標本とした。樹種の同定はこれらの標本を光学顕微鏡下で観察し、現生標本との比較により樹種を決定した。これらの内、各分類群を代表させる標本については写真図版を添付し、同定の証拠とするとともに同定根拠を後述する。結果は、表1に示す。なお、作成した木材組織プレパラートは、㈱パレオ・ラボで保管されている。

第1表　屋代遺跡群国道403号土口バイパス出土木製品の樹種同定結果

PAL No.	樹　種	製品名	部　位	木取り	出土地点	遺物番号	図番号	時　期
PAL 1	ヒノキ	題箋軸状木製品		板目	BYO　ＳＫ 867	No. 1	69-1	平安時代
PAL 2	カラマツ属	刀子？	柄	板目	BYO　ＳＫ 394	No. 4	83-10	平安後期～中世
PAL 3	クリ	不明		芯もち	BYO　ＳＫ 305	No. 10	63-1	飛鳥・平安時代
PAL 4	ヒノキ	曲物	底板	柾目	BYO　ＳＫ 727	No. 1	84-11	平安後期～中世
PAL 5	ヒノキ	曲物	底板	柾目	BYO　ＳＫ 727	No. 2	84-12	平安後期～中世
PAL 6	ヒノキ	曲物	底板	柾目	BYO　ＳＫ 351	No. 1	83-3	平安後期～中世
PAL 7	ヒノキ	曲物	底板	柾目	BYO　ＳＫ 351	No. 2	83-2	平安後期～中世
PAL 8	スギ	曲物	底板	柾目	BYO　ＳＫ 1147	No. 1	85-26	平安後期～中世
PAL 9	ヒノキ	曲物	底板	柾目	BYO　ＳＫ 394	No. 1-1	83-8	平安後期～中世
PAL 10	ヒノキ属	曲物	蓋板？	板目	BYO　ＳＫ 1140	No. 1	85-21	平安後期～中世
PAL 11	ケンポナシ属	部材		割材1/2	BYO　ＳＫ 305	No. 8	63-3	飛鳥・平安時代
PAL 12	グミ属	不明		芯もち	BYO　ＳＫ 270		83-1	平安後期～中世
PAL 13	アカマツ	杭		芯もち	BYO　ＳＫ 751	No. 9	84-13	平安後期～中世
PAL 14	ヒノキ	曲物	側板	柾目	BYO　ＳＫ 394	No. 1-2	83-8	平安後期～中世
PAL 15	ヒノキ	曲物	底板	板目	BYO　ＳＫ 351	No. 3	83-4	平安後期～中世
PAL 16	ヒノキ	曲物	底板	柾目	BYO　ＳＫ 1143	No. 1	85-24	平安後期～中世
PAL 17	ヒノキ	部材		柾目	BYO　ＳＫ 358	No. 4	83-7	平安後期～中世
PAL 18	フジキ	杭		芯もち	BYO　ＳＫ 305	No. 6	63-2	飛鳥・平安時代
PAL 19	クリ	杭		芯もち	BYO　ＳＫ 1045	No. 5	84-18	平安後期～中世
PAL 20	ブナ属	漆器	皿	横木	BYO　ＳＫ 1142	No. 1	85-22	平安後期～中世
PAL 21	ヒノキ	曲物	底板	板目	BYO　ＳＫ 885	No. 1	84-17	平安後期～中世
PAL 22	ヒノキ	桶	底板	板目	BYO　ＳＫ 358	No. 2	83-5	平安後期～中世
PAL 23	コナラ節	不明		削出し	BYO　ＳＫ 885	No. 7	84-15	平安後期～中世
PAL 24	ニシキギ属	杭		芯もち	BYO　ＳＫ 358	No. 1	83-6	平安後期～中世
PAL 25	散孔材	杭		芯もち	BYO　ＳＫ 1071	No. 1	84-19	平安後期～中世
PAL 26	コナラ節	不明		芯もち	BYO　ＳＫ 1137	No. 1	85-20	平安後期～中世
PAL 27	キハダ	不明		芯もち	BYO　ＳＫ 1143	No. 13	85-25	平安後期～中世
PAL 28	ブナ属	部材		板目	BYO　ＳＫ 865	No. 1	84-14	平安後期～中世
PAL 29	スギ	曲物	底板	柾目	BYO　ＳＫ 394	No. 2	83-9	平安後期～中世
PAL 30	ヒノキ	部材		柾目	BYO　ＳＫ 885	No. 5	84-16	平安後期～中世
PAL 31	サクラ属	杭		芯もち	BYO　ＳＫ 1143	No. 9	85-23	平安後期～中世
PAL 32	ケヤキ	皿		横木	BYO　ＳＫ 864	No. 13	63-4	飛鳥・平安時代

同定根拠

アカマツ　*Pinus densiflora* Sieb.et Zucc.　PINACEAE　写真図版1a～1c:PAL13

水平・垂直両樹脂道をともに持つ針葉樹。樹脂道の周囲にはエピセリウム細胞があるが、腐朽の為欠落している。早材から晩材への移行はやや急で、年輪界は明瞭。放射組織は放射柔細胞と放射仮道管と放射樹脂道からなり、単列と紡錘形のものがある。放射組織の上下端に放射仮道管があり、水平壁には鋭角な鋸歯状の肥厚が著しい。分野壁孔は大型の窓状で、１分野に１～２個。

以上の形質から、マツ科のアカマツの材と同定した。アカマツは、常緑高木の針葉樹で、北海道～屋久島の温帯～暖帯に分布する。

カラマツ属　*Larix*　PINACEAE　写真図版2a～2c:PAL2

水平・垂直両樹脂道を共に持つ針葉樹材。樹脂道の周囲には８～９個のエピセリウム細胞がある。早材から晩材への移行は急で、年輪界は明瞭。早材部仮道管は薄壁で大きく、有縁壁孔は２列対列状に並ぶ。放射組織は放射柔細胞と放射仮道管と放射樹脂道からなり、単列のものと紡錘形のものがある。放射組織の上下端に放射仮道管があり、放射柔細胞の垂直壁には単穿孔が数珠状を呈す。分野壁孔はきわめて小型のトウヒ型で、１分野に２～４個。放射仮道管の内壁は通常平滑で断面形は丸い。

以上の形質により、マツ科のカラマツ属の材と同定した。日本に自生するカラマツ属はカラマツのみで、カラマツは、本州（宮城県・新潟県以南～中部山岳地帯）の主に亜高山帯に分布する落葉高木の針葉樹である。

スギ　*Cryptomerica japonica*（L.fil.）D. Don　TAXODIACEAE　写真図版3a～3c:PAL29

水平・垂直両樹脂道を持たない針葉樹材。早材から晩材にかけての移行は急で、年輪界は明瞭。樹脂細胞が早材部から晩材部にかけて接線方向に散在する。放射組織は放射柔細胞のみからなり単列。分野壁孔は大型のスギ型で、通常１分野あたり２個存在する。

以上の形質により、スギ科のスギの材と同定した。スギは、常緑の針葉樹で、本州～屋久島の温帯～暖帯に分布している。

ヒノキ　*Chamaecyparis obtusa*（Sieb. et Zucc.）Endl.　CUPRESSACEAE　写真図版4a～4c:PAL16

水平・垂直両樹脂道を持たない針葉樹。早材から晩材への移行はやや急で、年輪界は明瞭。樹脂細胞が早材部と晩材部の境に接線状に散在しており、水平壁は結節状に肥厚している。放射組織は放射柔組織のみからなり、単列。分野壁孔は中型のトウヒ～ヒノキ型で、１分野に１～３個。

以上の形質から、ヒノキ科のヒノキの材と同定した。ヒノキは、常緑高木の針葉樹で、福島県～屋久島の温帯に分布する。ヒノキ、サワラ両者の区別が曖昧なものについてはヒノキ属と同定した。

クリ　*Castanea creneta* Sieb. et Zucc.　FAGACEAE　写真図版5a～5c:PAL19

年輪の始めに、やや放射方向に伸びた大型の丸い管孔が１列に並ぶ環孔材。晩材部では小型で薄壁の角張った管孔が、火炎状から放射状に配列する。道管の穿孔は単一。木部柔組織は、晩材部で接線状から短接線状。放射組織は単列同性で、道管との壁孔は対列状を呈す。

以上の形質より、ブナ科のクリの材と同定した。クリは北海道～九州までの温帯～暖帯にわたって広く分布する落葉性高木あるいは中高木である。

ブナ属　*Fagus*　FAGACEAE　　写真図版6a～6c：PAL20

小型で丸い管孔が年輪界に向けて徐々に径を減じながら散在する散孔材。道管の穿孔は単一もしくは横棒の少ない階段状。放射組織は巾の広い複合状と単列のものがあり同性。

以上の形質により、ブナ科のブナ属の材と同定された。ブナ属には北海道～九州の温帯に分布するブナと本州（岩手県以南）～九州の中間温帯に分布するイヌブナとが含まれる。

コナラ属コナラ節　*Quercus* Sect. *Prinus*　FAGACEAE　　写真図版7a～7c：PAL23

大型で丸い道管が単独、時に複合して年輪界に一列に並ぶ環孔材。晩材部では急激に径を減じた多角で薄壁の道管が散在し火炎状を呈し、木部柔組織は接線状に配列する。放射組織は単列と大型の複合放射組織からなり、同性。道管放射組織間壁孔は楕円形の対列状～柵状。

以上の形質により、ブナ科のコナラ節の材と同定した。コナラ節には、カシワ、ミズナラ、コナラ、ナラガシワ等が含まれ、いずれも落葉高木である。

ケヤキ　*Zelkova serrata*（Thunb.）Makino　ULMACEAE　　写真図版8a～8c：PAL32

年輪の始めに大型で丸い管孔が一列に並ぶ環孔材。晩材部で、薄壁の多角形の小道管が多数集合して接線方向～斜め接線方向に配列する。道管穿孔は単一、小道管内部には螺旋肥厚を持つ。木部柔組織は、周囲状～連合翼状を呈し、放射組織は１～８列程度の異性で、その上下端は時に大きめの結晶細胞が見られる。

以上の形質により、ニレ科のケヤキの材と同定した。ケヤキは、本州～九州の暖帯～温帯に広く分布する落葉広葉樹である。

サクラ属　*Prunus*　ROSACEAE　　写真図版9a～9c：PAL31

小型の丸い道管が、単独あるいは数個放射方向に複合して散在する散孔材。道管の穿孔は単一で、内壁には明瞭な螺旋肥厚をもつ。放射組織は１～５細胞幅程度で、同性に近い異性。

以上の形質から、バラ科のサクラ属の材と同定した。日本のサクラ属には落葉・常緑の低木～高木の25種が含まれる。

フジキ　*Cladrastis platycarpa*（Maxim.）Makino　LEGMINOSAE　　写真図版10a～10c：PAL18

大型で丸い道管が、単独もしくは２個程度複合して年輪界に並ぶ環孔材。晩材部では、小型で薄壁の道管が塊状をなして、斜め～接線方向に連なる。道管の穿孔は単一。内壁には螺旋肥厚があり、道管内部に褐色のゴム状の物質が詰まることがある。木部柔組織は周囲状。放射組織は、７細胞幅程度の同性に近い異性。時に鞘状になる。

以上の形質により、マメ科のフジキの木材と同定した。フジキは、福島県阿武隈山地以南～四国の暖温帯に分布する落葉高木である。

キハダ *Phellodendron amurense* Rupr.　RUTACEAE　　写真図版11a～11c：PAL27

年輪のはじめに大道管が並び、そこから順次径を減じた小道管が早材部では多数複合して斜め接線方向につながる環孔材で、障害ゴム道があり、道管の穿孔は単一、小道管の内壁には螺旋肥厚があり、放射組織は同性で、４細胞幅くらいである。

以上の形質により、ミカン科のキハダの材であると同定した。キハダは、北海道～九州の温帯に分布する落葉高木である。

ニシキギ属　*Euonymus*　CELASTRACEAE　　写真図版12a～12c：PAL24

小型で丸い道管がほぼ単独で、均一に散在する散孔材。道管の穿孔は単一で、内壁には螺旋肥厚が有る。管孔の直径は年輪界付近でやや径を減じる。放射組織は、単列で同性。

以上の形質により、ニシキギ科のニシキギ属の材と同定した。日本に自生するニシキギ属には18種が含まれる。

ケンポナシ属　*Hovenia*　RHAMNACEAE　　写真図版13a～13c：PAL11

年輪界に中～大型の道管が並び、晩材部では厚壁の道管が単独もしくは２～数個放射方向に複合して散在する散孔材。道管穿孔は、単穿孔。木部柔組織は周囲状～連合翼状。放射組織は異性で１～４細胞幅程度比較的外形は滑らかである。

以上の形質からクロウメモドキ科のケンポナシ属の材と同定した。日本に自生するケンポナシ属には、ケンポナシ（北海道～九州）とケケンポナシ（本州～四国）が含まれ、いずれも落葉高木である。

グミ属　*Elaeagnus*　ELAEAGNACEAE　　写真図版14a～14c：PAL12

年輪のはじめに中型で丸い道管が一列に並び、晩材部に向かって徐々に径を減じた単独の丸い管孔がややまばらに散在する散孔材。管孔の直径は、早材部から晩材部にかけて急に減じ、木部柔組織は晩材部で散在状～短接線状。道管の穿孔は単一、螺旋肥厚を持つ。放射組織は1～7細胞幅程度の同性に近い異性。

以上の形質により、グミ科のグミ属の材と同定した。グミ属には16種が含まれ、落葉もしくは常緑の低木～小高木である。

第２表　屋代遺跡群国道403号土口バイパス出土木製品　時代・製品名別一覧

時期	製品名	アカマツ	カラマツ属	スギ	ヒノキ	ヒノキ属	クリ	ブナ属	コナラ節	ケヤキ	サクラ属	フジキ	キハダ	ニシキギ属	ケンポナシ属	グミ属	散孔材	総計
飛鳥・平安時代	皿									1								1
	題箋軸状木製品				1													1
	杭											1			1			2
	不明						1											1
飛鳥・平安時代　計					1		1			1		1			1			5
平安後期～中世	曲物　側板				1													1
	曲物　底板			2	8	1												11
	桶　底板				1													1
	杭	1					1				1			1			1	5
	漆器　皿							1										1
	刀子		1															1
	不明				2			1	2				1			1		7
平安後期～中世　計		1	1	2	12	1	1	2	2		1		1	1		1	1	27
総計		1	1	2	13	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	32

3　考察

今回調査した木製品は、飛鳥・平安時代が計５点、平安後期～中世が計27点の合計32点が確認され、樹種は14種類であった。（表２）特徴的な傾向を中心に考察する。

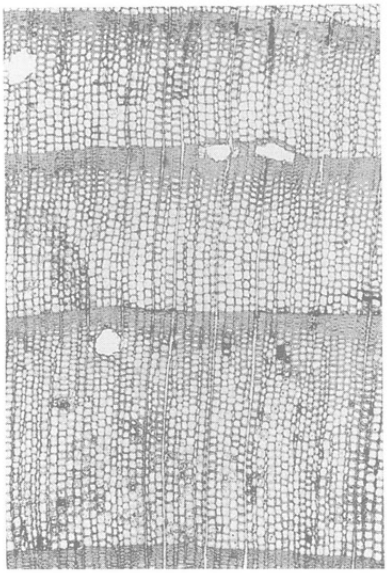
飛鳥・平安時代の皿や平安後期～中世の漆器などの挽物は回転整形のため、均質な木材が好まれる傾向があり、ケヤキ、ブナ属、サクラ属、モクレン属、トネリコ属など数種の木材が選択的に使用される。この傾向は、全国的に確認されているが、付近の植生等の影響で使用樹種は微妙に異なる。今回確認された製品２点もこれらの樹種に含まれており、他遺跡の傾向と一致する。同様に、曲物の側板・底板、桶の底板は、ヒノキ、スギが使用される傾向が強い。桶は中世以降広まったとされているが、ヒノキ・スギの分布圏以外でも広くこれらの樹種が利用されている。石川条里遺跡ではサワラが多量に確認されているが、中世の曲物・折敷に関しては、逆にヒノキが多く使用されており、より材質の優れたヒノキ材を利用していた事が分かり（能城・鈴木，1997)、本遺跡の結果と一致する。

逆に、杭には、古代・中世に関わらず樹種を選択している様子が伺われない。今回確認された杭には、特に耐久性や見た目の質感等が問題にされなかったため、周辺の手に入りやすい木材を利用したものと考えられる。ほかに不明とされた遺物にもコナラ節、キハダ、グミ属など周辺の広葉樹材が見出される事から、周辺に植物が豊富な環境が伺われる

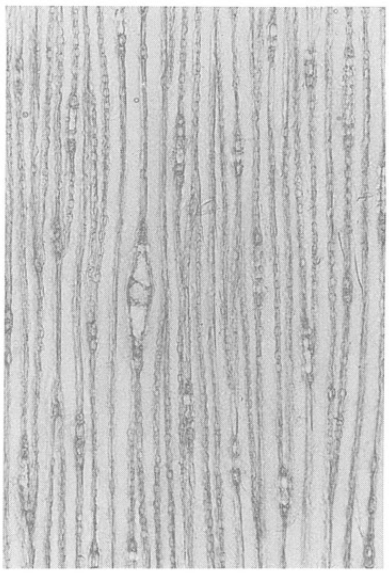
引用文献

能城修一・鈴木三男．1997．石川条里遺跡出土木製品の樹種．中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書15―長野市その３―石川条里遺跡　第３分冊．財団法人長野県埋蔵文化財センター，68-138pp.

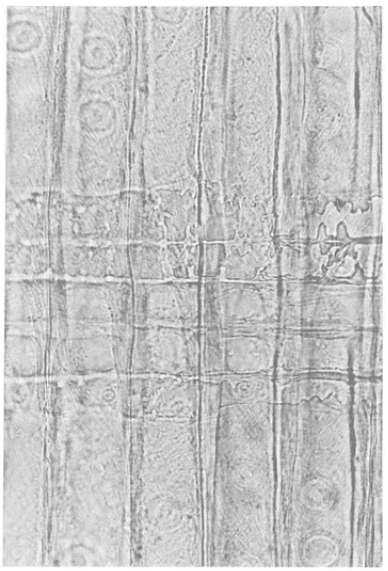
図版１　屋代遺跡群国道403号土口バイパス出土木材組織顕微鏡写真　Bar:



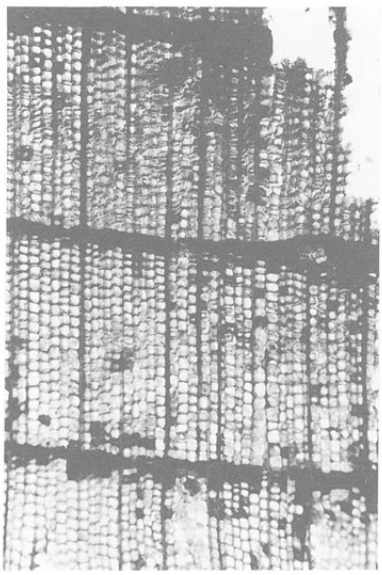
１ａアカマツ　bar：１㎜ PAL 13



１ｂ　同　bar：0.4㎜

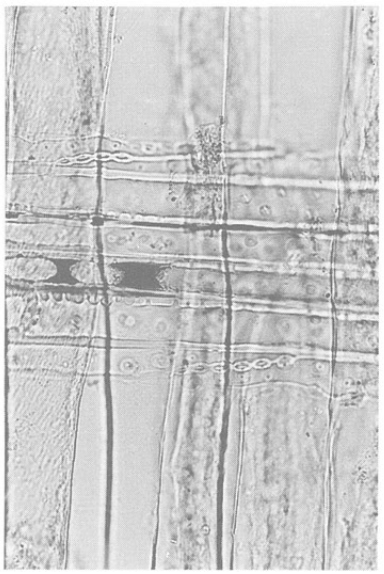


１ｃ　同　bar：0.1㎜

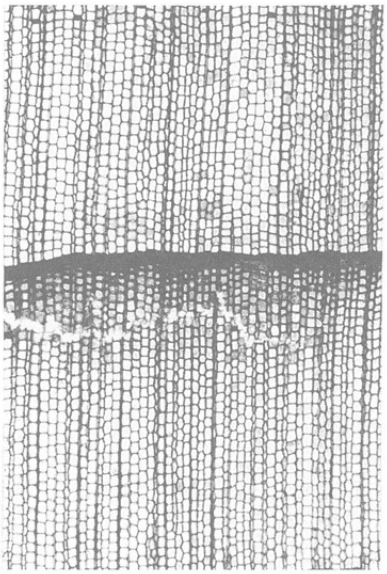


２ａカラマツ属　bar：１㎜ PAL 2

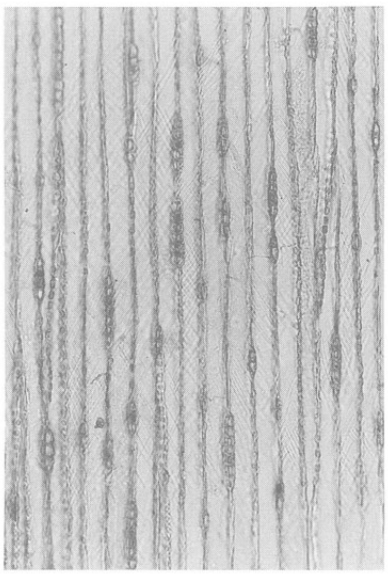
２ｂ　同　bar：0.4㎜



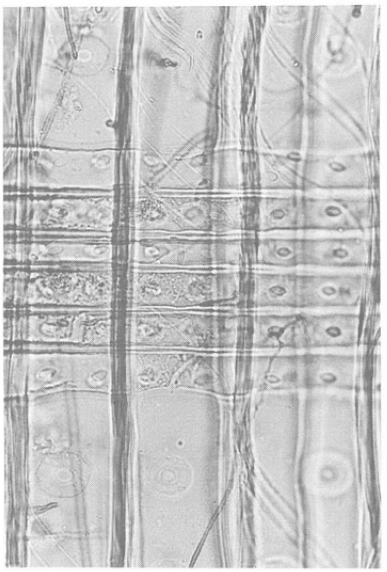
２ｃ　同　bar：0.1㎜



３ａスギ　bar：１㎜ PAL 29

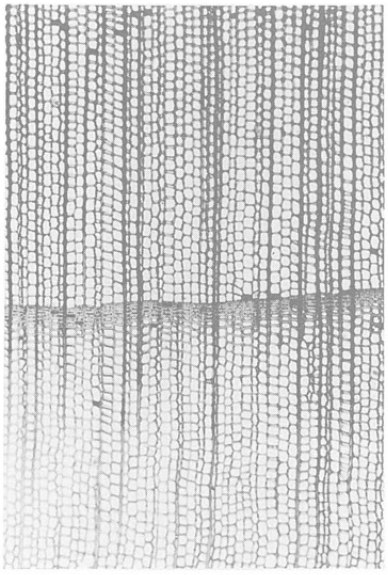


３ｂ　同　bar：0.4㎜

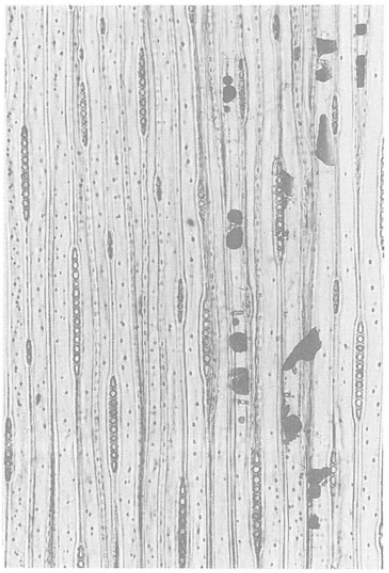


３ｃ　同　bar：0.1㎜

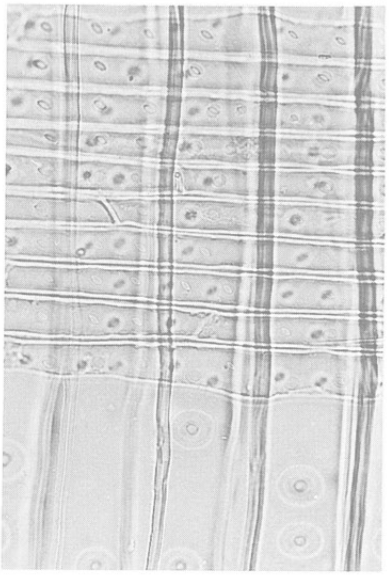
図版 2　屋代遺跡群国道403号土口バイパス出土木材組織顕微鏡写真　Bar:



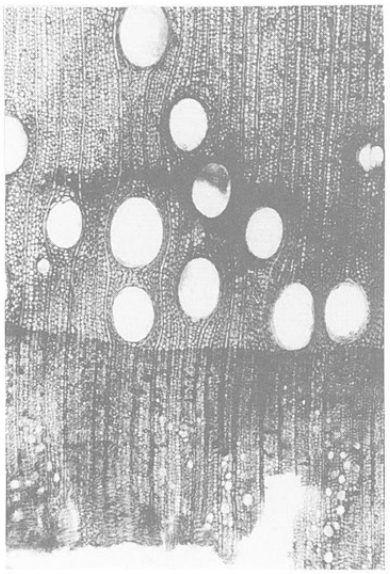
4 a ヒノキ　　bar：1 ㎜ PAL 16



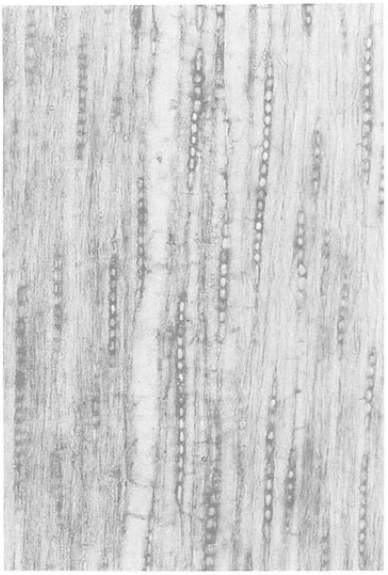
4 b　同　bar：0.4㎜



4 c　同　bar：0.1㎜

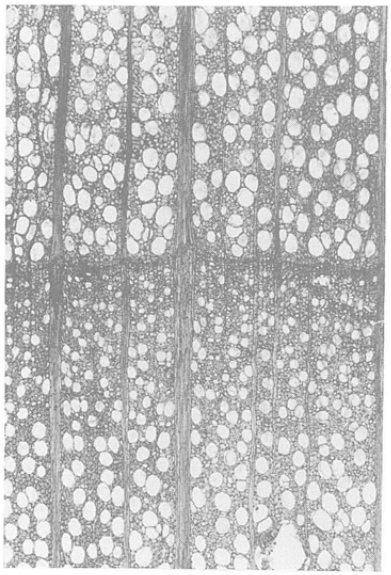


5 a クリ　　bar：1 ㎜ PAL 19

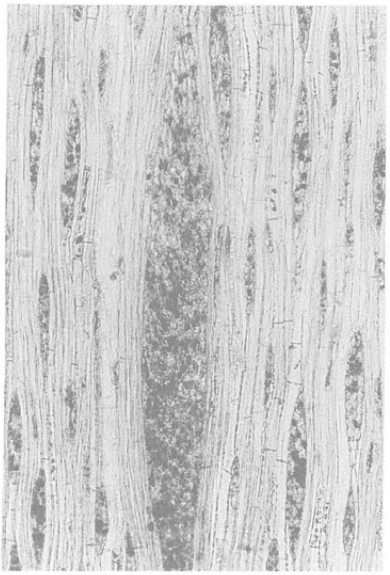


5 b　同　bar：0.4㎜

5 c　同　bar：0.2㎜



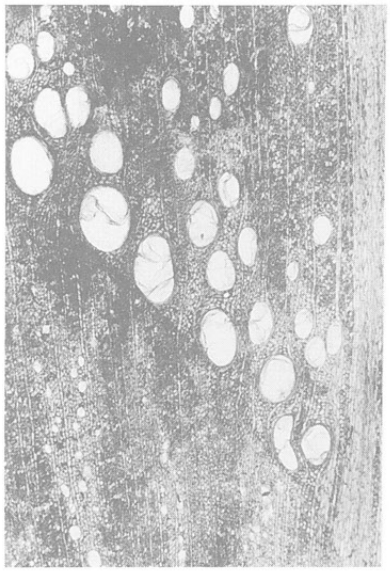
6 a ブナ属　　bar：1 ㎜ PAL 20



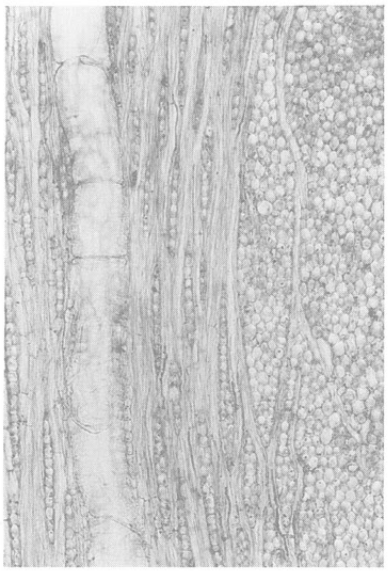
6 b　同　bar：0.4㎜

6 c　同　bar：0.2㎜

図版３　屋代遺跡群国道403号土口バイパス出土木材組織顕微鏡写真　Bar:

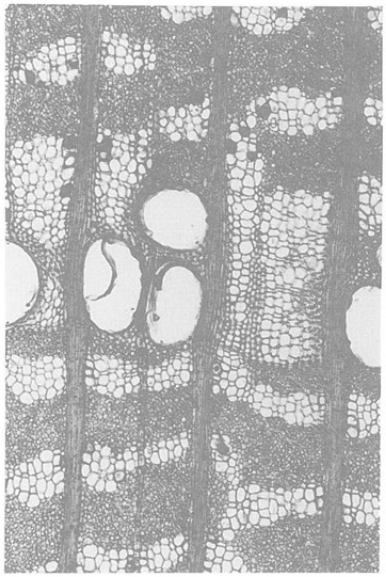


7 a コナラ節　　bar：1㎜ PAL 23

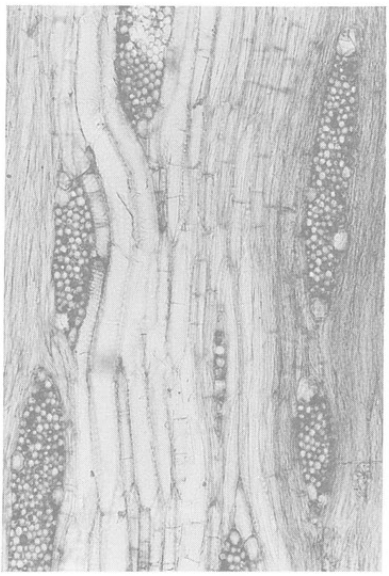


7 b　同　bar：0.4㎜

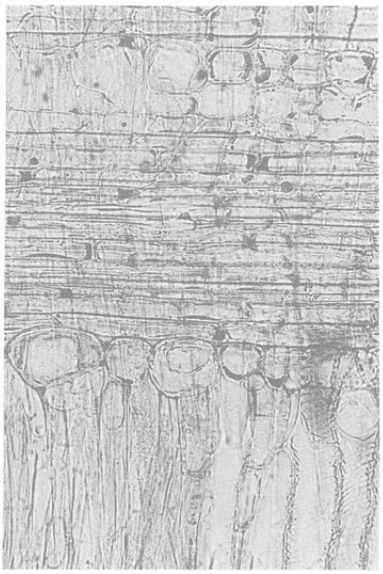
7 c　同　bar：0.2㎜



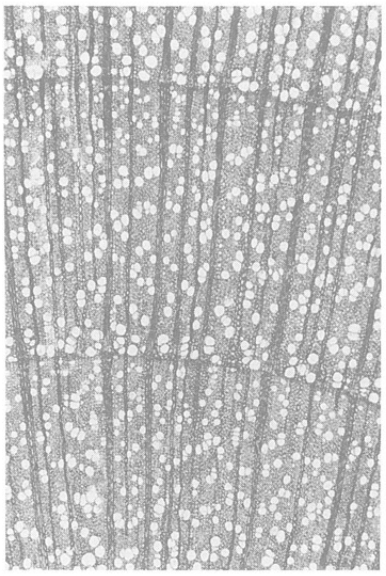
8 a ケヤキ　　bar：1㎜ PAL 32



8 b　同　bar：0.4㎜

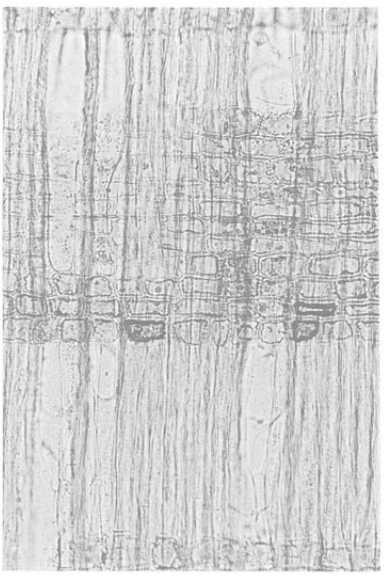


8 c　同　bar：0.2㎜



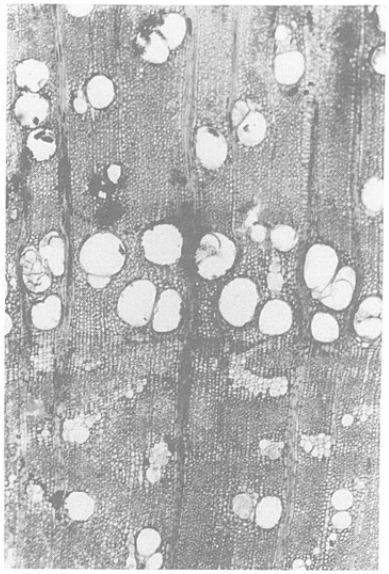
9 a サクラ属　　bar：1㎜ PAL 31

9 b　同　bar：0.4㎜

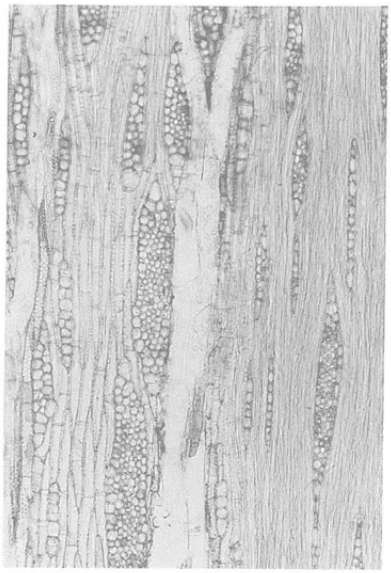


9 c　同　bar：0.2㎜

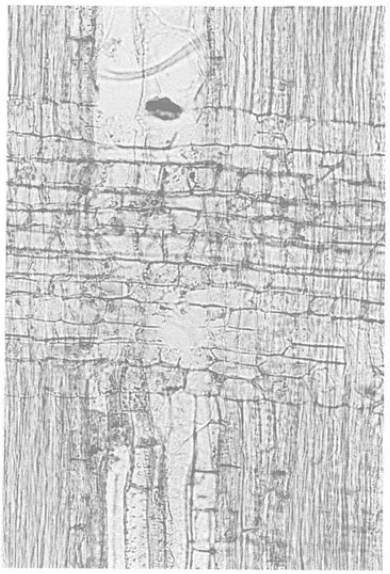
図版 4　屋代遺跡群国道403号土口バイパス出土木材組織顕微鏡写真　Bar:



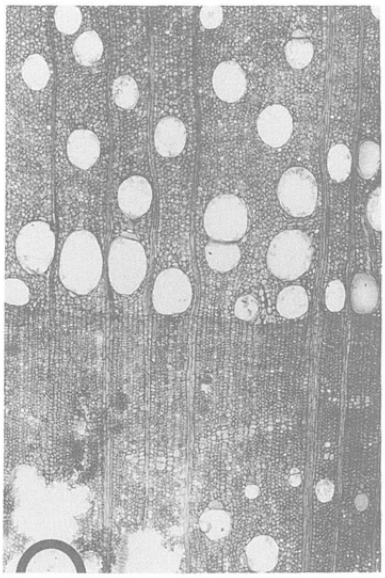
10 a フジキ　　bar：1 ㎜ PAL 18



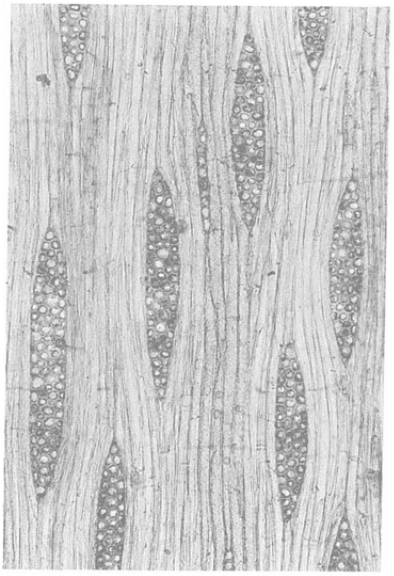
10 b　同　bar：0.4㎜



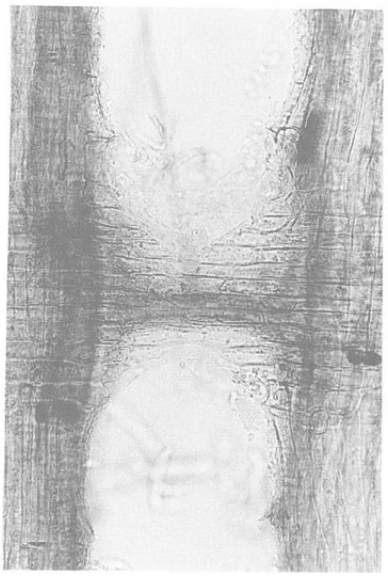
10 c　同　bar：0.2㎜



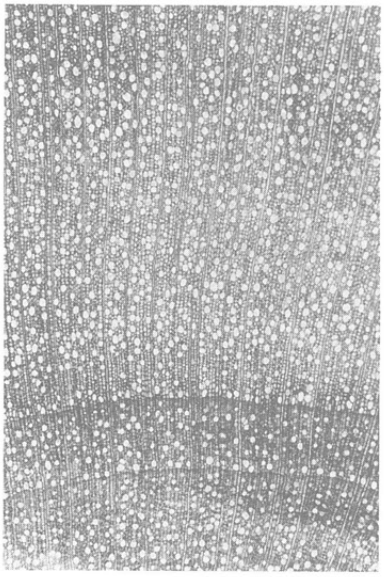
11 a キハダ　　bar：1 ㎜ PAL 27



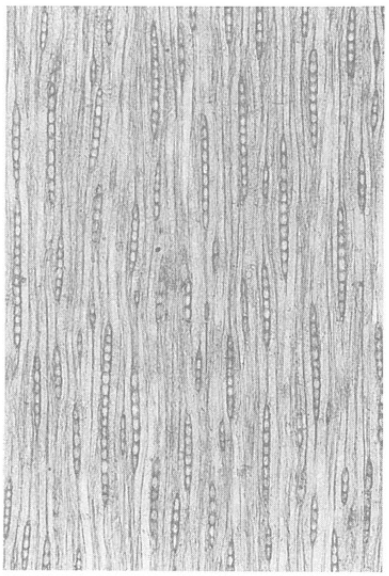
11 b　同　bar：0.4㎜



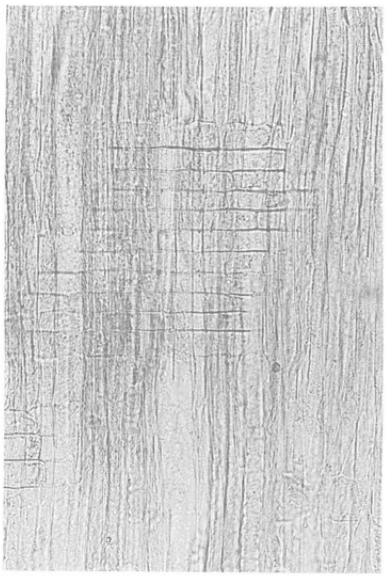
11 c　同　bar：0.1㎜



12 a ニシキギ属　　bar：1 ㎜ PAL 24

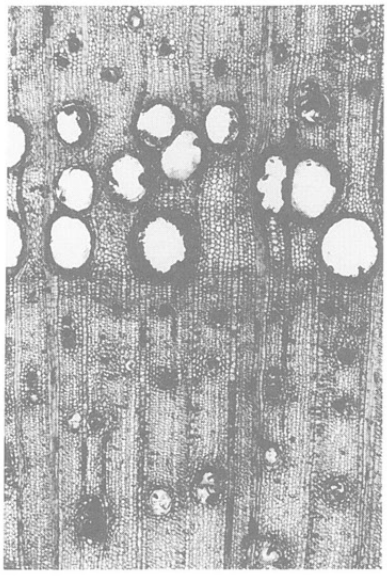


12 b　同　bar：0.4㎜

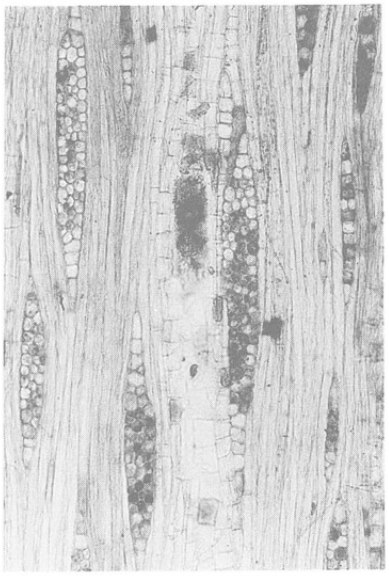


12 c　同　bar：0.1㎜

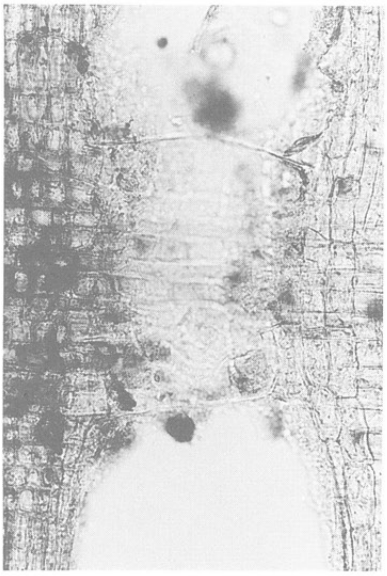
図版 5　屋代遺跡群国道403号土口バイパス出土木材組織顕微鏡写真　Bar:



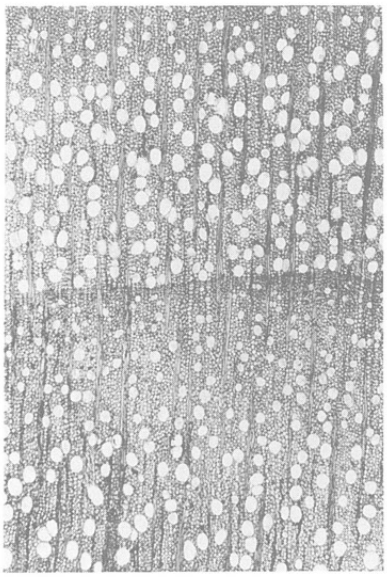
13ａケンポシナ属　bar：１㎜ PAL 11



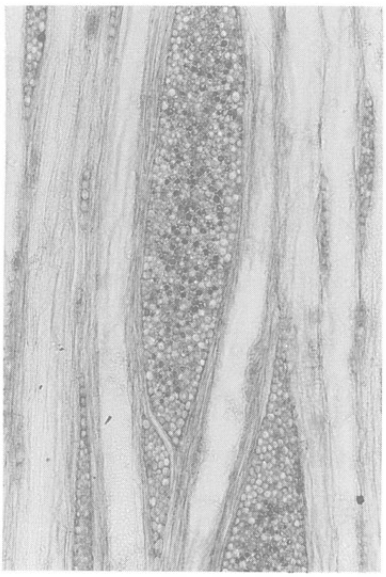
13ｂ　同　bar：0.4㎜



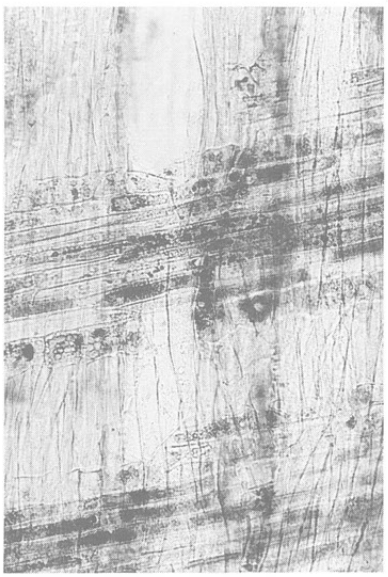
13ｃ　同　bar：0.1㎜



14ａグミ属　bar：１㎜ PAL 12



14ｂ　同　bar：0.4㎜



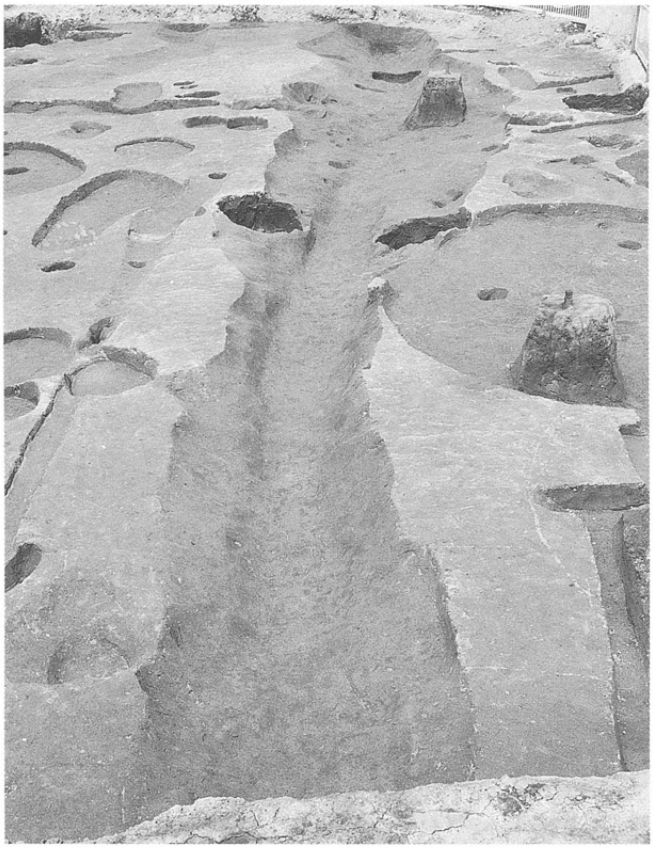
14ｃ　同　bar：0.1㎜

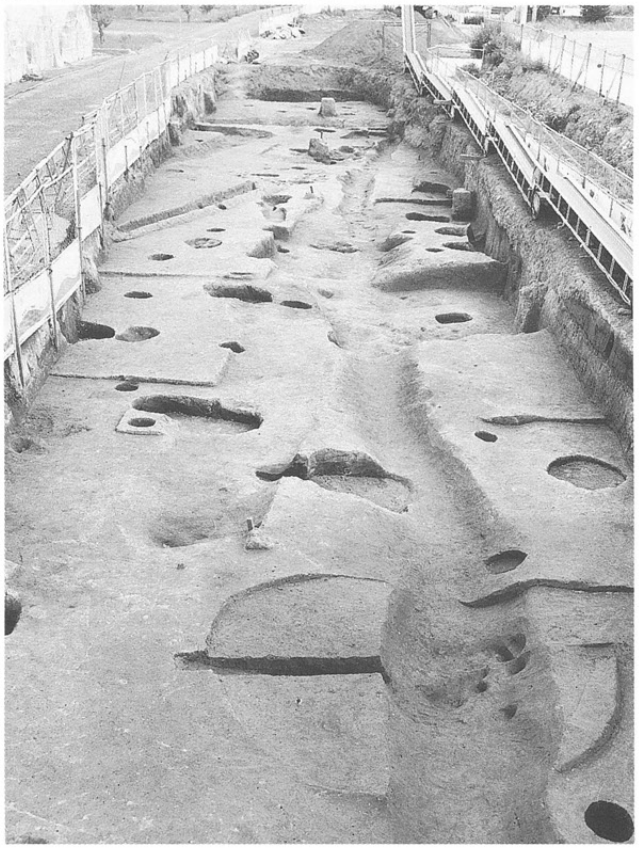
写　真　図　版

左：SB36
右：SB36
　　土器出土状態

SB38

左：SD33
右：２区
　　全景





PL 2　縄文時代・弥生時代の遺物

1

2

縄文時代の土器
1　SK371
2　1区

1

2

3

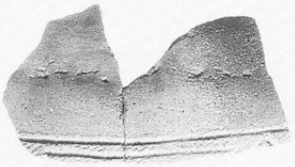
4

5

6

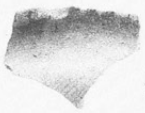
7

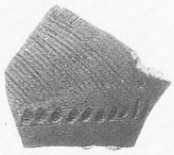
8


9

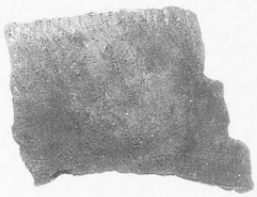
10

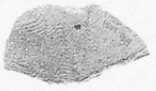
12


13


14

11


15

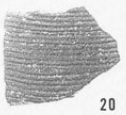

16

弥生時代の土器
1～17　SB36
18～26　SB38

17

18

19


20

21

22

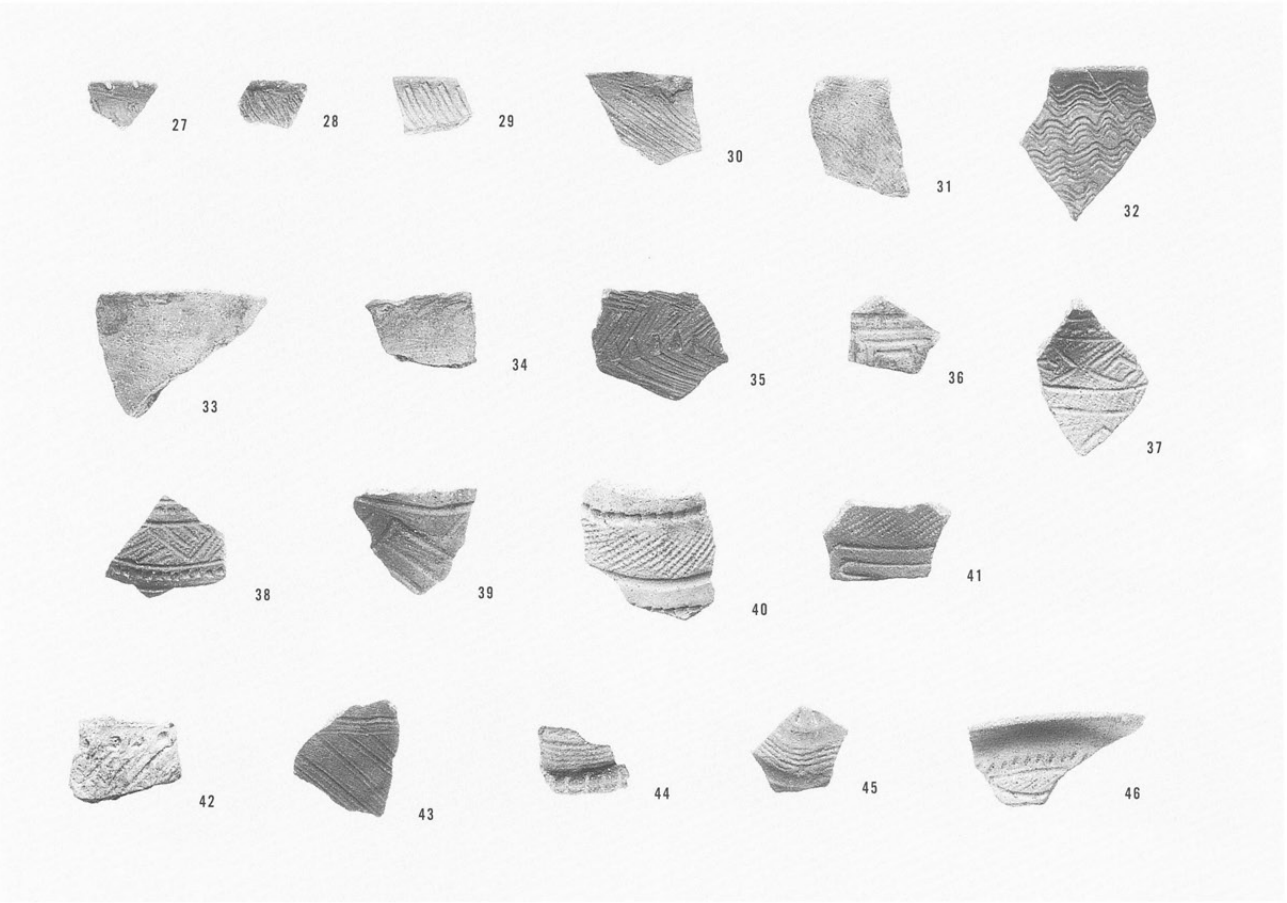
23

24

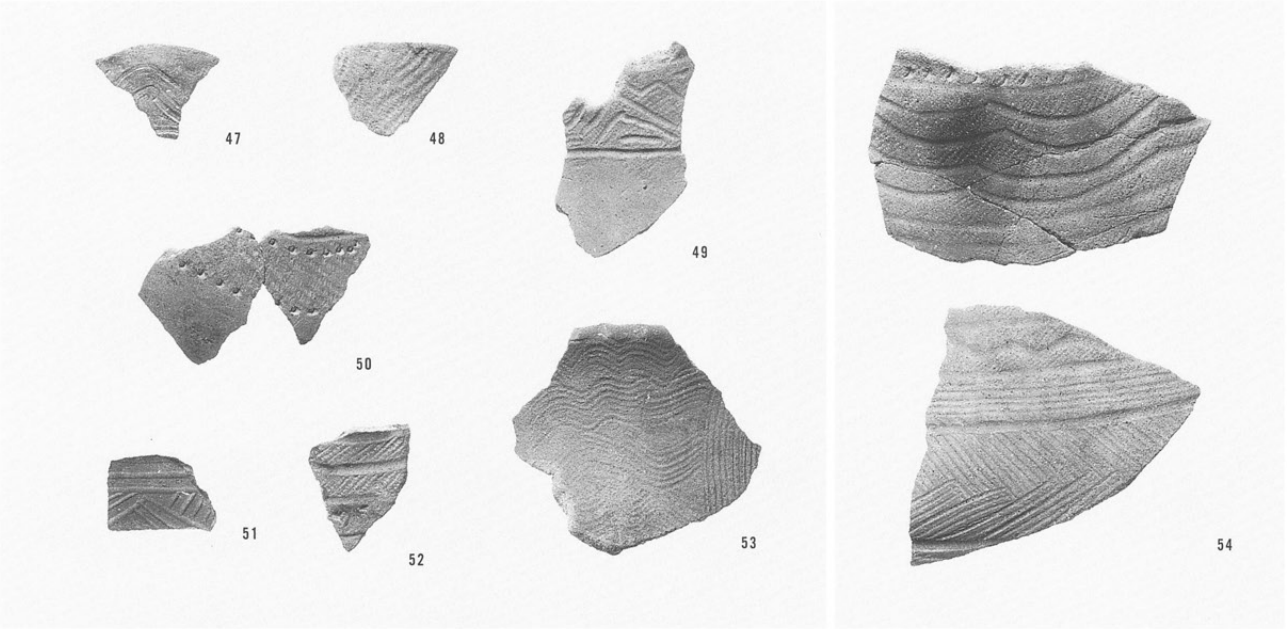
25

26

27～46　SD33

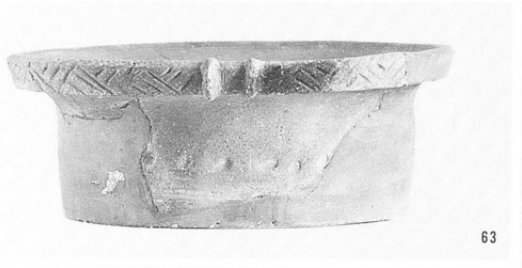


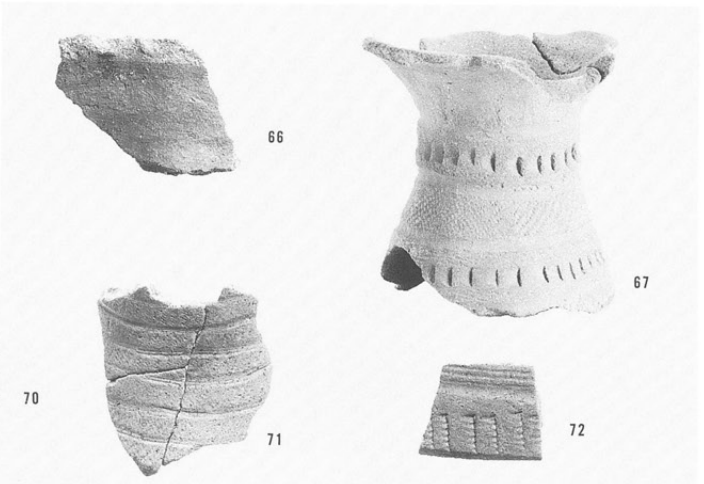
47～53　SD70
54　　SK600



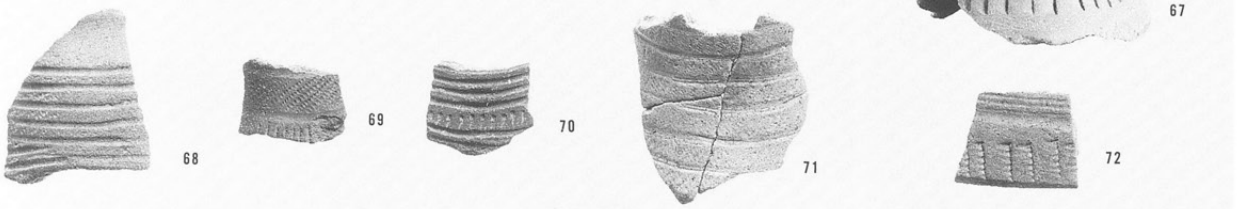
55　SK614
56　SK939

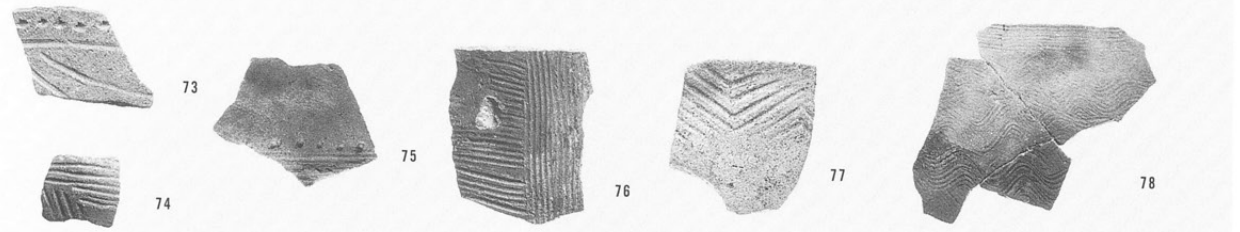
57～62　SK951

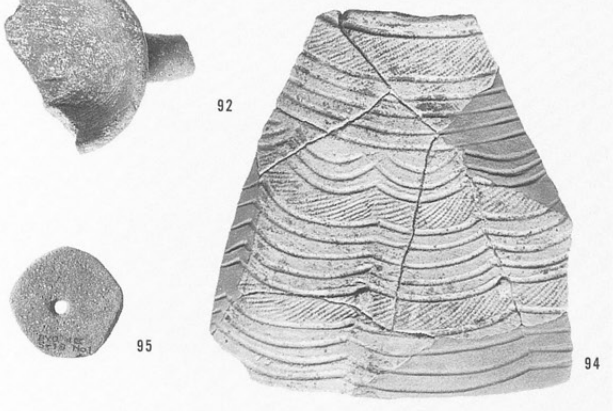


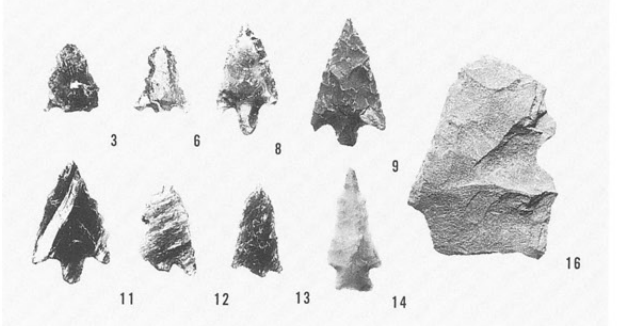


63　SK952
66　1区
67～78　2区
80～89　3区
90～92　4区
94・95　5区





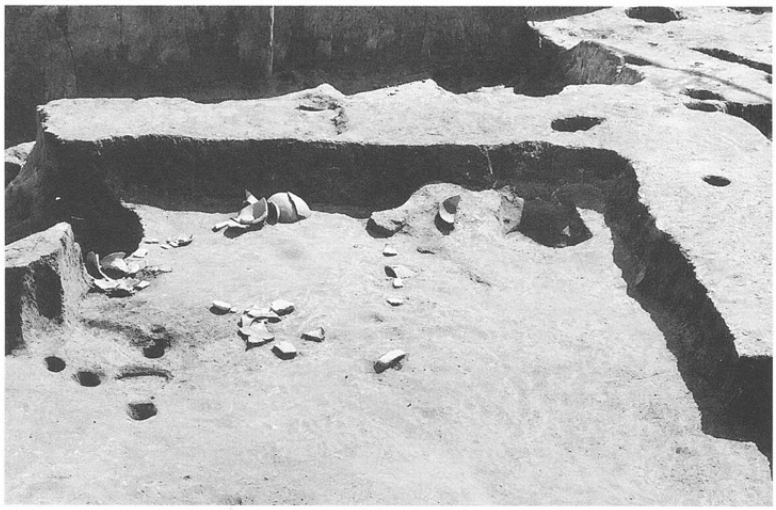




石器
3　SB38
6・8・9　SD33
11　2区
12～14・16　3区

左：SB 7
右：SB 7
土器出土状態

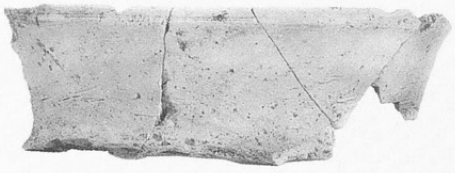
左：SB 7 ピット 1
土器出土状態
右：SB20



1区全景

SB24カマド
土器出土状態

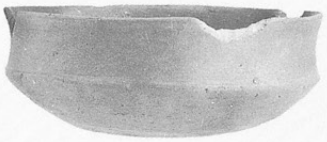
2


6

17

土器
2・6　SB 1

9


14

18

9～20、
24～26、
28・29　SB 7

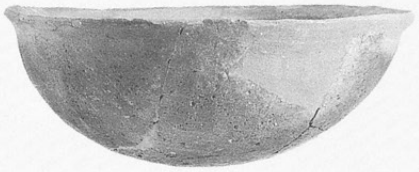
10

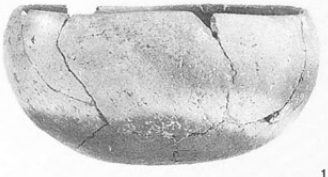
15

19

11

16


20


12

13

24

25

26

28

29

47

47　SB16

43・48・49
51・52　SB16

43

48

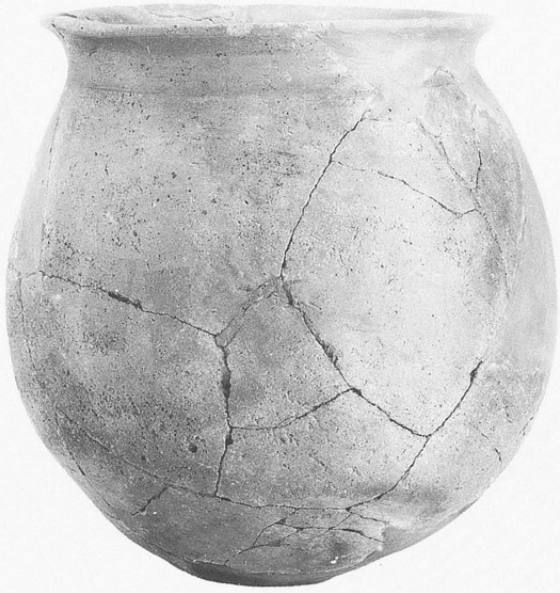
52

53・56・61
SB20

53

56

49


51

61

62・63・67
68・72・75
SB24

62

67

72

63

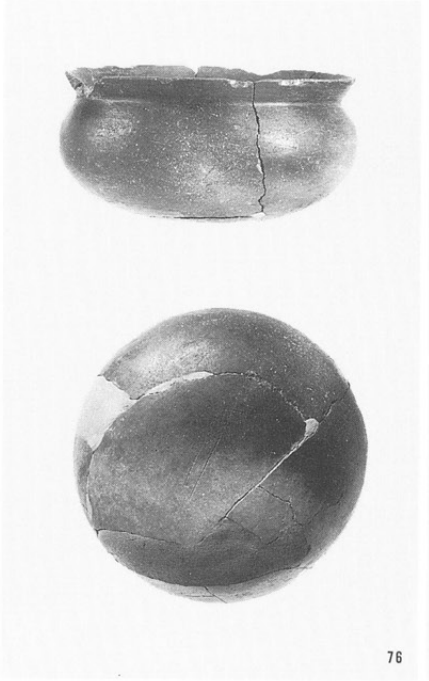
68

75

PL 8　古墳時代の遺物 3

64

69

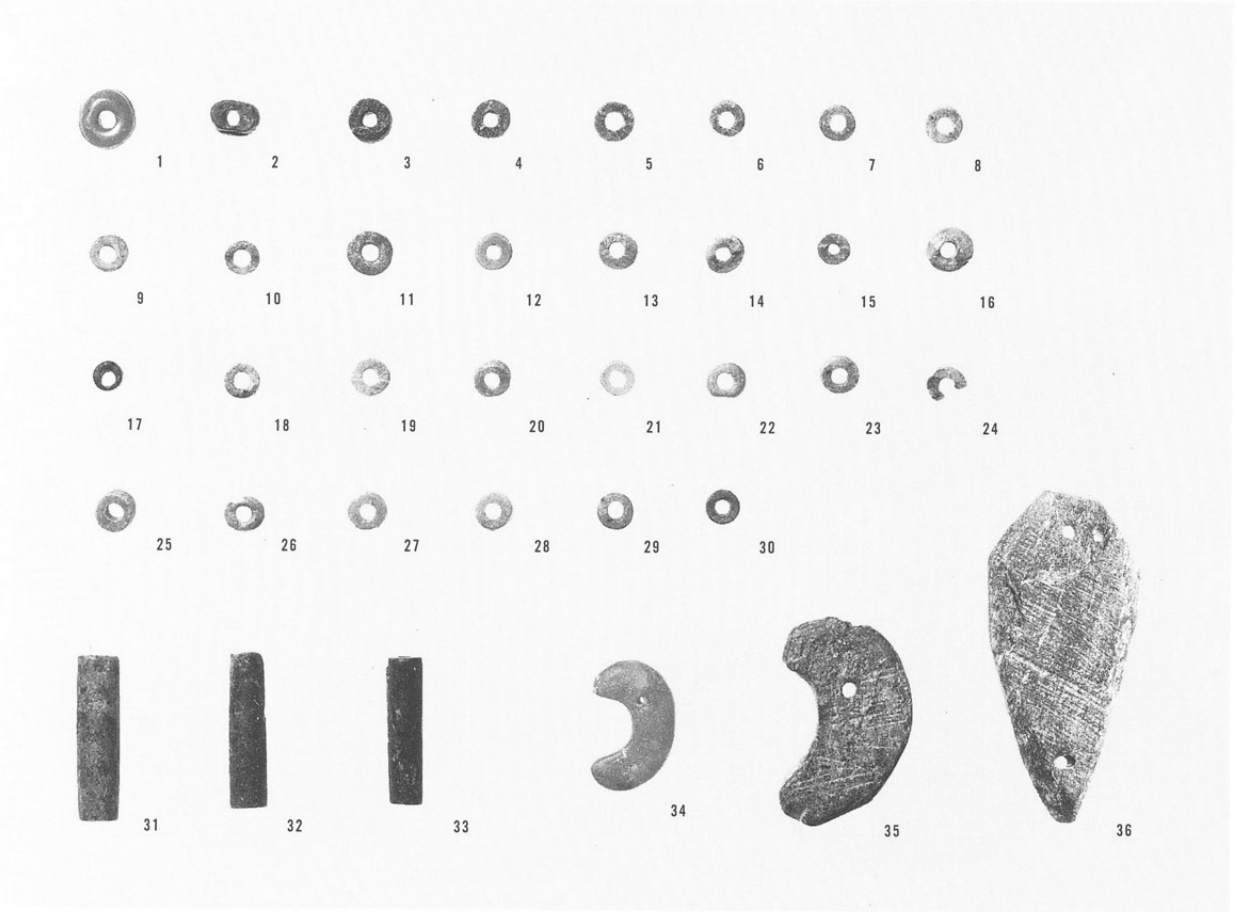

76

106

64・69・76
SB24
106　SB91

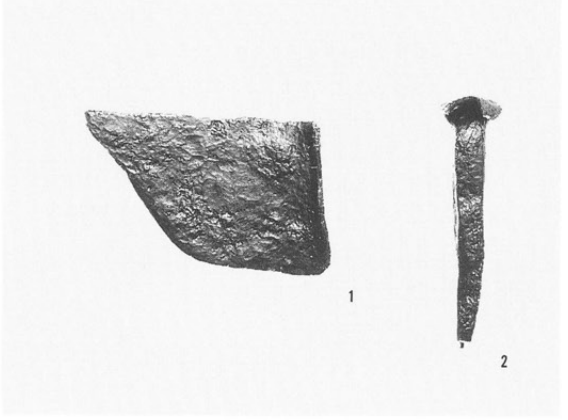
129

129　3区



玉類・石製模造品
1～4・34　SB1
5　SB16
6～29・31　SB24
30・32　1区
33　IIQ－11
35　SB20
36　SB11

石器
1　SB7
3　SB8



鉄製品
1　SB1
2　SB7

左：SB 3
右：SB 3
カマド

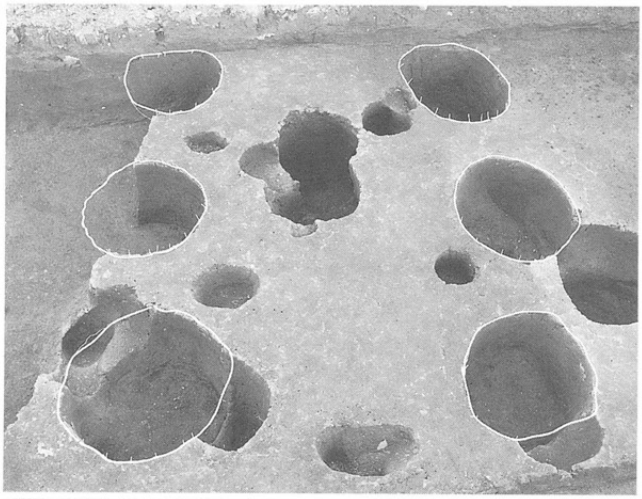
左：SB11
右：SB11
カマド

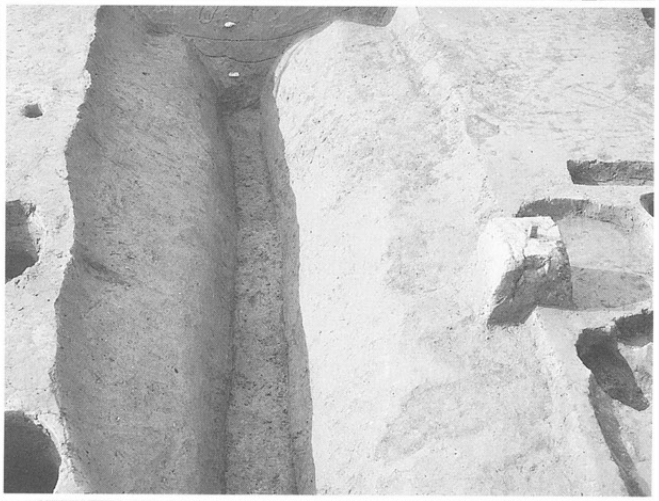
左：SB18
右：SB18
カマド

左：SB27
右：SB41

左：SB50
右：SB56

左：SB60
　　カマド
右：SB67





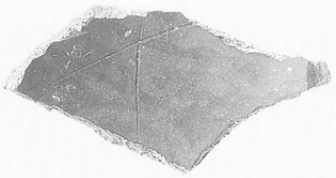
左：ST 1
右：SD24

左：3 区全景
右：6 区全景

土器
1・3・5　SB 3
13　SB 4

1

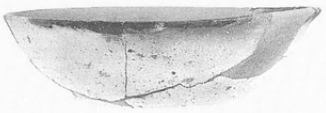
5


13

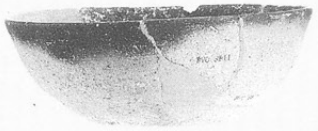
42

22～27、29～35
37・38・43　SB11

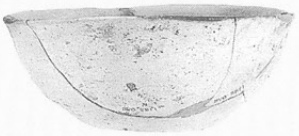
3


19

22


23

24


25

26

27

29

30

31

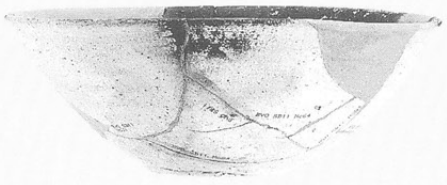
32

33

34

37

38


43

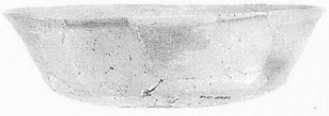
54・55・57
SB18

54

55

57

61・62・64
71　SB21


61

62

64

71

PL12　飛鳥・平安時代の遺物 2

68

67

63

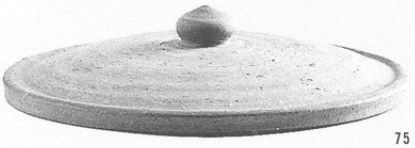
63・67・68
SB21

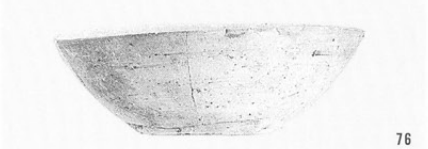
73

73・74
SB23

74

75～78
SB25


75


76

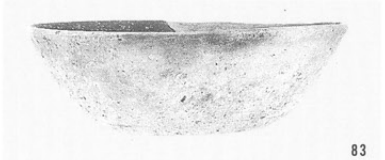
79

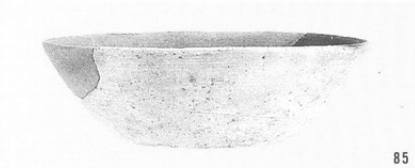
80

79～83・85
86・88
SB27

81

82


83


85

86

88

77

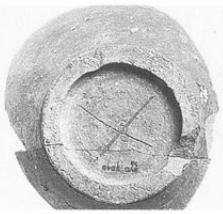
78

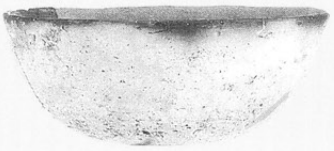
98　SB41
118　SB48
121・126・128
129・133・134
136・138
SB50

98

121

126


118


128

129

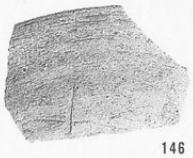
138

133

134

143・144・146
147・148・150
SB56

143


146

144

136

164・166・167
170　SB61

164

166

147

167

170

180　SB67

148

150

194　SB71
207　SB77

194

207

180

208

227

230

234

249

213

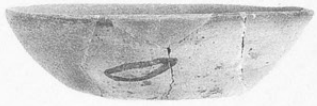
247

248

256

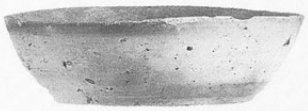
260

261


262

263

271


276

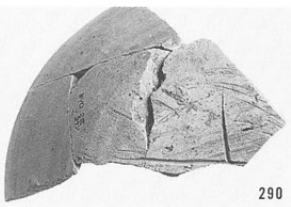
277

285

286

288

289


290

292

295

306

309　310

298

299

300

301

305

308

208　SB88
213　SD 6
227・230・234
SD24
247～249　SD46
256　SK217
260～263
SK305
271～277
SK838
285・286
288～290
1区
292　5区
295　6区
土製品
306　1区
309・310　4区
土錘
298・299
SB11
301　SB41
305　6区
羽口
308　SB23